

在宅要援護者需要調査
一般高齢者調査
日常生活圏域二一ズ調査

結果報告書

平成27年(2015年)3月

宝 塚 市

目次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査の実施概要.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	2
II. 調査結果の概要.....	3
1. 在宅要援護者需要調査.....	3
2. 一般高齢者調査.....	67
3. 日常生活圏域二一ズ調査.....	127
III. 調査票.....	194

I. 調査の概要

1. 調査目的

高齢者の介護サービスの利用意向や介護に関する意識等を調査分析し、第6期介護保険事業計画策定のための基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

ア. 在宅要援護者需要調査

平成26年(2014年)1月の介護サービス利用者(施設・居住系サービス利用者を除く)から、620人を無作為に抽出。郵送により調査票を配布・回収。

イ. 一般高齢者調査

平成26年(2014年)6月1日現在、65歳以上の人(要介護認定者を除く)から1,240人を調査対象として無作為に抽出。郵送により調査票を配布・回収。

ウ. 日常生活圏域ニーズ調査

平成26年(2014年)6月1日現在、65歳以上の人であって、要介護3～5の人を除く人(上記両調査の対象者とは重複しない)から宝塚市内の日常生活圏域(7圏域)ごとに4,283人を調査対象として無作為に抽出。郵送により調査票を配布・回収。

※ア、イ、ウとも発送日は6月6日、回収締切は6月30日。

3. 回収結果

調査票	発送数	有効回答数	有効回答率
在宅要援護者需要調査	620	369	59.5
一般高齢者調査	1,240	795	64.1
日常生活圏域ニーズ調査	4,283	3,059	71.4
1ブロック	620	434	70.0
2ブロック	620	444	71.6
3ブロック	620	449	72.4
4ブロック	620	436	70.3
5ブロック	620	452	72.9
6ブロック	620	472	76.1
7ブロック	563	372	66.1

※「白票」は無効票としている。また、記入者の設問で「本人死亡」と回答のあった調査票も同設問のみ集計し、有効回答数には加えていない。

4. 報告書の見方

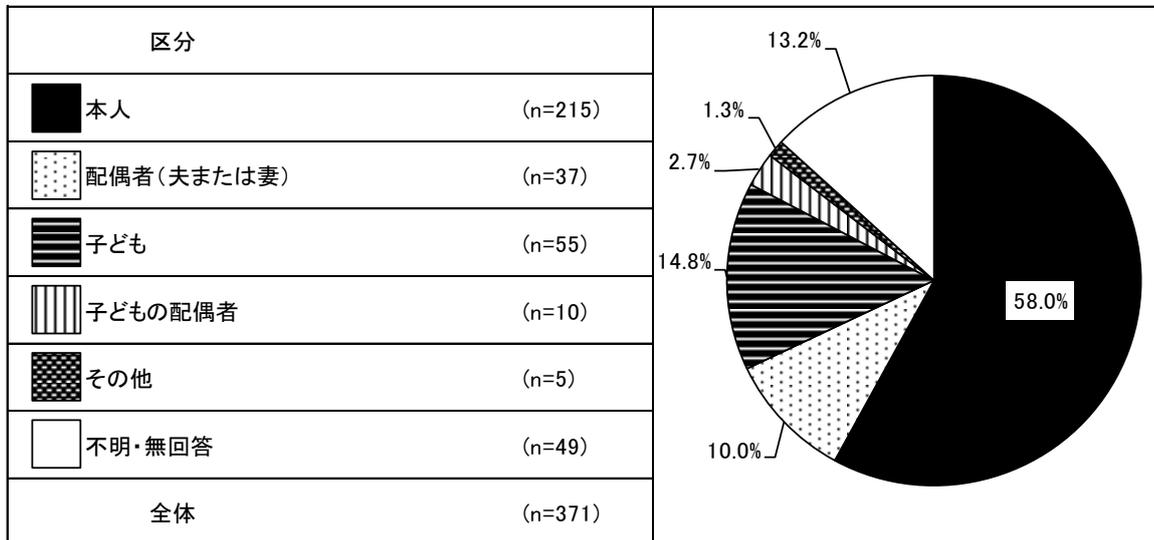
- ・タイトルの後に特に記載のない場合は「単数回答」を示している。
- ・設問が複数回答の場合は、タイトルの中に「複数回答」を示している。その後に「3」と記載している場合は、○を付けることのできる選択肢数が3つまでであり、また「複数回答」でその後に記載がない場合はいくつでも選択肢に○を付けてよいことを示している。
- ・集計表は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合もある。
- ・回答比率はその設問の回答者数を母数として算出した。複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合もある。

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 在宅要介護者需要調査

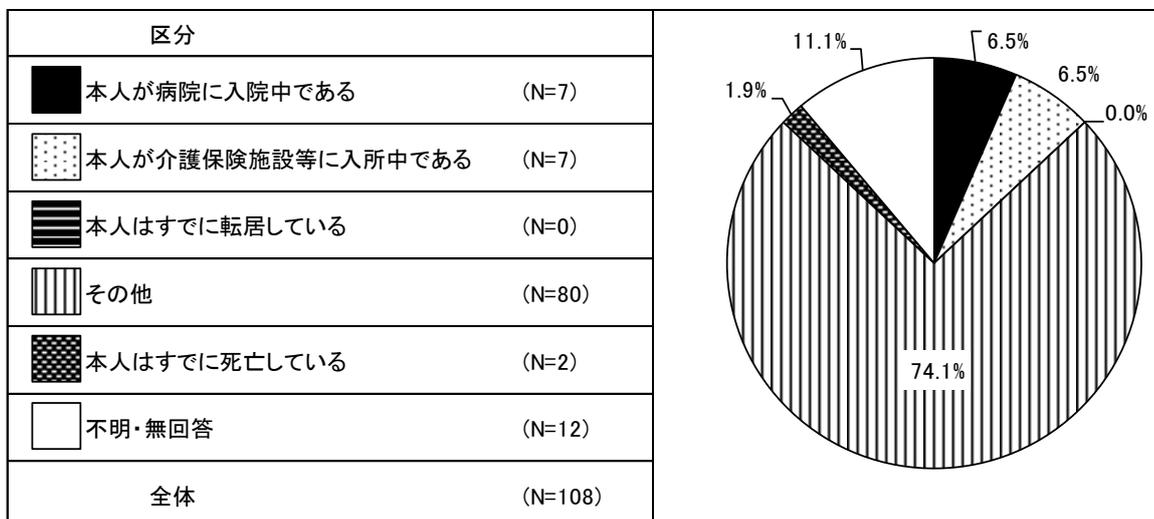
〈回答者〉

アンケートの回答者は、「本人」が58.0%であった。本人以外では「子ども」が14.8%、「配偶者（夫または妻）」が10.0%などとなっている。



〈宛名本人が回答できない理由〉

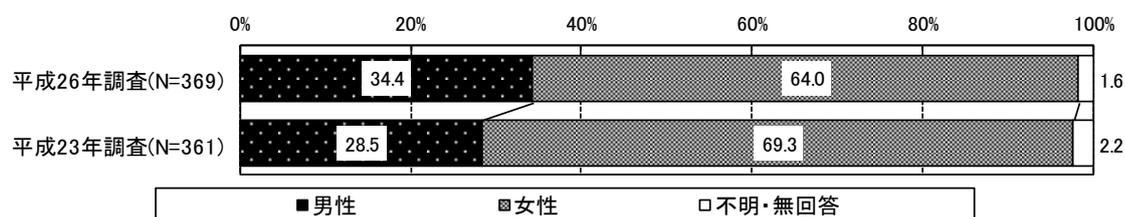
本人回答以外の方の、宛名本人が回答できない理由としては、「本人が病院に入院中である」「本人が介護保険施設等に入所中である」がともに6.5%となっている。また、「その他」が全体の約7割を占める。



問1 (1) 性別

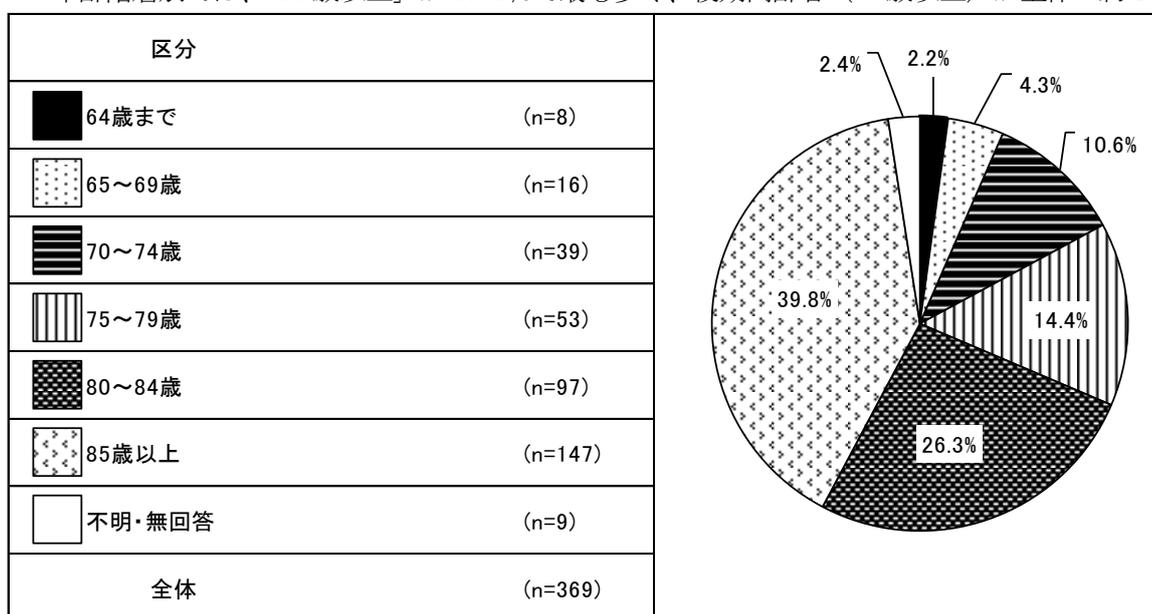
性別では、男性が34.4%、女性が64.0%となっている。

前回調査と比較すると男性の割合は約6ポイント増加している。



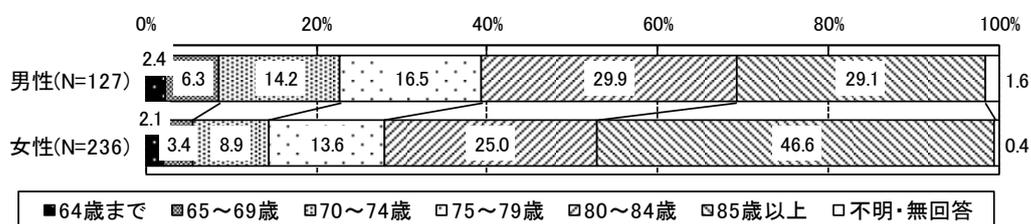
問1 (2) 満年齢

年齢階層別では、「85歳以上」が39.8%で最も多く、後期高齢者（75歳以上）が全体の約8割を占める



【性別】

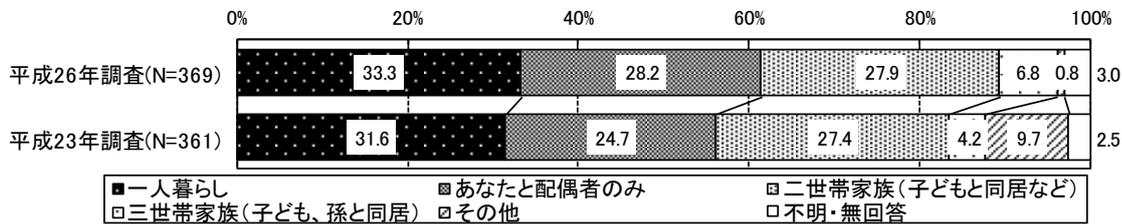
性別にみると、後期高齢者の割合は女性の方が男性より約10ポイント高くなっている。



問1 (3) 家族構成

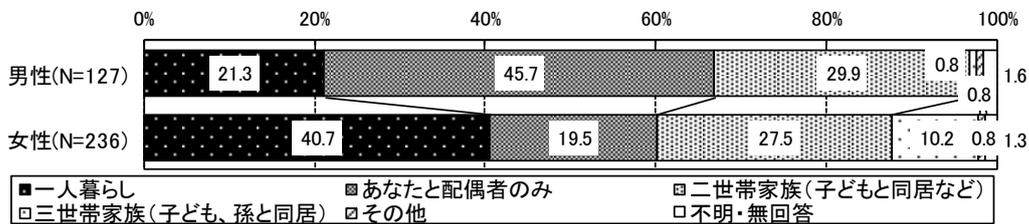
家族構成は、「一人暮らし」が33.3%で最も多く、次いで「あなたと配偶者のみ」が28.2%、「二世帯家族(子どもと同居など)」が27.9%などとなっている。

前回調査と比較すると大きな変化は見受けられない。



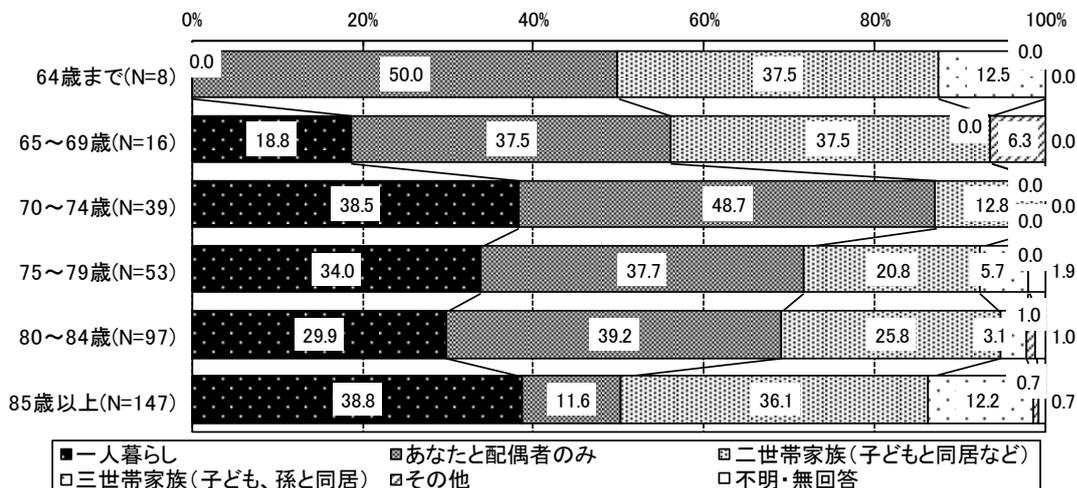
【性別】

性別にみると、女性では「一人暮らし」の割合が男性より約19ポイント高く、男性では「あなたと配偶者のみ」の割合が女性より約26ポイント高くなっている。



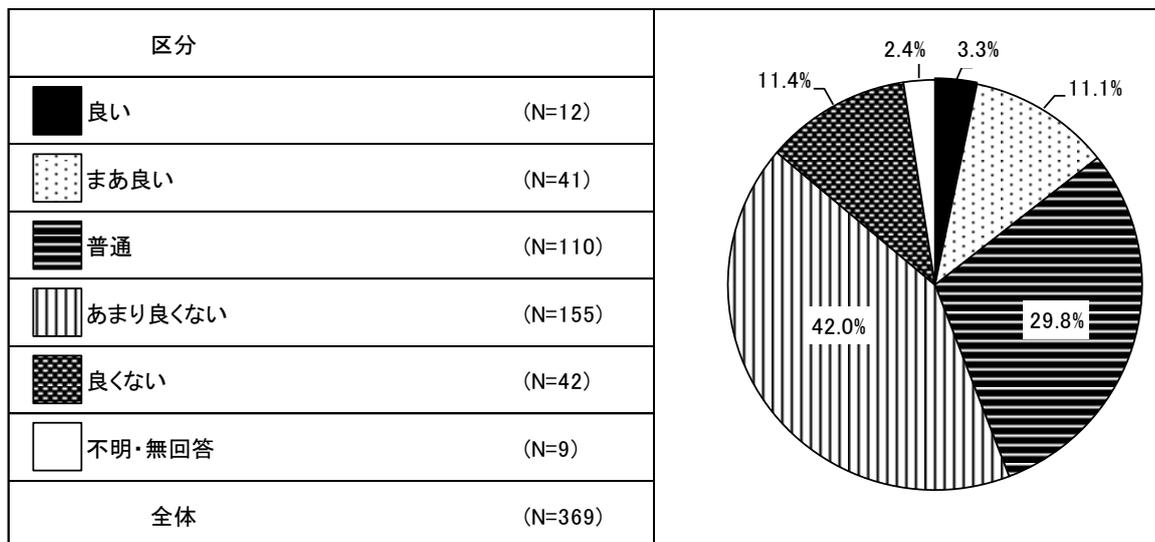
【年齢別】

年齢別にみると、85歳以上以外の年齢階層では「あなたと配偶者のみ」が構成比で最も多くなっているが、85歳以上では「一人暮らし」が38.8%で最も多くなっている。



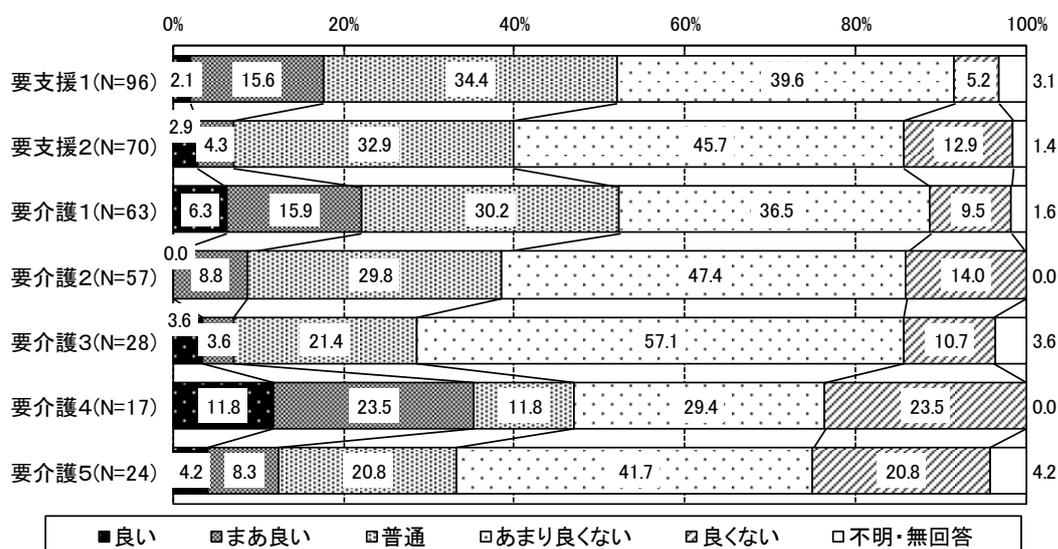
問2（1）健康状態

健康状態は、「良い」と「まあ良い」を合わせた良好な人の割合は14.4%である。「あまり良くない」と「良くない」を合わせた健康が優れない方の割合は53.4%で、全体の半数を超えている。



【介護度別】

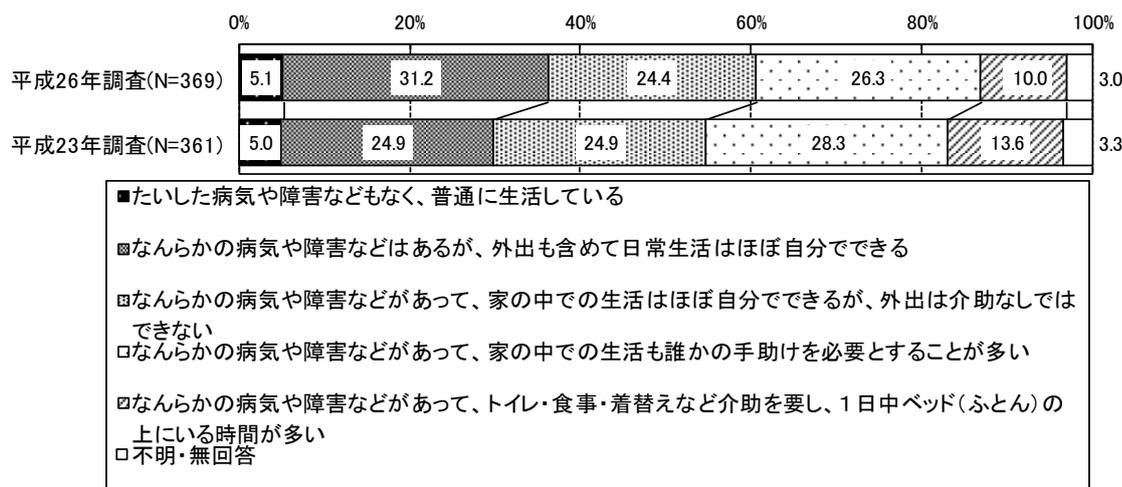
介護度別にみると、要介護4と要介護5で健康状態が「良くない」が2割を超えている。「良くない」と「あまり良くない」を合わせた健康が優れない方の割合が要介護3では約7割と高く、要支援2と要介護2、5で約6割、と要介護4で5割を占める。要支援1と要介護1では4割台となっている。



問2（2）日常生活の活動状態

日常生活の活動状態は、「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分ができる」が 31.2%で最も多い。「なんらかの病気や障害などがあるが、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い」26.3%と「なんらかの病気や障害などがあるが、家の中での生活はほぼ自分ができるが、外出は介助なしではできない」24.4%と「なんらかの病気や障害などがあるが、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド（ふとん）の上にいる時間が多い」10.0%とを合わせた「介護・介助が必要」な方の割合は、60.7%である。

前回調査と比較すると、「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分ができる」の割合が約6ポイント増加した。



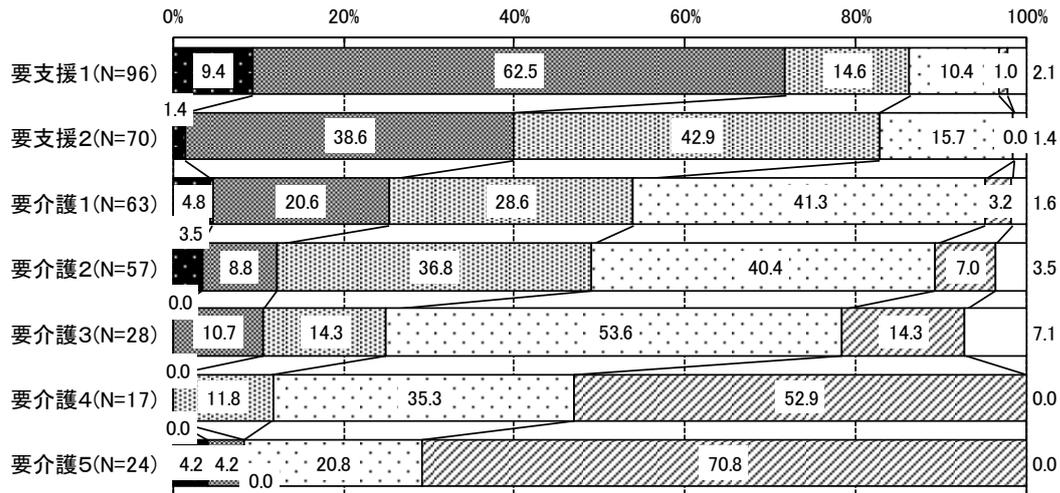
【介護度別】

介護度別にみると、要支援1では「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる」が62.5%と高くなっている。

要介護5では、「なんらかの病気や障害などがあって、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド（ふとん）の上にいる時間が多い」が70.8%で高くなっている。

「なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない」が要支援2で4割を超えて高い。

「なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い」は、要介護1～3で4～5割見られる。

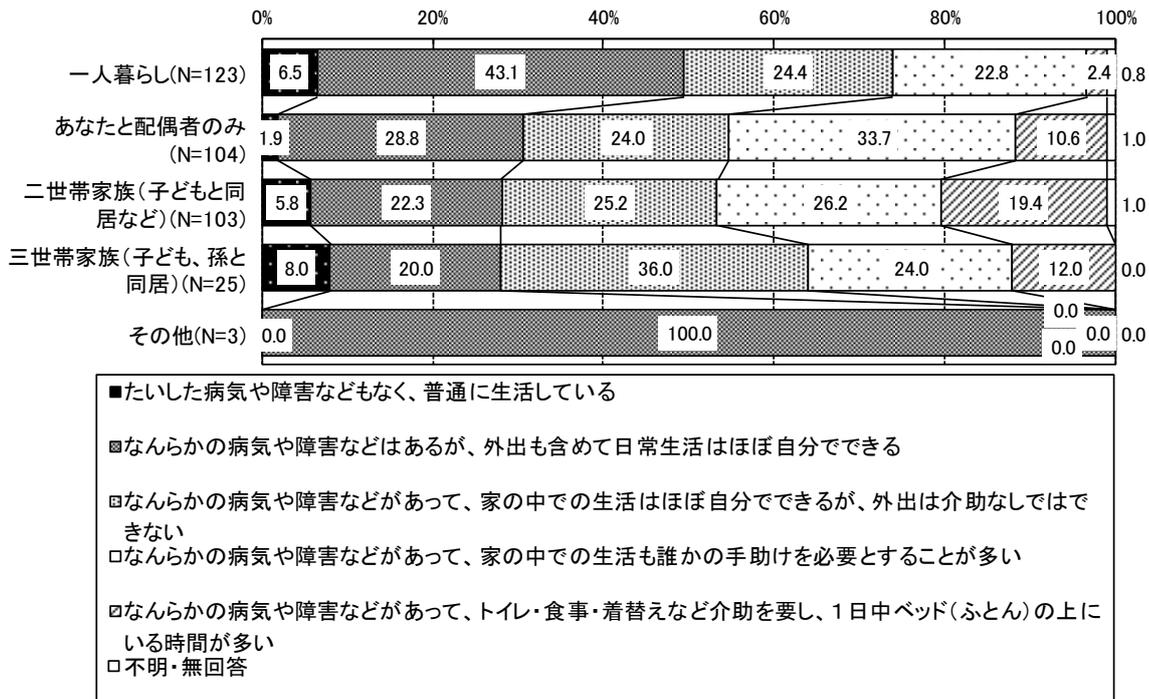


- たいした病気や障害などもなく、普通に生活している
- なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる
- なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない
- なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い
- なんらかの病気や障害などがあって、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド（ふとん）の上にいる時間が多い
- 不明・無回答

【家族構成別】

「一人暮らし」では「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分ができる」が4割を超えている。

「あなたと配偶者のみ」が「なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い」、「三世帯家族（子ども、孫と同居）」が「なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分ができるが、外出は介助なしではできない」でともに3割超、「二世帯家族（子どもと同居など）」が「なんらかの病気や障害などがあって、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド（ふとん）の上にいる時間が多い」で約2割と他の家族構成と比べて高くなっている。

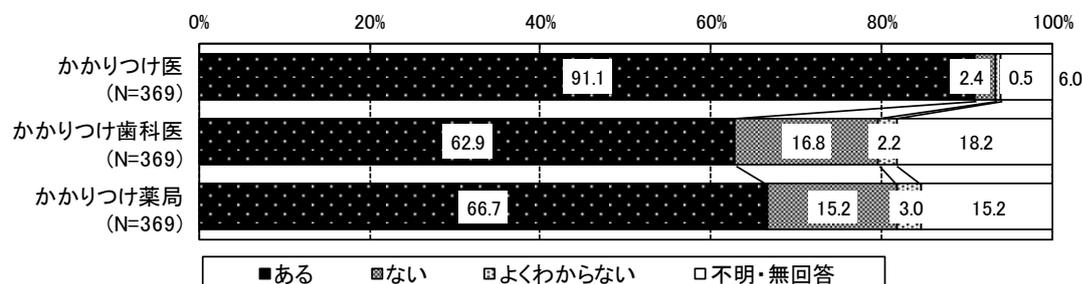


問3（1）かかりつけ医などの有無

かかりつけ医の有無は、「ある」が91.1%となっている。

かかりつけ歯科医の有無は、「ある」が62.9%となっている。

かかりつけ薬局の有無は、「ある」が66.7%となっている。



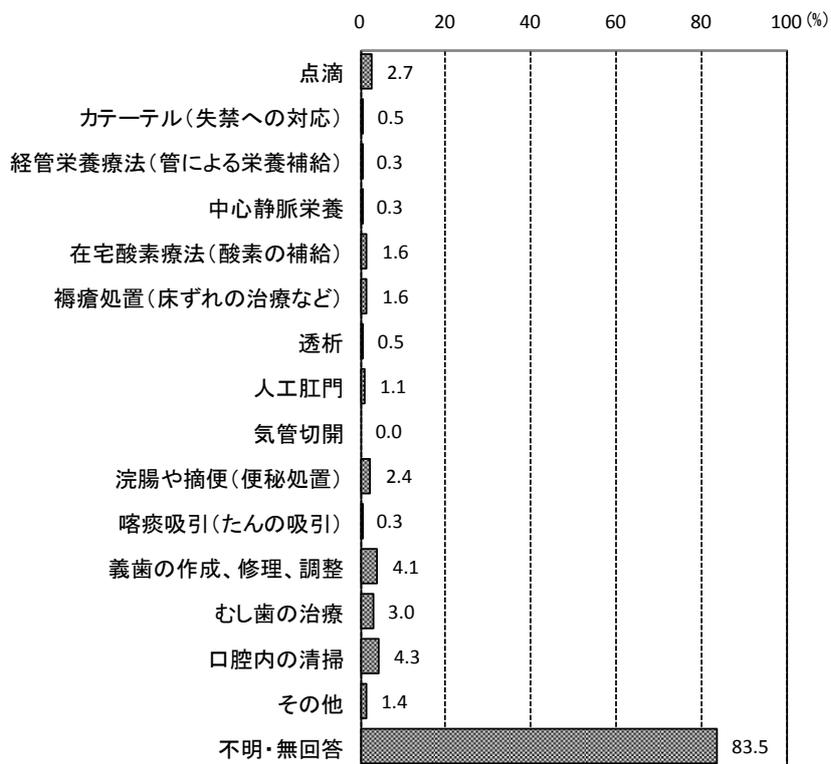
問3（2）訪問医療の受診有無

訪問医療の受診については、いずれも「利用なし」が最も多く、利用が少ないことがうかがえる。利用の頻度については、医師が、「月に1回」が4.9%、「月に2回」が3.8%などとなっている。歯科医師が、「月に1回」が3.8%、「週に1回」が1.1%などとなっている。看護師が、「週に1回」が3.8%、「週に2回」が2.7%などとなっている。その他が「週に1回」が3.3%、「週に2回」が1.1%などとなっている。

区分	利用の程度(%)						不明・無回答
	利用なし	月に1回	月に2回	週に1回	週に2回	それ以上	
医師(N=369)	69.1	4.9	3.8	1.9	0.3	0.5	19.5
歯科医師(N=369)	66.9	3.8	0.8	1.1	—	0.3	27.1
看護師(N=369)	62.9	0.5	1.9	3.8	2.7	1.1	27.1
その他(N=369)	19.8	0.5	0.3	3.3	1.1	0.8	74.3

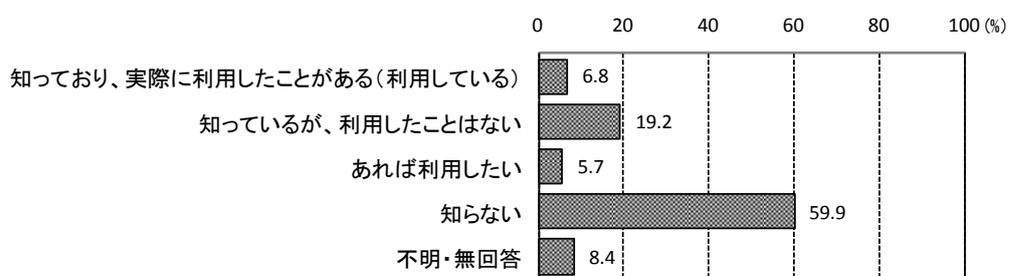
問3（3）訪問医療の内容（複数回答）

訪問医療の内容は、「口腔内の清掃」が4.3%で最も多く、次いで「義歯の作成、修理、調整」が4.1%、「むし歯の治療」が3.0%などとなっている。



問3（4）在宅療養支援診療所の認知度

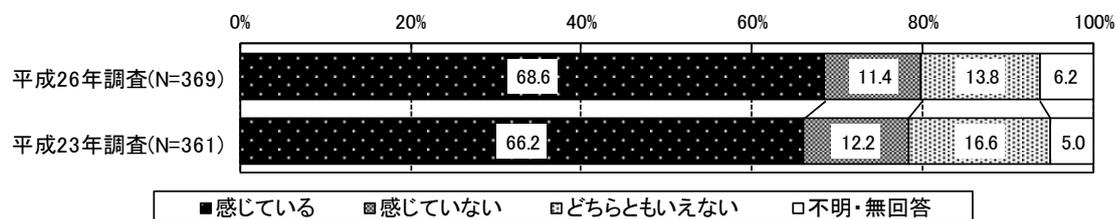
在宅療養支援診療所の認知度は、「知らない」が59.9%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が19.2%、「知っており、実際に利用したことがある(利用している)」が6.8%などとなっている。



問4（1）日常生活の心配事、不安の有無

日常生活で何か不安を感じている人は、「感じている」が68.6%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が13.8%、「感じていない」が11.4%などとなっている。

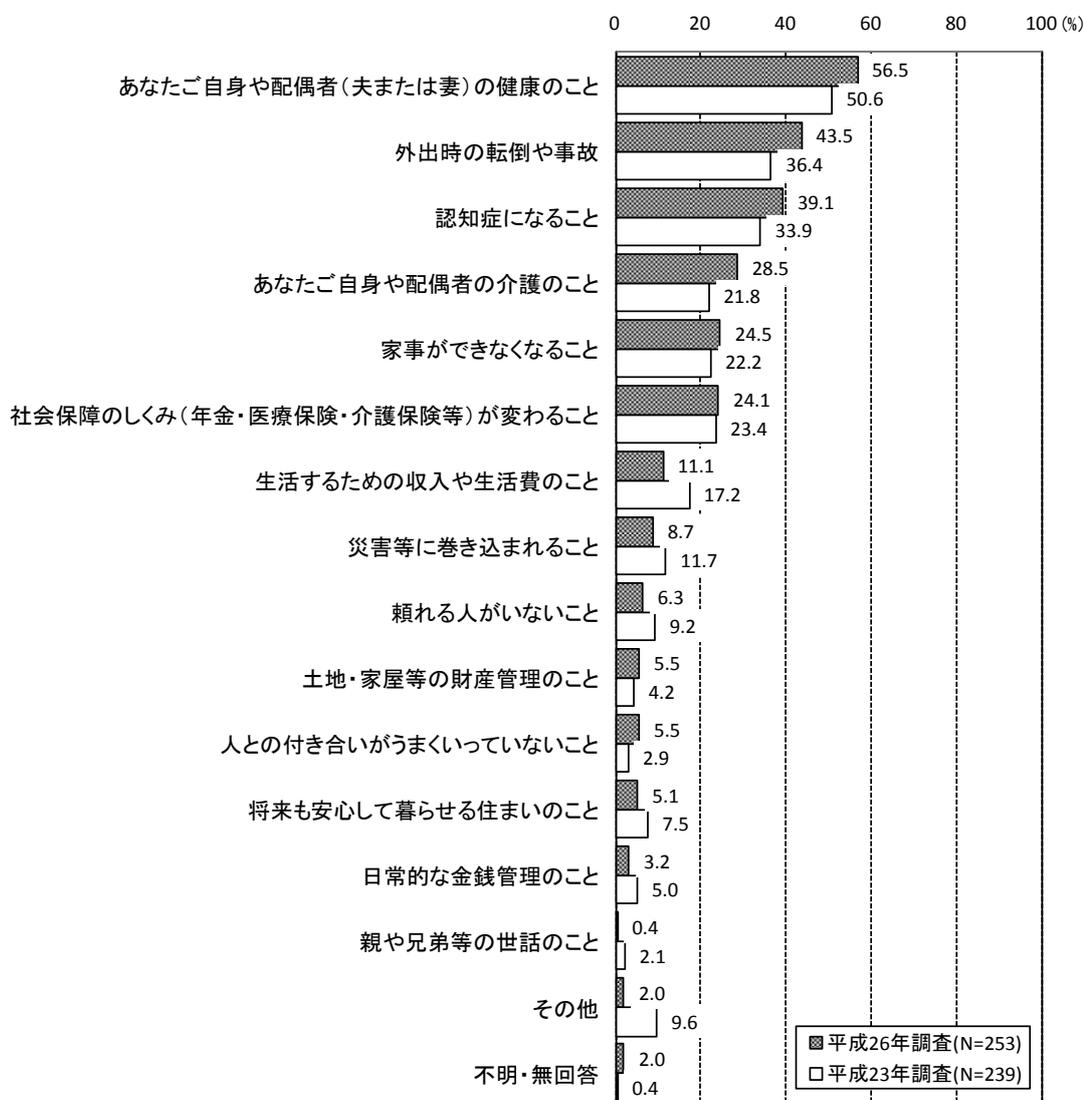
前回調査との比較では、不安を感じている人の割合が2ポイント増加している。



問4（2）日常生活の心配事、不安の種類（複数回答3）

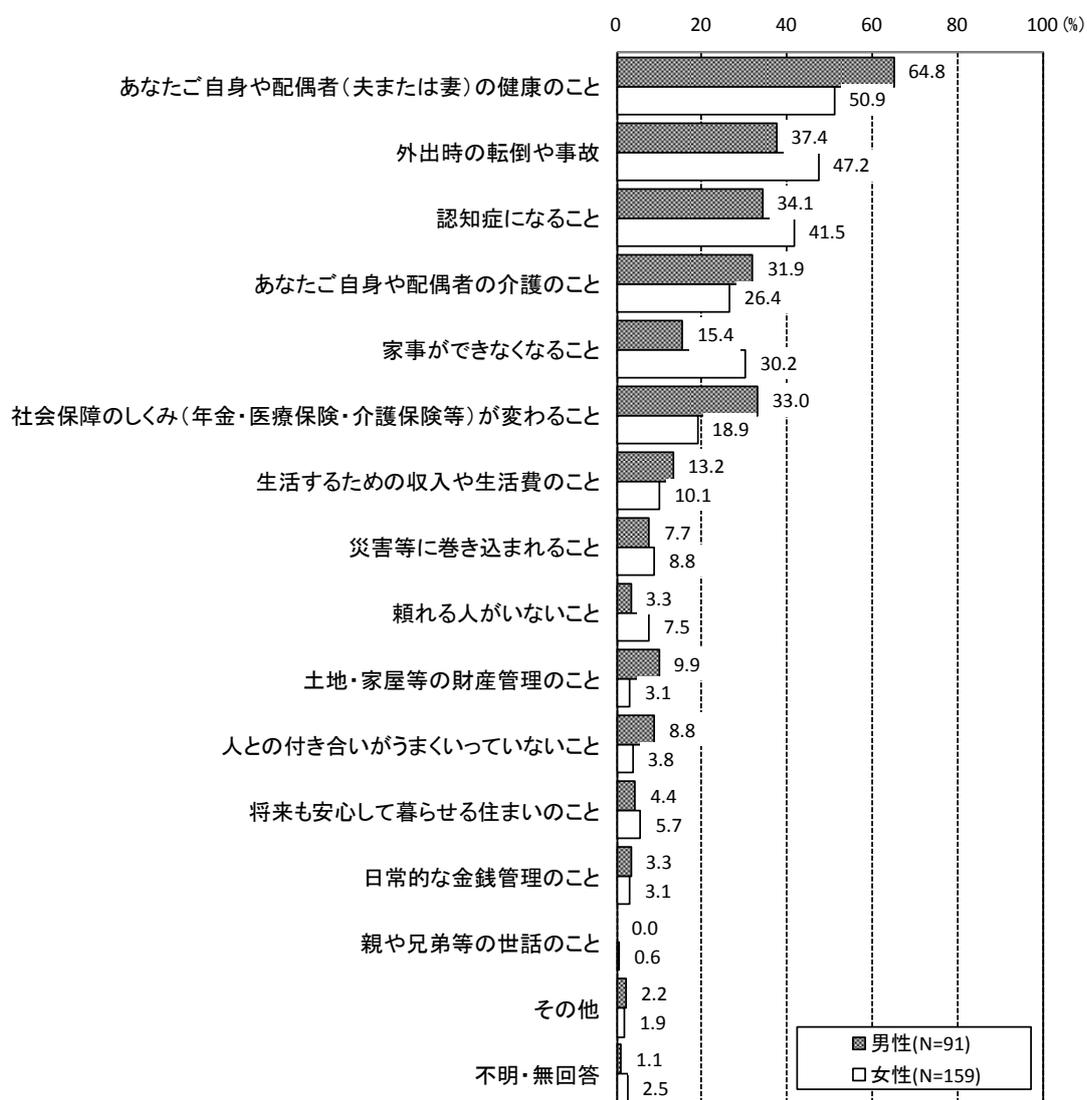
日常生活で何か不安を感じている方の心配事や不安の種類は、「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」が56.5%で最も多く、次いで「外出時の転倒や事故」が43.5%、「認知症になること」が39.1%などとなっている。

前回調査との比較では、「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」「外出時の転倒や事故」「認知症になること」がいずれも約6ポイント増加している。「生活するための収入や生活費のこと」が約6ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男性では「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」「社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること」、女性では「外出時の転倒や事故」「家事ができなくなること」が男性に比べて10ポイント以上高くなっている。



【介護度別】

介護度別にみると、「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」が要介護4、要介護2、要介護1、要介護5の順で高くなっている。

	あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと	外出時の転倒や事故	認知症になること	あなたご自身や配偶者の介護のこと	家事ができなくなること	社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること	生活するための収入や生活費のこと	災害等に巻き込まれること
要支援1(N=64)	51.6	48.4	45.3	25.0	37.5	21.9	9.4	4.7
要支援2(N=54)	44.4	44.4	48.1	20.4	22.2	25.9	9.3	11.1
要介護1(N=42)	61.9	45.2	33.3	40.5	23.8	14.3	11.9	9.5
要介護2(N=37)	73.0	45.9	35.1	29.7	18.9	35.1	13.5	10.8
要介護3(N=22)	45.5	40.9	27.3	27.3	18.2	22.7	-	4.5
要介護4(N=11)	81.8	36.4	45.5	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1
要介護5(N=15)	66.7	20.0	26.7	46.7	6.7	40.0	26.7	20.0

	頼れる人がいないこと	土地・家屋等の財産管理のこと	人との付き合いがうまくいっていないこと	将来も安心して暮らせる住まいのこと	日常的な金銭管理のこと	親や兄弟等の世話のこと	その他	不明・無回答
要支援1(N=64)	7.8	7.8	4.7	6.3	1.6	-	1.6	-
要支援2(N=54)	7.4	7.4	5.6	1.9	3.7	-	1.9	7.4
要介護1(N=42)	4.8	4.8	7.1	9.5	2.4	2.4	2.4	-
要介護2(N=37)	2.7	-	8.1	5.4	-	-	2.7	-
要介護3(N=22)	9.1	4.5	4.5	9.1	13.6	-	-	-
要介護4(N=11)	-	-	-	-	-	-	-	-
要介護5(N=15)	-	6.7	6.7	-	-	-	6.7	6.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」は、あなたと配偶者のみで約8割あり、他の層と比べ高くなっている。

「家事ができなくなること」が一人暮らしで特に高くなっている。

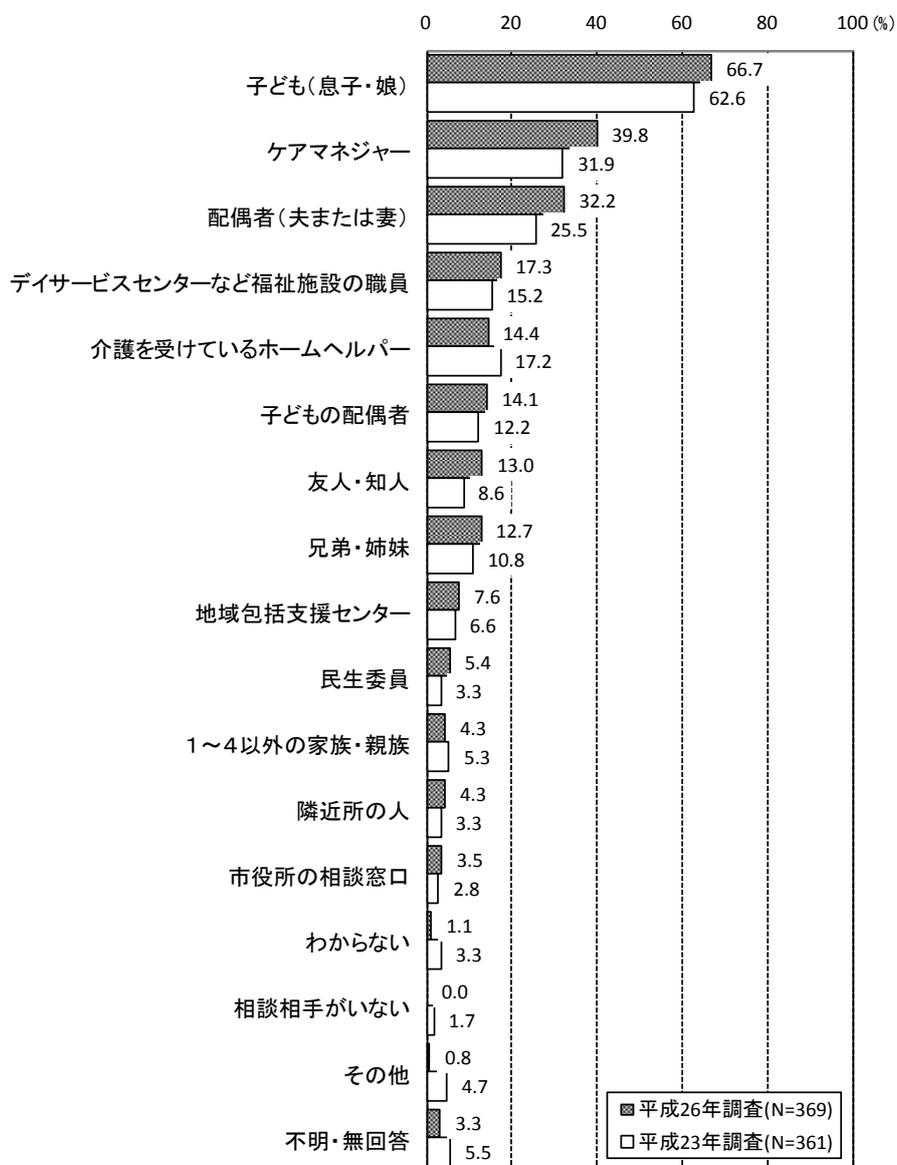
	あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと	外出時の転倒や事故	認知症になること	あなたご自身や配偶者の介護のこと	家事ができなくなること	社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること	生活するための収入や生活費のこと	災害等に巻き込まれること
一人暮らし (N=85)	42.4	45.9	43.5	21.2	40.0	24.7	10.6	12.9
あなたと配偶者のみ(N=83)	79.5	34.9	33.7	42.2	20.5	26.5	8.4	9.6
二世帯家族（子どもと同居など）(N=60)	53.3	50.0	38.3	23.3	16.7	20.0	13.3	3.3
三世帯家族（子ども、孫と同居）(N=16)	31.3	56.3	43.8	18.8	-	31.3	18.8	-
その他(N=3)	-	33.3	66.7	-	33.3	-	33.3	-

	頼れる人がいないこと	土地・家屋等の財産管理のこと	人との付き合いがうまくいっていないこと	将来も安心して暮らせる住まいのこと	日常的な金銭管理のこと	親や兄弟等の世話のこと	その他	不明・無回答
一人暮らし (N=85)	14.1	4.7	7.1	9.4	7.1	1.2	3.5	2.4
あなたと配偶者のみ(N=83)	1.2	7.2	3.6	3.6	-	-	-	1.2
二世帯家族（子どもと同居など）(N=60)	3.3	5.0	6.7	3.3	1.7	-	3.3	3.3
三世帯家族（子ども、孫と同居）(N=16)	-	-	6.3	-	6.3	-	-	-
その他(N=3)	-	33.3	-	-	-	-	-	-

問5 心配事、悩み事の相談先（複数回答）

心配事、悩み事の相談先としては、「子ども（息子・娘）」が66.7%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が39.8%、「配偶者（夫または妻）」が32.2%などとなっている。

前回調査と比較すると「ケアマネジャー」への相談が約8ポイント増加している。



* 「1～4以外の家族・親族」: 配偶者（夫または妻）、子ども（息子・娘）、子どもの配偶者、兄弟・姉妹、以外の家族親族

【家族構成別】

家族構成別にみると、「子ども（息子・娘）」は、二世帯家族（子どもと同居など）と三世帯家族（子ども、孫と同居）が全体に対して10ポイント以上高くなっている。

「配偶者（夫または妻）」は、あなたと配偶者のみで他の層に比べ高い割合になっている。

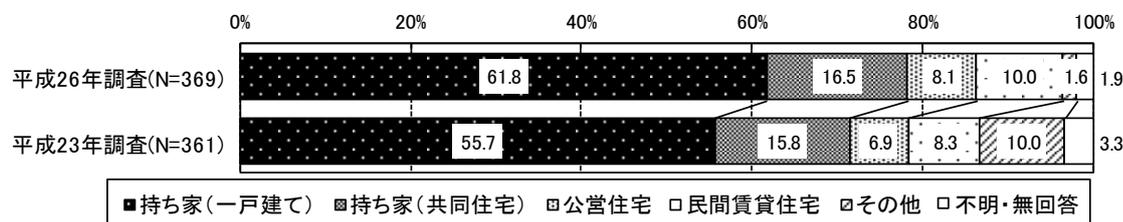
	子ども(息子・娘)	ケアマネジャー	配偶者(夫または妻)	デイサービスセンターなど福祉施設の職員	介護を受けているホームヘルパー	子どもの配偶者	友人・知人	兄弟・姉妹	地域包括支援センター
一人暮らし(N=123)	62.6	39.8	0.8	13.0	30.1	11.4	19.5	17.9	6.5
あなたと配偶者のみ(N=104)	60.6	41.3	78.8	23.1	6.7	14.4	10.6	12.5	13.5
二世帯家族(子どもと同居など)(N=103)	78.6	38.8	30.1	18.4	3.9	13.6	7.8	8.7	2.9
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=25)	88.0	40.0	8.0	16.0	4.0	28.0	12.0	4.0	4.0
その他(N=3)	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	66.7	33.3

	民生委員	1～4以外の家族・親族	隣近所の人	市役所の相談窓口	わからない	相談相手がいない	その他	不明・無回答
一人暮らし(N=123)	10.6	7.3	8.9	3.3	1.6	-	0.8	4.1
あなたと配偶者のみ(N=104)	3.8	2.9	3.8	3.8	1.0	-	1.9	1.9
二世帯家族(子どもと同居など)(N=103)	1.9	1.9	-	4.9	1.0	-	-	1.0
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=25)	-	8.0	-	-	-	-	-	-
その他(N=3)	-	-	-	-	-	-	-	-

問6（1）現在の住まいの種類

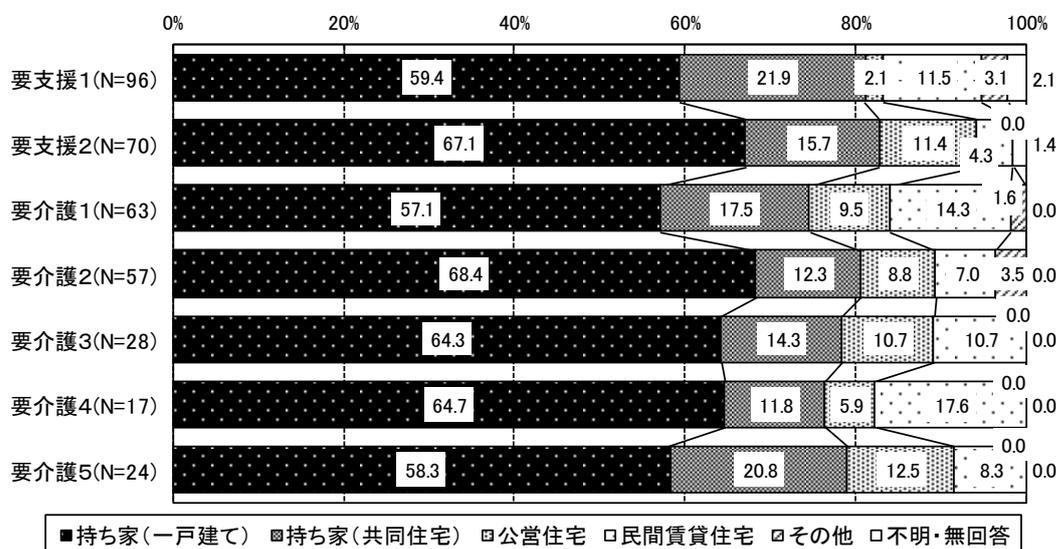
現在の住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が61.8%で最も多く、次いで「持ち家（共同住宅）」が16.5%、「民間賃貸住宅」が10.0%などとなっている。

前回調査と比較すると、「持ち家（一戸建て）」は約6ポイント増加している。



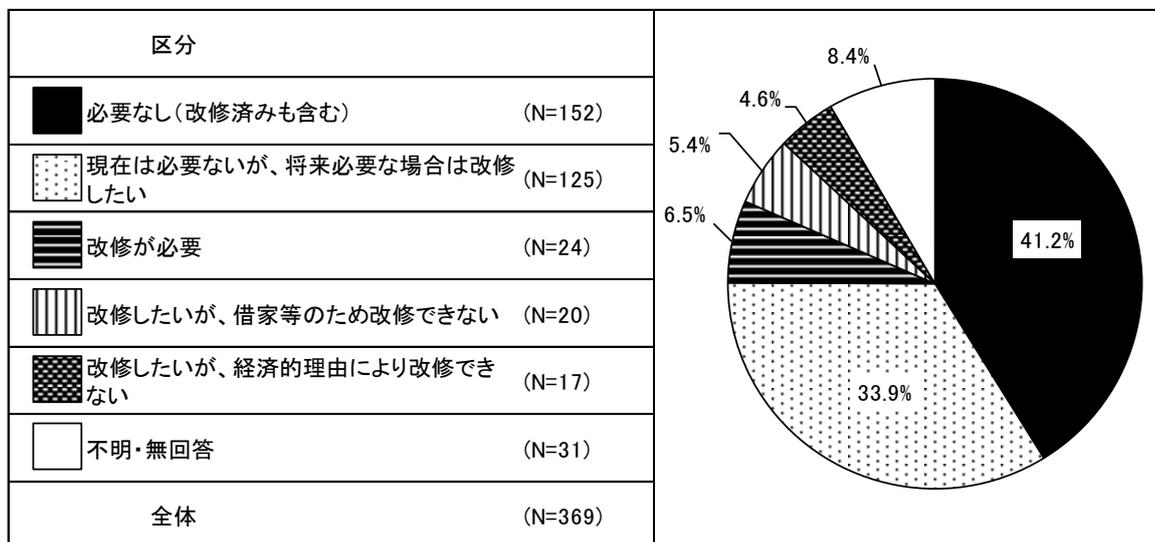
【介護度別】

介護度別にみると、要支援1、要支援2、要介護2で持ち家率が8割を超えている。



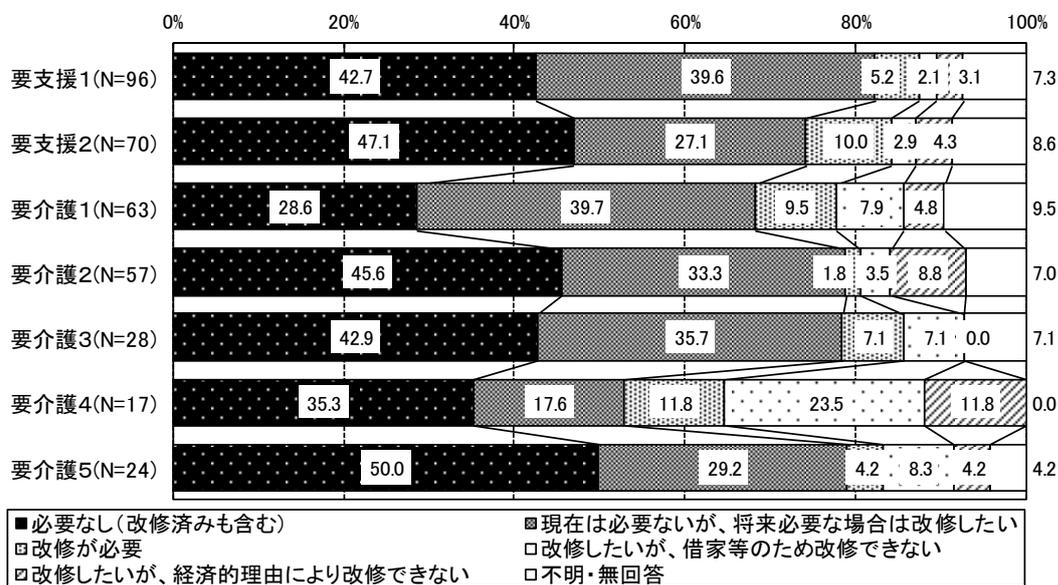
問6（2）住宅改修の必要性

住宅改修の必要性は、「必要なし（改修済みも含む）」が41.2%で最も多く、次いで「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が33.9%、「改修が必要」が6.5%などとなっている。「改修が必要」「改修したいが、借家等のため改修できない」「改修したいが、経済的理由により改修できない」を合わせた現在、改修の必要性のある方は16.5%にのぼっている。



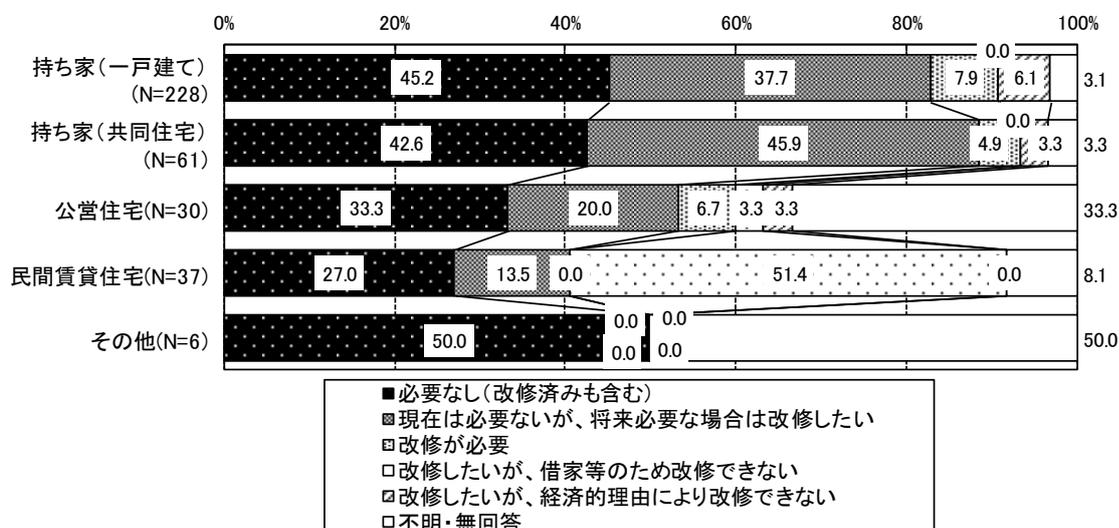
【介護度別】

介護度別にみると、要介護4では、現在、改修の必要性のある方が5割近くいる。



【現在の住まい種類別】

現在の住まい種類別（問6（1））にみると、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（共同住宅）」では「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」の割合が他の層に比べ高い。「民間賃貸住宅」では、「改修したいが、借家等のため改修できない」の割合が他の層に比べ高い。



問7 世帯員全員の年収の合計額

世帯員全員の年収の合計額は、「100万円～200万円」が24.9%で最も多く、次いで「200万円～300万円」が21.7%、「300万円～400万円」が15.4%などとなっている。

前回調査と比較すると、「200万円～300万円」が約2ポイント減り、「100万円～200万円」が約4ポイント増えている。

	50万円未満	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～300万円	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～600万円	600万円～700万円	700万円～800万円	800万円～900万円	900万円～1,000万円	1,000万円以上	その他	不明・無回答
平成26年調査 (N=369)	3.8	6.5	24.9	21.7	15.4	7.3	3.8	1.4	1.4	0.8	0.8	1.6	1.9	8.7
平成23年調査 (N=361)	2.8	7.5	20.8	24.1	15.2	5.8	4.7	2.5	1.4	0.6	2.8	1.9	1.4	8.6

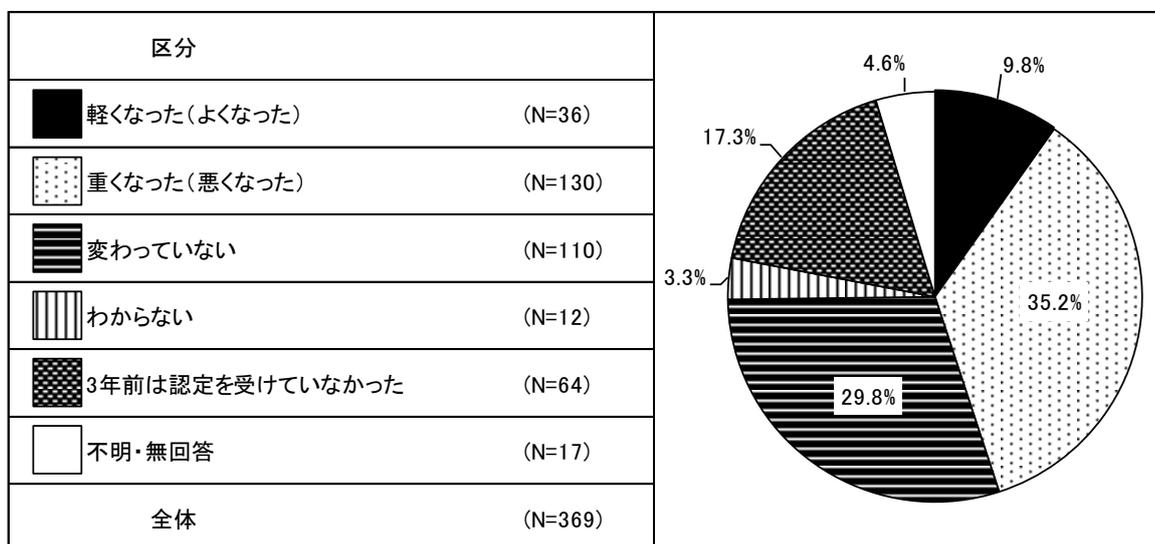
問8 介護度

介護度をみると、「要支援1」が26.0%で最も多く、次いで「要支援2」が19.0%、「要介護1」が17.1%などとなっている。

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	現在、 認定を 受けて いない	わか らな い	不明・ 無回 答
平成 26 年調査(N=369)	26.0	19.0	17.1	15.4	7.6	4.6	6.5	0.5	0.8	2.4
平成 23 年調査(N=361)	20.5	23.0	19.4	11.4	10.2	4.4	5.5			5.5

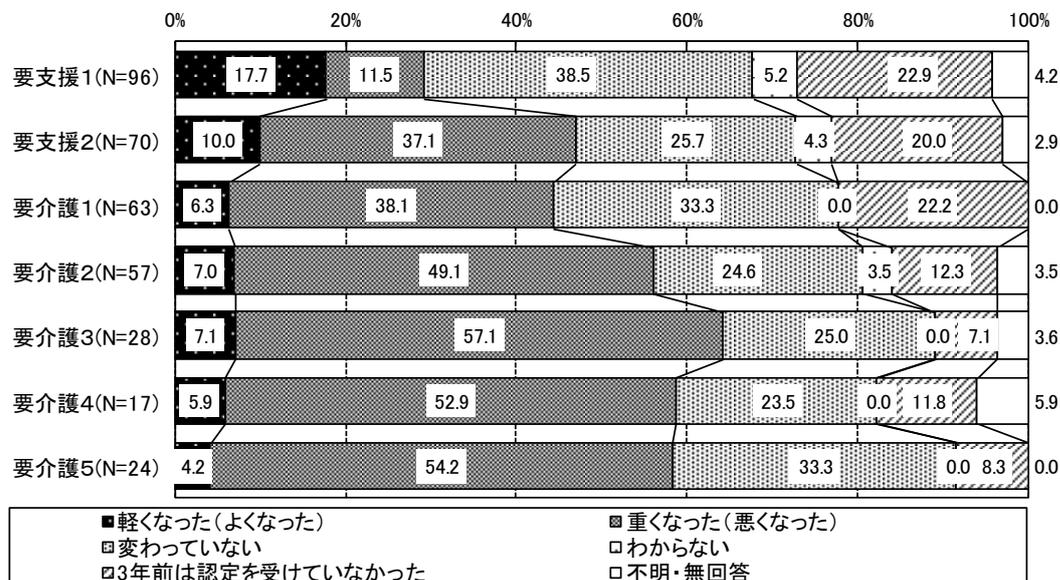
問9 介護度の3年前と比べての変化

介護度の3年前と比べての変化については、「重くなった(悪くなった)」が35.2%で最も多く、次いで「変わっていない」が29.8%、「3年前は認定を受けていなかった」が17.3%などとなっている。



【介護度別】

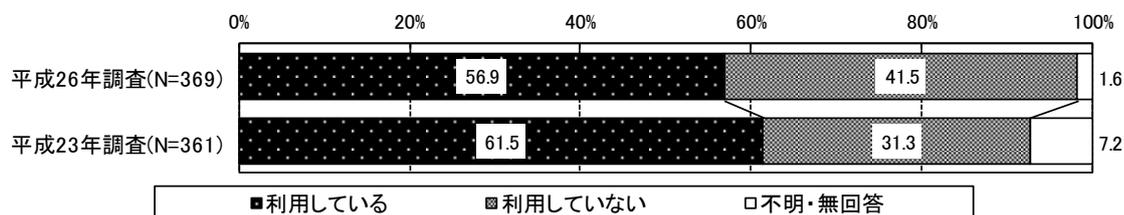
介護度別にみると、「要支援1」では「軽くなった(よくなった)」が17.7%、「要介護3」、「要介護5」では「重くなった(悪くなった)」の割合が他の層と比べて高い。



問 10 在宅介護サービスの利用の有無

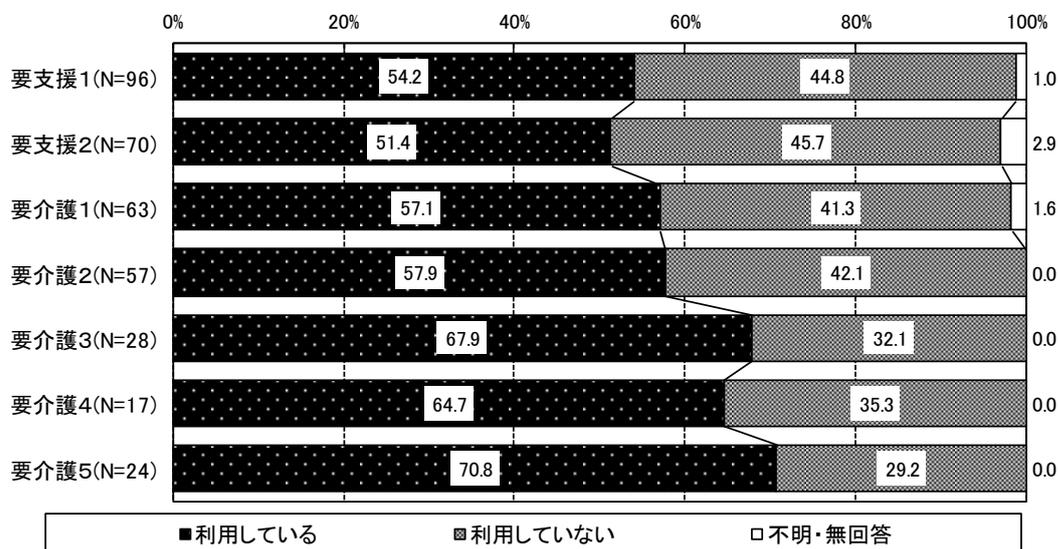
在宅介護サービスの利用の有無については、「利用している」が56.9%、「利用していない」が41.5%となっている。

前回調査と比較すると、「利用していない」が約10ポイント増えている。



【介護度別】

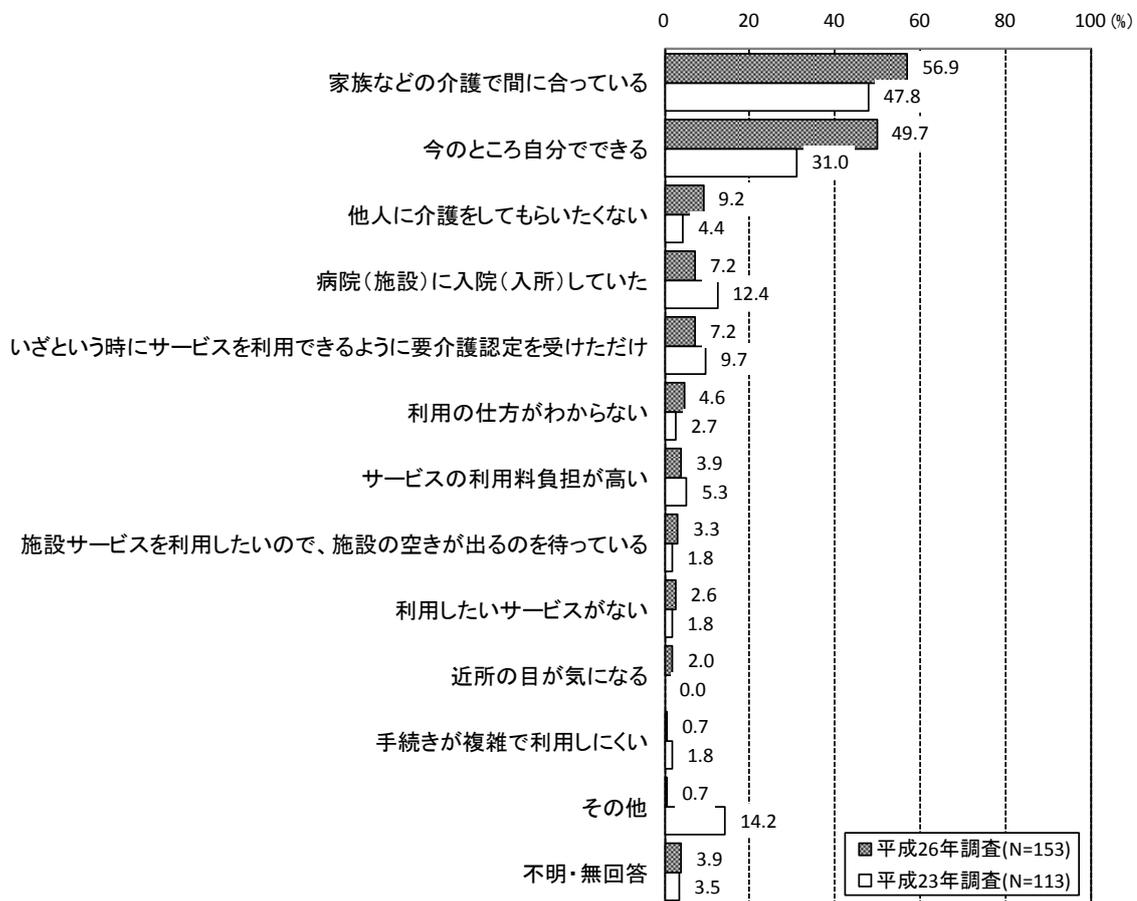
介護度別にみると、いずれの介護度でも50%以上の利用がある。「利用している」の割合は「要介護1」以上では、全体の割合56.9%を上回っている。



問 11 在宅介護サービスを利用しない理由（複数回答3）

在宅介護サービスを利用しない理由は、「家族などの介護で間に合っている」が56.9%で最も多く、次いで「今のところ自分でできる」が49.7%、「他人に介護をしてもらいたくない」が9.2%などとなっている。

前回調査と比較すると、「今のところ自分でできる」は約19ポイント増えている。「家族などの介護で間に合っている」は約9ポイント増えている。



【介護度別】

介護度別にみると、「要介護1」「要介護4」では「家族などの介護で間に合っている」が8割を超えている。「要支援1」では「今のところ自分でできる」が8割を超えている。

	家族などの介護で間に合っている	今のところ自分でできる	他人に介護をもらいたくない	病院(施設)に入院(入所)していた	いざという時にサービスを利用できるように要介護認定を受けただけ	利用の仕方がわからない	サービスの利用料負担が高い	施設サービスを利用したいので、施設の空きが出るのを待っている	利用したいサービスがない	近所の目が気になる	手続きが複雑で利用しにくい	その他	不明・無回答
要支援1(N=43)	37.2	81.4	4.7	2.3	11.6	2.3	2.3	-	2.3	-	-	2.3	2.3
要支援2(N=32)	65.6	56.3	3.1	3.1	6.3	6.3	3.1	3.1	-	6.3	-	-	3.1
要介護1(N=26)	88.5	26.9	7.7	7.7	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	-	-	-	-
要介護2(N=24)	62.5	33.3	12.5	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3	4.2	4.2	-	-	4.2
要介護3(N=9)	55.6	11.1	22.2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
要介護4(N=6)	83.3	16.7	33.3	-	-	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-
要介護5(N=7)	14.3	-	28.6	42.9	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3

【家族構成別】

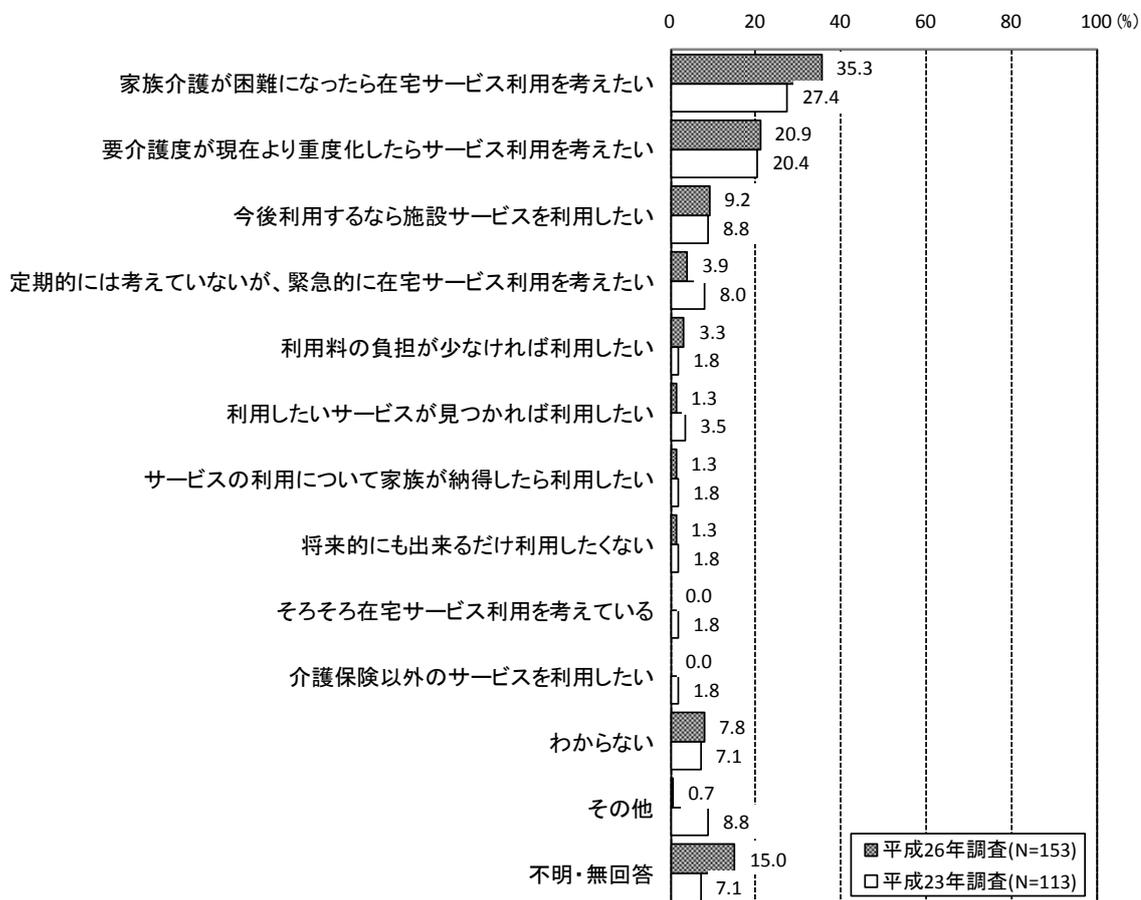
家族構成別にみると、一人暮らしでは「利用の仕方がわからない」が他の層に比べ高い。「家族などの介護で間に合っている」の割合は、あなたと配偶者のみ、二世帯家族(子どもと同居など)、三世帯家族(子ども、孫と同居)で50%を超えている。

	家族などの介護で間に合っている	今のところ自分でできる	他人に介護をもらいたくない	病院(施設)に入院(入所)していた	いざという時にサービスを利用できるように要介護認定を受けただけ	利用の仕方がわからない	サービスの利用料負担が高い	施設サービスを利用したいので、施設の空きが出るのを待っている	利用したいサービスがない	近所の目が気になる	手続きが複雑で利用しにくい	その他	不明・無回答
一人暮らし(N=27)	37.0	48.1	3.7	7.4	7.4	14.8	7.4	-	-	-	-	-	-
あなたと配偶者のみ(N=54)	53.7	51.9	9.3	9.3	11.1	3.7	1.9	1.9	3.7	3.7	-	-	7.4
二世帯家族(子どもと同居など)(N=50)	66.0	50.0	12.0	4.0	4.0	2.0	6.0	2.0	4.0	-	-	-	4.0
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=17)	58.8	47.1	11.8	5.9	5.9	-	-	17.6	-	5.9	5.9	5.9	-
その他(N=2)	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 12 今後どのような状況になったら介護サービスを利用したいか

今後どのような状況になったら介護サービスを利用したいかについては、「家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい」が35.3%で最も多く、次いで「要介護度が現在より重度化したらサービス利用を考えたい」が20.9%、「今後利用するなら施設サービスを利用したい」が9.2%などとなっている。

前回調査と比較すると「家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい」は約8ポイント増えている。



【介護度別】

介護度別にみると、「要介護4」では「家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい」が60%を超えている。

	家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい	要介護度が現在より重度化したらサービス利用を考えたい	今後利用するなら施設サービスを利用したい	定期的には考えていないが、緊急的に在宅サービス利用を考えたい	利用料の負担が少なければ利用したい	利用したいサービスが見つかれば利用したい	サービスの利用について家族が納得したら利用したい	将来的にも出るだけ利用したくない	そろそろ在宅サービス利用を考えている	介護保険以外のサービスを利用したい	わからない	その他	不明・無回答
要支援1(N=43)	25.6	23.3	14.0	9.3	2.3	-	-	-	-	-	11.6	-	14.0
要支援2(N=32)	31.3	25.0	6.3	3.1	-	3.1	3.1	3.1	-	-	12.5	-	12.5
要介護1(N=26)	46.2	23.1	3.8	-	7.7	-	-	-	-	-	7.7	-	11.5
要介護2(N=24)	45.8	20.8	4.2	4.2	-	-	4.2	-	-	-	-	-	20.8
要介護3(N=9)	44.4	-	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	22.2
要介護4(N=6)	66.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
要介護5(N=7)	14.3	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3

【家族構成別】

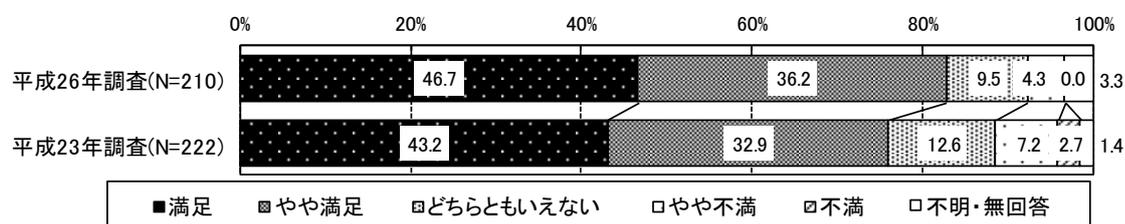
家族構成別にみると、二世帯家族（子どもと同居など）では「家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい」が他の層に比して高い。一人暮らしでは「要介護度が現在より重度化したらサービス利用を考えたい」が他の層に比して高い。

	家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい	要介護度が現在より重度化したらサービス利用を考えたい	今後利用するなら施設サービスを利用したい	定期的には考えていないが、緊急的に在宅サービス利用を考えたい	利用料の負担が少なければ利用したい	利用したいサービスが見つかれば利用したい	サービスの利用について家族が納得したら利用したい	将来的にも出るだけ利用したくない	そろそろ在宅サービス利用を考えている	介護保険以外のサービスを利用したい	わからない	その他	不明・無回答
一人暮らし(N=27)	25.9	33.3	11.1	3.7	-	3.7	-	-	-	-	11.1	3.7	7.4
あなたと配偶者のみ(N=54)	37.0	16.7	5.6	5.6	9.3	1.9	-	3.7	-	-	7.4	-	13.0
二世帯家族(子どもと同居など)(N=50)	44.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	16.0
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=17)	29.4	17.6	17.6	11.8	-	-	5.9	-	-	-	-	-	17.6
その他(N=2)	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0

問 13 介護サービスの内容、質の満足度

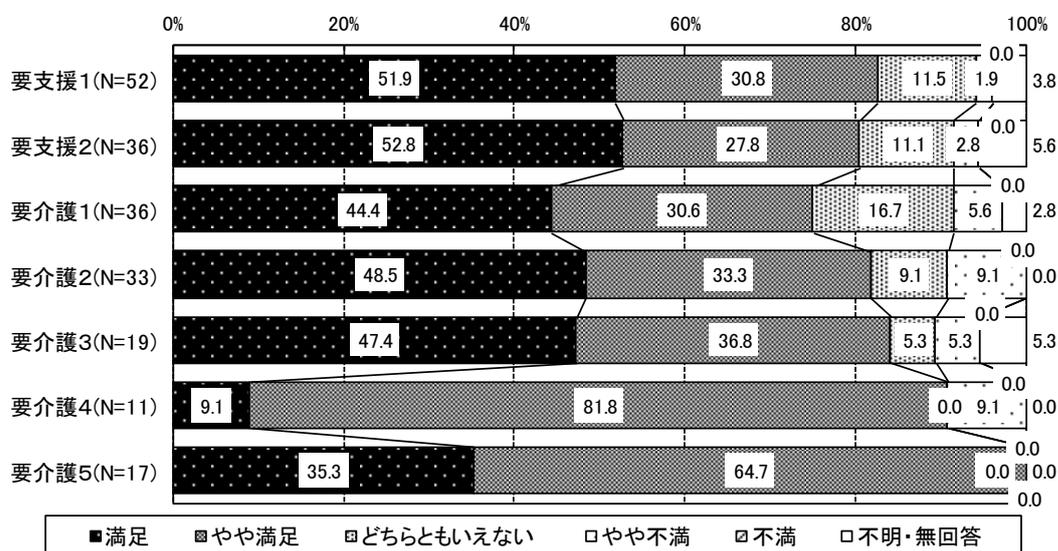
介護サービスの内容、質の満足度は、「満足」が46.7%、「やや満足」が36.2%で、合わせた満足度は82.9%となっている。

前回調査と比較すると、満足度は約7ポイント増加している。



【介護度別】

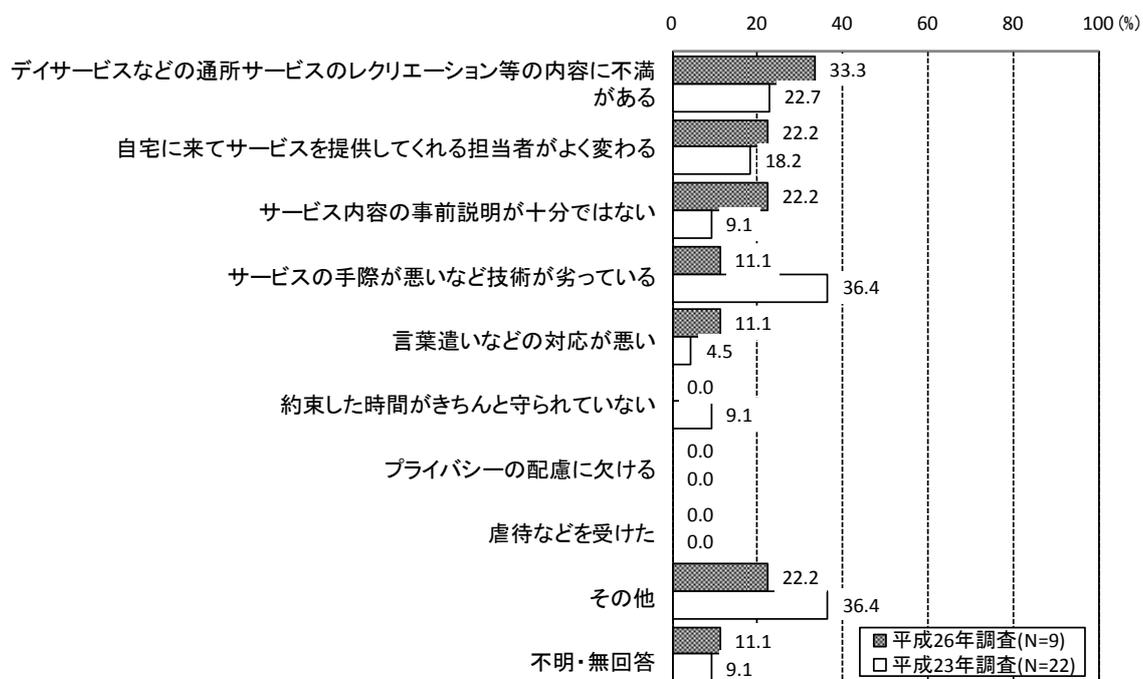
介護度別にみると、「要支援1」「要支援2」「要介護2」「要介護3」では、「満足」の全体の割合46.7%を上回っている。「要介護4」では「満足」が9.1%と他の層に比べて低くなっている。



問 14 介護サービスへの不満の内容（複数回答3）

介護サービスへ不満を持っている方の不満の内容は、「デイサービスなどの通所サービスのレクリエーション等の内容に不満がある」が 33.3%で最も多く、次いで「自宅に来てサービスを提供してくれる担当者がよく変わる」「サービス内容の事前説明が十分ではない」がともに 22.2%などとなっている。

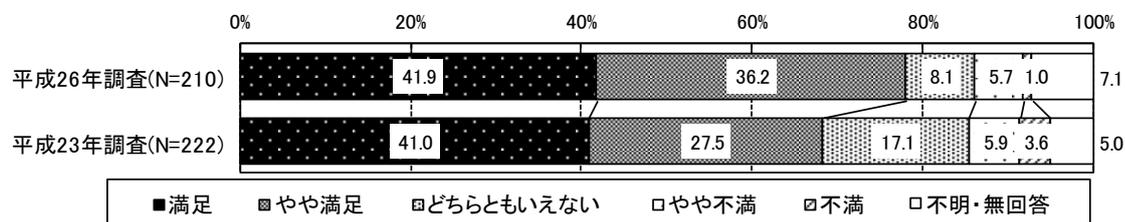
前回調査と比較すると「デイサービスなどの通所サービスのレクリエーション等の内容に不満がある」「サービス内容の事前説明が十分ではない」が 10 ポイント以上増加している。「サービスの手際が悪いなど技術が劣っている」が約 25 ポイント減少している。



問 15 介護サービス量への満足度

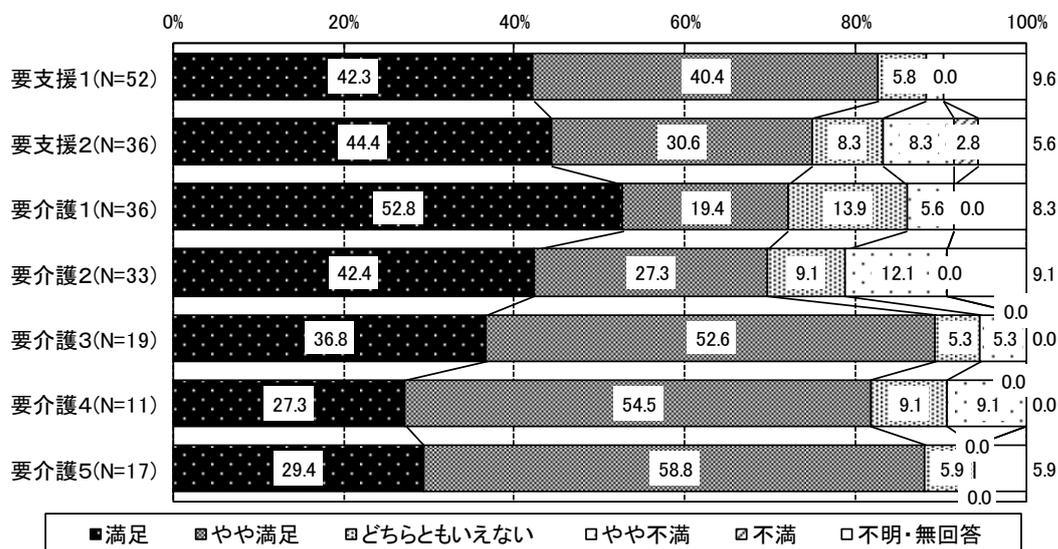
介護サービスの内容、質の満足度は、「満足」が41.9%で、「やや満足」が36.2%で、合わせた満足度は78.1%となっている。

前回調査と比較すると満足度は約10ポイント増加している。



【介護度別】

介護度別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「要介護3」「要介護5」で約9割と高くなっている。



問 16 介護サービス量への不満の内容

介護サービス量へ不満を持っている方の不満の内容は、「支給限度額が低額であるため、1回当たりの時間や回数に制限がある」が35.7%で最も多く、次いで「利用者負担が高額となるため、十分な時間や回数のサービスが受けられない」が28.6%、「事業者の理由により、1回当たりの時間や回数に制限がある」が21.4%などとなっている。

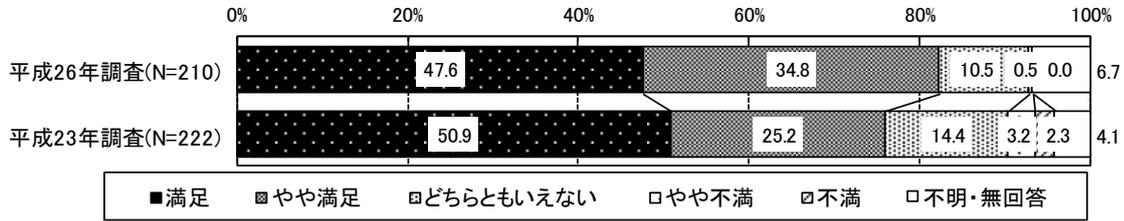
前回調査と比較すると「利用者負担が高額となるため、十分な時間や回数のサービスが受けられない」は約24ポイント高い。「事業者の理由により、1回当たりの時間や回数に制限がある」は約12ポイント低くなっている。

カテゴリー	今回		前回調査	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%
支給限度額が低額であるため、1回当たりの時間や回数に制限がある	5	35.7	8	38.1
利用者負担が高額となるため、十分な時間や回数のサービスが受けられない	4	28.6	1	4.8
事業者の理由により、1回当たりの時間や回数に制限がある	3	21.4	7	33.3
事業者に希望を聞いてもらえず、十分な時間や回数のサービスを受けられない	1	7.1	0	0.0
自分が希望している回数や日数以上のサービスが提供される	0	0.0	0	0.0
自分が希望する種類以外のサービスを勧められる	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	5	23.8
不明・無回答	1	7.1	0	0.0
合計	14	100.0	21	100.0

問 17 利用中の居宅介護支援事業者への満足度

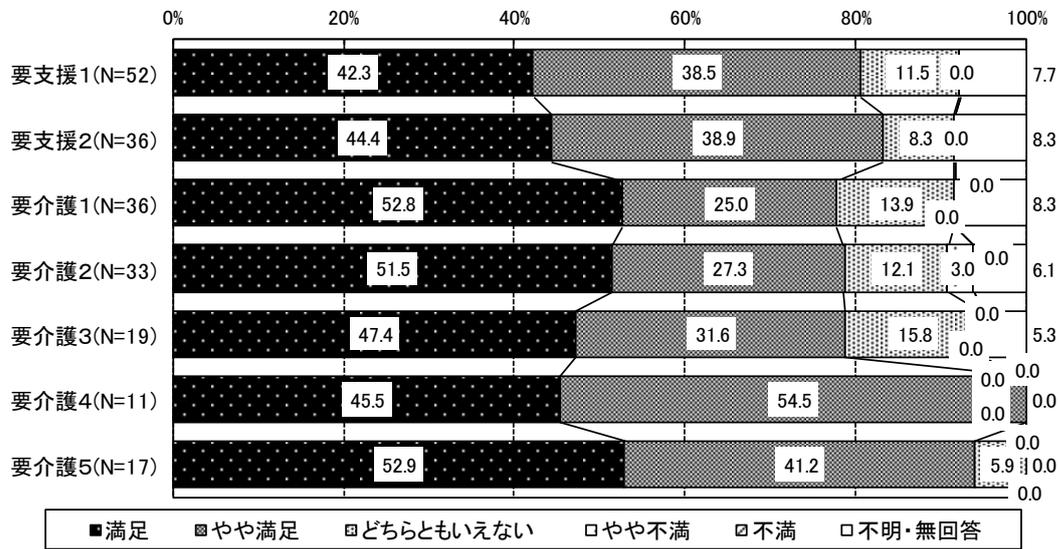
現在利用している居宅介護支援事業者への満足度は、「満足」が47.6%で、「やや満足」が34.8%で、合わせた満足度は82.4%となっている。

前回調査と比較すると満足度は約6ポイント増加している。



【介護度別】

介護度別にみると、「要介護4」「要介護5」では「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が9割を超えている。



問 18 利用中の居宅介護支援事業者への不満内容（複数回答）

現在利用している居宅介護支援事業者へ不満を持っている方の不満内容は、「自分の所属する会社以外のサービスについての利用が少ない」と「ケアマネジャーとの連絡が十分になされていない」に回答があった。

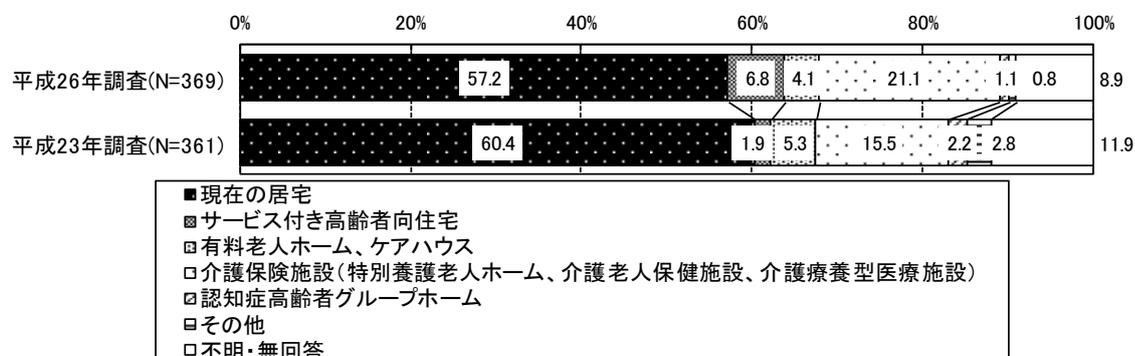
前回調査と比較すると、今回、回答該当者は1人だけであった。

カテゴリー	今回		前回調査	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%
自分の所属する会社以外のサービスについての利用が少ない	1	100.0	2	16.7
ケアマネジャーとの連絡が十分になされていない	1	100.0	4	33.3
ケアプランの目標や内容について、わかりやすく説明されていない	0	0.0	7	58.3
ケアプランの作成をする際に、こちらの意向が十分に反映されていない	0	0.0	7	58.3
ケアプランを作成するための専門的知識やノウハウの理解が不十分である	0	0.0	3	25.0
わからないことを聞いても、適切に回答されていない	0	0.0	2	16.7
プライバシーの配慮に欠けるところがある	0	0.0	1	8.3
態度、言葉遣いにていねいさが欠ける	0	0.0	2	16.7
その他	0	0.0	5	41.7
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	1	100.0	12	100.0

問 19 介護を受けたい場所

将来、介護を受けたい場所は、「現在の居宅」が57.2%で最も多く、次いで「介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）」が21.1%、「サービス付き高齢者向住宅」が6.8%などとなっている。

前回調査と比較すると「介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）」が約6ポイント、「サービス付き高齢者向住宅」が約5ポイント増加している。



問 20 介護保険サービスの現在の利用状況と今後1年以内の利用希望

現在利用しており、足りていると答えている割合の高い介護サービスは、「福祉用具の貸与」が33.3%、「通所介護（デイサービス）」が29.0%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が20.3%などとなっている。

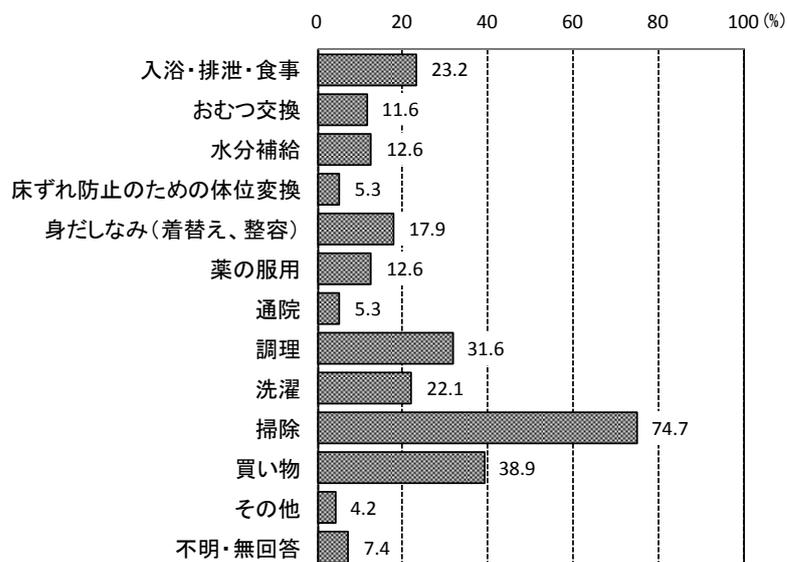
また、利用していないが、今後は利用したいと答えている割合が高い介護保険サービスは、「福祉用具の購入」が21.4%、「配食サービス（特別給付）」が18.2%、「訪問リハビリテーション」が16.5%などとなっている。

	利用しており、足りている	利用しているが、足りない	利用しているが、利用回数等を減らしたい	利用していないが、今後は利用したい	利用する必要がある	わからない	不明・無回答
①訪問介護	19.5	6.0	0.3	13.3	20.1	11.1	29.8
②訪問入浴介護	4.9	0.5	0.0	10.0	32.8	14.6	37.1
③訪問看護	9.8	0.5	0.3	16.0	23.0	14.1	36.3
④訪問リハビリテーション	7.9	1.1	0.5	16.5	24.7	13.3	36.0
⑤通所介護（デイサービス）	29.0	2.7	0.3	8.4	17.9	8.1	33.6
⑥通所リハビリテーション（デイケア）	20.3	3.3	0.3	10.3	19.0	13.6	33.3
⑦短期入所生活介護（ショートステイ）	5.1	1.6	0.0	14.6	24.7	15.4	38.5
⑧短期入所療養介護（ショートステイ）	1.9	0.3	0.0	16.3	23.8	19.8	37.9
⑨小規模多機能型居宅介護	0.5	0.3	0.0	7.0	27.9	25.5	38.8
⑩認知症対応型通所介護	0.5	0.8	0.0	11.4	27.1	22.5	37.7
⑪夜間対応型訪問介護	0.5	1.1	0.0	11.7	28.2	20.1	38.5
⑫定期巡回型随時対応型訪問介護看護				8.7	28.7	21.7	40.9
⑬居宅療養管理指導	3.0	0.3	0.0	15.4	25.7	18.2	37.4
⑭福祉用具の貸与	33.3	1.9	0.3	15.4	14.6	6.5	27.9
⑮福祉用具の購入	13.8	0.8	0.3	21.4	15.7	11.1	36.9
⑯住宅改修	17.1	2.7	0.0	15.4	17.1	11.9	35.8
⑰配食サービス（特別給付）	8.7	0.5	0.3	18.2	23.0	14.9	34.4

■…各設問で最も多い回答（不明・無回答は除く）

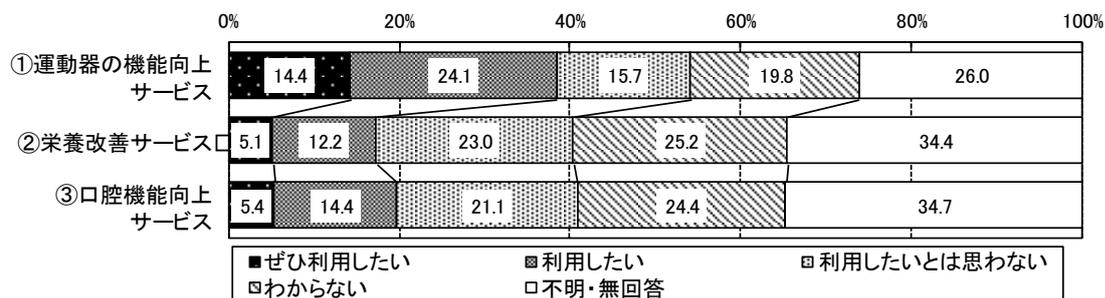
問 21 訪問介護でホームヘルパーにより実際に受けている介護内容（複数回答）

現在、訪問介護を利用して方が、ホームヘルパーから実際に受けているサービスの内容は、「掃除」が74.7%で最も多く、次いで「買い物」が38.9%、「調理」が31.6%などとなっている。



問 22 サービスの利用希望

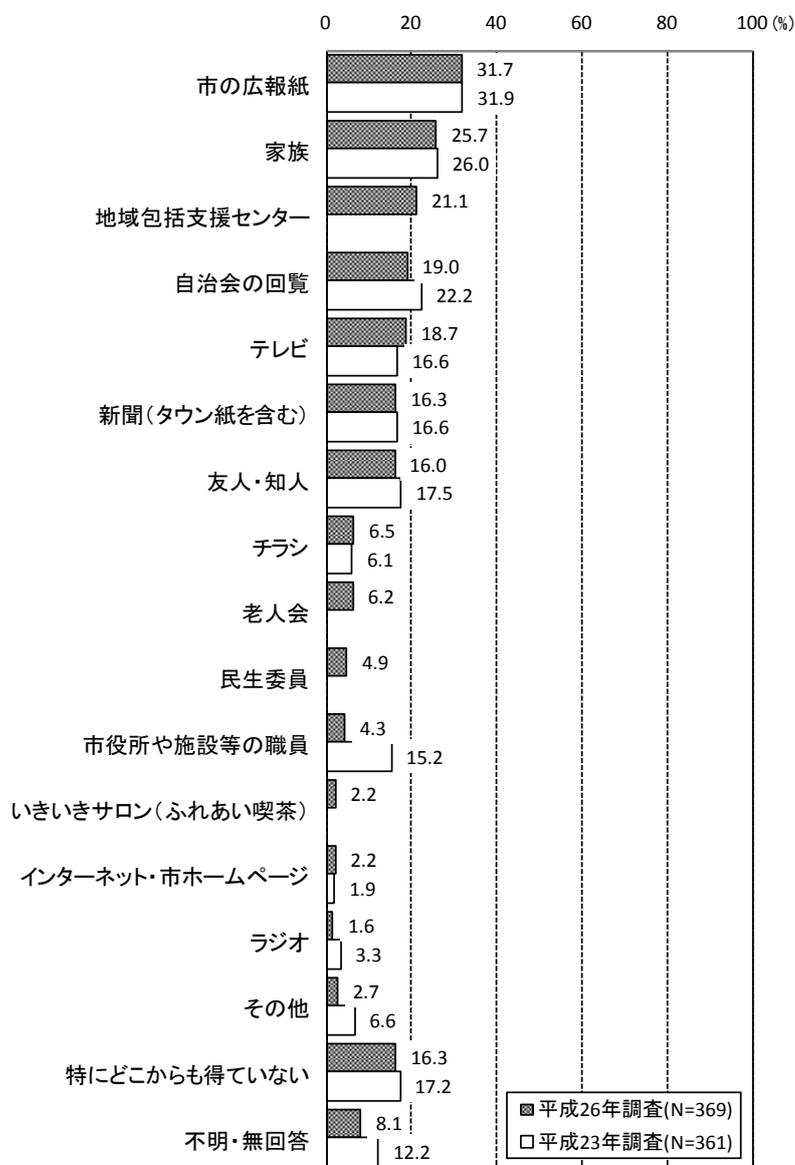
運動器の機能向上サービスの利用希望度（「ぜひ利用したい」と「利用したい」を合わせた割合）は、38.5%、栄養改善サービスは17.3%、口腔機能向上サービスは19.8%となっている。



問 23 高齢者向け催し物やサービスの情報入手先（複数回答）

高齢者向け催し物やサービスの情報入手先は、「市の広報紙」が31.7%で最も多く、次いで「家族」が25.7%、「地域包括支援センター」が21.1%などとなっている。

前回調査と比較すると「市役所や施設等の職員」が約11ポイント減っている。

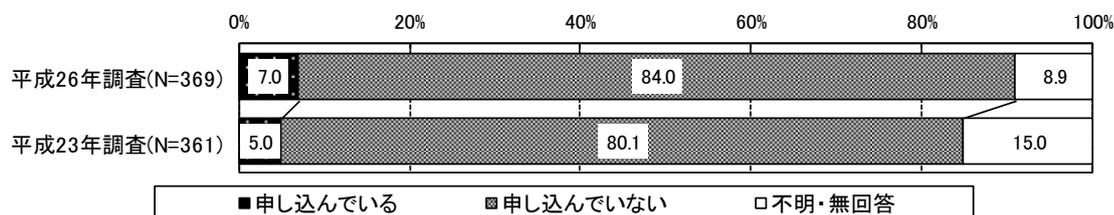


※「老人会」「民生委員」「いきいきサロン（ふれあい喫茶）」は今回調査からの選択肢である。

問 24 (1) 介護保険施設への入所申込みの有無

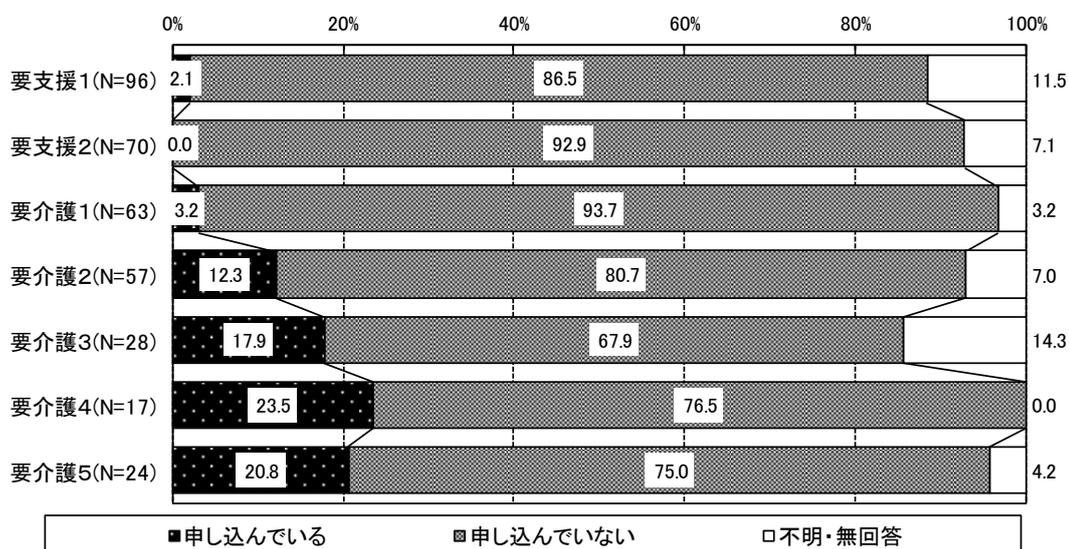
介護保険施設への入所申込みをしている人は、「申し込んでいる」が7.0%、「申し込んでいない」が84.0%となっている。

前回調査と比較すると、申し込んでいない人の割合が約4ポイント増加した。



【介護度別】

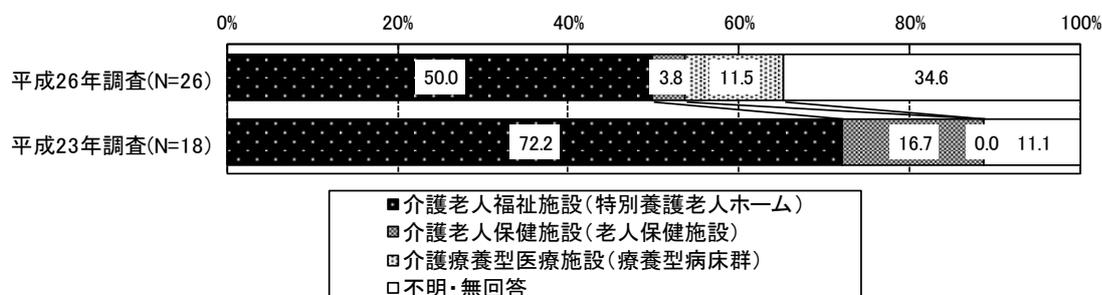
介護度別にみると、「申し込んでいる」では、「要介護2」「要介護3」で1割以上、「要介護4」「要介護5」で2割以上と高くなっている。



問 24 (2) 入所申込みをしている介護保険施設の種別

入所申込みをしている方の、介護保険施設の種別は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が50.0%で最も多く、次いで「介護療養型医療施設（療養型病床群）」が11.5%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が3.8%などとなっている。

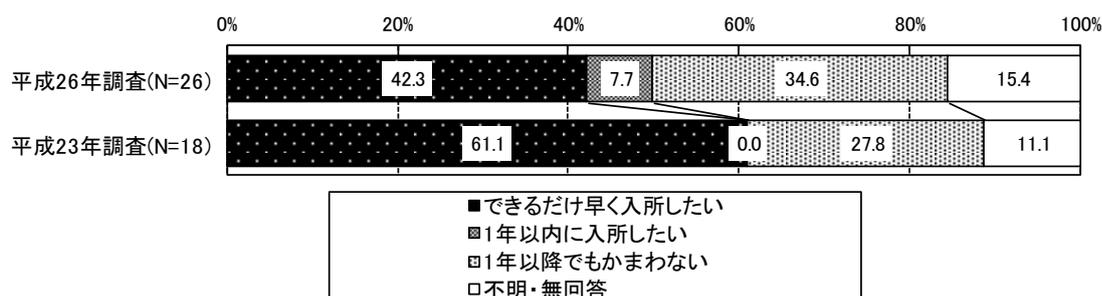
前回調査と比較すると、「介護療養型医療施設（療養型病床群）」が約12ポイント増加している。「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が約22ポイント、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が約12ポイント減少している。



問 24 (3) 希望する介護保険施設の入所時期

入所申込みをしている方の、介護保険施設の入所希望時期は、「できるだけ早く入所したい」が42.3%で最も多く、次いで「1年以内に入所したい」が34.6%、「1年以降でもかまわない」が7.7%などとなっている。

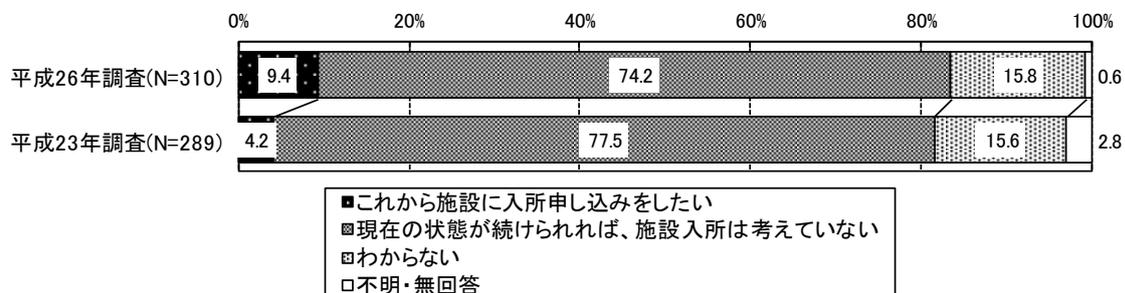
前回調査と比較すると、「できるだけ早く入所したい」が約19ポイント減少した。



問24(4) 介護保険施設への入所申込みをしていない理由

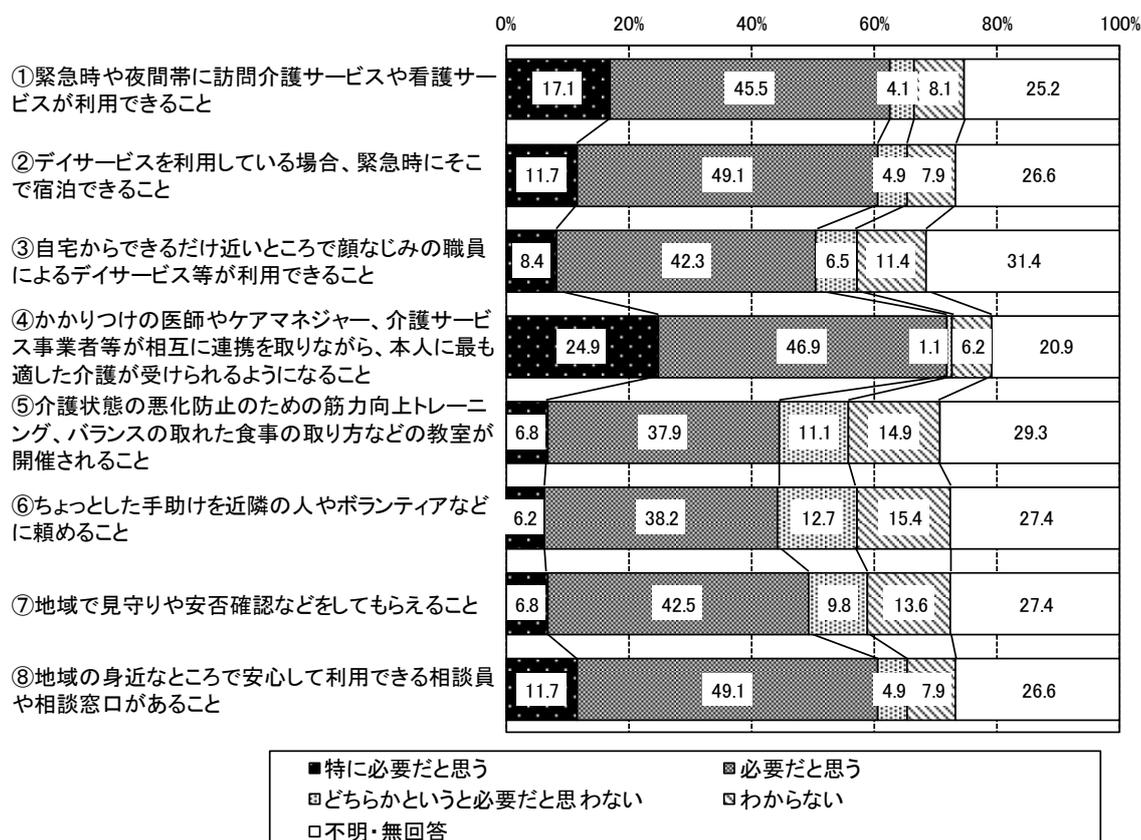
入所申込みをしていない方の、理由は、「現在の状態が続けられれば、施設入所は考えていない」が74.2%で最も多く、次いで「わからない」が15.8%、「これから施設に入所申し込みをしたい」が9.4%などとなっている。

前回調査と比較すると、「これから施設に入所申し込みをしたい」が5ポイント増加している。



問 25 在宅生活継続のために必要なこと

今後、在宅生活を継続するために必要なこととして、「特に必要だと思う」と「必要だと思う」を合わせた「必要である」割合が最も高いのは、「かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者等が相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられるようになること」が71.8%で最も高く、次いで「緊急時や夜間帯に訪問介護サービスや看護サービスが利用できること」が62.6%、「デイサービスを利用している場合、緊急時にそこで宿泊できること」と「地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること」がともに60.8%などとなっている。



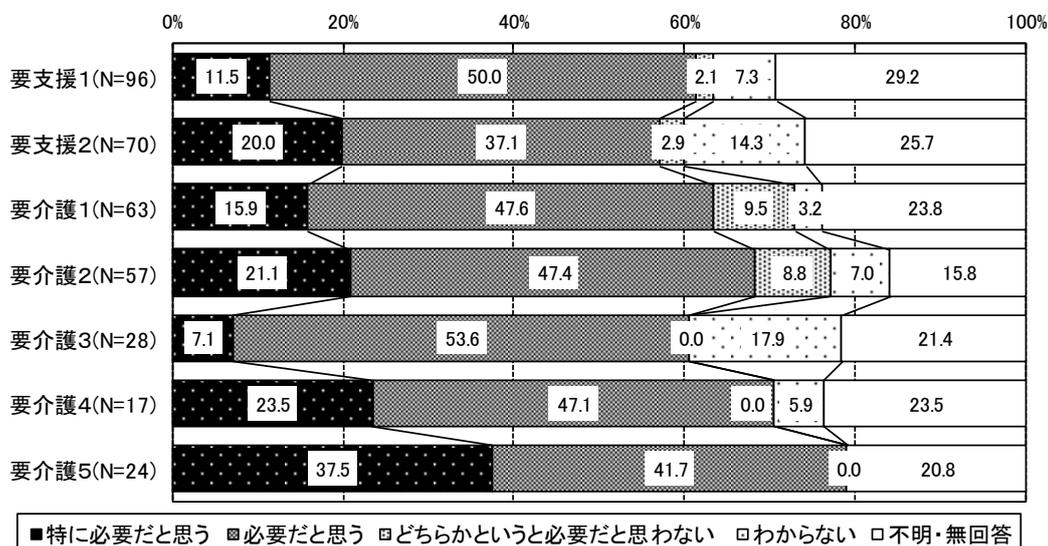
【介護度別】

在宅生活継続のために必要なことの項目を、介護度別にみた結果は以下の通りである。

①緊急時や夜間帯に訪問介護サービスや看護サービスが利用できること

「必要ある」は要介護5、要介護4、要介護2で他の層に比して高くなっている。

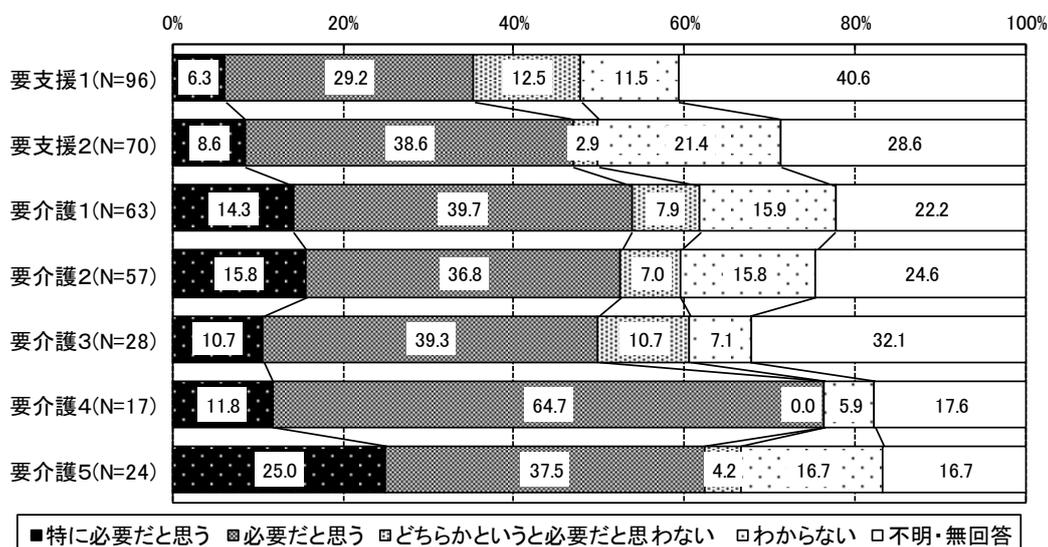
「特に必要だと思う」は要介護5で高い。



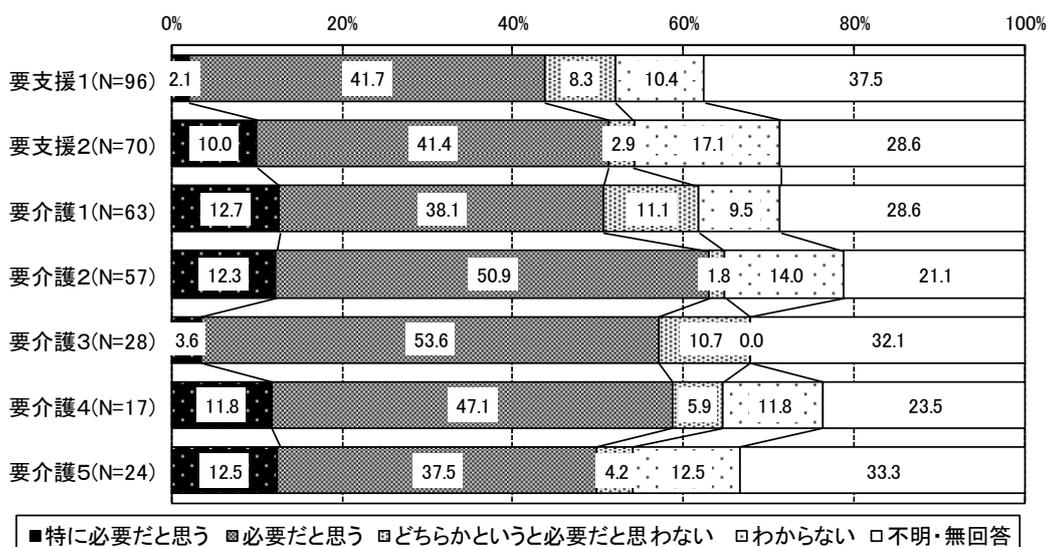
②デイサービスを利用している場合、緊急時にそこで宿泊できること

「必要ある」は要介護4で他の層に比して高くなっている。

「特に必要だと思う」は要介護5で高い。

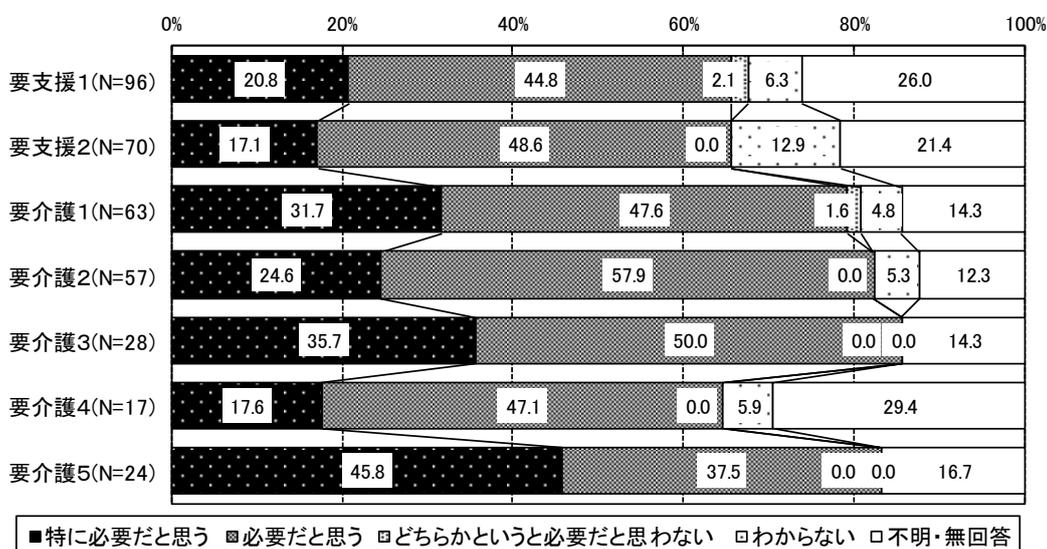


③自宅からできるだけ近いところで顔なじみの職員によるデイサービス等が利用できること
 「必要ある」は要介護2で他の層に比して高くなっている。



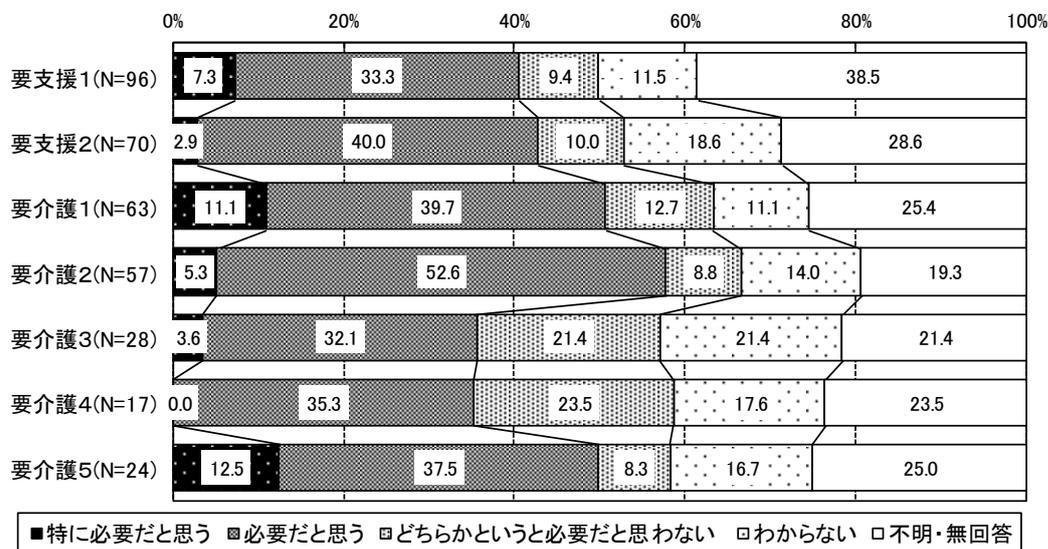
④かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者等が相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられるようになること

「必要ある」は要介護5、要介護3、要介護2、要介護1で他の層に比して高くなっている。
 「特に必要だと思ふ」は要介護5で高い。



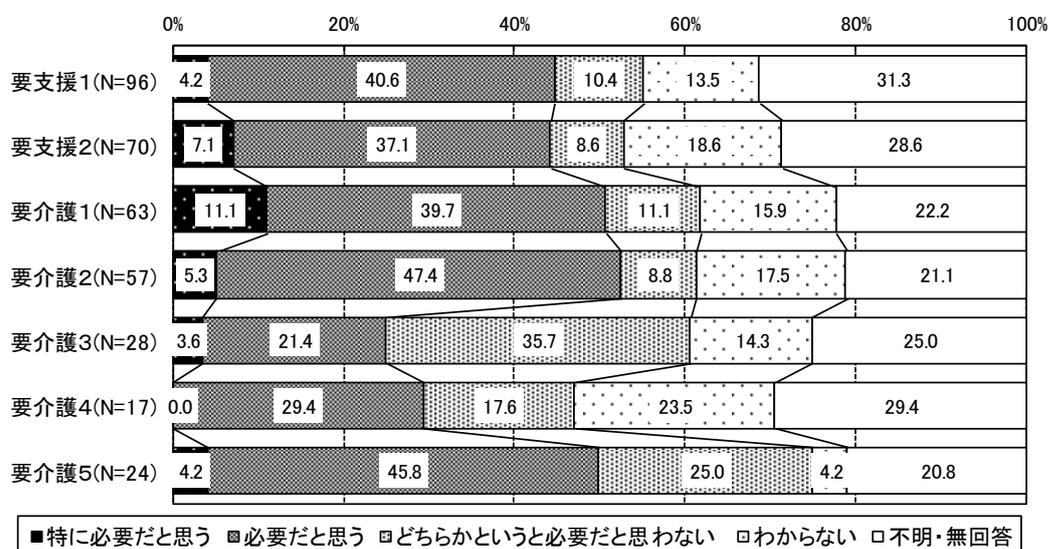
⑤介護状態の悪化防止のための筋力向上トレーニング、バランスの取れた食事の取り方などの教室が開催されること

「必要ある」は要介護2、要介護1、要介護5で他の層に比して高くなっている。



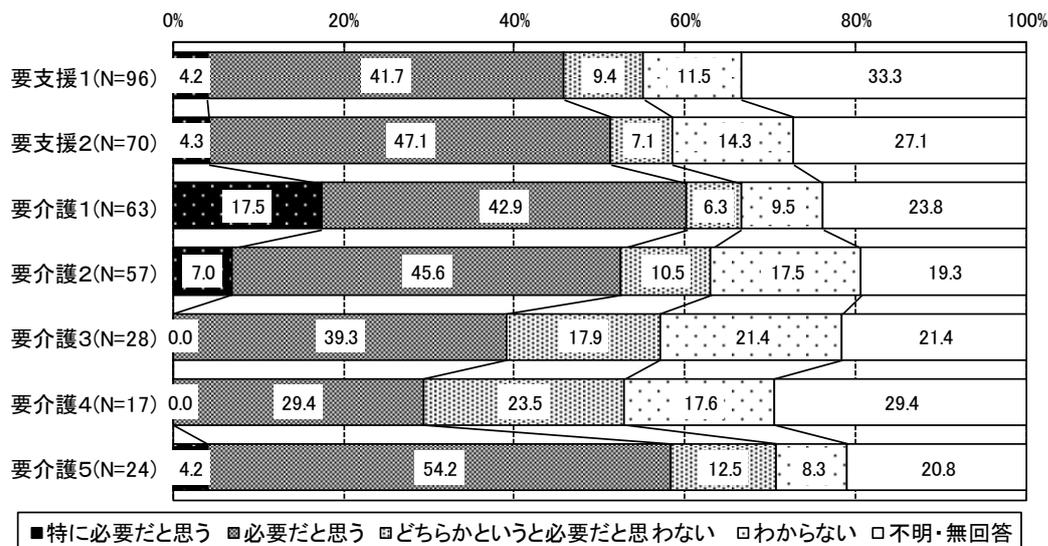
⑥ちょっとした手助けを近隣の人やボランティアなどに頼めること

「必要ある」は要介護2、要介護1、要介護5で他の層に比して高くなっている。



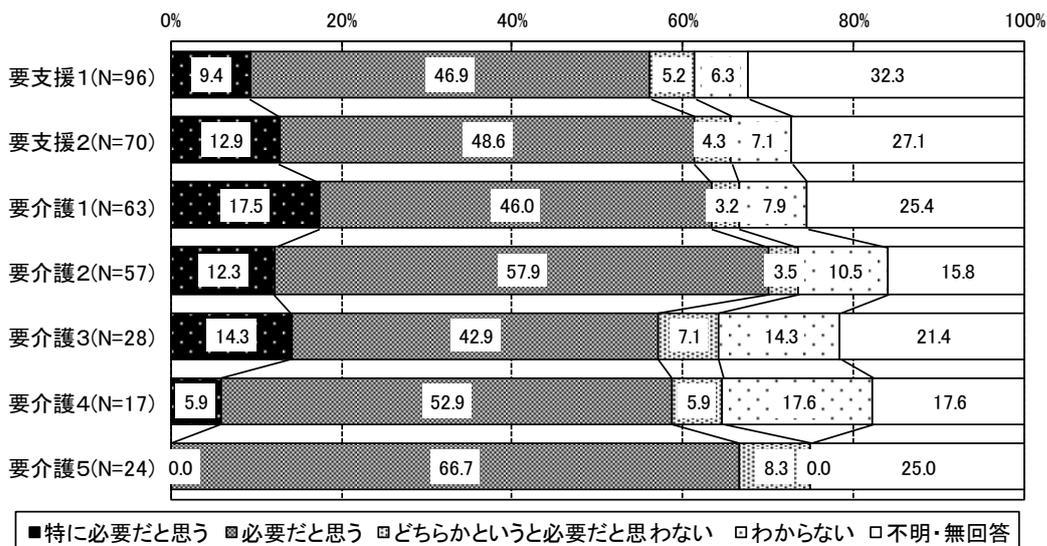
⑦地域で見守りや安否確認などをしてもらえること

「必要ある」は要介護1、要介護5で他の層に比して高くなっている。



⑧地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること

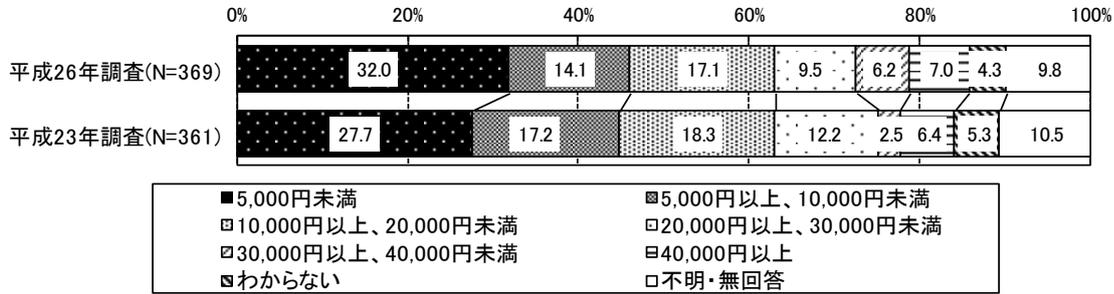
「必要ある」は要介護2、要介護5で他の層に比して高くなっている。



問 26 現在のサービス利用時の利用料（1か月）の平均額

現在のサービス利用時の利用料（1か月）の平均額は、「5,000円未満」が32.0%で最も多く、次いで「10,000円以上、20,000円未満」が17.1%、「5,000円以上、10,000円未満」が14.1%などとなっている。

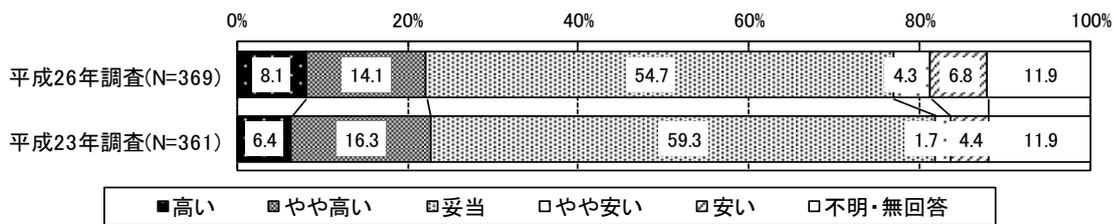
前回調査と比較すると「5,000円未満」と「30,000円以上、40,000円未満」が約4ポイント増加し、5,000円以上～30,000円未満が7ポイント減少している。



問 27 現在のサービス利用料の負担感

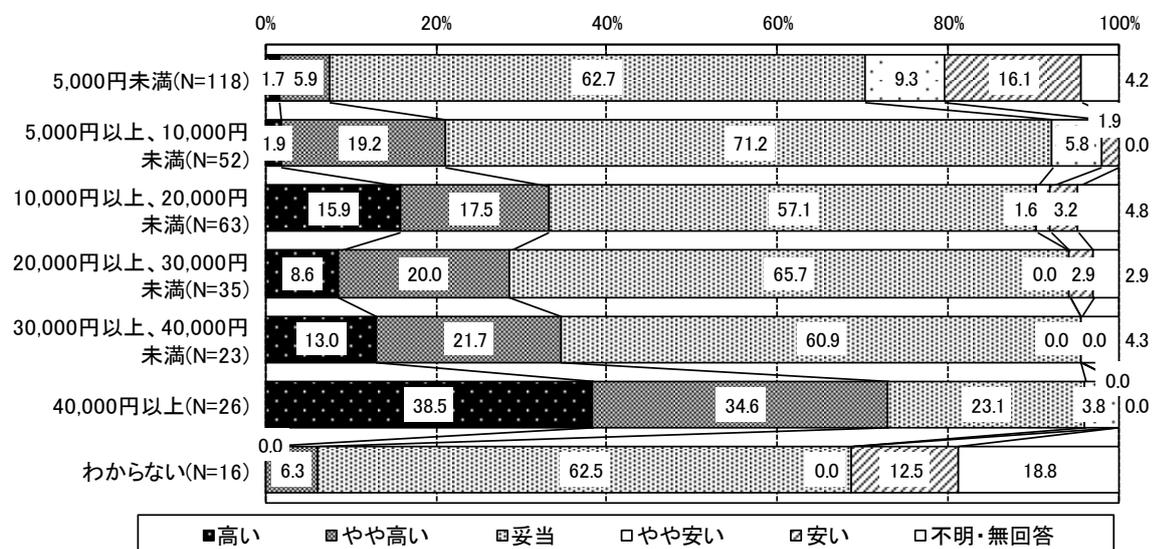
現在のサービス利用料の負担感は、「妥当」が54.7%で最も多く、次いで「やや高い」が14.1%、「高い」が8.1%などとなっている。

前回調査と比較すると、「妥当」と感じる割合が約5ポイント減少している。



【現在のサービス利用時の利用料の平均額】

現在のサービス利用時の利用料の平均額（問 26）別にみると、5,000 円以上になると「やや高い」と感じる割合が増え、10,000 円以上になると「高い」と感じる割合も増加している。40,000 円以上では、「高い」と「やや高い」を合わせた割合が7割を超えている。



問28 保険料の段階

保険料の段階をみると、「わからない」が27.4%で最も多く、次いで「第2段階（基準額×0.5）年間保険料：29,200円」が7.3%、「第3段階（基準額×0.625）年間保険料：36,500円」が7.0%などとなっている。

保険料の段階

カテゴリ	件数	(全体)%
第1段階(基準額×0.5)年間保険料:29,200円	24	6.5
第2段階(基準額×0.5)年間保険料:29,200円	27	7.3
第3段階(基準額×0.625)年間保険料:36,500円	26	7.0
第4段階(基準額×0.75)年間保険料:43,800円	13	3.5
第5段階(基準額×0.875)年間保険料:51,100円	14	3.8
第6段階(基準額)年間保険料:58,400円	20	5.4
第7段階(基準額×1.125)年間保険料:65,700円	8	2.2
第8段階(基準額×1.25)年間保険料:73,000円	16	4.3
第9段階(基準額×1.5)年間保険料:87,600円	19	5.1
第10段階(基準額×1.75)年間保険料:102,200円	9	2.4
第11段階(基準額×2.0)年間保険料:116,800円	1	0.3
第12段階(基準額×2.25)年間保険料:131,400円	4	1.1
わからない	101	27.4
不明・無回答	87	23.6
合計	369	100.0

【介護度別】

介護度別にみると、第1段階では要支援1が若干高い。第2段階では要介護5が若干高い。要介護5は第4段階でも他の層に比して高くなっている。第3段階では、要介護1が若干高い。要支援2、要介護2～5では「わからない」が3割以上を占めている。

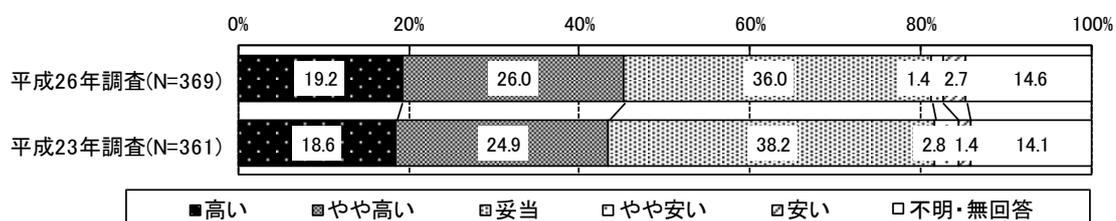
	第1段階(基準額×0.5) 年間保険料: 29,200円	第2段階(基準額×0.5) 年間保険料: 29,200円	第3段階(基準額×0.625) 年間保険料: 36,500円	第4段階(基準額×0.75) 年間保険料: 43,800円	第5段階(基準額×0.875) 年間保険料: 51,100円	第6段階(基準額) 年間保険料: 58,400円	第7段階(基準額×1.125) 年間保険料: 65,700円
要支援1(N=96)	11.5	6.3	5.2	4.2	3.1	6.3	2.1
要支援2(N=70)	7.1	7.1	11.4	2.9	4.3	5.7	2.9
要介護1(N=63)	-	6.3	14.3	-	1.6	9.5	1.6
要介護2(N=57)	5.3	8.8	5.3	3.5	7.0	-	1.8
要介護3(N=28)	10.7	7.1	-	-	3.6	7.1	7.1
要介護4(N=17)	-	11.8	-	5.9	5.9	-	-
要介護5(N=24)	4.2	12.5	4.2	16.7	4.2	4.2	-

	第8段階(基準額×1.25) 年間保険料: 73,000円	第9段階(基準額×1.5) 年間保険料: 87,600円	第10段階(基準額×1.75) 年間保険料: 102,200円	第11段階(基準額×2.0) 年間保険料: 116,800円	第12段階(基準額×2.25) 年間保険料: 131,400円	わからない	不明・無回答
要支援1(N=96)	4.2	7.3	2.1	1.0	1.0	18.8	27.1
要支援2(N=70)	7.1	-	4.3	-	-	30.0	17.1
要介護1(N=63)	4.8	11.1	3.2	-	1.6	20.6	25.4
要介護2(N=57)	7.0	1.8	-	-	3.5	38.6	17.5
要介護3(N=28)	-	3.6	3.6	-	-	35.7	21.4
要介護4(N=17)	-	5.9	5.9	-	-	35.3	29.4
要介護5(N=24)	-	4.2	-	-	-	33.3	16.7

問 29 介護保険料の負担感

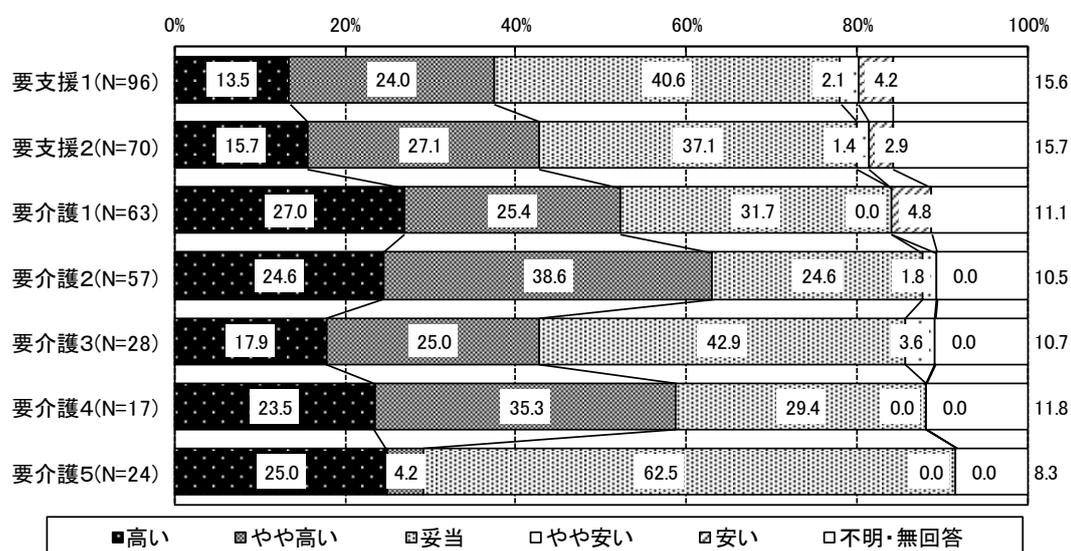
介護保険料の負担感については、「妥当」が36.0%で最も多く、次いで「やや高い」が26.0%、「高い」が19.2%などとなっている。「高い」と「やや高い」を合わせた「高いと感じる」割合は4割を超えている。

前回調査と比較すると「高い」「やや高い」と感じる割合が若干増加している。



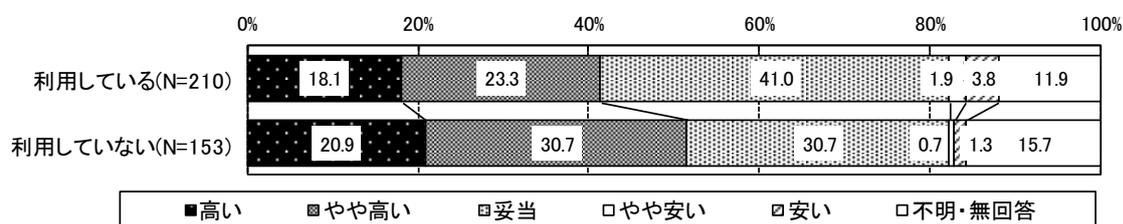
【介護度別】

介護度別にみると、「高いと感じる」割合は要支援1～要介護2までは介護度が高くなるにつれ増加傾向がある。



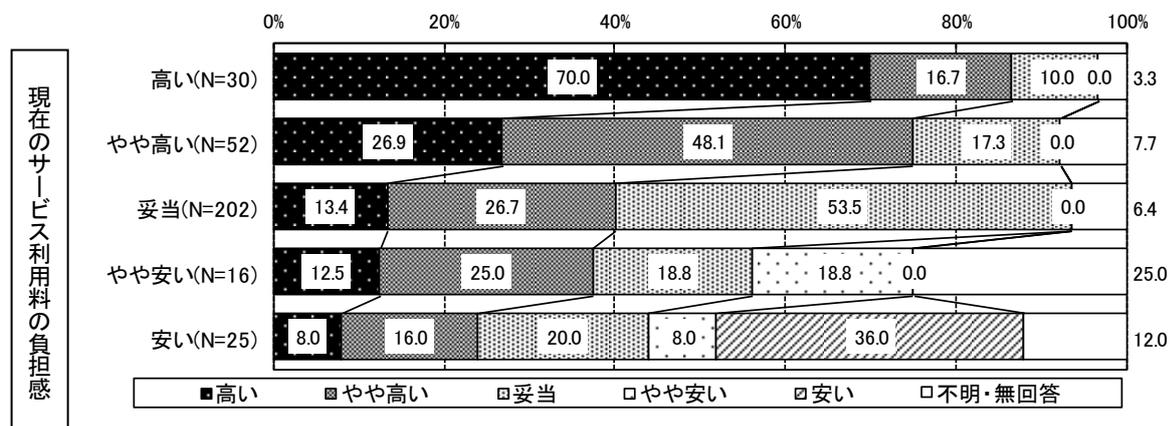
【在宅サービスの利用有無別】

在宅サービス利用の有無（問 10）別にみると、介護保険料の負担感が「高い」「やや高い」を合わせた高いと感じる割合は、利用していない方で5割を超えている。また、「妥当」の割合では「利用している」より「利用していない」が10ポイント低くなっている。



【現在のサービス利用料の負担感別】

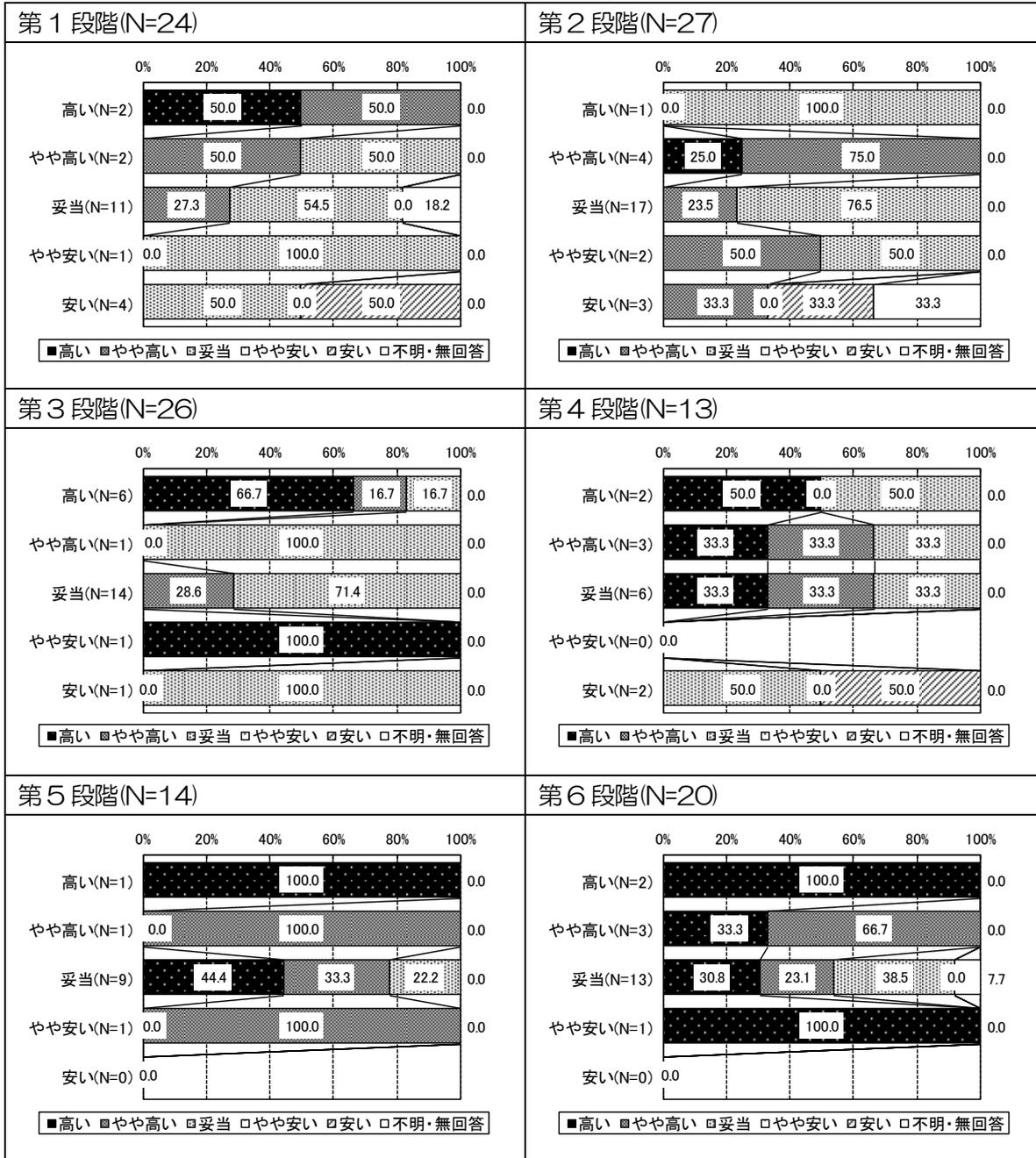
現在のサービス利用料の負担感（問 27）別にみると、サービス利用料の負担感が「高い」では、介護保険料が「高い」の割合も高くなっている。サービス利用料の負担感が「やや高い」の割合では介護保険料が「やや高い」が高くなっている。サービス利用料の負担感は、保険料の負担感と、ほぼ同じ度合いで現れる傾向が見られる。

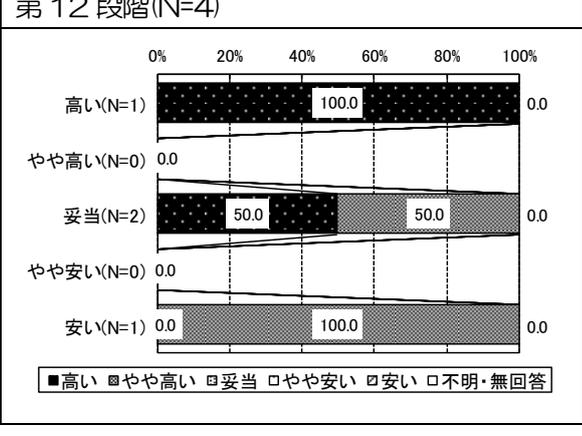
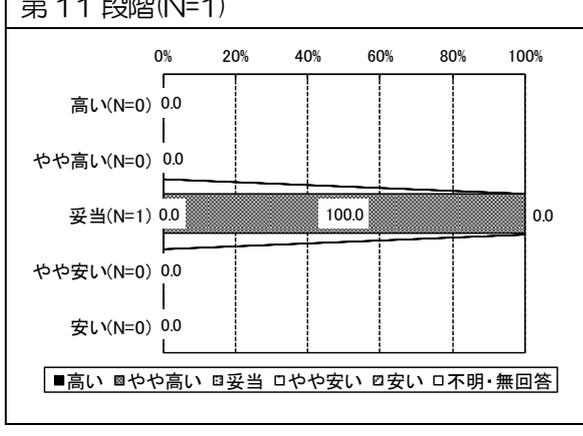
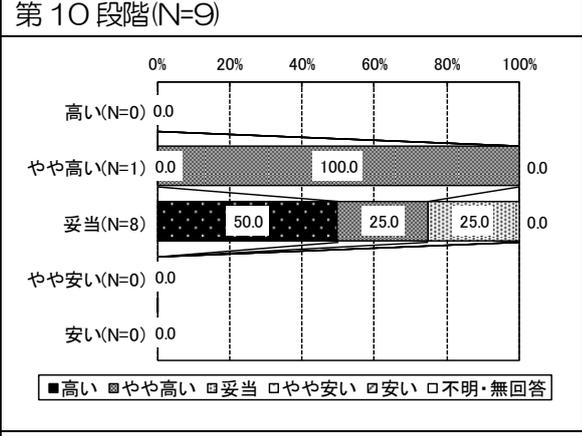
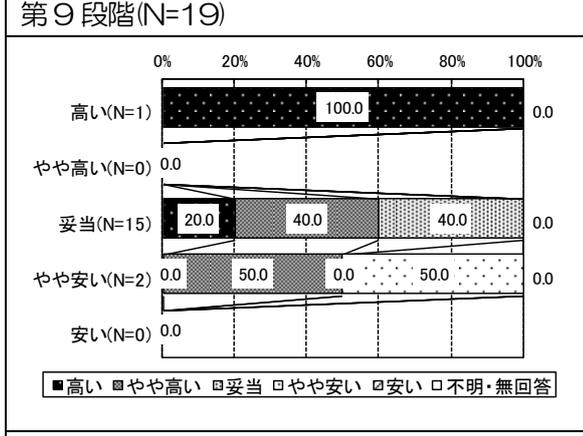
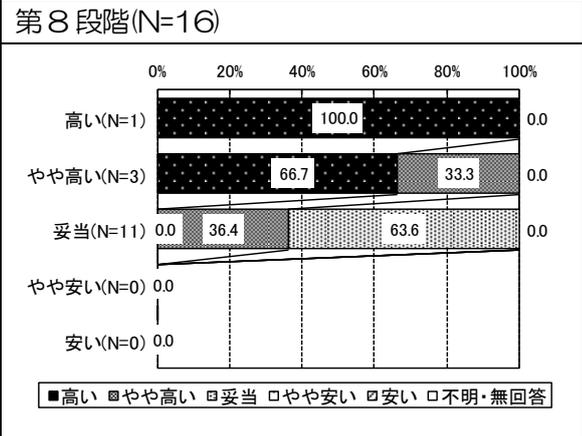
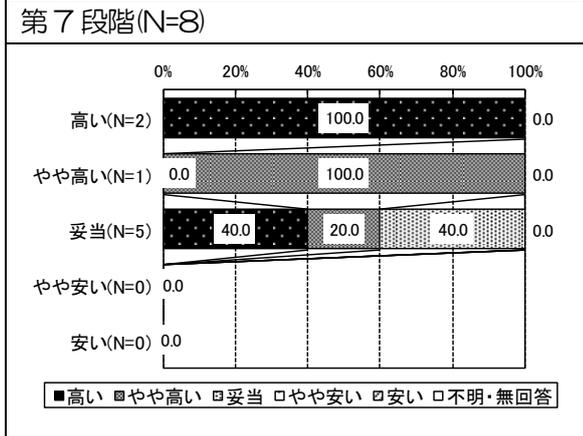


【保険料の段階別 現在のサービス利用料の負担感別 介護保険料の負担感】

前頁のグラフをさらに、保険料段階別にみたものが以下である。

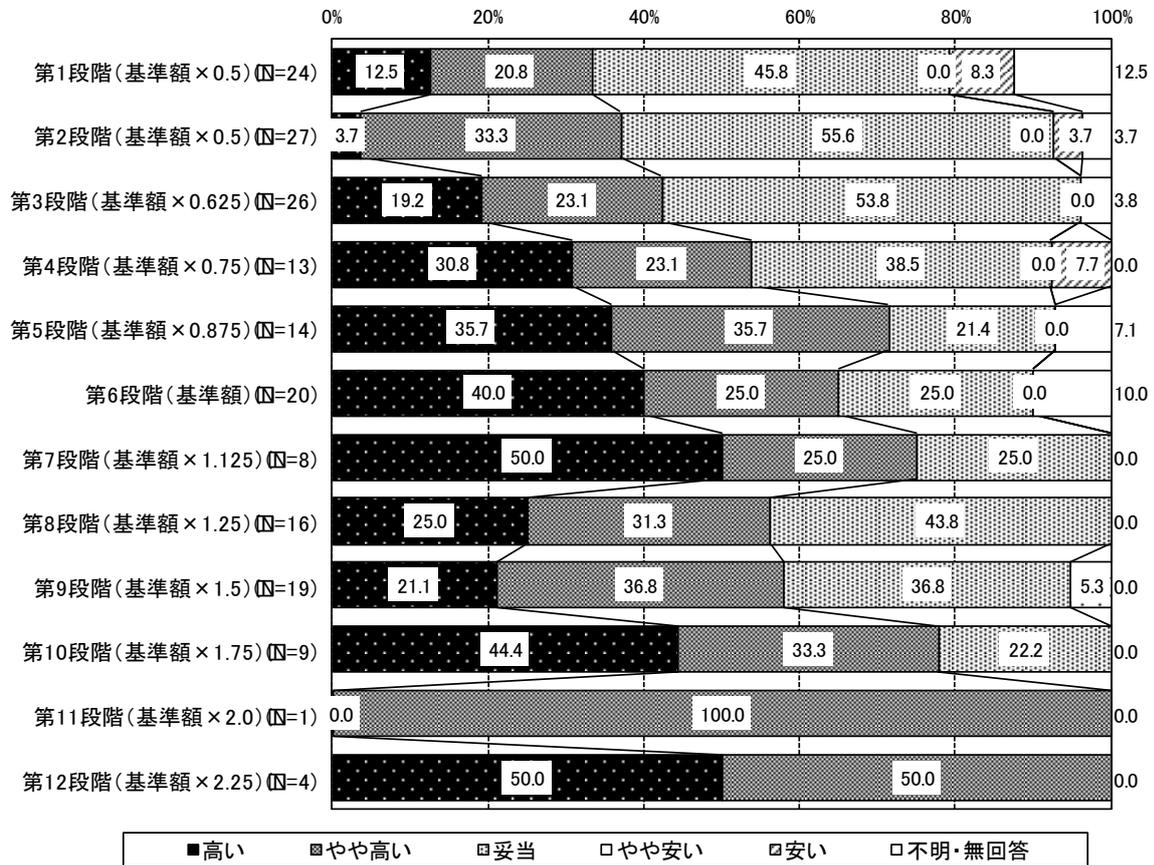
第5段階～第11段階まで「安い」が見られない。





【保険料の段階別】

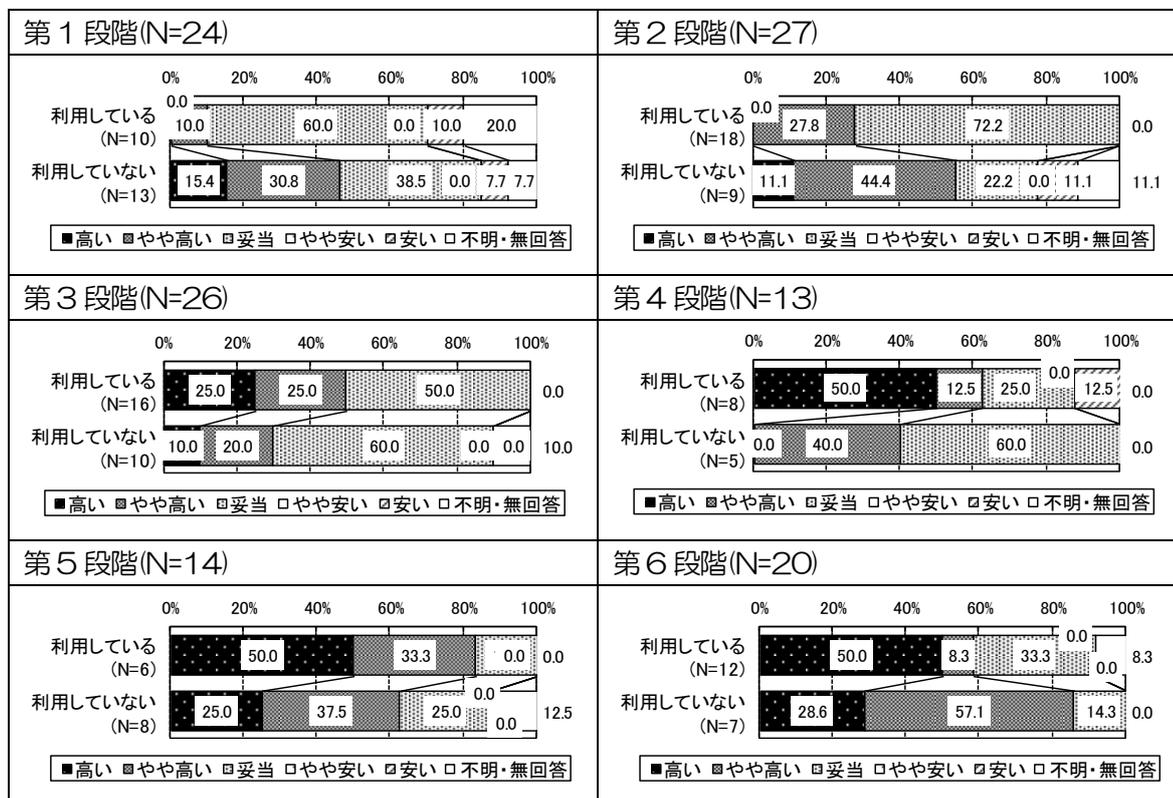
保険料の段階（問28）別にみると、第2段階では「妥当」が55.6%を占めているが、第5段階までで21.4%に減少している。「高い」と「やや高い」を合わせた「高いと感じる」割合は、第1段階～第5段階までで4割から7割に増加している。「安い」と「やや安い」を合わせた「安いと感じる」割合は、第3段階・第5段階～第8段階・第10段階～第12段階では見られない。第6段階（基準額）では、「妥当」が25.0%、「高いと感じる」割合は、65.0%となっている。

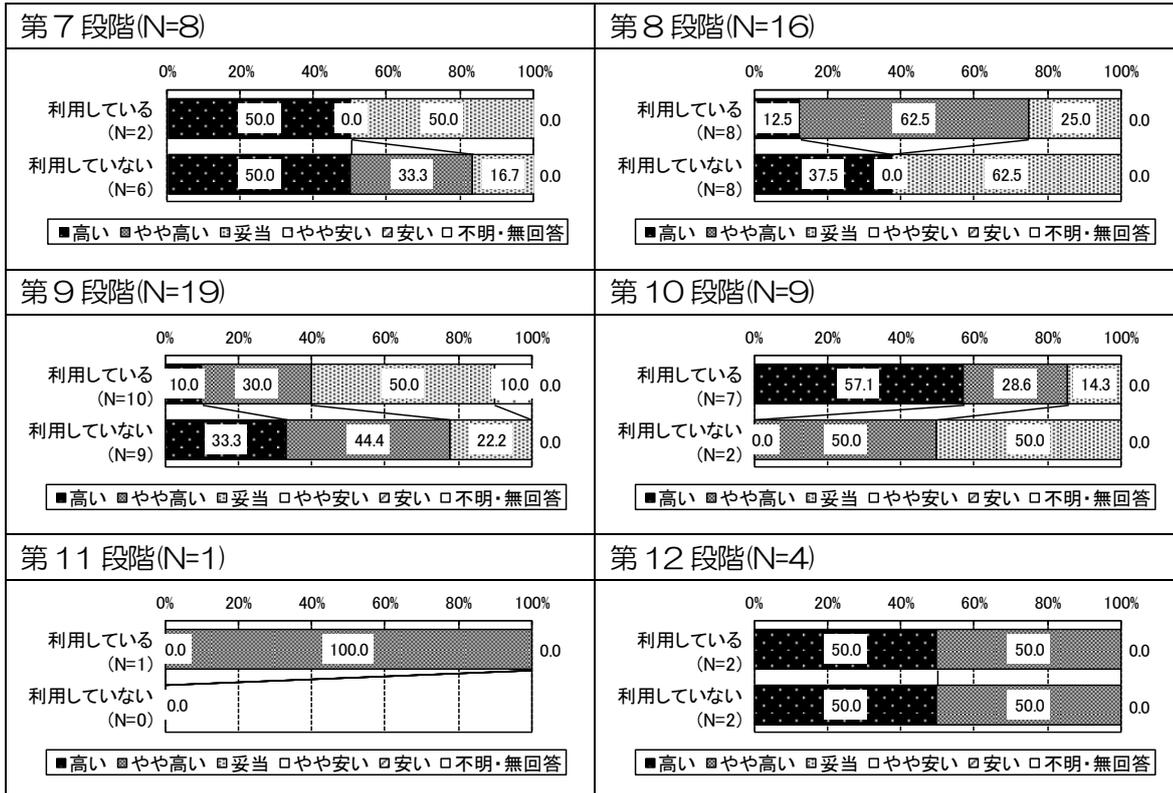


【保険料の段階別 在宅サービスの利用の有無別】

さらに、保険料各段階の介護保険料の負担感を在宅サービス有無別にみると以下の通りである。

第1段階、第4段階、第9段階では「利用している」で「安い」と「やや安い」を合わせた「安いと感じる」割合が約1割見られる。第6段階（基準額）は、「高い」と「やや高い」を合わせた「高いと感じる」割合が、「利用している」で58.3%、「利用していない」で85.7と「利用していない」が約27ポイント高くなっている。

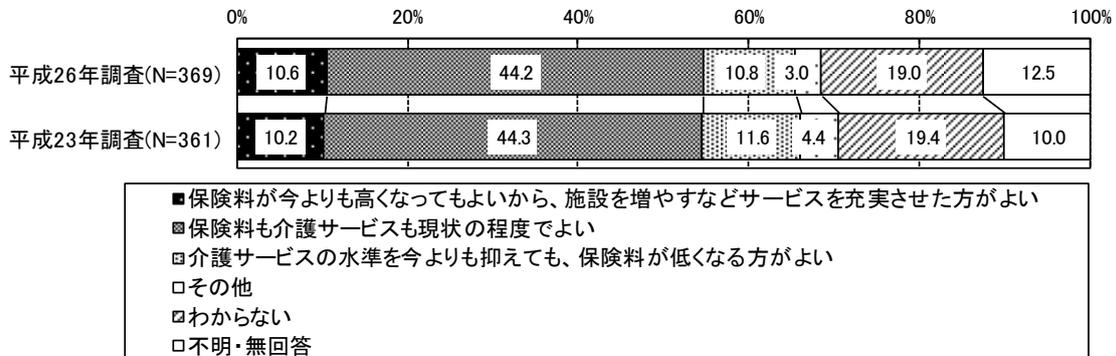




問 30 保険料と介護サービスのあり方について

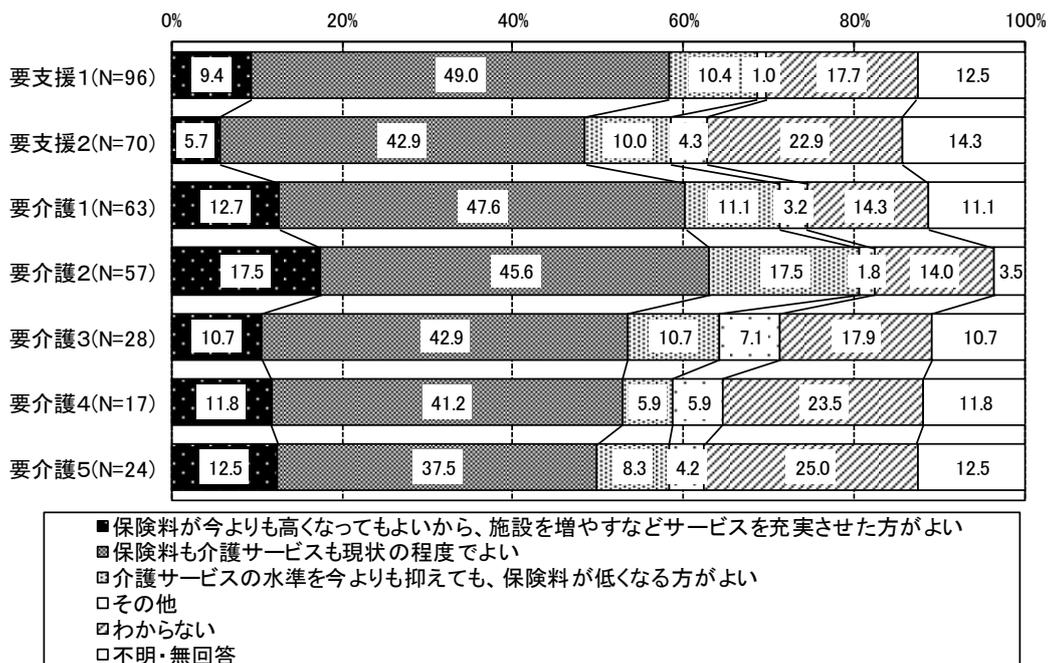
介護保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が44.2%で最も多く、次いで「わからない」が19.0%、「介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい」が10.8%などとなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向である。



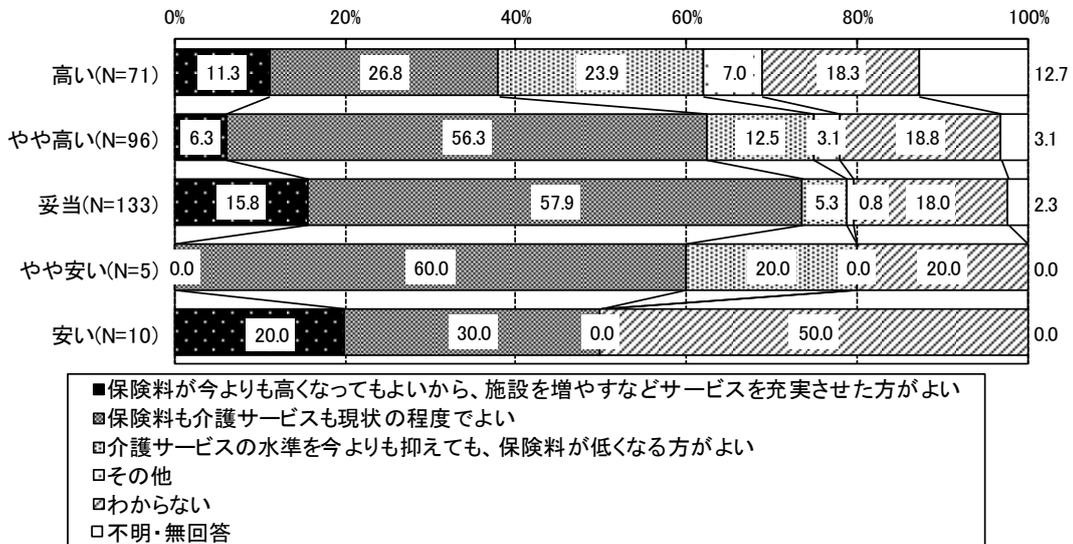
【介護度別】

介護度別にみると、要介護2、要介護3では、「保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい」「介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい」が同じ割合になっている。



【介護保険料の負担感別】

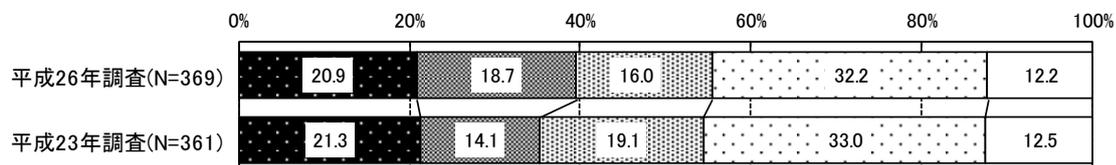
介護保険料の負担感（問 29）別にみると、介護保険料の負担感が「やや高い」、「妥当」、「やや安い」では、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が高くなっている。



問31 保険料の設定方法についての考え

保険料の設定方法についての考えは、「わからない」が32.2%で最も多く、次いで「現行の設定方法でよい」が20.9%、「個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである」が18.7%などとなっている。

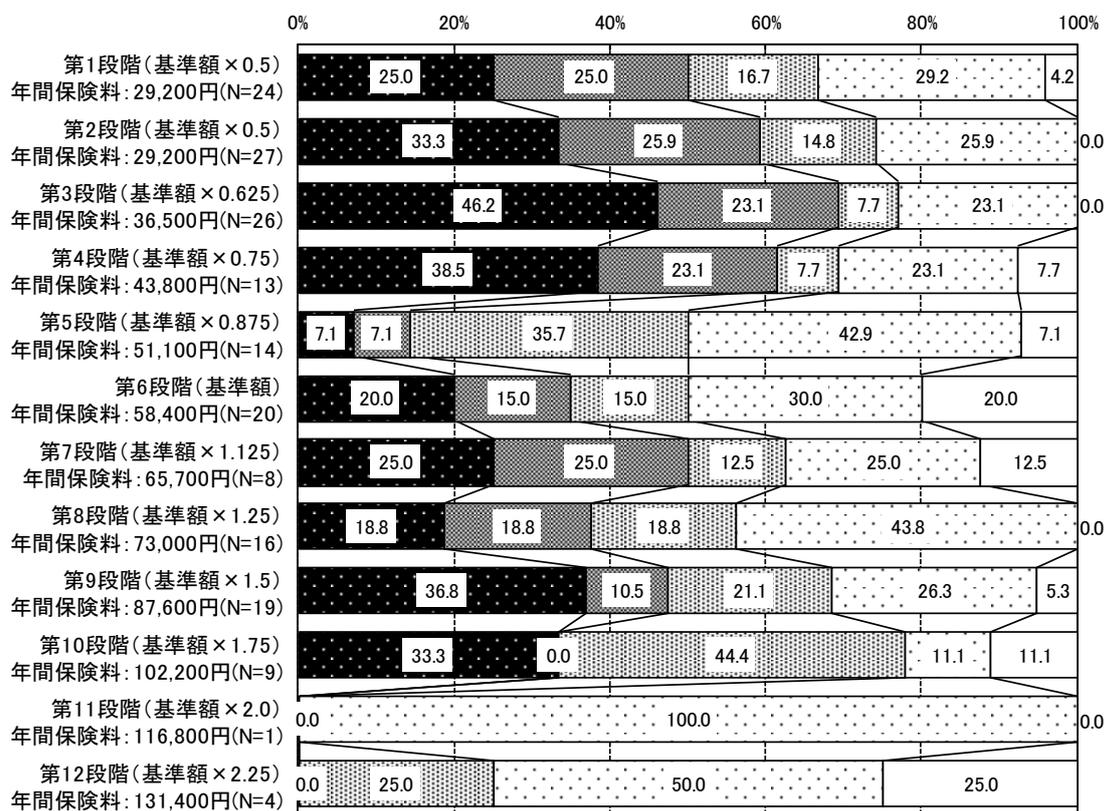
前回調査との比較では、「個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである」が約5ポイント増えている。



- 現行の設定方法でよい
- 個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである
- 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
- わからない
- 不明・無回答

【保険料の段階別】

保険料の段階（問 28）別にみると、第3段階では「現行の設定方法でよい」が46.2%で他の層に比して高くなっている。第10段階では「介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである」が44.4%で他の層に比して高くなっている。第6段階（基準額）では、「現行の設定方法でよい」が20.0%、「個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差は、現状より大きくすべきである」と「介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである」がともに15.0%となっている。



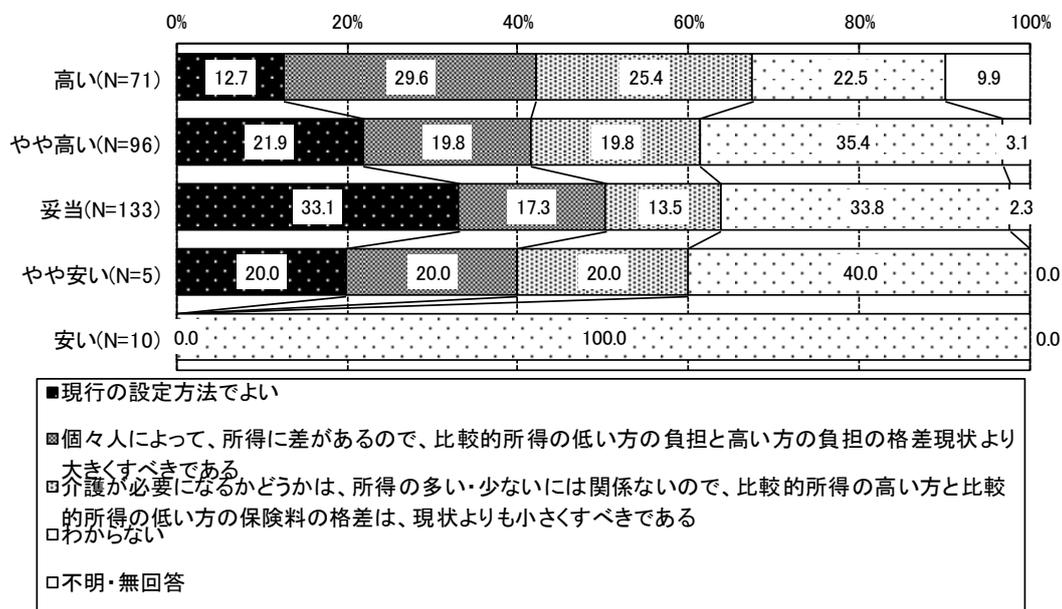
■現行の設定方法でよい

- 個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである
- 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
- わからない

不明・無回答

【介護保険料の負担感別】

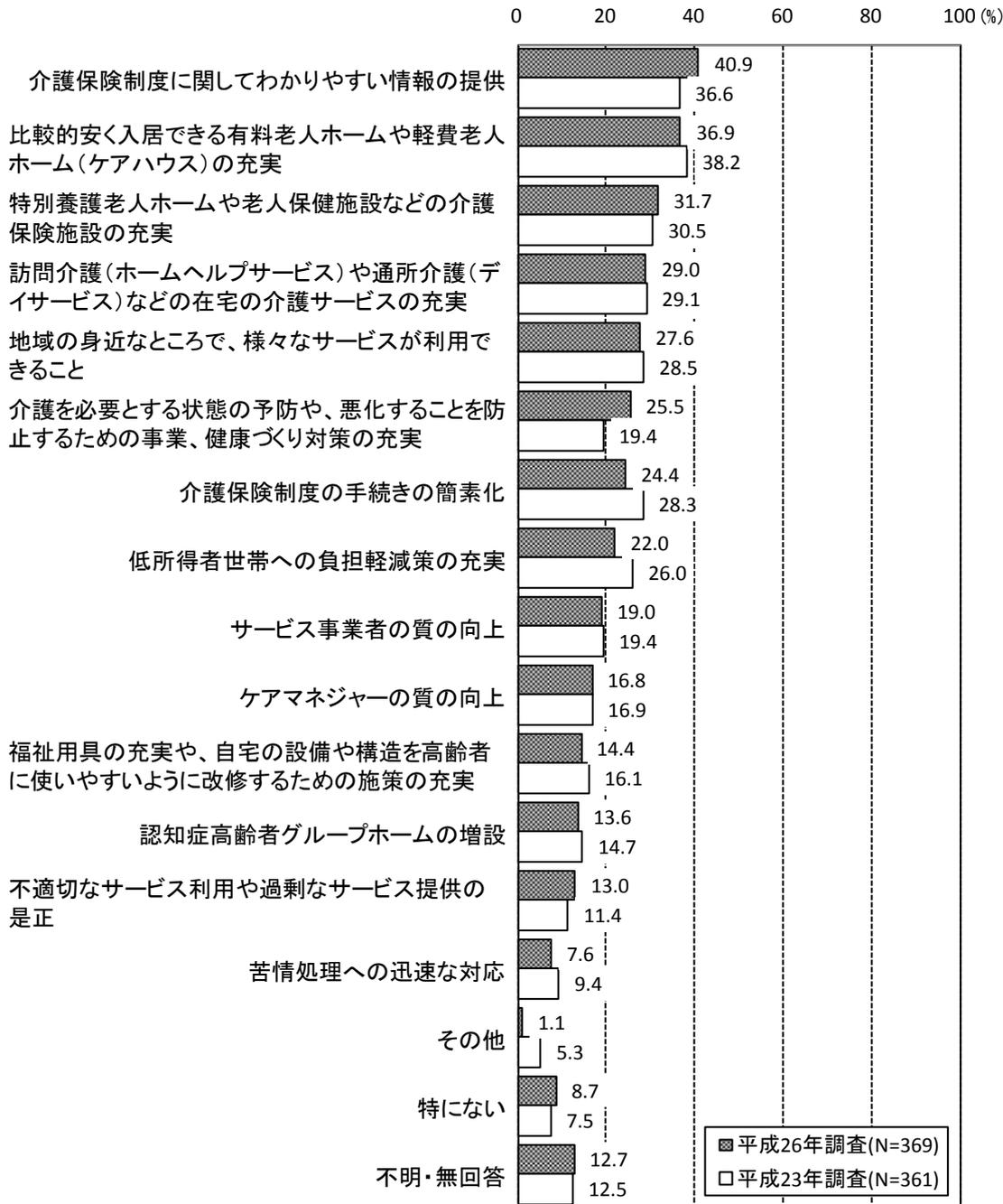
介護保険料の負担感（問 29）別にみると「高い」層では、「個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである」が他の層に比べ高くなっている。「やや高い」～「安い」の各層では「わからない」が最も多くなっている。「現行の設定方法でよい」は、介護保険料の負担感が「妥当」で最も多く、「高い」、「安い」のいずれかに移るにつれ、減少している。



問 32 介護保険制度に関して宝塚市に望むこと（複数回答）

介護保険制度に関して宝塚市に望むことは、「介護保険制度に関してわかりやすい情報の提供」が40.9%で最も多く、次いで「比較的安く入居できる有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）の充実」が36.9%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設の充実」が31.7%などとなっている。

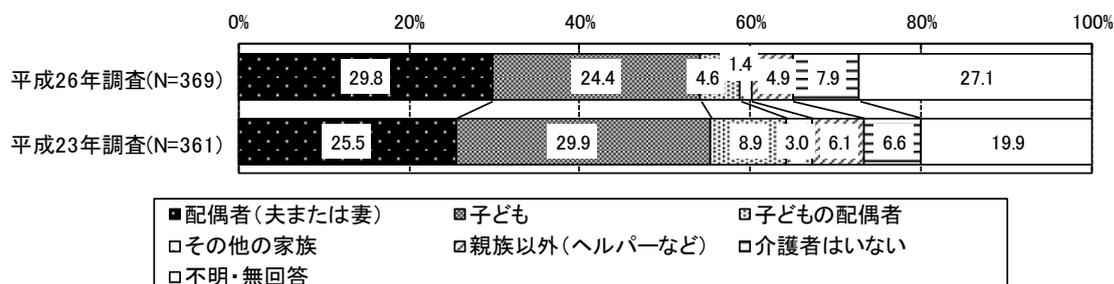
前回調査との比較では、「介護を必要とする状態の予防や、悪化することを防止するための事業、健康づくり対策の充実」が約6ポイント増えている。



問 33 介護者の属性

介護者の属性は、「配偶者（夫または妻）」が29.8%で最も多く、次いで「子ども」が24.4%、「介護者はいない」が7.9%などとなっている。

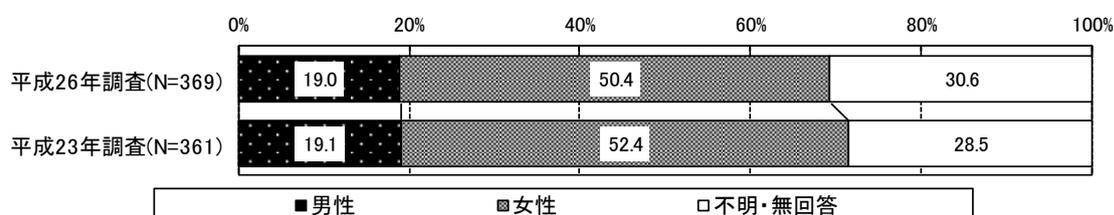
前回調査との比較では、「配偶者（夫または妻）」が約4ポイント増えている。



問 34 (1) 介護者の性別

介護者の性別は、「女性」が50.4%、「男性」が19.0%で女性の方が多くなっている。

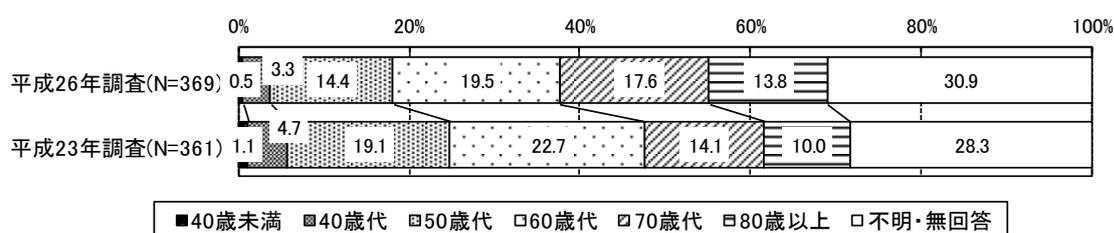
前回調査との比較では、ほぼ同じ傾向である。



問 34 (2) 介護者の年齢

介護者の年齢は、「60歳代」が19.5%で最も多く、次いで「70歳代」が17.6%、「50歳代」が14.4%などとなっている。

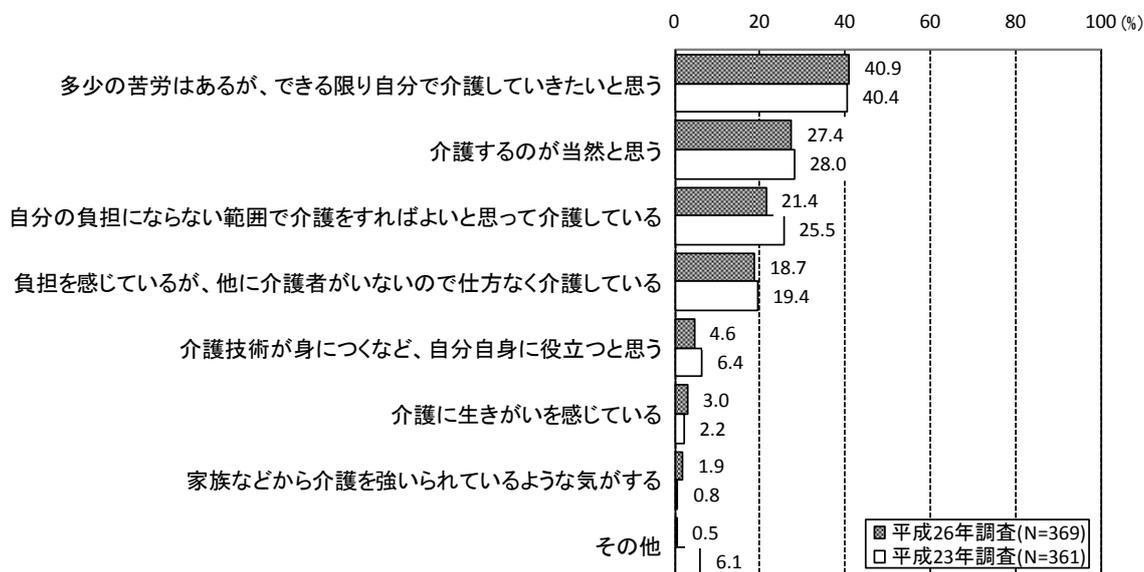
前回調査との比較では、40歳未満～60歳代が約10ポイント減少し、70歳代以上が約7ポイント増加している。



問 35 どのような気持ちで介護をしているか（複数回答）

どのような気持ちで介護をしているか聞いたところ、「多少の苦労はあるが、できる限り自分で介護していきたいと思う」が40.9%で最も多く、次いで「介護するのが当然と思う」が27.4%、「自分の負担にならない範囲で介護をすればよいと思って介護している」が21.4%などとなっている。

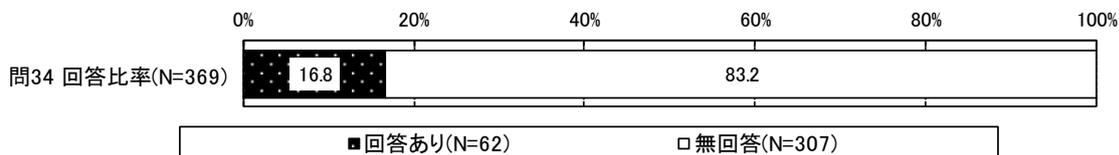
前回調査との比較では、「自分の負担にならない範囲で介護をすればよいと思って介護している」が約4ポイント減っているが、全体としては、ほぼ同じ傾向である。



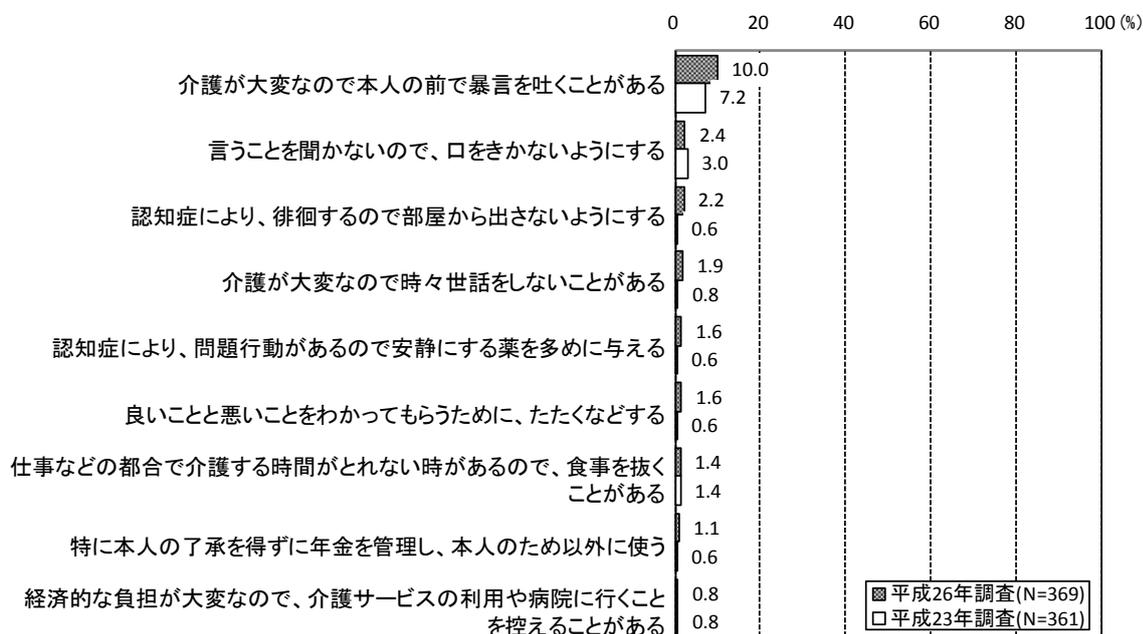
問36 介護をしている上でやむを得ず行ってしまうこと（複数回答）

介護をしている上でやむを得ず行ってしまう虐待行為については、「介護が大変なので本人の前で暴言を吐くことがある」が10.0%で最も多く、次いで「言うことを聞かないので、口をきかないようにする」が2.4%、「認知症により、徘徊するので部屋から出さないようにする」が2.2%などとなっている。

前回調査と比較すると、「介護が大変なので本人の前で暴言を吐くことがある」の割合が約3ポイント増加している。



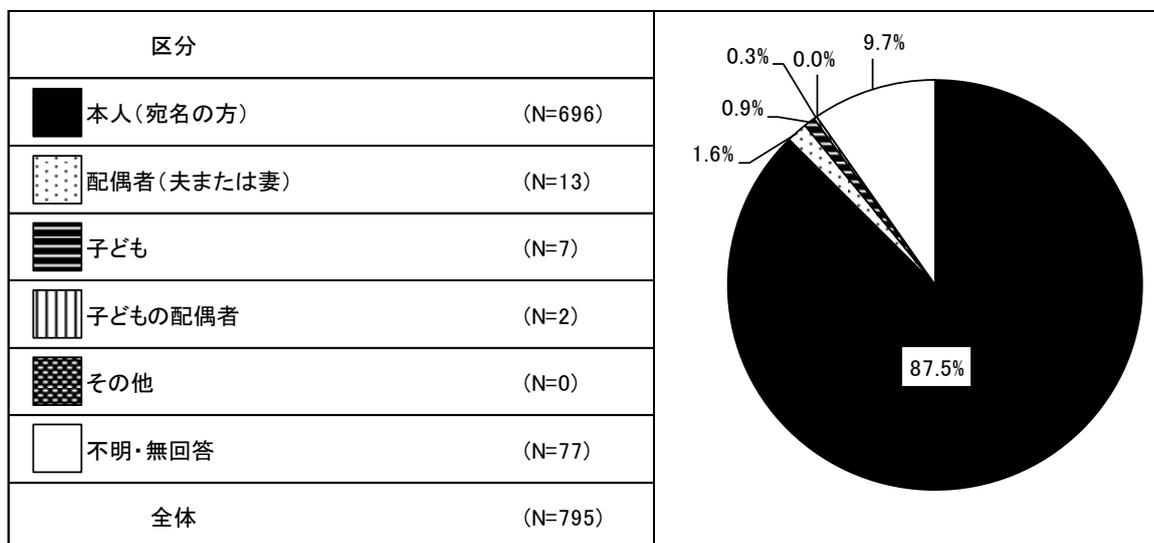
介護をしている上でやむを得ず行ってしまうこと・「回答あり」の内訳（複数回答）



2. 一般高齢者調査

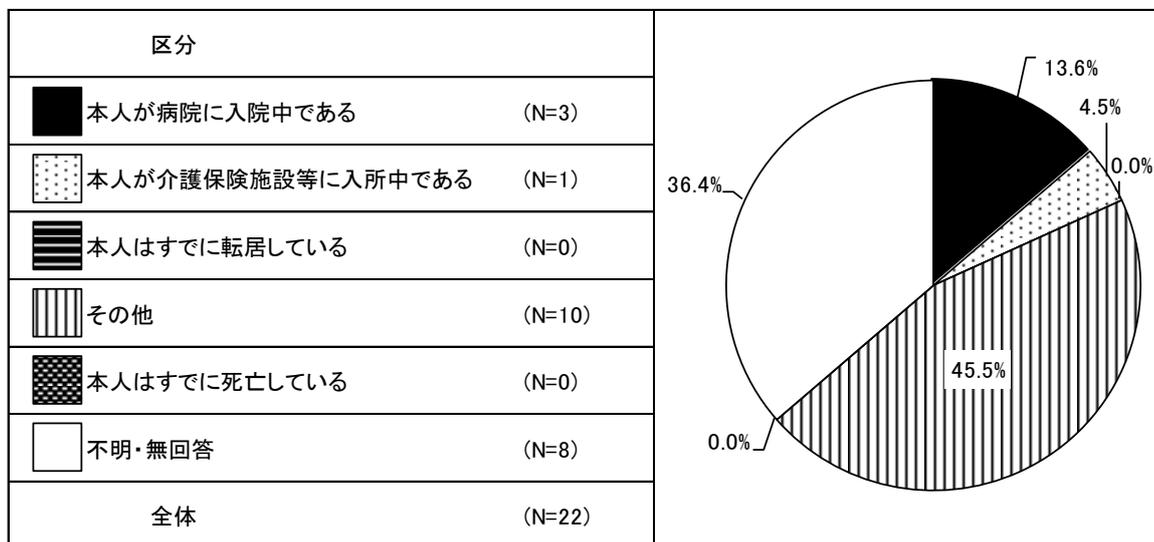
〈回答者〉

アンケートの回答者は、「本人(宛名の方)」が87.5%で最も多く、次いで「配偶者(夫または妻)」が1.6%、「子ども」が0.9%などとなっている。



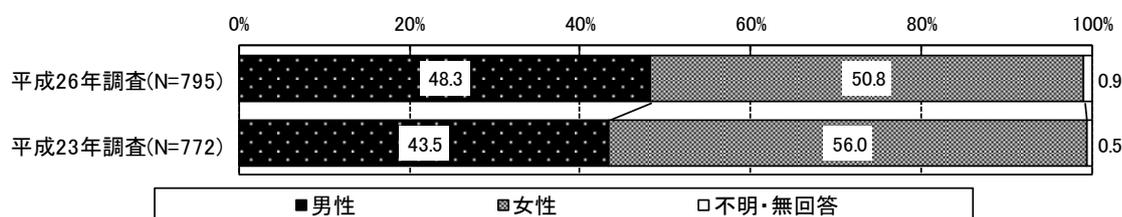
〈宛名本人が回答できない理由〉

本人回答以外の方の、宛名本人が回答できない理由としては、「その他」が45.5%で最も多く、次いで「本人が病院に入院中である」が13.6%、「本人が介護保険施設等に入所中である(特別養護老人ホーム、老人保健施設、養護老人ホーム、有料老人ホームなど)」が4.5%などとなっている。



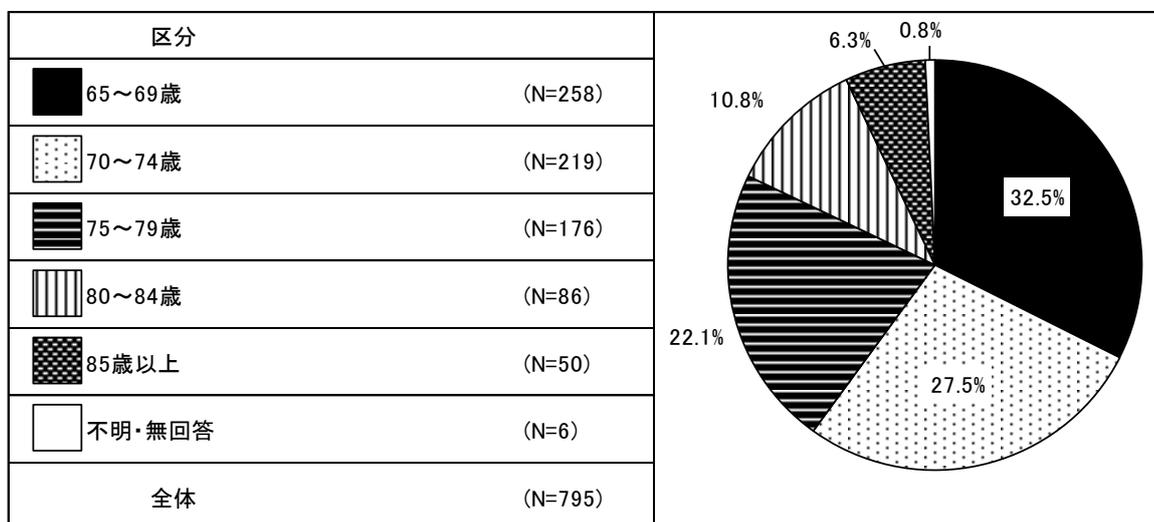
問1 (1) 性別

性別では、「女性」が50.8%、「男性」が48.3%となっている。
 前回調査と比較すると男性の割合が約5ポイント増加している。



問1 (2) 満年齢

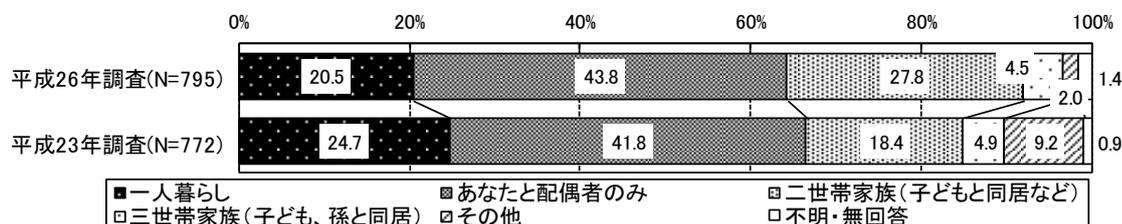
年齢階層別では、「65～69歳」が32.5%で最も多く、次いで「70～74歳」が27.5%、「75～79歳」が22.1%などとなっている。また後期高齢者（75歳以上）の割合は39.2%である。



問1 (3) 家族構成

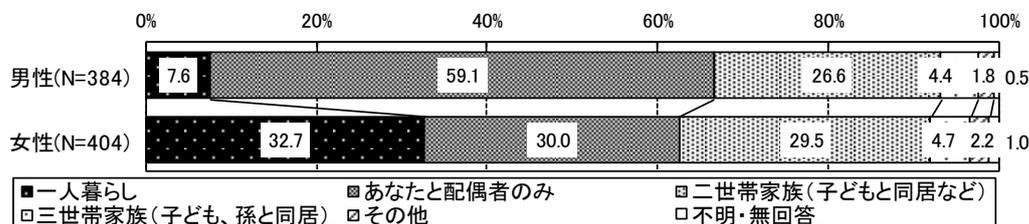
家族構成は、「あなたと配偶者のみ」が43.8%で最も多く、次いで「二世帯家族（子どもと同居など）」が27.8%、「一人暮らし」が20.5%などとなっている。

前回調査との比較では、「二世帯家族（子どもと同居など）」が約9ポイント増加している。



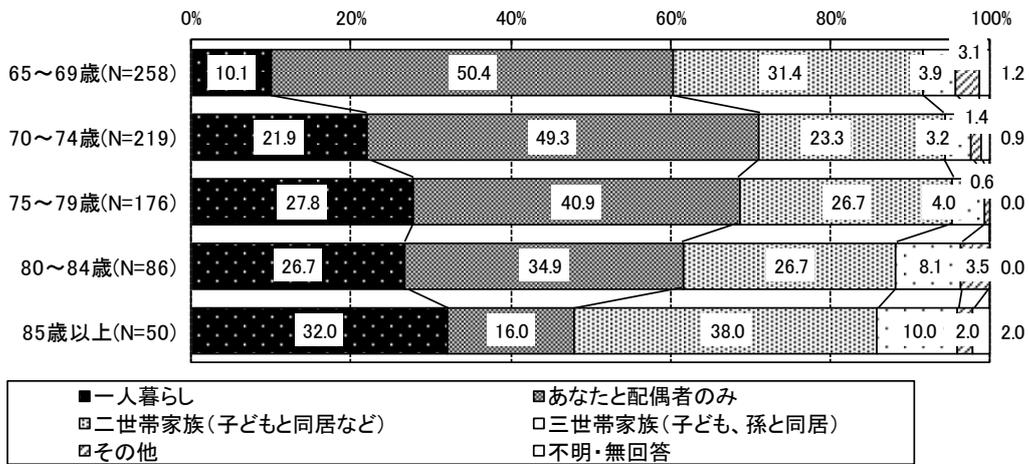
【性別】

性別にみると、男性では「あなたと配偶者のみ」が59.1%で、女性より約29ポイント高い。女性では「一人暮らし」が32.7%で男性より約25ポイント高い。



【年齢別】

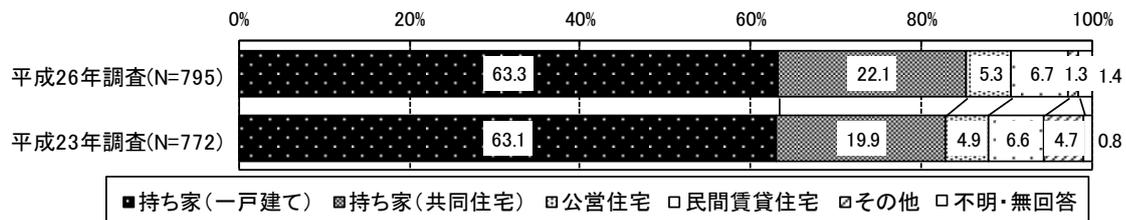
年齢別にみると、年齢が高くなるほど、「一人暮らし」の割合が増加する傾向がある。また、「あなたと配偶者のみ」は年齢が高くなるほど、割合が減少する傾向がある。



問2 (1) 現在の住まいの種類

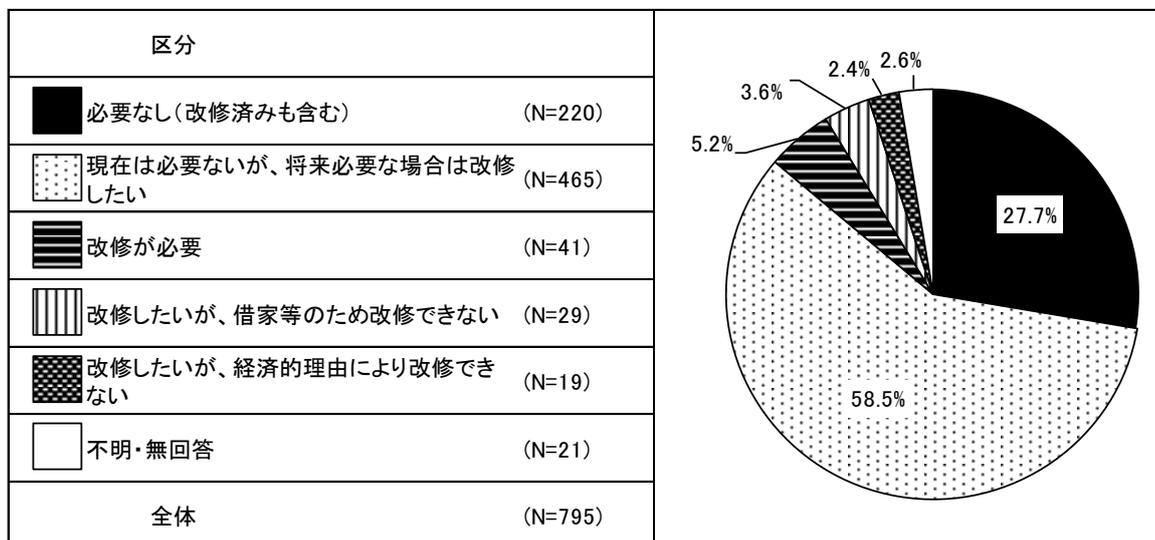
現在の住まいの種類は、「持ち家(一戸建て)」が63.3%で最も多く、次いで「持ち家(共同住宅)」が22.1%、「民間賃貸住宅」が6.7%などとなっている。

前回調査との比較では、ほぼ同じ傾向である。



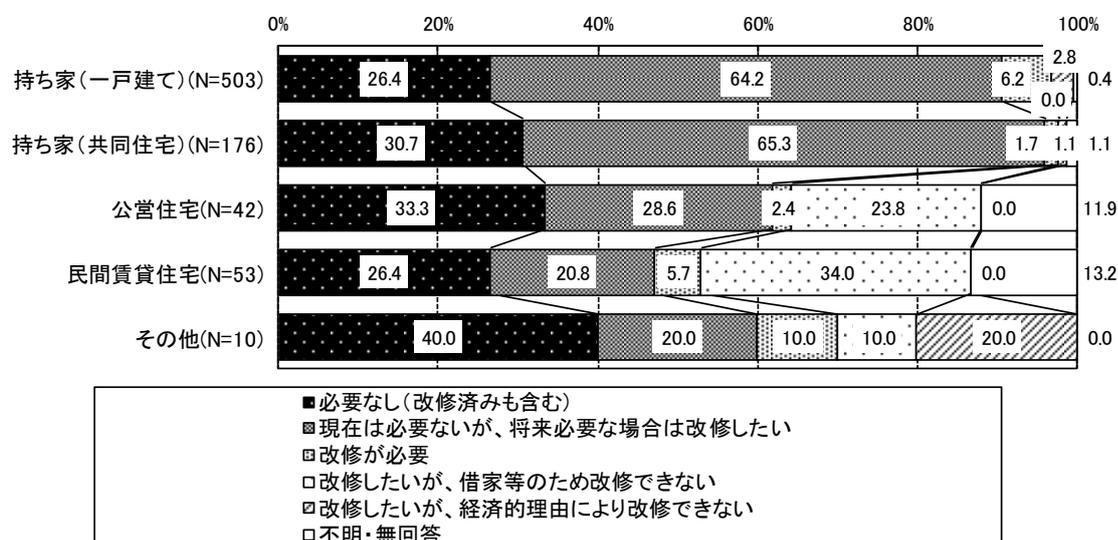
問2（2）住宅改修の必要性

住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が58.5%で最も多く、次いで「必要なし（改修済みも含む）」が27.7%、「改修が必要」が5.2%などとなっている。「改修が必要」「改修したいが、借家等のため改修できない」「改修したいが、経済的理由により改修できない」を合わせた現在、改修の必要性のある方は11.2%を占めている。



【現在の住まい種類別】

現在の住まい種類別（問2（1））にみると、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（共同住宅）」では「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が6割を超えて高く、「公営住宅」「民間賃貸住宅」では、「改修したいが、借家等のため改修できない」の割合が他の層に比べ高くなっている。



問3 世帯員全員の年収の合計額

世帯員全員の年収の合計額は、「200万円～300万円」が22.8%で最も多く、次いで「300万円～400万円」が20.0%、「100万円～200万円」が16.7%などとなっている。

カテゴリ	今回		前回調査	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%
50万円未満	14	1.8	16	2.1
50万円～100万円	31	3.9	42	5.4
100万円～200万円	133	16.7	119	15.4
200万円～300万円	181	22.8	166	21.5
300万円～400万円	159	20.0	152	19.7
400万円～500万円	66	8.3	78	10.1
500万円～600万円	47	5.9	49	6.3
600万円～700万円	24	3.0	30	3.9
700万円～800万円	24	3.0	13	1.7
800万円～900万円	13	1.6	12	1.6
900万円～1,000万円	14	1.8	16	2.1
1,000万円以上	29	3.6	21	2.7
その他	0	0.0	13	1.7
不明・無回答	60	7.5	45	5.8
合計	795	100.0	772	100.0

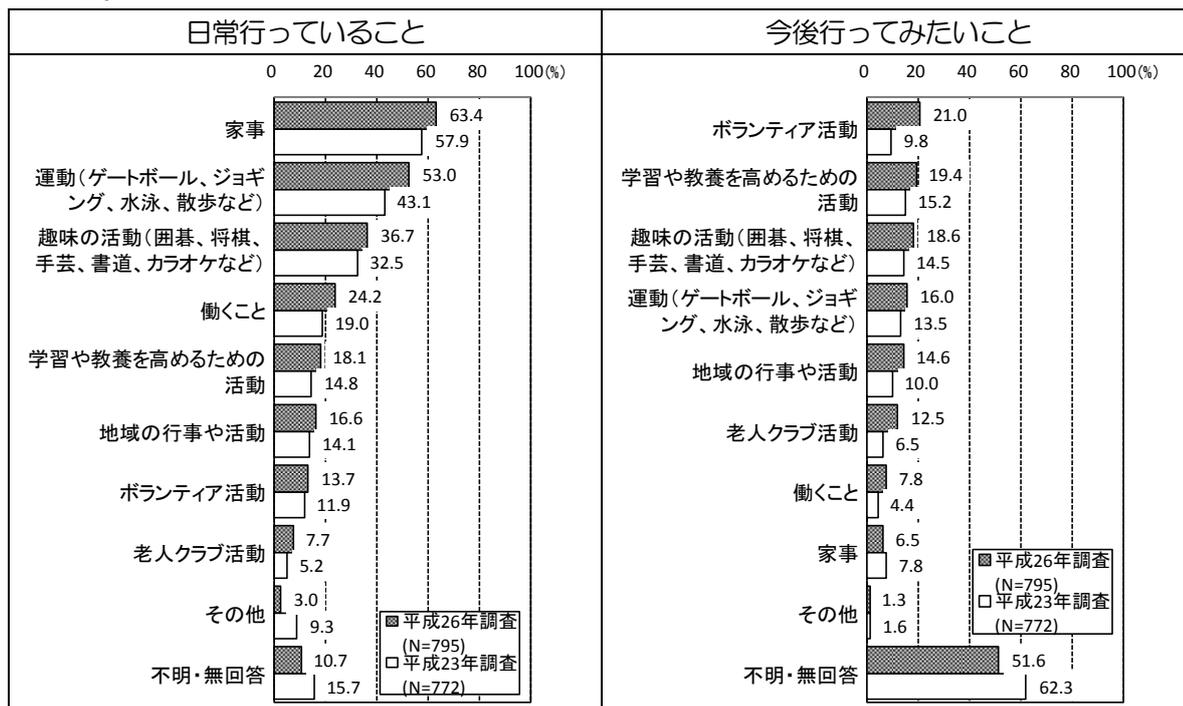
問4 (1) 日常行っていること、今後行ってみたいこと (複数回答)

日常行っていることは、「家事」が63.4%で最も多く、次いで「運動 (ゲートボール、ジョギング、水泳、散歩など)」が53.0%、「趣味の活動 (囲碁、将棋、手芸、書道、カラオケなど)」が36.7%などとなっている。

前回調査との比較では、「運動 (ゲートボール、ジョギング、水泳、散歩など)」が約10ポイント高い。

今後行ってみたいことは、不明・無回答が51.6%と多い。選択されているものでは、「ボランティア活動」が21.0%で最も多く、次いで「学習や教養を高めるための活動」が19.4%、「趣味の活動 (囲碁、将棋、手芸、書道、カラオケなど)」が18.6%などとなっている。

前回調査との比較では、「ボランティア活動」が約11ポイント高い。不明・無回答は約11ポイント減少している。



【性別】

日常行っていることは、性別にみると、女性は「家事」が87.6%で男性より約49ポイント高い。男性は「運動（ゲートボール、ジョギング、水泳、散歩など）」が56.8%で女性より約7ポイント高い。

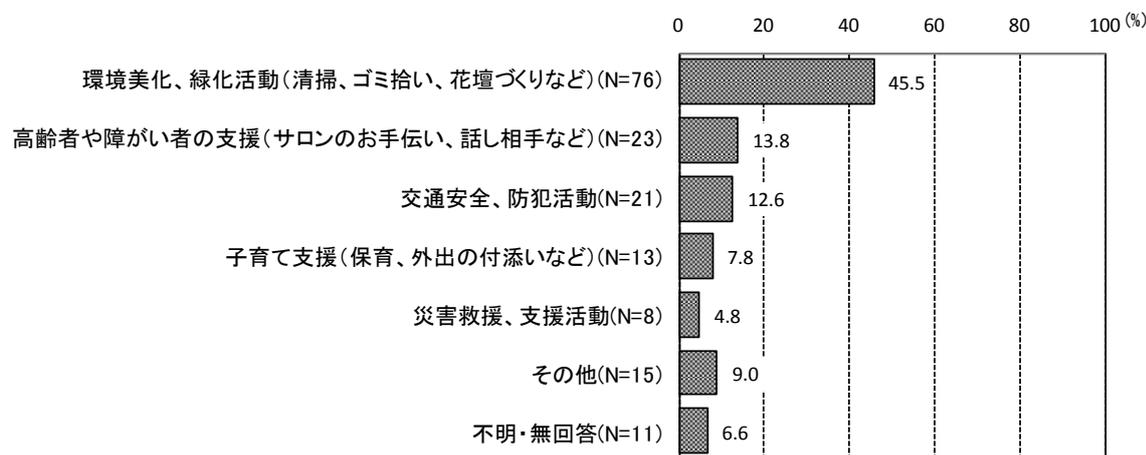
	家事	運動 (ゲート ボール、 ジョギ ング、水 泳、散 歩など)	趣味の 活動 (囲 碁、将 手棋、 書道、 カラオ ケなど)	働くこ と	学習や 教養を 高める ための 活動	地域の 行事や 活動	ボラン ティア 活動	老人ク ラブ活 動	その他	不明・ 無回答
男性(N=384)	38.3	56.8	32.8	32.3	15.9	14.3	12.0	7.0	3.1	13.3
女性(N=404)	87.6	49.8	40.8	16.6	20.0	18.6	15.1	8.2	3.0	7.7

今後行ってみたいことは、性別にみると、男性は「ボランティア活動」が25.8%で、女性より約9ポイント高い。

	ボラン ティア 活動	学習や 教養を 高める ための 活動	趣味の 活動 (囲 碁、将 手棋、 書道、 カラオ ケなど)	運動 (ゲート ボール、 ジョギ ング、水 泳、散 歩など)	地域の 行事や 活動	老人ク ラブ活 動	働くこ と	家事	その他	不明・ 無回答
男性(N=384)	25.8	21.1	18.8	16.1	15.9	12.8	8.3	10.7	1.3	45.8
女性(N=404)	16.6	17.6	18.3	15.8	13.6	12.4	7.2	2.7	1.2	56.9

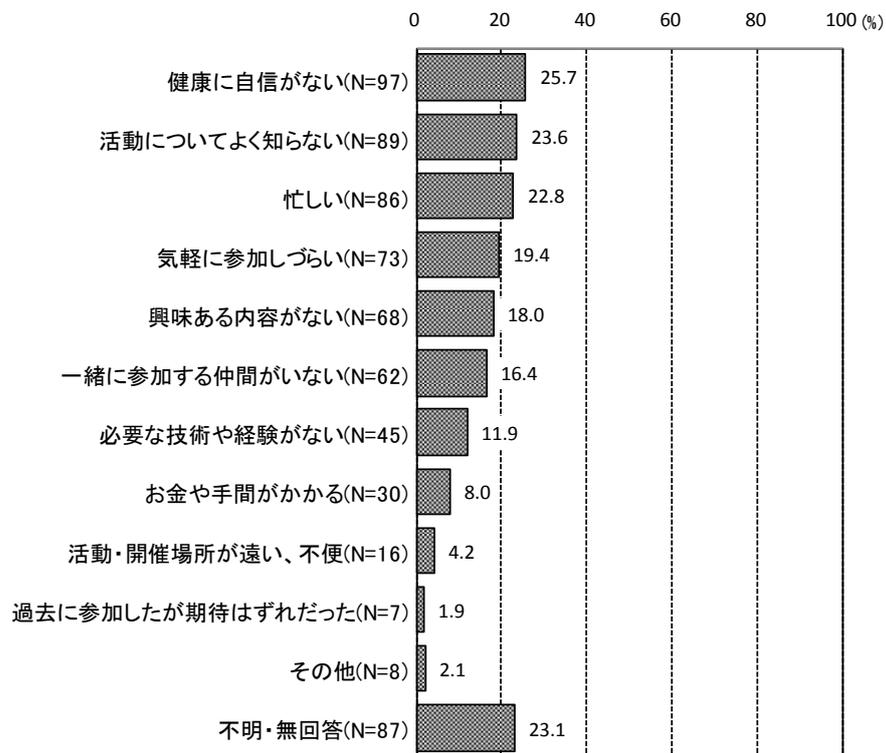
問4（2） 今後、行ってみたいボランティア活動

今後、行ってみたい活動でボランティア活動を選んだ方の活動内容は、「環境美化、緑化活動（清掃、ゴミ拾い、花壇づくりなど）」が45.5%で最も多く、次いで「高齢者や障がい者の支援（サロンのお手伝い、話し相手など）」が13.8%、「交通安全、防犯活動」が12.6%などとなっている。



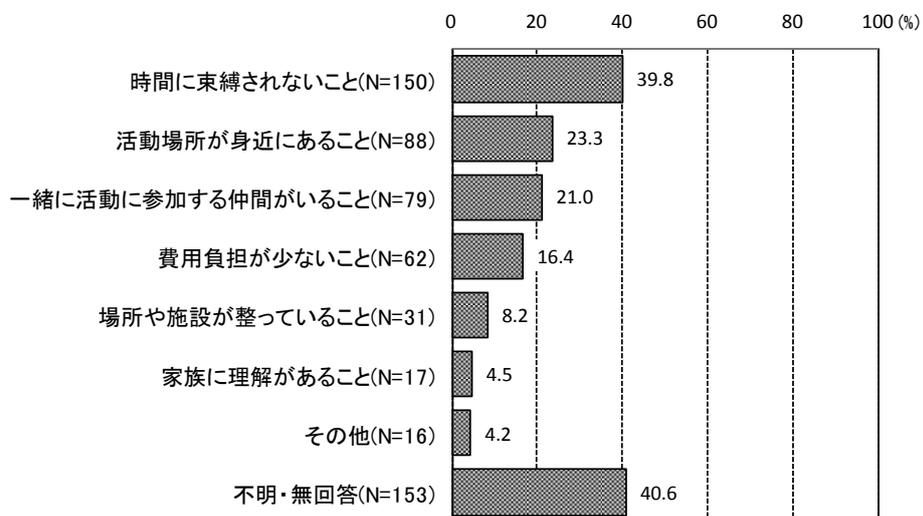
問4（3） 問4（1）で⑥～⑧の活動を選ばなかった理由（複数回答）

問4（1）で⑥～⑧の活動を選ばなかった方で選択しなかった理由は、「健康に自信がない」が25.7%で最も多く、次いで「活動についてよく知らない」が23.6%、「忙しい」が22.8%などとなっている。



問4（4） 問4（1）で⑥～⑧の活動に参加するための条件（複数回答）

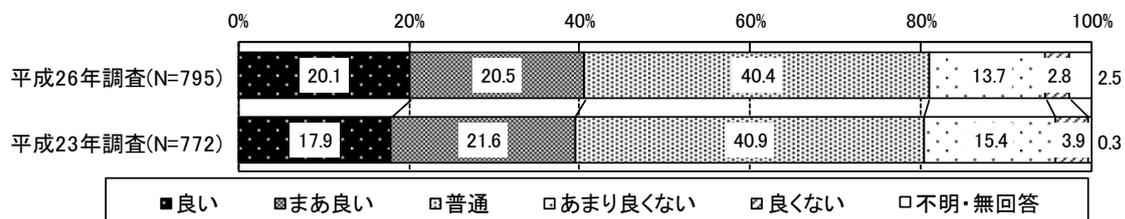
問4（1）で⑥～⑧の活動を選ばなかった方で参加するための条件は、「時間に束縛されないこと」が39.8%で最も多く、次いで「活動場所が身近にあること」が23.3%、「一緒に活動に参加する仲間がいること」が21.0%などとなっている。



問5（1） 健康状態

健康状態は、「普通」が40.4%で最も多く、「良い」(20.1%)と「まあ良い」(20.5%)を合わせた良好な人の割合は40.6%である。一方、「良くない」(2.8%)と「あまり良くない」(13.7%)を合わせた割合は16.5%となっている。

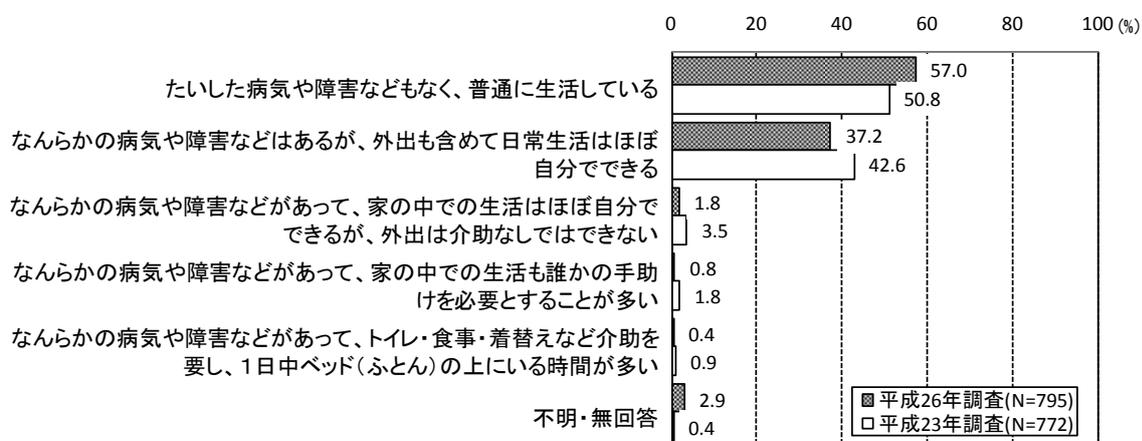
前回調査との比較では、「良くない」と「あまり良くない」を合わせた割合が約3ポイント減っている。



問5（2） 日常生活の活動状態

日常生活の活動状態は、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」が57.0%で最も多く、次いで「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる」が37.2%、「なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない」が1.8%などとなっている。「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる」を合わせた日常生活ではほぼ支障のなく生活できている人は、9割を超えている。

前回調査との比較では、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」が約6ポイント増えている。



【家族構成別】

家族構成別にみると、「なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない」の割合は同居者が増えるほど、高くなる傾向がある。

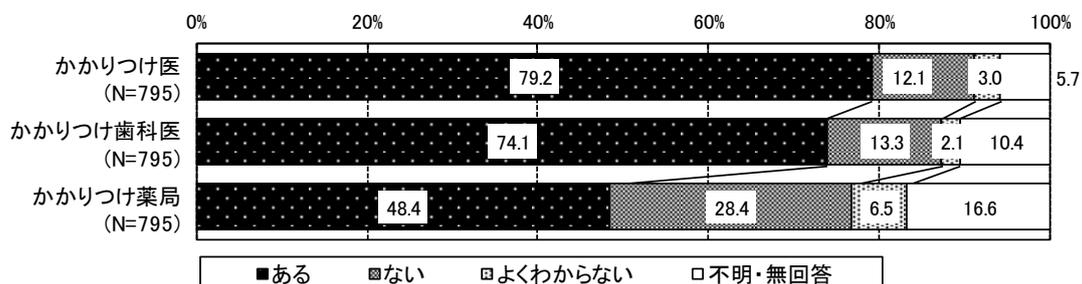
	たいした病気や障害がなく、普通に生活している	なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる	なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない	なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い	なんらかの病気や障害などがあって、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド(ふとん)の上にいる時間が多い	不明・無回答
一人暮らし(N=163)	52.8	41.1	0.6	0.6	-	4.9
あなたと配偶者のみ(N=348)	61.2	34.2	2.0	0.9	-	1.7
二世帯家族(子どもと同居など)(N=221)	55.7	37.1	2.3	0.9	0.9	3.2
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=36)	47.2	50.0	2.8	-	-	-
その他(N=16)	50.0	37.5	-	-	6.3	6.3

問6 ①～③ かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無

かかりつけ医が「ある」は79.2%、「ない」は12.1%となっている。

かかりつけ歯科医が「ある」は74.1%、「ない」は13.3%となっている。

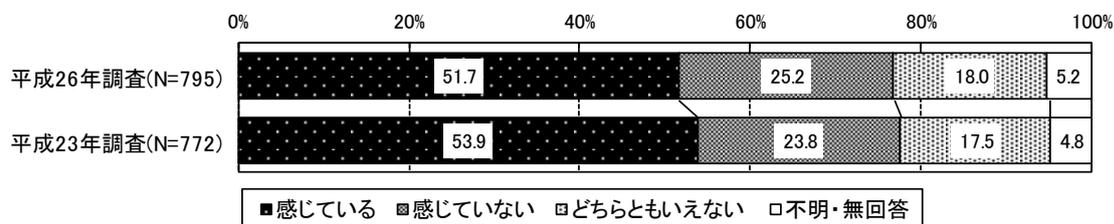
かかりつけ薬局が「ある」は48.4%、「ない」は28.4%となっている。



問7 (1) 日常生活の心配事、不安の有無

日常生活で不安を感じている人は、全体の51.7%である。

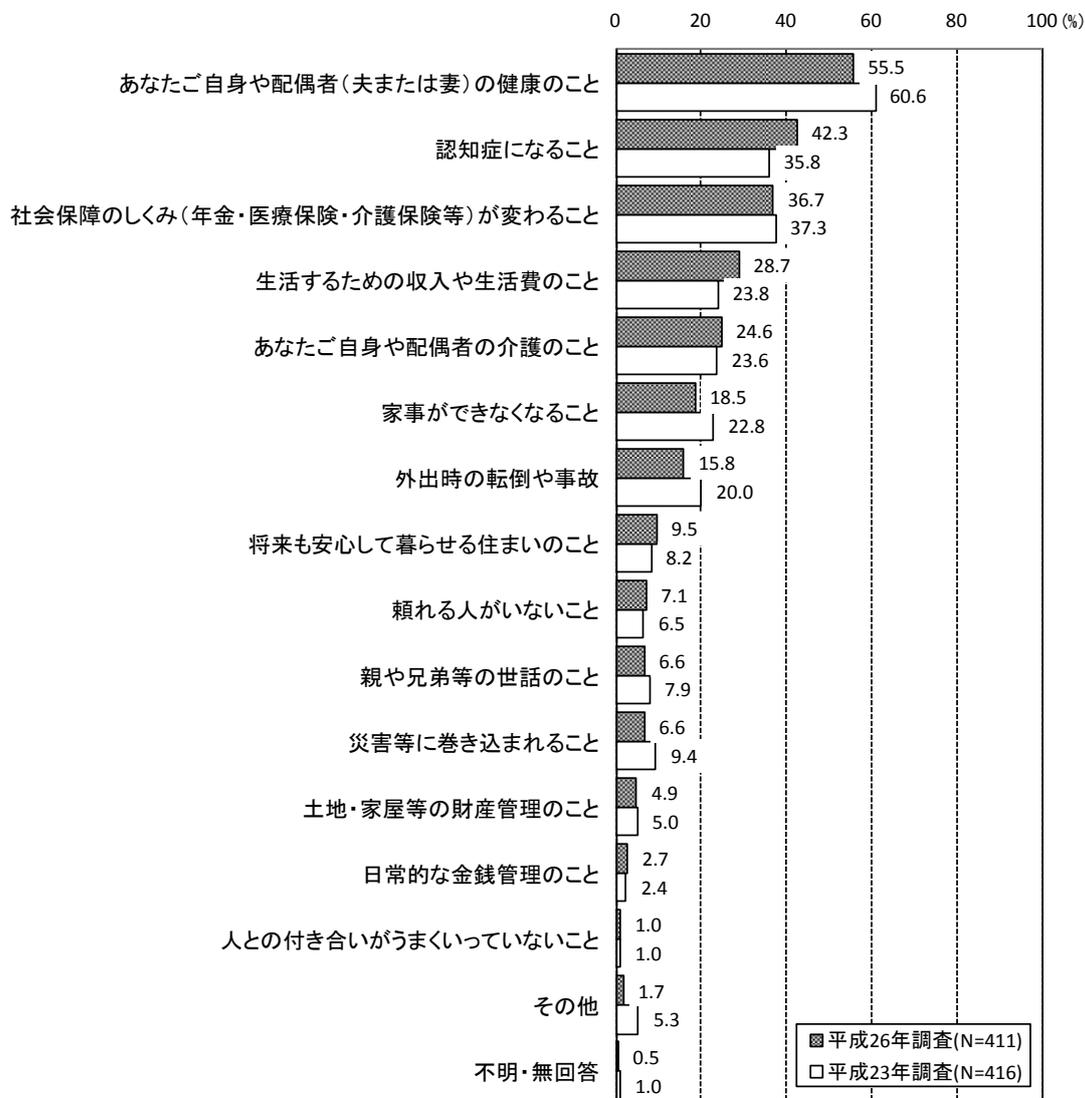
前回調査と比較すると心配事や不安を「感じている」割合は 約2ポイント減少している。



問7（2） 日常生活の心配事、不安の種類（複数回答3）

日常生活の心配事や不安の種類は、「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」が55.5%で最も多く、次いで「認知症になること」が42.3%、「社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること」が36.7%などとなっている。

前回調査との比較では、「認知症になること」が約7ポイント増えている。



【性別】

性別にみると、男性では「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」が70.4%で女性より約27ポイント高い。女性では、「家事ができなくなること」（25.7%）、「外出時の転倒や事故」（22.5%）がともに男性より、約16ポイント高い。

	あなたご自身や配偶者(夫または妻)の健康のこと	認知症になること	社会保障のしくみ(年金・医療保険・介護保険等)が変わること	生活するための収入や生活費のこと	あなたご自身や配偶者の介護のこと	家事ができなくなること	外出時の転倒や事故	将来も安心して暮らせる住まいのこと
男性(N=186)	70.4	37.1	38.2	29.6	27.4	10.2	7.0	11.8
女性(N=222)	43.2	46.4	36.0	28.4	22.5	25.7	22.5	7.7

	頼れる人がいないこと	親や兄弟等の世話のこと	災害等に巻き込まれること	土地・家屋等の財産管理のこと	日常的な金銭管理のこと	人との付き合いがうまくいっていないこと	その他	不明・無回答
男性(N=186)	5.4	7.0	3.8	4.3	2.7	0.5	1.6	-
女性(N=222)	8.1	6.3	8.6	5.4	2.7	1.4	1.8	0.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、「あなたと配偶者のみ」では、「あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと」が73.6%で他に比べ高い。「一人暮らし」では、「認知症になること」が52.2%で他に比べて高い。「二世帯家族（子どもと同居など）」では、「社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること」が46.9%で他に比べて高い。

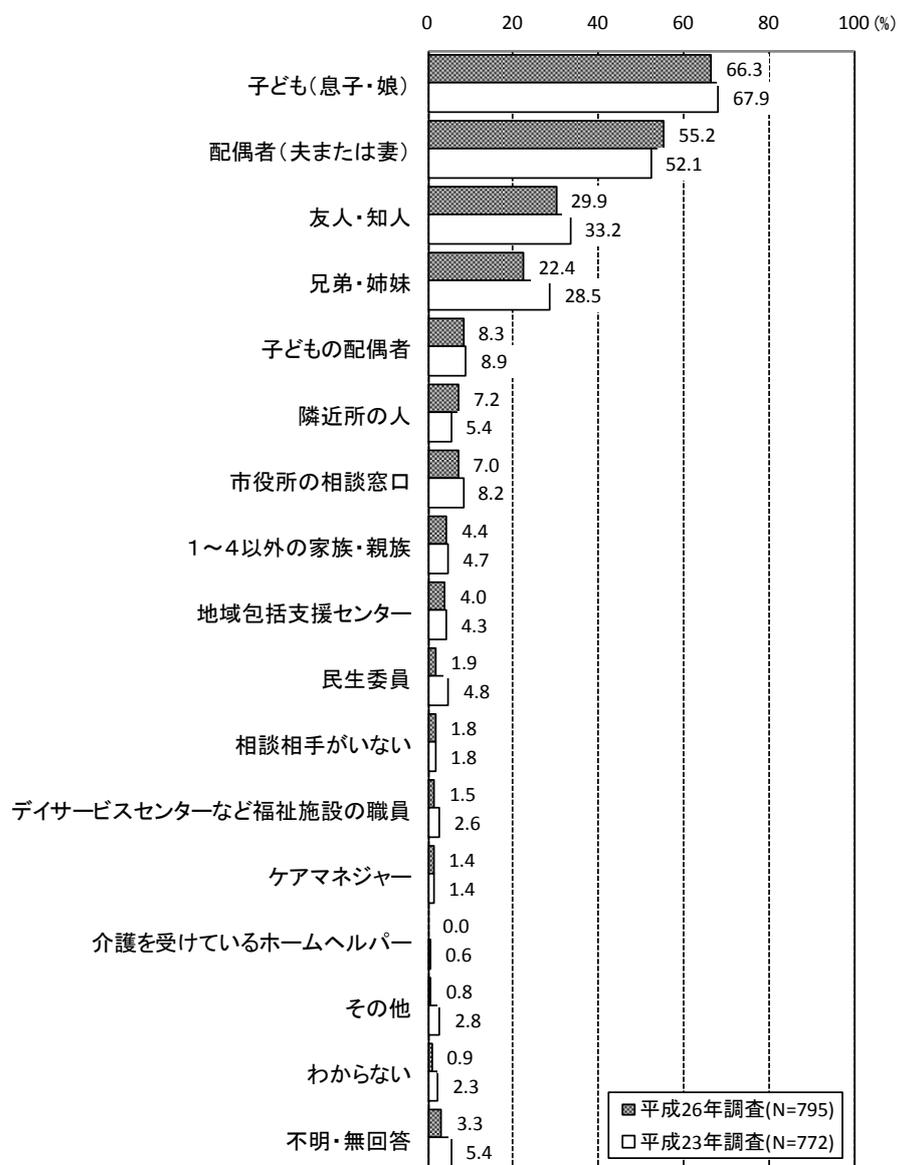
	あなたご自身や配偶者(夫または妻)の健康のこと	認知症になること	社会保障のしくみ(年金・医療保険・介護保険等)が変わること	生活するための収入や生活費のこと	あなたご自身や配偶者の介護のこと	家事ができなくなること	外出時の転倒や事故	将来も安心して暮らせる住まいのこと
一人暮らし(N=90)	21.1	52.2	27.8	21.1	13.3	43.3	20.0	13.3
あなたと配偶者のみ(N=178)	73.6	41.6	36.0	28.7	34.8	8.4	9.6	9.0
二世帯家族(子どもと同居など)(N=113)	56.6	33.6	46.9	31.0	17.7	15.9	19.5	8.0
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=14)	50.0	35.7	21.4	42.9	28.6	14.3	21.4	14.3
その他(N=9)	44.4	55.6	55.6	44.4	22.2	11.1	33.3	-

	頼れる人がいないこと	親や兄弟等の世話のこと	災害等に巻き込まれること	土地・家屋等の財産管理のこと	日常的な金銭管理のこと	人との付き合いがうまくいっていないこと	その他	不明・無回答
一人暮らし(N=90)	15.6	2.2	6.7	6.7	4.4	2.2	3.3	1.1
あなたと配偶者のみ(N=178)	4.5	4.5	7.9	2.2	2.2	0.6	1.1	-
二世帯家族(子どもと同居など)(N=113)	5.3	12.4	5.3	8.0	2.7	0.9	-	-
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=14)	-	7.1	-	7.1	-	-	7.1	7.1
その他(N=9)	-	22.2	-	-	-	-	11.1	-

問8 心配事・悩み事の相談先（複数回答）

心配事・悩み事の相談先としては、「子ども（息子・娘）」が66.3%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が55.2%、「友人・知人」が29.9%などとなっている。

前回調査との比較では、大きな変化はないが、「兄弟・姉妹」が約6ポイント減っている。



【性別】

性別にみると、男性では「配偶者（夫または妻）」が76.3%で、女性よりも約40ポイント高い。女性では「子ども（息子・娘）」が73.5%で、男性よりも約15ポイント高い。また、女性では「友人・知人」（37.4%）、「兄弟・姉妹」（27.7%）が男性よりも10ポイント以上高くなっている。

	子ども (息子・娘)	配偶者 (夫または妻)	友人・ 知人	兄弟・ 姉妹	子ども の配偶 者	隣近所 の人	市役所 の相談 窓口	1～4 以外の 家族・ 親族	地域包 括支援 センタ ー
男性(N=384)	58.9	76.3	22.4	16.9	8.1	4.2	6.8	2.6	4.2
女性(N=404)	73.5	36.1	37.4	27.7	8.7	9.7	7.4	5.7	3.7

	民生委 員	相談相 手がい ない	デイサ ービス センタ ーなど 福祉施 設の職 員	ケアマ ネジャ ー	介護を 受けて いるホ ームヘ ルパー	その他	わから ない	不明・ 無回答
男性(N=384)	2.3	1.3	1.6	1.8	-	0.5	1.0	2.6
女性(N=404)	1.2	2.2	1.5	1.0	-	1.0	0.7	3.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、「三世帯家族（子ども、孫と同居）」では「子ども（息子・娘）」が86.1%で他の層に比べて割合が高い。「あなたと配偶者のみ」では、「配偶者（夫または妻）」が86.5%で他の層に比べて割合が高い。また、「三世帯家族（子ども、孫と同居）」では、「子どもの配偶者」が19.4%で他の層に比べて高くなっている。

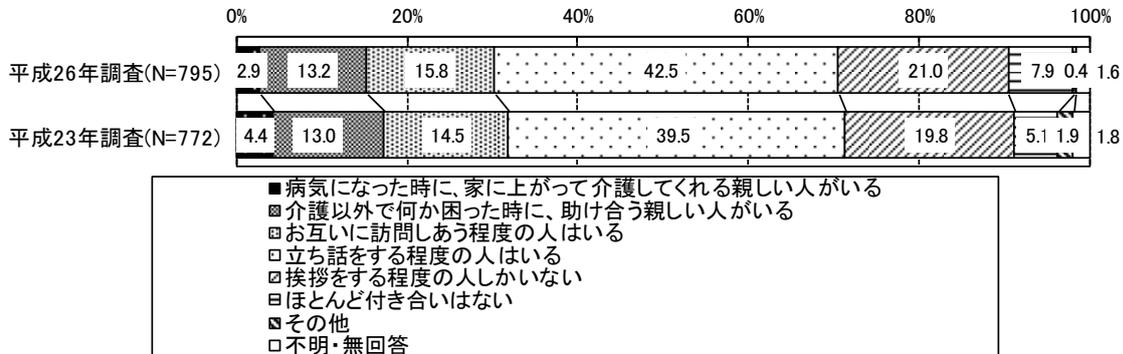
	子ども (息子・娘)	配偶者 (夫または妻)	友人・ 知人	兄弟・ 姉妹	子ども の配偶 者	隣近所 の人	市役所 の相談 窓口	1～4 以外の 家族・ 親族	地域包 括支援 センタ ー
一人暮らし(N=163)	68.7	1.2	38.7	23.9	8.6	12.3	8.0	8.6	4.3
あなたと配偶者のみ (N=348)	62.6	86.5	28.2	22.1	8.0	5.7	7.5	2.0	4.0
二世帯家族(子どもと 同居など)(N=221)	71.0	52.0	24.4	21.7	7.7	6.3	5.9	4.1	3.2
三世帯家族(子ども、 孫と同居)(N=36)	86.1	55.6	30.6	16.7	19.4	-	5.6	5.6	2.8
その他(N=16)	18.8	6.3	56.3	37.5	-	6.3	6.3	-	12.5

	民生委 員	相談相 手がい ない	デイサ ービス センタ ーなど 福祉施 設の職 員	ケアマ ネジャ ー	介護を 受けて いるホ ームヘ ルパー	その他	わから ない	不明・ 無回答
一人暮らし(N=163)	3.1	4.3	0.6	1.2	-	1.2	2.5	4.9
あなたと配偶者のみ (N=348)	2.0	1.1	2.0	2.0	-	-	-	2.9
二世帯家族(子どもと 同居など)(N=221)	0.5	0.5	1.4	0.9	-	0.9	0.9	3.2
三世帯家族(子ども、 孫と同居)(N=36)	-	-	-	-	-	2.8	-	2.8
その他(N=16)	6.3	12.5	6.3	-	-	6.3	6.3	-

問9 近所との関係

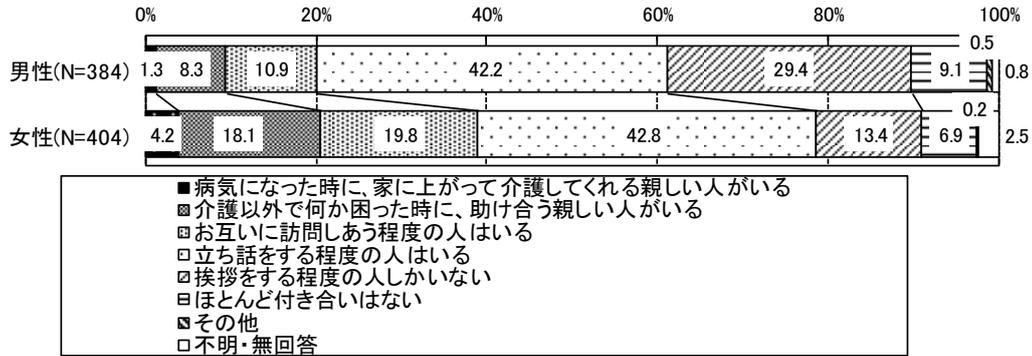
近所との関係は、「立ち話をする程度の人はいる」が42.5%で最も多く、次いで「挨拶をする程度の人しかいない」が21.0%、「お互いに訪問しあう程度の人はいる」が15.8%などとなっている。

前回調査と比較すると、大きな差はない。



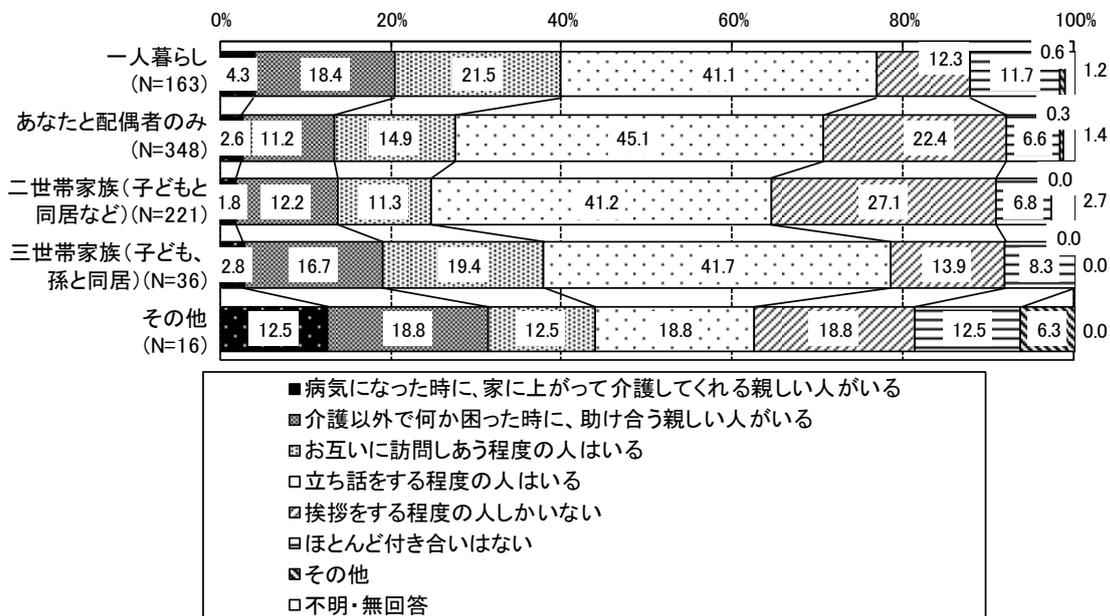
【性別】

性別にみると、男性は「挨拶をする程度の人しかいない」が29.4%で女性よりも16ポイント高い。女性は「介護以外で何か困った時に、助け合う親しい人がいる」が18.1%で男性よりも約10ポイント高い。



【家族構成別】

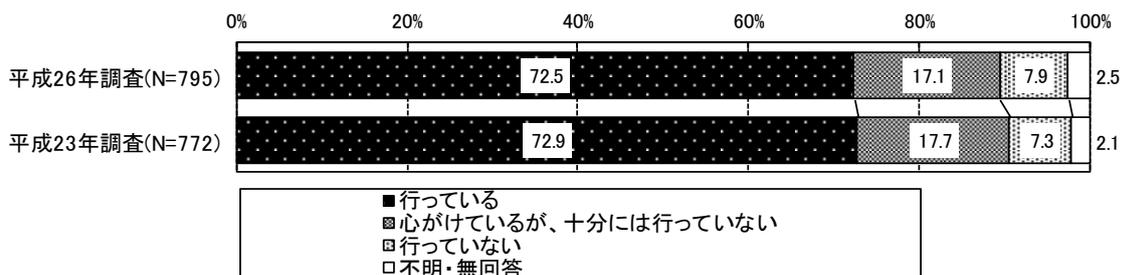
家族構成別にみると、「一人暮らし」では、「介護以外で何か困った時に、助け合う親しい人がいる」「介護以外で何か困った時に、助け合う親しい人がいる」を合わせた親しい人のいる割合が2割を超えている。「あなたと配偶者のみ」「二世帯家族（子どもと同居など）」では、「挨拶をする程度の人しかいない」がそれぞれ22.4%、27.1%と他の層に比して高くなっている。



問 10 (1) 身の回りのことを自分でしているか

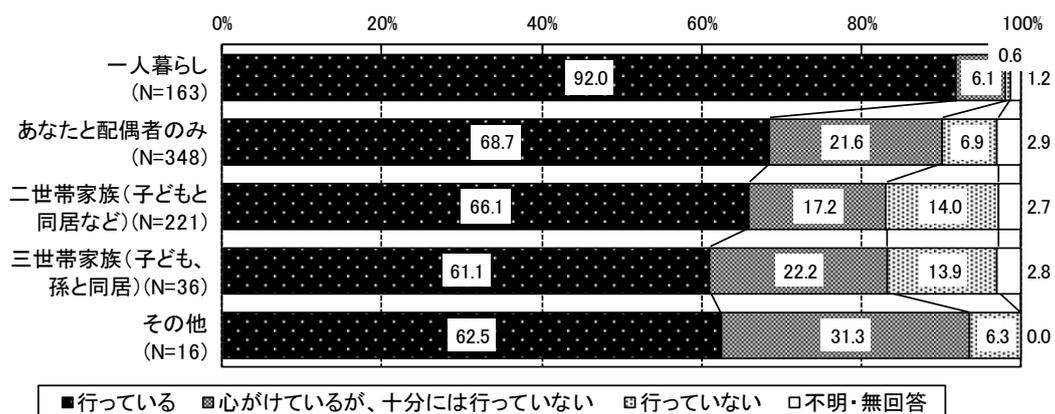
身の回りのことを自分でしているかについては、「行っている」が72.5%で最も多く、次いで「心がけているが、十分には行っていない」が17.1%、「行っていない」が7.9%となっている。

前回調査との比較をみると、ほとんど変化はない。



【家族構成別】

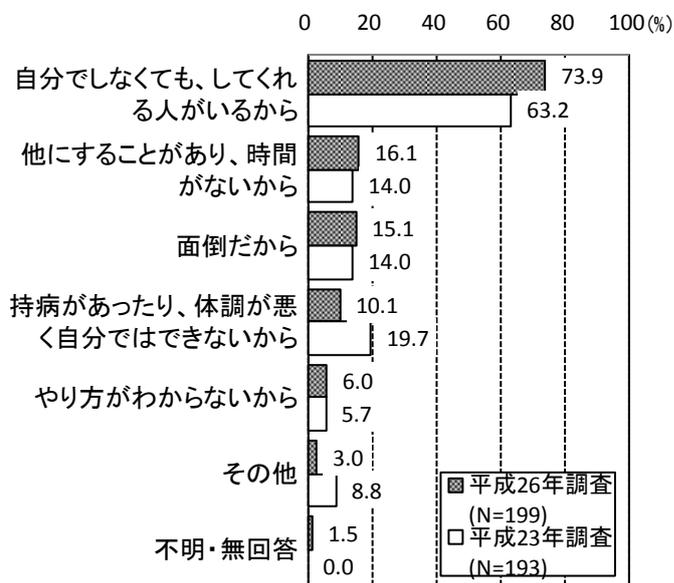
家族構成別にみると、「一人暮らし」では、「行っている」が92.0%他の層と比べて高い。



問 10 (2) 身の回りのことを自分でしていない理由（複数回答）

身の回りのことを自分でしているかについては、「自分でしなくても、してくれる人がいるから」が73.9%で最も多く、次いで「他にすることがあり、時間がないから」が16.1%、「面倒だから」が15.1%などとなっている。

前回調査と比較すると「自分でしなくても、してくれる人がいるから」が約10ポイント増えている。また、「持病があったり、体調が悪く自分ではできないから」が約10ポイント減っている。



【家族構成別】

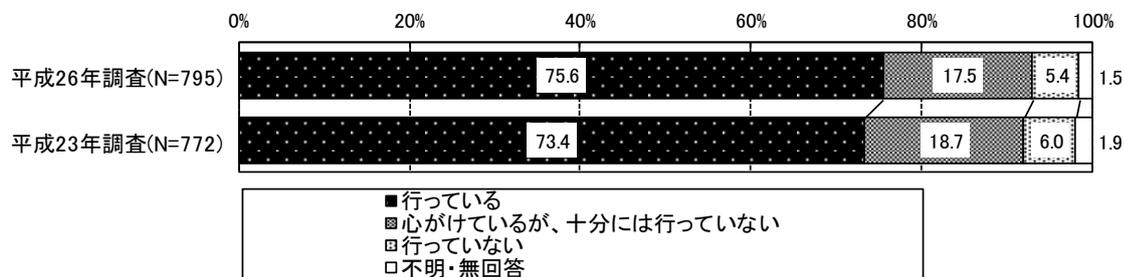
家族構成別にみると、「自分でしなくても、してくれる人がいるから」は同居人数が増えるほど、割合が高くなる傾向が見られる。「一人暮らし」では、「面倒だから」が54.5%で他の層に比して高くなっている。

	自分でしなくても、してくれる人がいるから	他にすることがあり、時間がないから	面倒だから	持病があったり、体調が悪く自分ではできないから	やり方がわからないから	その他	不明・無回答
一人暮らし(N=11)	-	18.2	54.5	18.2	-	9.1	-
あなたと配偶者のみ(N=99)	76.8	15.2	16.2	8.1	7.1	2.0	2.0
二世帯家族(子どもと同居など)(N=69)	79.7	17.4	8.7	11.6	5.8	2.9	1.4
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=13)	84.6	7.7	-	7.7	-	-	-
その他(N=6)	66.7	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-

問 11 (1) 歩いたり体操をするなど体を動かすことをしているか

歩いたり体操をするなど体を動かすことをしているかについては、「行っている」が75.6%で最も多く、次いで「心がけているが、十分には行っていない」が17.5%、「行っていない」が5.4%となっている。

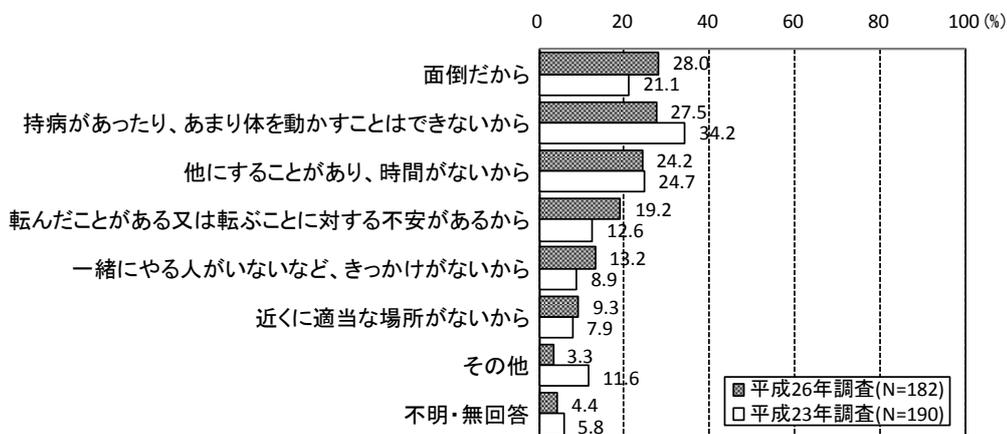
前回調査との比較では、歩いたり体操をするなど体を動かすことを「行ってる」割合が約2ポイント増加している。



問 11 (2) 歩いたり体操をするなど体を動かすことをしていない方の理由（複数回答）

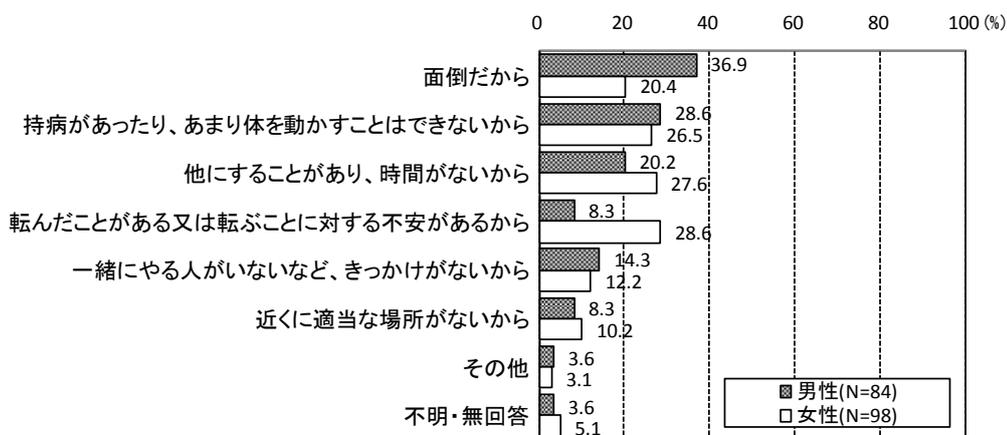
歩いたり体操をするなど体を動かすことをしていない方の理由については、「面倒だから」が28.0%で最も多く、次いで「持病があったり、あまり体を動かすことはできないから」が27.5%、「他にすることがあり、時間がないから」が24.2%などとなっている。

前回調査との比較では、「持病があったり、あまり体を動かすことはできないから」の割合が約7ポイント減少し、代わって「面倒だから」の割合が約7ポイント増加している。



【性別】

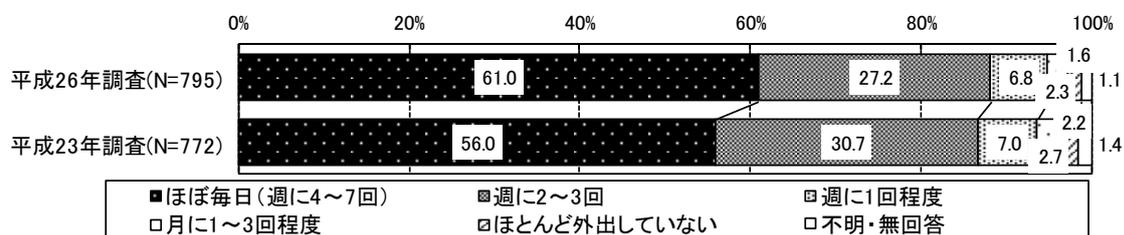
性別にみると、男性では「面倒だから」が36.9%で女性よりも約17ポイント高い。女性では「転んだことがある又は転ぶことに対する不安があるから」が28.6%で男性より約20ポイント高くなっている。



問 12 (1) 外出の頻度

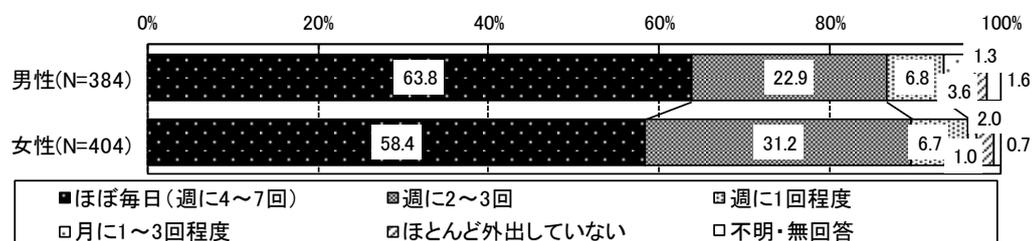
外出の頻度は、「ほぼ毎日（週に4～7回）」が61.0%で最も多く、次いで「週に2～3回」が27.2%、「週に1回程度」が6.8%などとなっている。

前回調査と比較すると、「ほぼ毎日（週に4～7回）」が約5ポイント増えている。



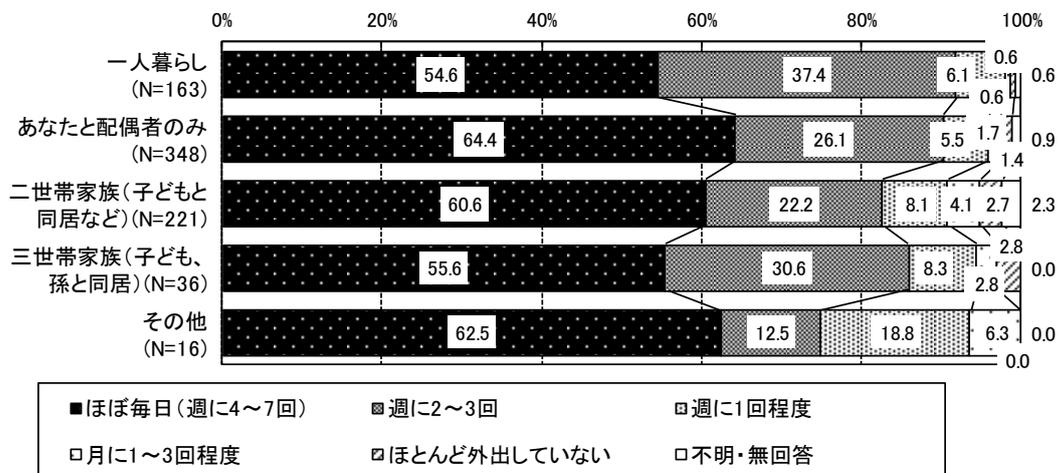
【性別】

性別にみると、女性は「週に2～3回」が31.2%で男性よりも約8ポイント高い。



【家族 構成別】

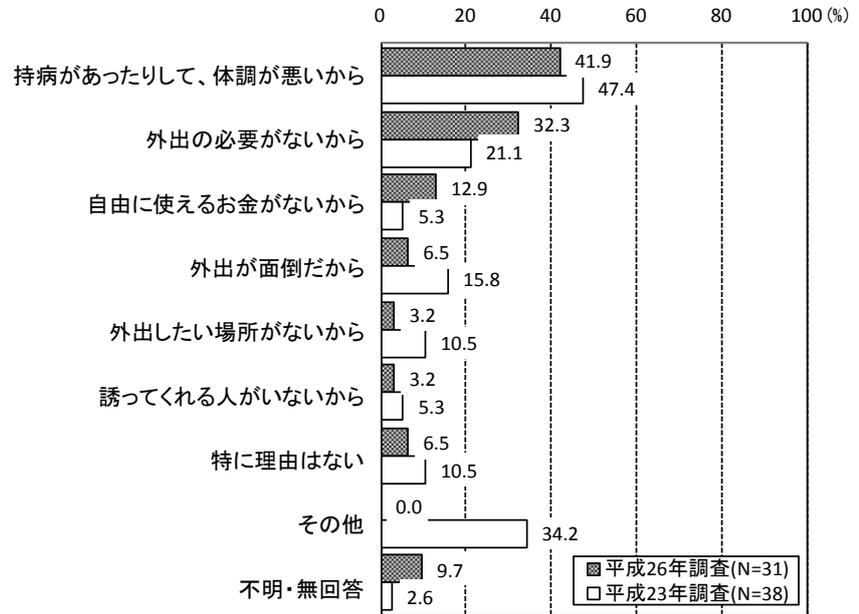
家族構成別にみると、「ほぼ毎日（週に4～7回）」が最も多い。「あなたと配偶者」（64.4%）と最も少ない「一人暮らし」（54.6%）では、その差が約10ポイントある。



問 12 (2) 外出しない理由 (複数回答)

「月に1～3回程度」と「ほとんど外出していない」と答えた人の外出しない理由は、「持病があったりして、体調が悪いから」が41.9%で最も多く、次いで「外出の必要がないから」が32.3%、「自由に使えるお金がないから」が12.9%などとなっている。

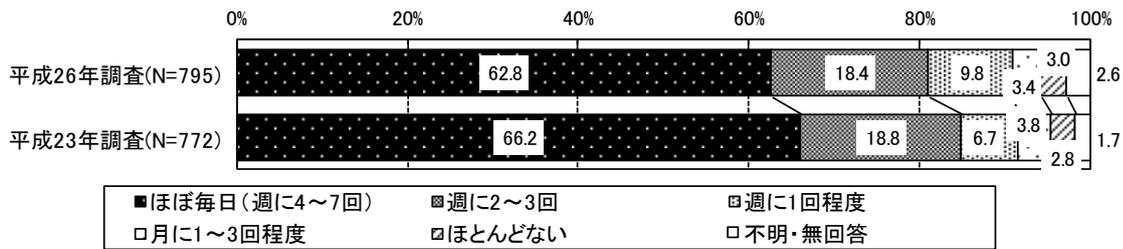
前回調査と比較すると「外出の必要がないから」が約11ポイント高くなっている。



問 13 (1) 会話の頻度

隣人との会話の頻度は、「ほぼ毎日(週に4～7回)」が62.8%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.4%、「週に1回程度」が9.8%などとなっている。

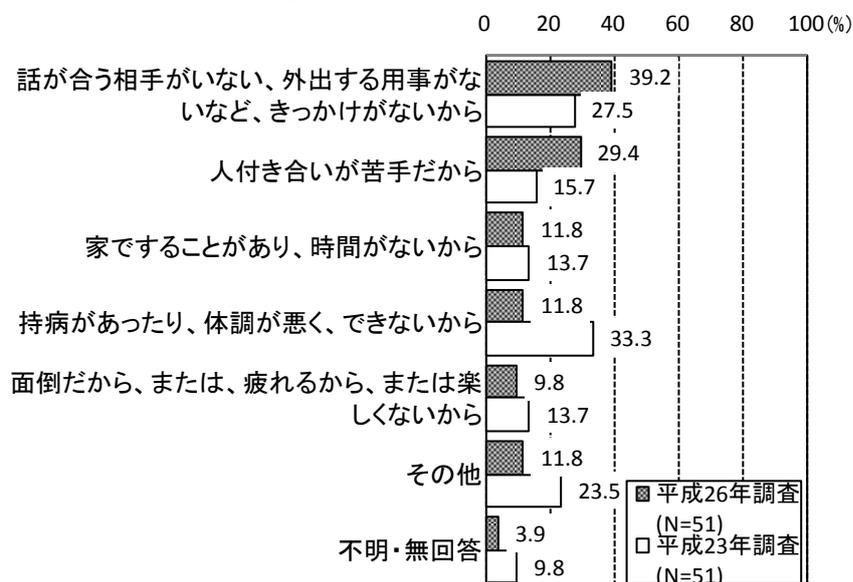
前回調査と比較すると同様の傾向である。



問 13 (2) 会話がしない理由 (複数回答)

「月に1～3回程度」と「ほとんどない」と答えた人の会話のない理由は、「話が合う相手がいない、外出する用事がないなど、きっかけがないから」が39.2%で最も多く、次いで「人付き合いが苦手だから」が29.4%、「家ですることがあり、時間がないから」が11.8%などとなっている。

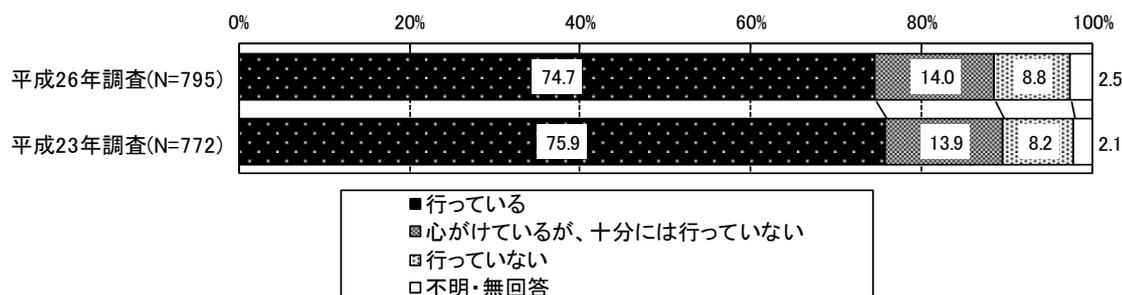
前回調査と比較すると「持病があったり、体調が悪く、できないから」は約 22 ポイント減少した。一方、「人付き合いが苦手だから」が約 14 ポイント増加している。



問 14 (1) 頭の老化防止のためにやっていること

頭の老化防止のためにやっていることがあるかについては、「行っている」が74.7%であり、「心がけているが、十分には行っていない」(14.0%)、「行っていない」(8.8%)を合わせた行っていない人の割合は22.8%となっている。

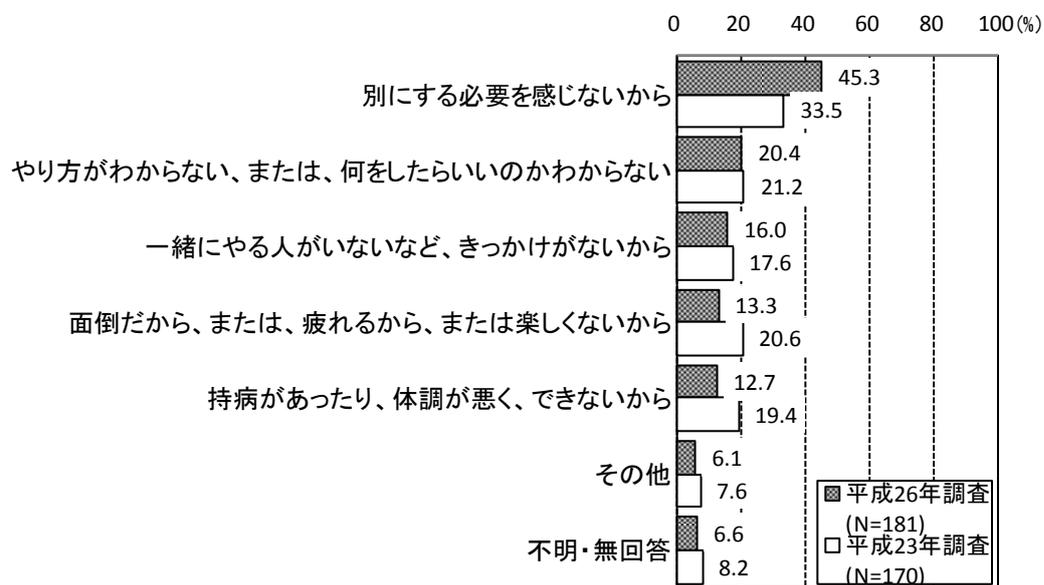
前回調査と比較すると同様の傾向である。



問 14 (2) 老化防止対策を何も行っていない理由 (複数回答)

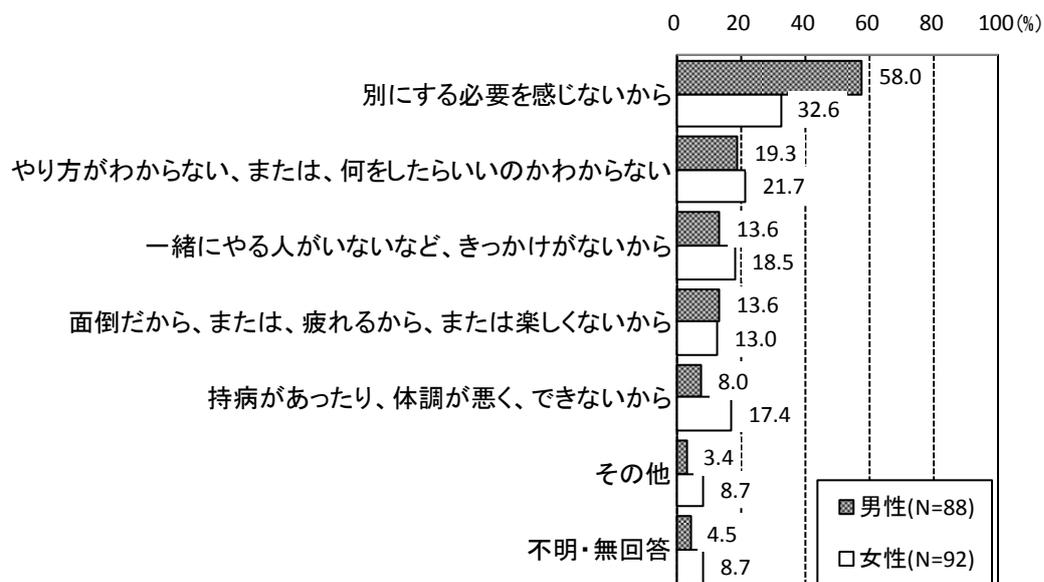
老化防止対策を何も行っていない理由は、「別にする必要を感じないから」が 45.3%で最も多く、次いで「やり方がわからない、または、何をしたらいいのかわからない」が 20.4%、「一緒にやる人がいないなど、きっかけがないから」が 16.0%などとなっている。

前回調査と比較すると「別にする必要を感じないから」が約 12 ポイント増加している。



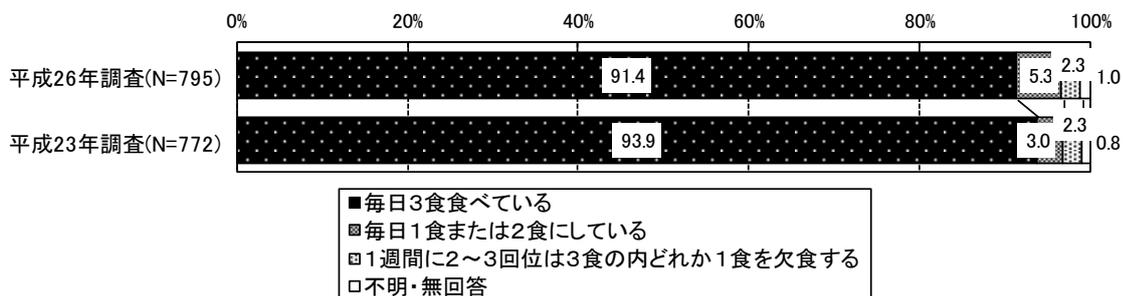
【性別】

性別にみると、男性では「別にする必要を感じないから」が58.0%で女性よりも約25ポイント高い。女性では「持病があったり、体調が悪く、できないから」が17.4%で男性よりも約9ポイント高くなっている。



問 15 (1) 3食きちんと食べているか

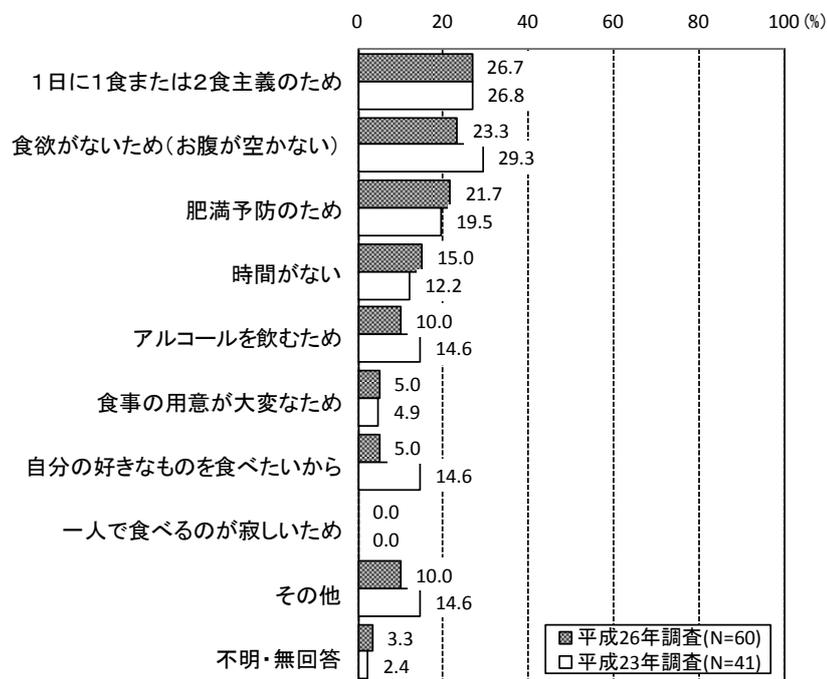
3食きちんと食べているかについては、「毎日3食食べている」が91.4%で最も多くなっている。



問 15 (2) 3食きちんと食べていない方の理由（複数回答）

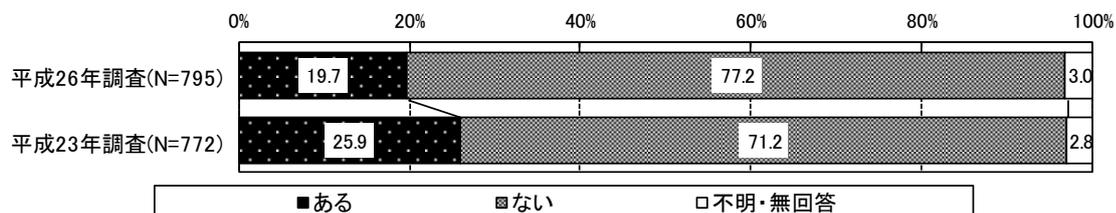
3食きちんと食べていない方の理由は、「1日に1食または2食主義のため」が26.7%で最も多く、次いで「食欲がないため（お腹が空かない）」が23.3%、「肥満予防のため」が21.7%などとなっている。

前回調査と比較すると、前回最も多かった「食欲がないため（お腹が空かない）」の割合が6ポイント減少している。



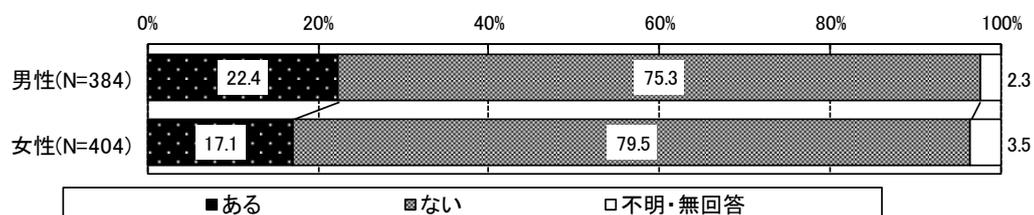
問 16 (1) □のことで困りごとの有無

□のことで困りごとの有無については、「ある」が19.7%、「ない」が77.2%である。
 前回調査と比較すると「ない」が6ポイント増えている。



【性別】

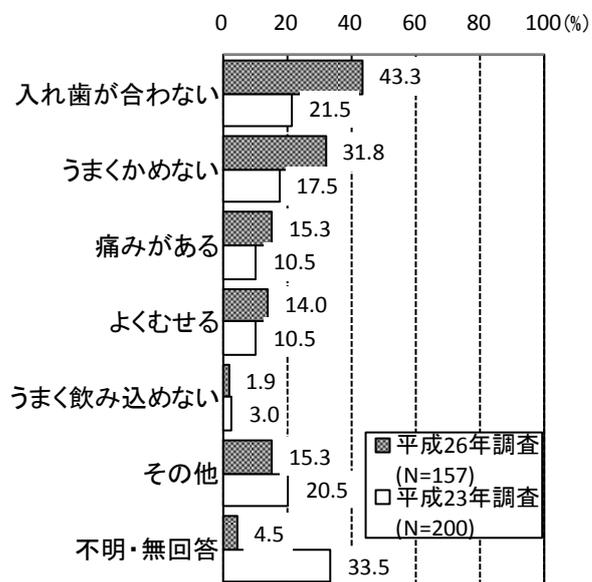
性別にみると、男性は「ある」が22.4%で女性よりも5ポイント高い。



問16(2) 口の困りごとの内容(複数回答)

問16(1)で「ある」と答えた方の、口の困りごとの内容は、「入れ歯が合わない」が43.3%で最も多く、次いで「うまくかめない」が31.8%、「痛みがある」が15.3%などとなっている。

前回調査と比較すると、「入れ歯が合わない」の割合が約22ポイント、「うまくかめない」の割合が約14ポイント高くなっている。

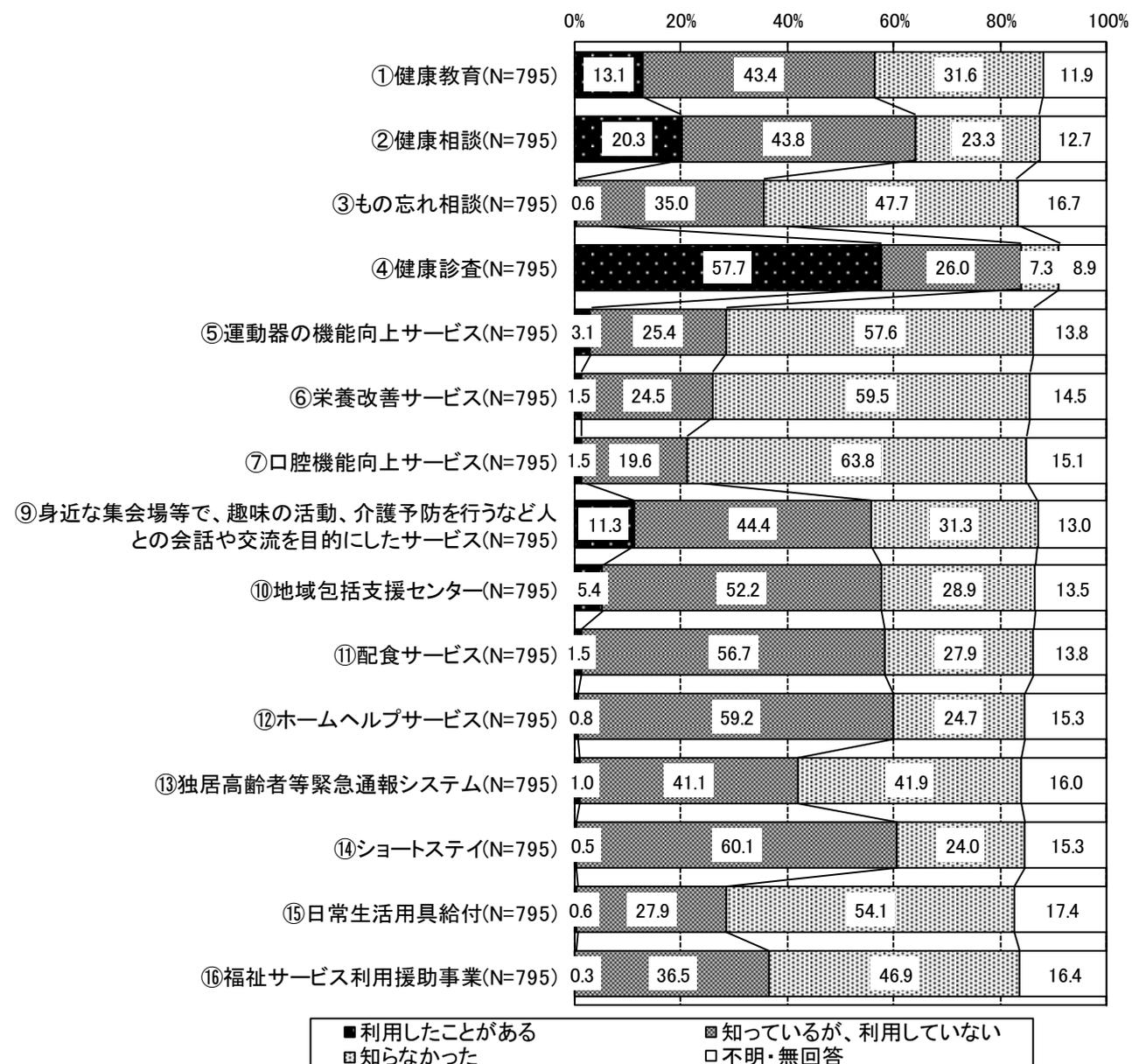


問 17 現在の利用状況・今後の利用希望

利用したことがあるサービスは、「④健康診査」が57.7%で最も多い。次いで「②健康相談」が20.3%、「①健康教育」が13.1%などとなっている。

知っているが、利用していないサービスは、「⑭ショートステイ」が60.1%、「⑫ホームヘルプサービス」59.2%、「⑪配食サービス」56.7%などとなっている。

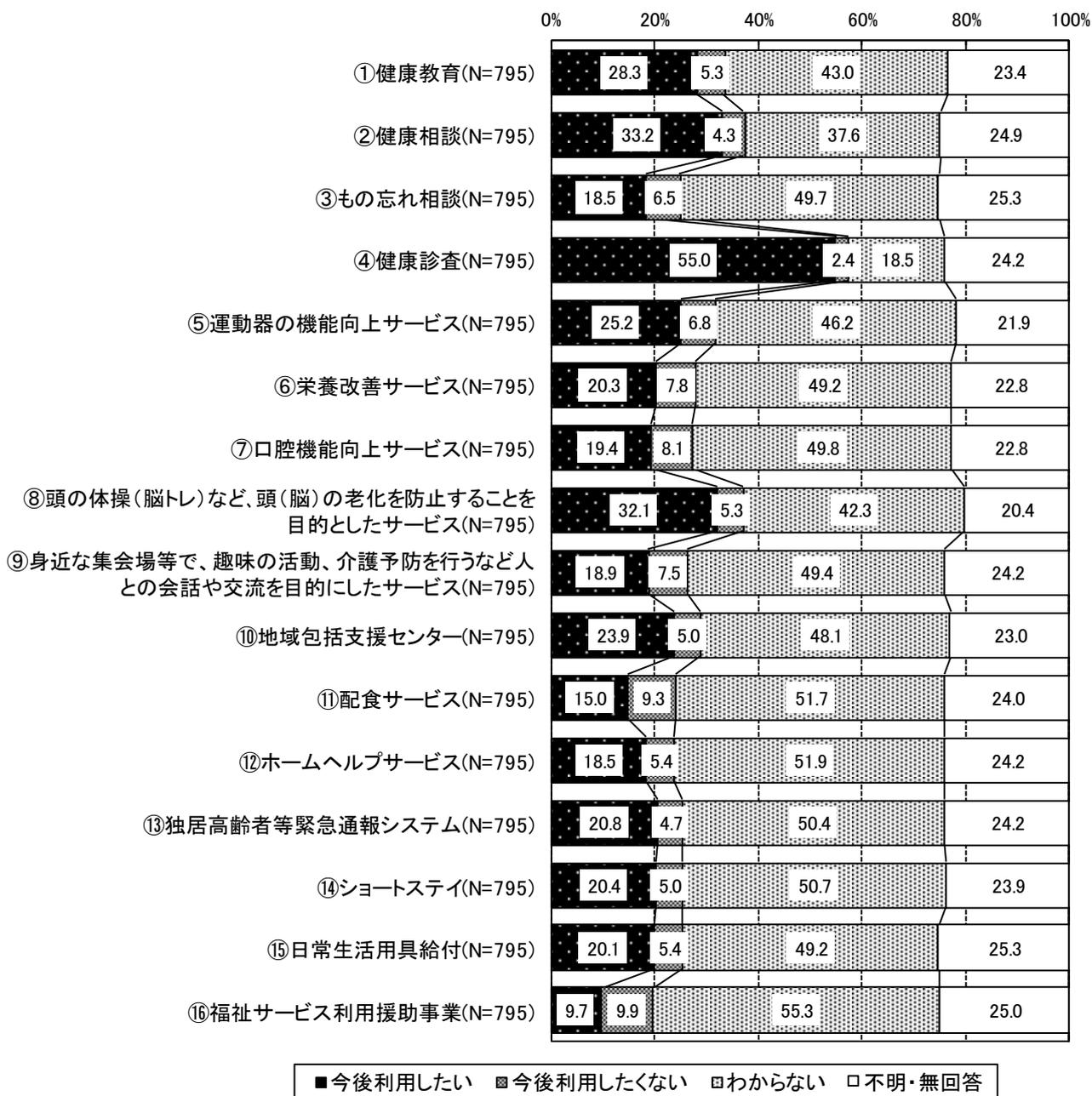
知らなかったサービスは、「⑦口腔機能向上サービス」63.8%、「⑥栄養改善サービス」59.5%、「⑤運動器の機能向上サービス」57.6%などとなっている。



【性別】

性別にみると、男性は女性と比べると「知らなかった」の割合が「④健康診査」と「⑫ホームヘルプサービス」以外は10ポイント以上高い。

今後利用したいサービスは「④健康診査」55.0%、「②健康相談」33.2%、「⑧頭の体操（脳トレ）など、頭（脳）の老化を防止することを目的としたサービス」32.1%の順に多い。

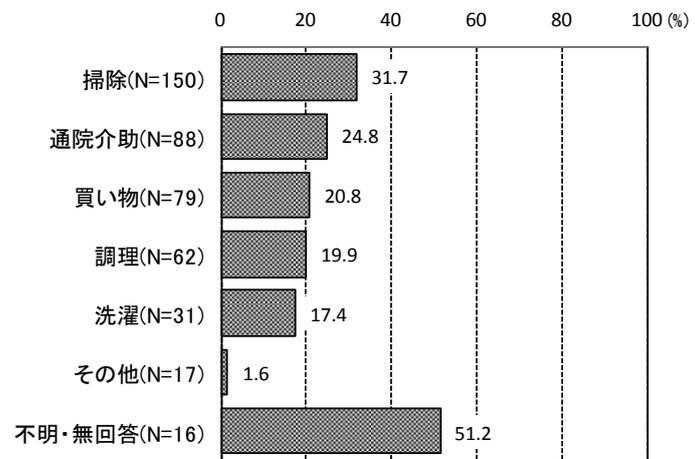


【性別】

性別にみると、男性は女性と比べると「わからない」の割合が「④健康診査」以外は10ポイント以上高い。

問 18 ホームヘルパーにより受けたいサービス（複数回答）

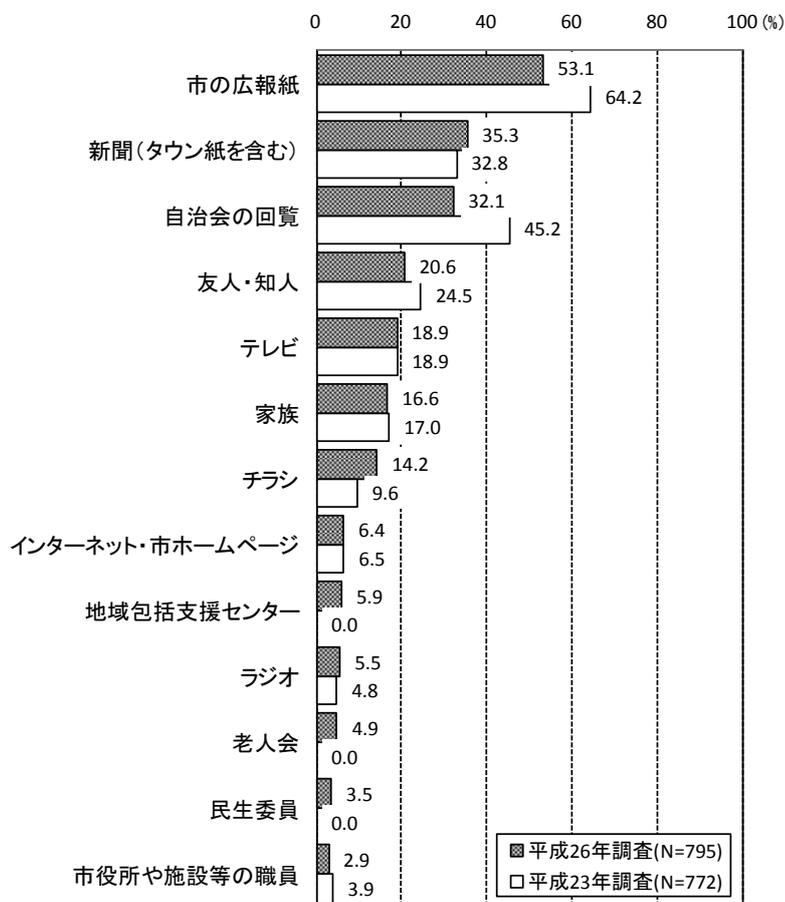
ホームヘルパーにより受けたいサービスは、「掃除」が31.7%で最も多く、次いで「通院介助」が24.8%、「買い物」が20.8%などとなっている。



問 19 高齢者向け催し物やサービスの情報の入手先（複数回答）

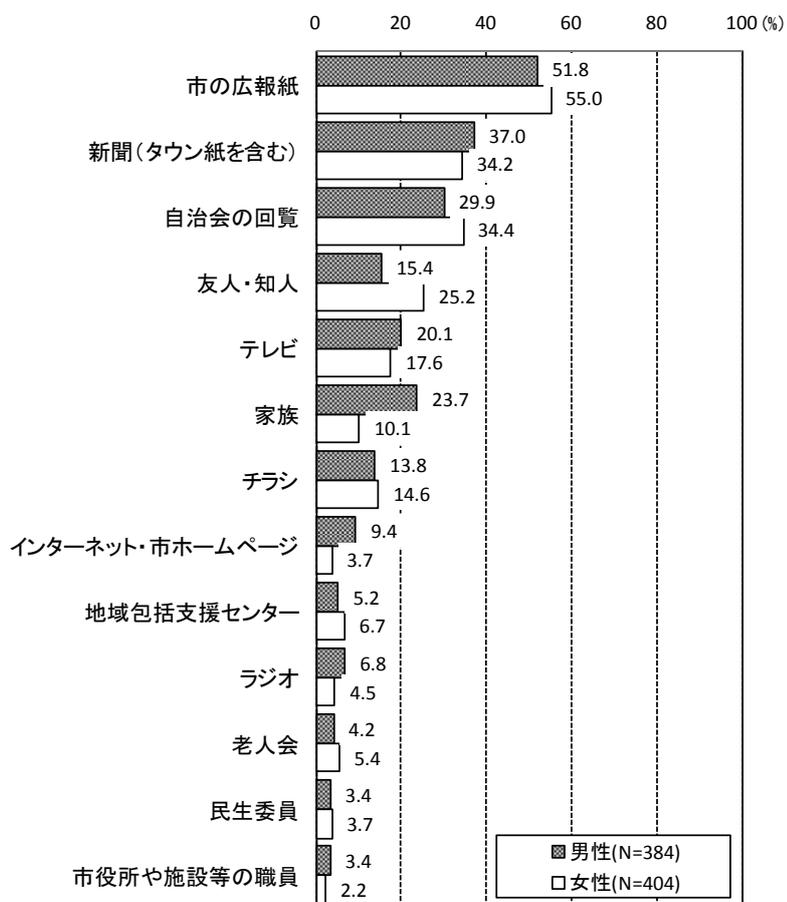
高齢者向け催し物やサービスの情報の入手先は、「市の広報紙」が53.1%で最も多く、次いで「新聞（タウン紙を含む）」が35.3%、「自治会の回覧」が32.1%などとなっている。

前回調査と比較すると「自治体の回覧」が約13ポイント、「市の広報紙」が約11ポイント減少している。



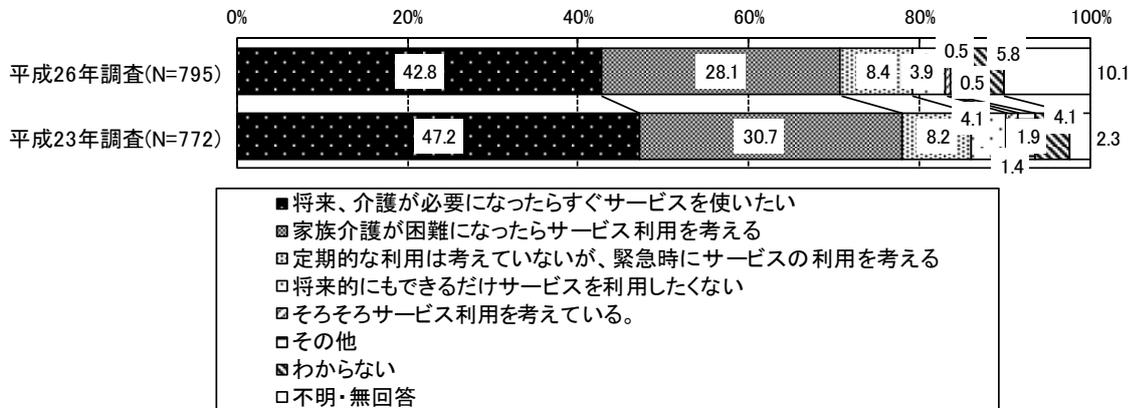
【性別】

性別にみると、男性では「家族」が 23.7%で女性よりも約 14 ポイント高い。女性では「友人・知人」が 25.2%で男性よりも約 10 ポイント高い。



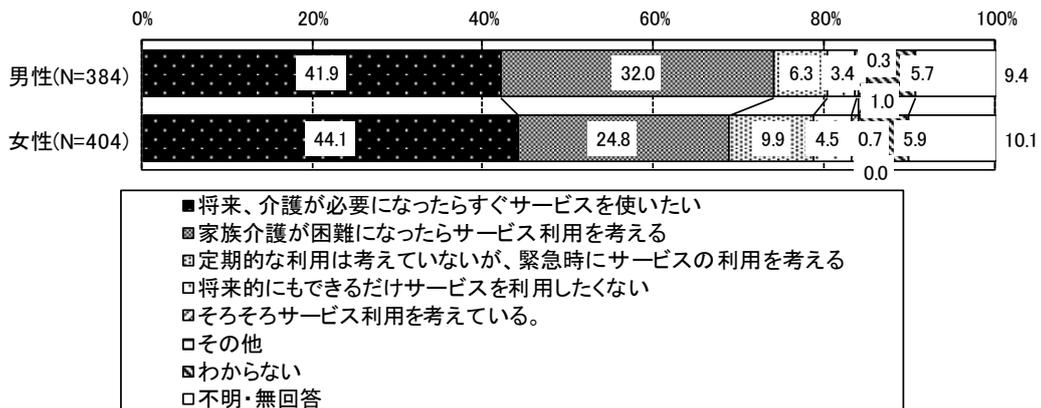
問 20 介護サービス利用についての考え

介護サービス利用についての考えは、「将来、介護が必要になったらすぐサービスを使いたい」が42.8%で最も多く、次いで「家族介護が困難になったらサービス利用を考える」が28.1%、「定期的な利用は考えていないが、緊急時にサービスの利用を考える」が8.4%などとなっている。



【性別】

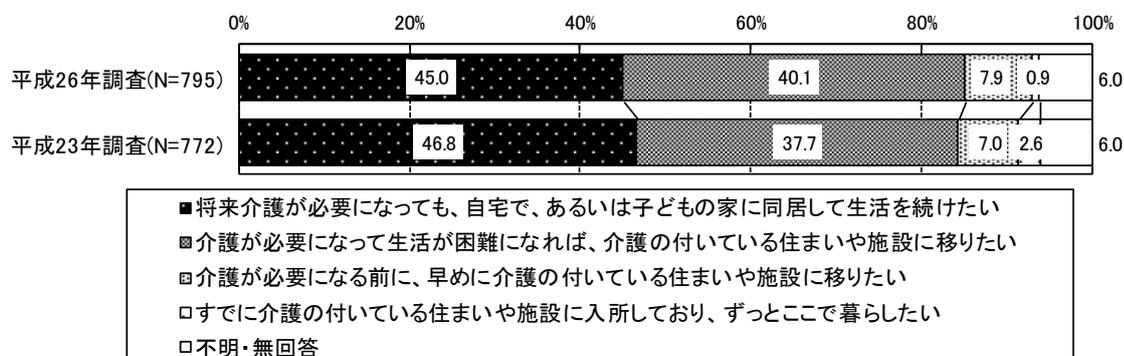
性別にみると、男性は「家族介護が困難になったらサービス利用を考える」が32.0%で女性よりも約7ポイント高い。



問21 将来の住まいと介護について

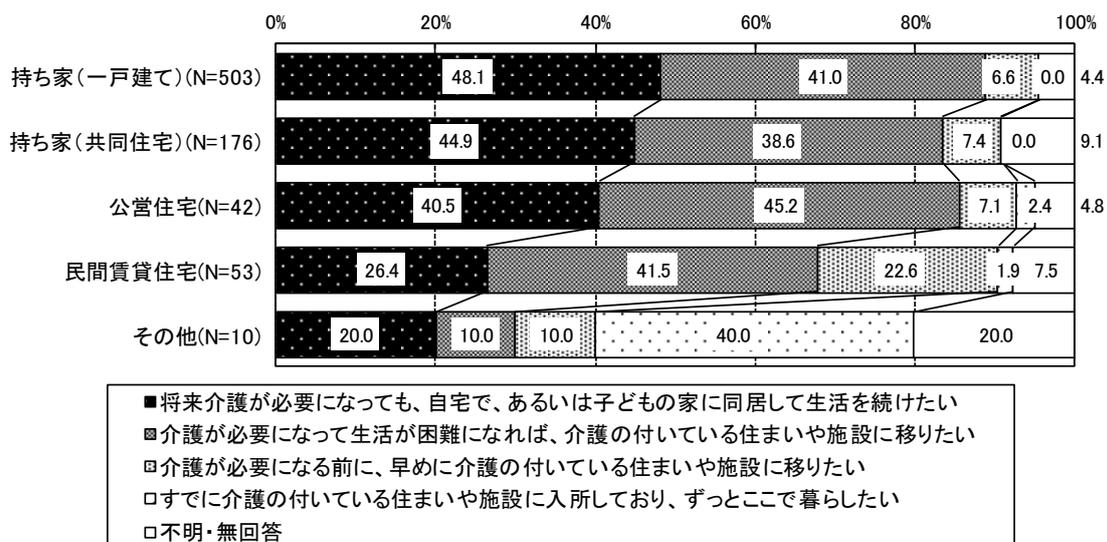
将来の住まいと介護については、「将来介護が必要になっても、自宅で、あるいは子どもの家に同居して生活を続けたい」が45.0%で最も多く、次いで「介護が必要になって生活が困難になれば、介護の付いている住まいや施設に移りたい」が40.1%、「介護が必要になる前に、早めに介護の付いている住まいや施設に移りたい」が7.9%などとなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向である。



【現在の住まいの種類別】

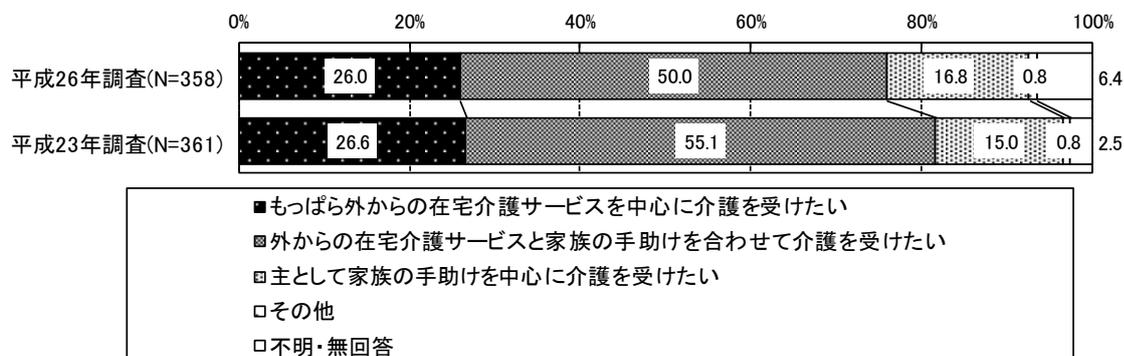
現在の住まいの種類別にみると、「民間賃貸住宅」では、「介護が必要になる前に、早めに介護の付いている住まいや施設に移りたい」が22.6%で他の層に比して高い割合になっている。



問 22 将来、自分または子どもの家に同居して介護を受けたい方の手助けの形

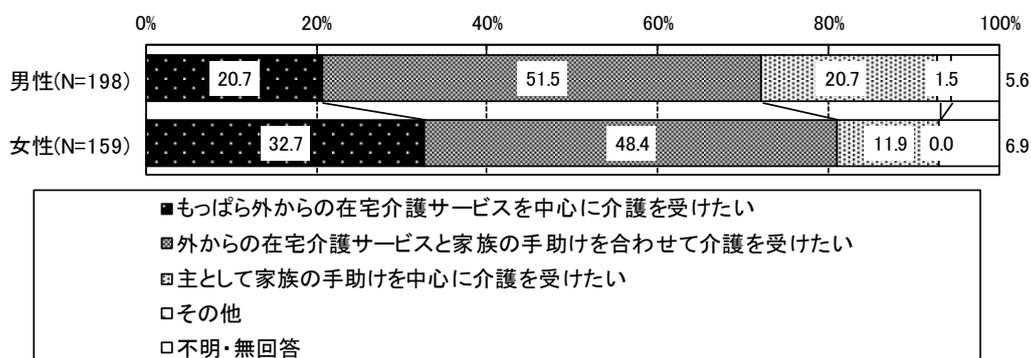
将来、自分または子どもの家に同居して介護を受けたいと答えた方の希望する手助けの形は、「外からの在宅介護サービスと家族の手助けを合わせて介護を受けたい」が 50.0%で最も多く、次いで「もっぱら外からの在宅介護サービスを中心に介護を受けたい」が 26.0%、「主として家族の手助けを中心に介護を受けたい」が 16.8%などとなっている。

前回調査と比較すると「外からの在宅介護サービスと家族の手助けを合わせて介護を受けたい」の割合が約 5 ポイント減少している。



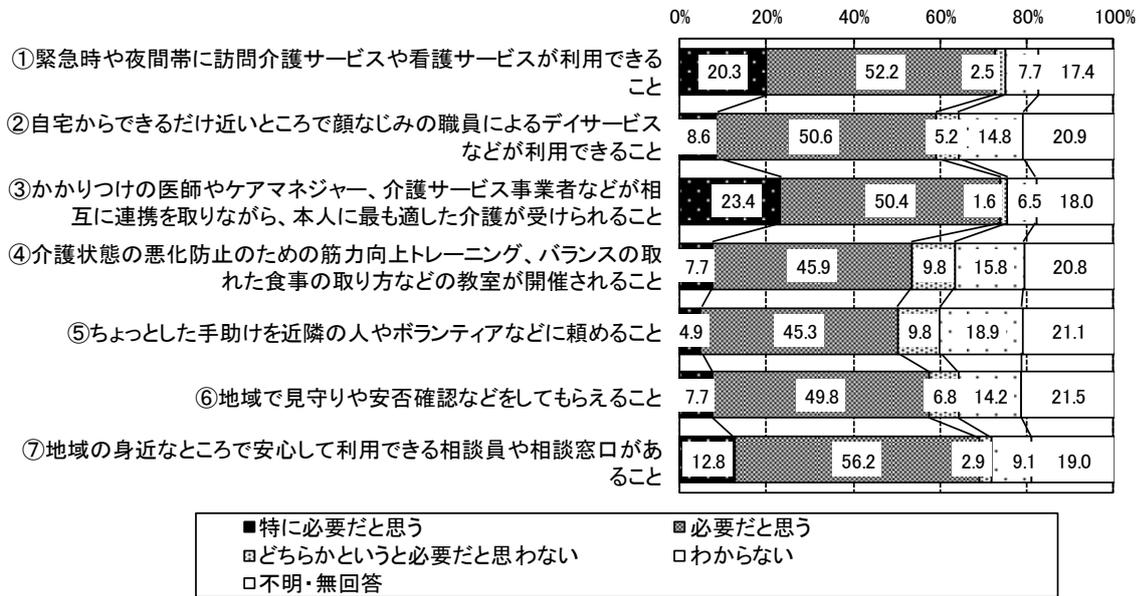
【性別】

性別にみると、男性では「主として家族の手助けを中心に介護を受けたい」が 20.7%で女性よりも約 9 ポイント高い。女性では「もっぱら外からの在宅介護サービスを中心に介護を受けたい」が 32.7%で男性よりも 12 ポイント高い。



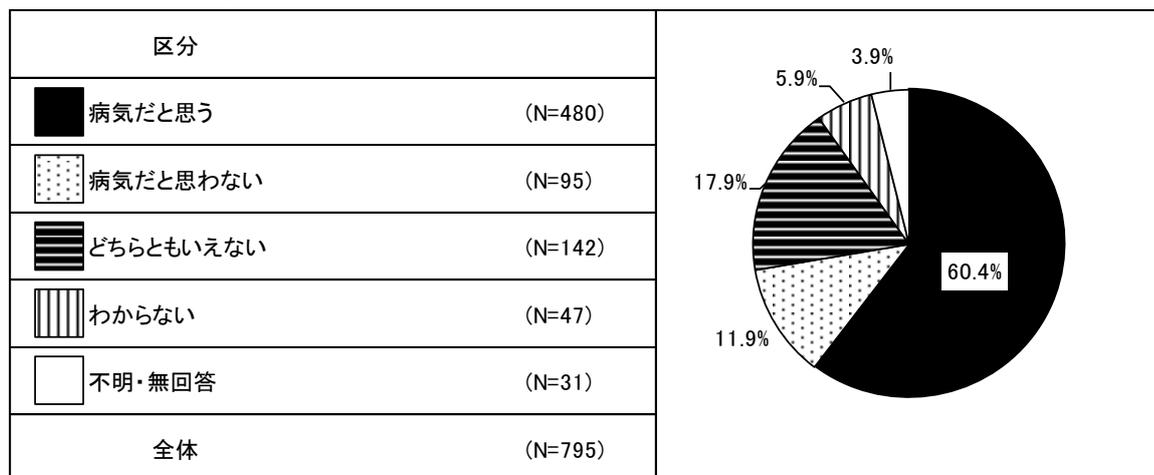
問 23 在宅生活継続のために必要なこと

今後、在宅生活を継続するために必要なこととして、「特に必要だと思う」と「必要だと思う」を合わせた「必要である」割合が最も高いのは、「かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者などが相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられること」の73.8%で、次いで「緊急時や夜間帯に訪問介護サービスや看護サービスが利用できること」が72.5%、「地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること」が69.0%などとなっている。



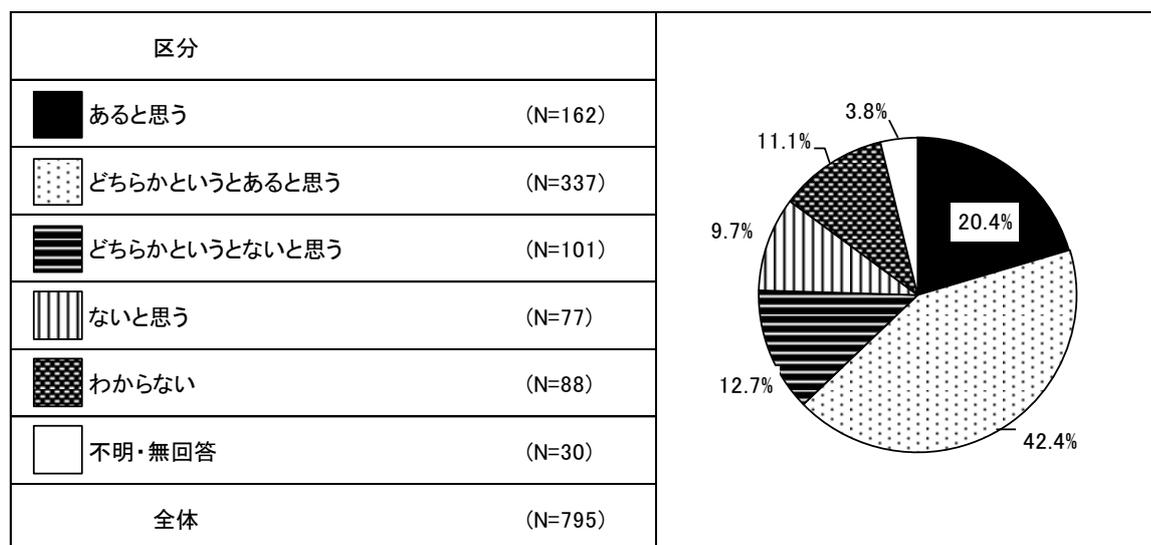
問 24 認知症は病気だと思うか

認知症は病気だと思うかについては、「病気だと思う」が60.4%、「病気だと思わない」が11.9%である。「どちらともいえない」が17.9%、「わからない」が5.9%などとなっている。



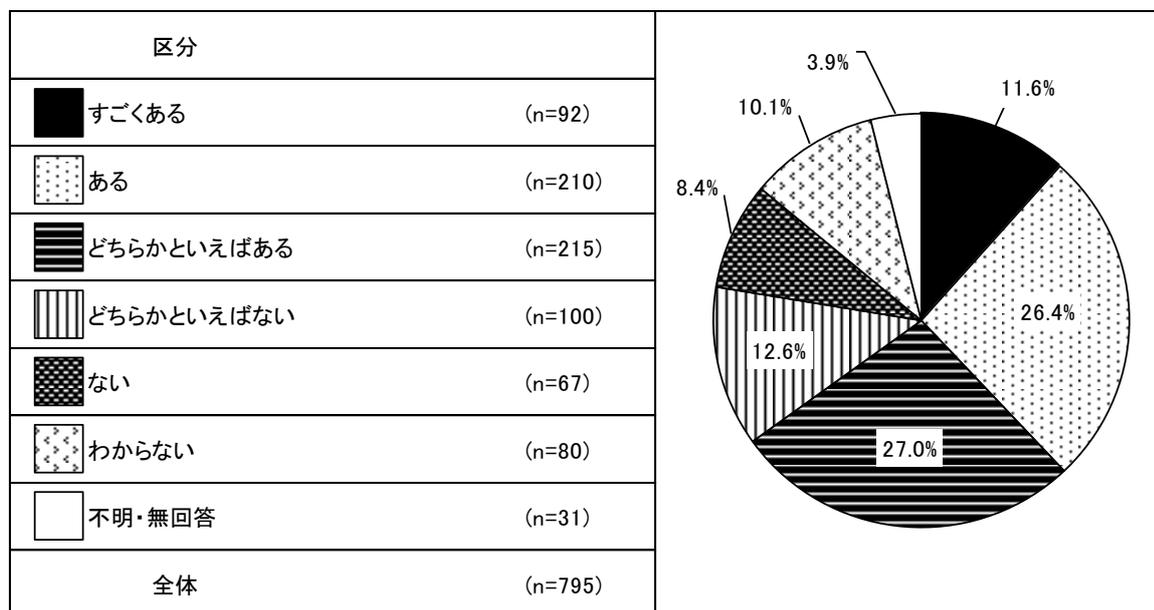
問 25 認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思うか

認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思うかについては、「どちらかというと思う」が42.4%で最も多く、次いで「あると思う」が20.4%で、以上2項目を合わせた「あると思う」割合は62.8%であり、「ないと思う」「どちらかというとないと思う」を合わせた「ないと思う」割合22.4%を約40ポイント上回っている。



問 26 認知症に対する不安の有無

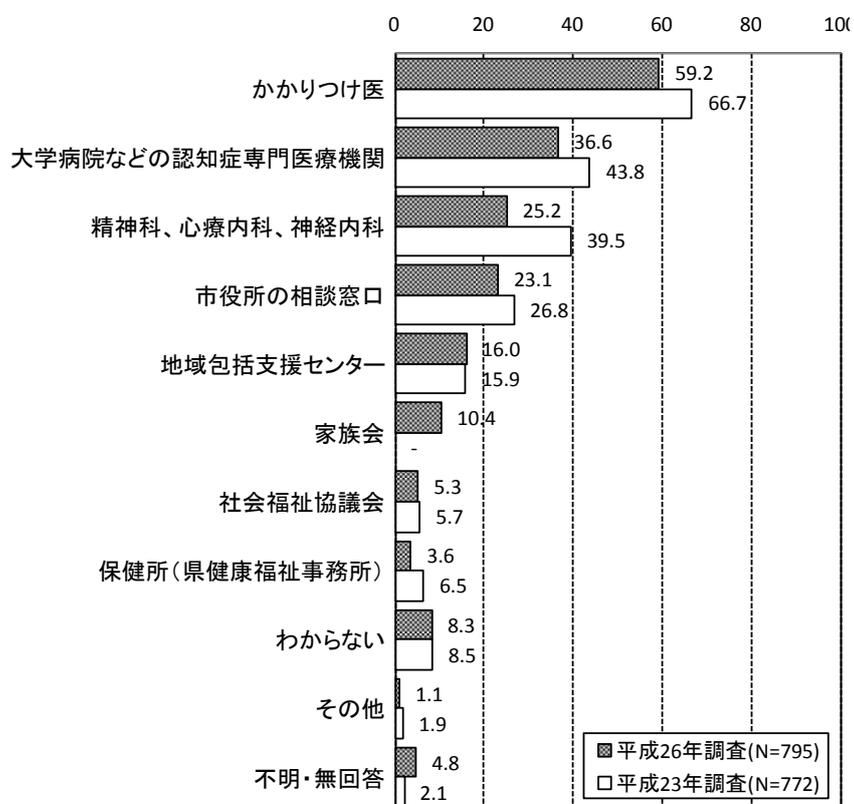
認知症に対する不安の有無は、「どちらかといえばある」が27.0%で最も多く、次いで「ある」が26.4%で、以上2項目に「すごくある」11.6%を合わせた「不安がある人」の割合は65.0%であり、「どちらかといえばない」「ない」を合わせた「不安がない人」の割合21.0%を44ポイント上回っている。



問27 認知症に対する不安をもったときの相談相手（複数回答3）

認知症に対する不安をもったときの相談相手は、「かかりつけ医」が59.2%で最も多く、次いで「大学病院などの認知症専門医療機関」が36.6%、「精神科、心療内科、神経内科」が25.2%などとなっている。

前回調査と比較すると「かかりつけ医」は約8ポイント低くなっている。



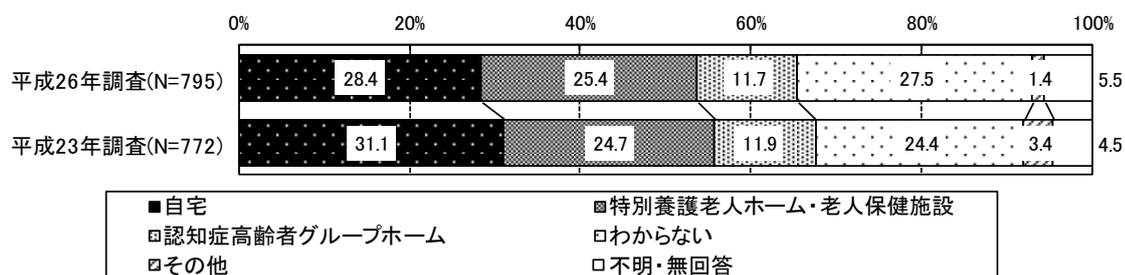
【家族構成別】

家族構成別にみると、「一人暮らし」では「精神科、心療内科、神経内科」「家族会」「社会福祉協議会」「保健所（県健康福祉事務所）」で最も低くなっている。

	かかりつけ医	大学病院などの認知症専門医療機関	精神科、心療内科、神経内科	市役所の相談窓口	地域包括支援センター	家族会	社会福祉協議会	保健所(県健康福祉事務所)	わからない	その他
一人暮らし(N=163)	59.5	28.8	20.2	19.6	16.0	6.7	3.7	2.5	9.8	1.8
あなたと配偶者のみ(N=348)	59.8	39.7	26.7	27.3	13.2	12.1	4.9	3.7	8.9	1.4
二世帯家族(子どもと同居など)(N=221)	60.2	40.3	27.1	19.5	18.6	10.0	7.2	4.5	6.8	—
三世帯家族(子ども、孫と同居)(N=36)	66.7	19.4	22.2	13.9	25.0	11.1	5.6	2.8	8.3	—
その他(N=16)	25.0	50.0	31.3	31.3	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3

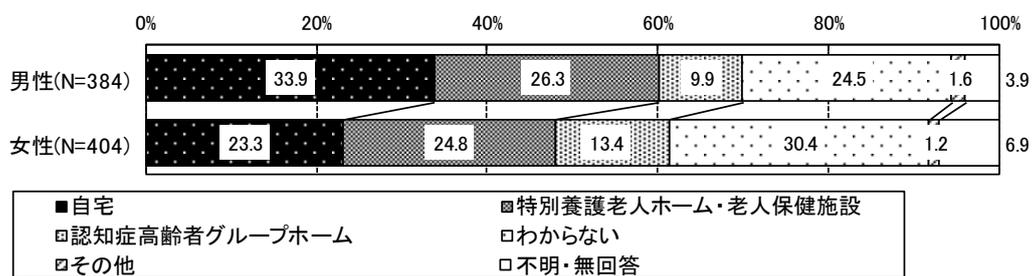
問 28 認知症になった時に生活したい場所

認知症になった時に生活したい場所は、「自宅」が28.4%で最も多く、次いで「わからない」が27.5%、「特別養護老人ホーム・老人保健施設」が25.4%などとなっている。



【性別】

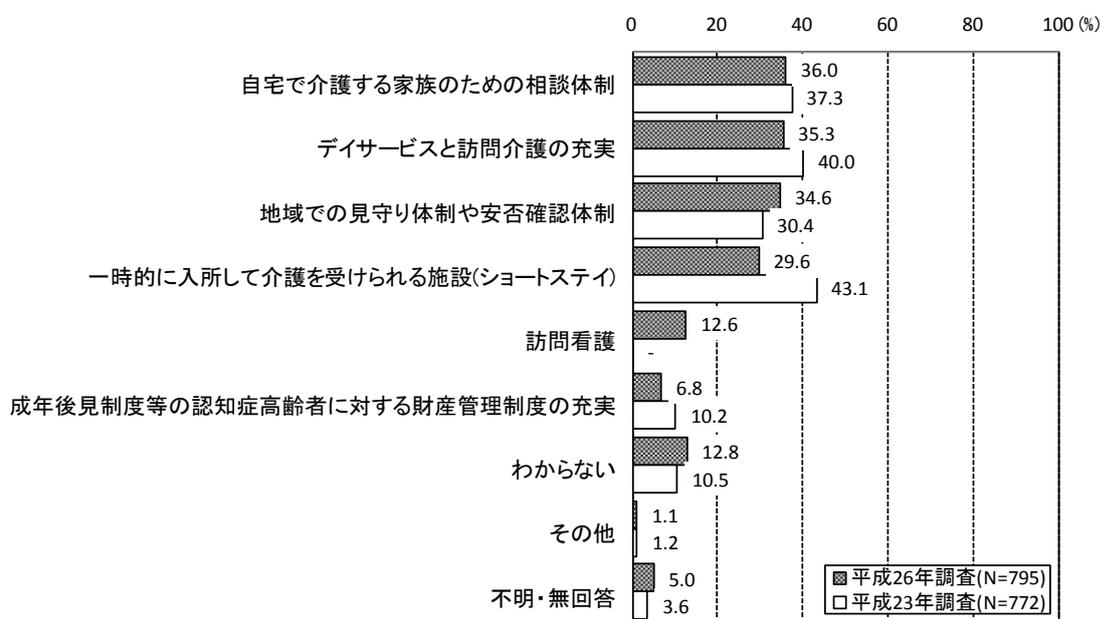
性別にみると、男性は「自宅」が33.9%で女性の23.3%よりも約10ポイント高い。



問 29 認知症の方が住みなれた地域で生活をするために必要だと思う支援（複数回答2）

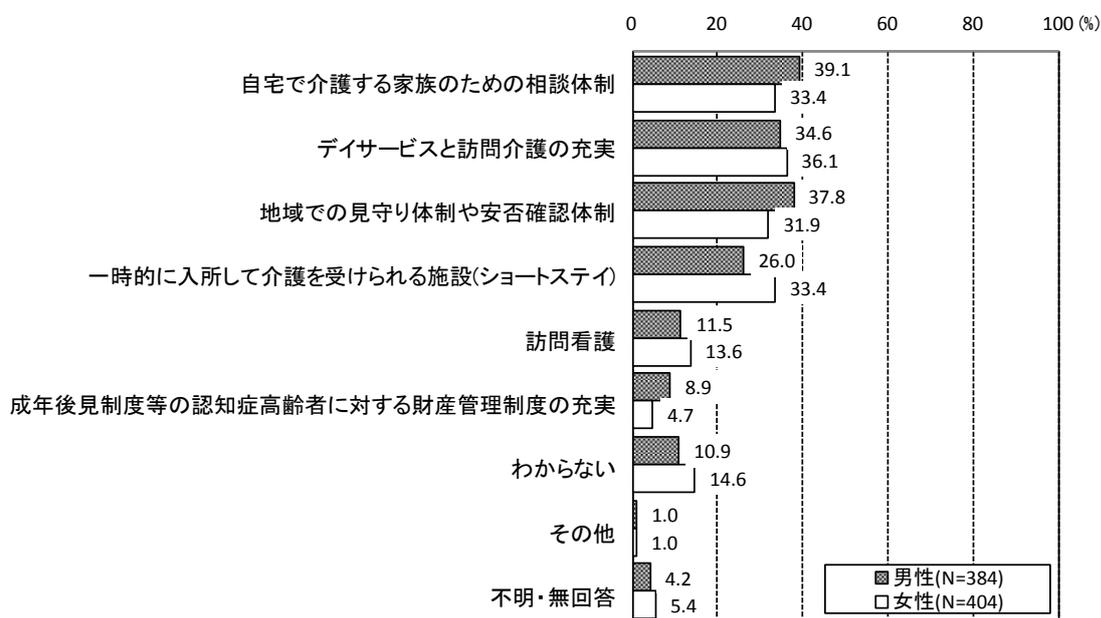
認知症の方が住みなれた地域で生活をするために必要だと思う支援については、「自宅で介護する家族のための相談体制」が36.0%で最も多く、次いで「デイサービスと訪問介護の充実」が35.3%、「地域での見守り体制や安否確認体制」が34.6%などとなっている。

前回調査と比較すると「一時的に入所して介護を受けられる施設（ショートステイ）」の割合が約14ポイント下がっている。



【性別】

性別にみると、女性は「一時的に入所して介護を受けられる施設（ショートステイ）」が 33.4%で男性の 26.0%よりも約7ポイント高い。男性は「自宅で介護する家族のための相談体制」が 39.1%、「地域での見守り体制や安否確認体制」が 37.8%と女性（33.4%、31.9%）より約6ポイント高い。



問30 保険料の段階

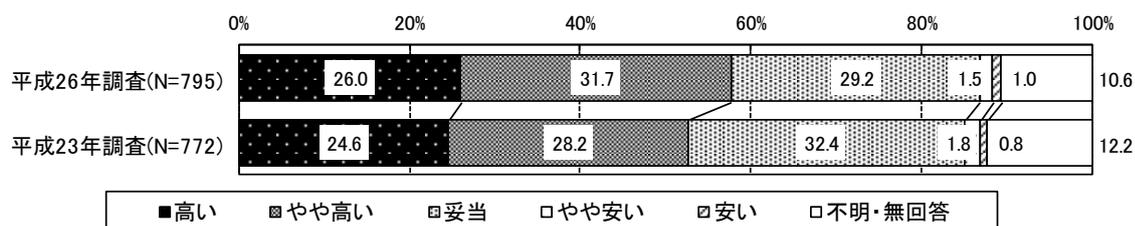
保険料の段階をみると、「わからない」が15.2%で最も多く、次いで「第9段階（基準額×1.5）年間保険料：87,600円」が11.4%、「第8段階（基準額×1.25）年間保険料：73,000円」が9.7%などとなっている。

カテゴリ	件数	(全体)%
第1段階(基準額×0.5)年間保険料:29,200円	45	5.7
第2段階(基準額×0.5)年間保険料:29,200円	51	6.4
第3段階(基準額×0.625)年間保険料:36,500円	26	3.3
第4段階(基準額×0.75)年間保険料:43,800円	36	4.5
第5段階(基準額×0.875)年間保険料:51,100円	62	7.8
第6段階(基準額)年間保険料:58,400円	45	5.7
第7段階(基準額×1.125)年間保険料:65,700円	42	5.3
第8段階(基準額×1.25)年間保険料:73,000円	77	9.7
第9段階(基準額×1.5)年間保険料:87,600円	91	11.4
第10段階(基準額×1.75)年間保険料:102,200円	27	3.4
第11段階(基準額×2.0)年間保険料:116,800円	17	2.1
第12段階(基準額×2.25)年間保険料:131,400円	26	3.3
わからない	121	15.2
不明・無回答	129	16.2
合計	795	100.0

問31 将来、介護認定を受け、介護保険サービスを利用することを考えた時の介護保険料の負担感

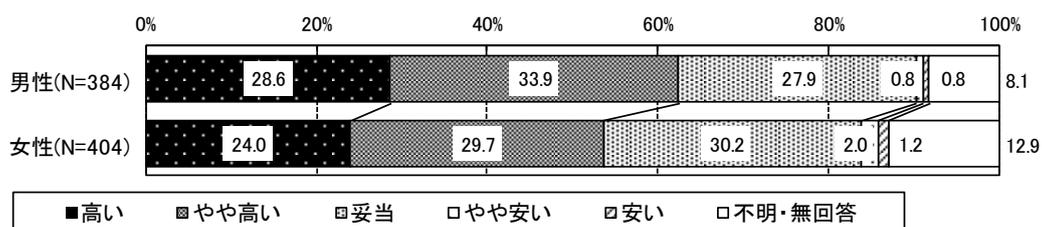
介護保険料の負担感については、「やや高い」が31.7%で最も多く、次いで「妥当」が29.2%、「高い」が26.0%などとなっている。

前回調査と比較すると「高い」「やや高い」を合わせた高いと感じる割合が、約5ポイント増え、「妥当」の割合が約3ポイント減っている。



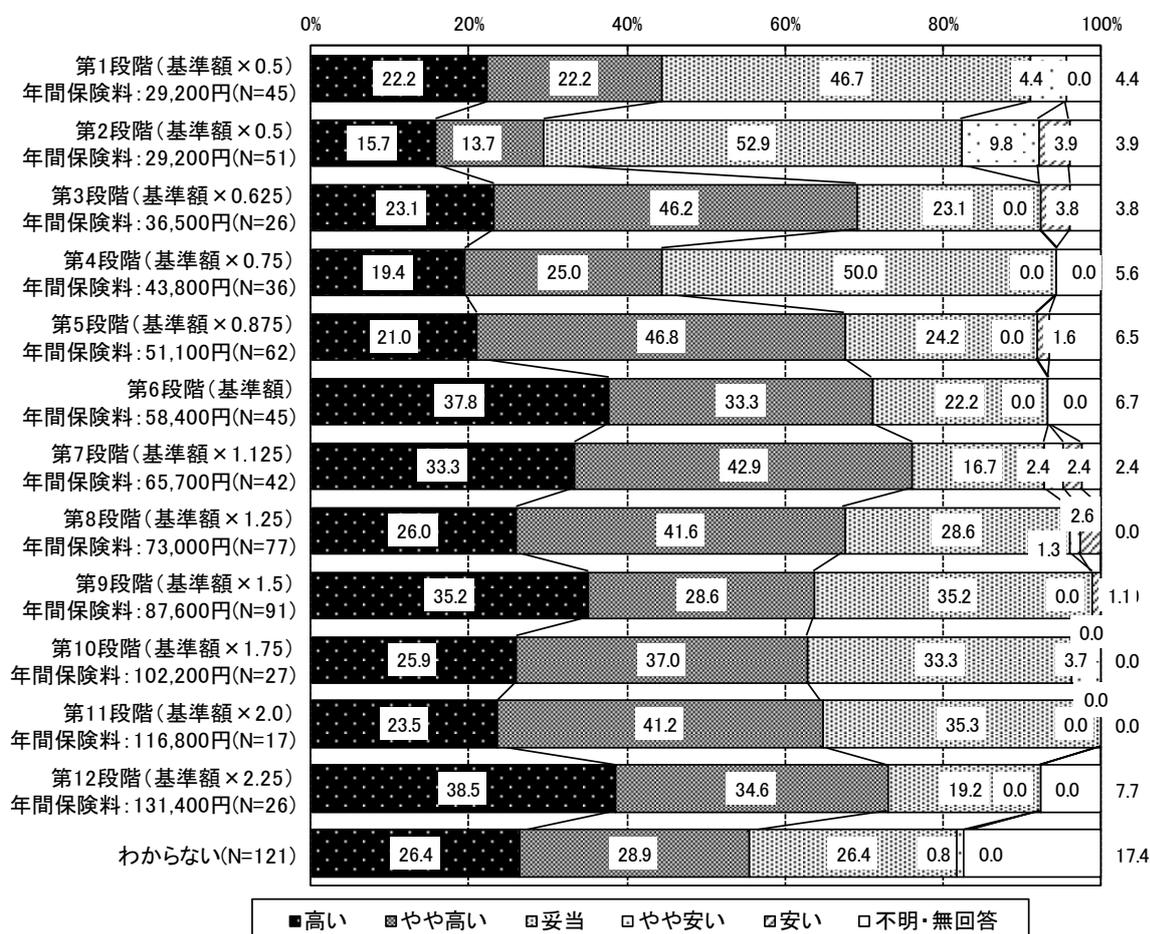
【性別】

性別にみると、男性は「高い」「やや高い」を合わせた高いと感じる割合が、6割を超えている。



【保険料の段階別】

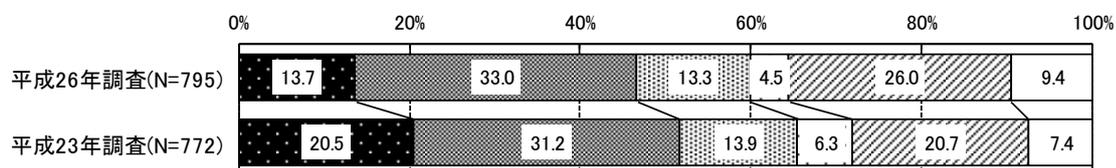
保険料の段階（問30）別にみると、第5段階以上になると、「高い」と「やや高い」を合わせた高いと感じる割合が60%を超えており、第6段階、第7段階、第12段階では、7割を超えている。第1段階～第4段階までは「高い」が第5段階以上より低くなっているが、第3段階は「高い」と「やや高い」を合わせた高いと感じる割合が69.3%で約7割を占めている。



問 32 保険料と介護サービスのあり方について

保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が33.0%で最も多く、次いで「わからない」が26.0%、「保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい」が13.7%などとなっている。

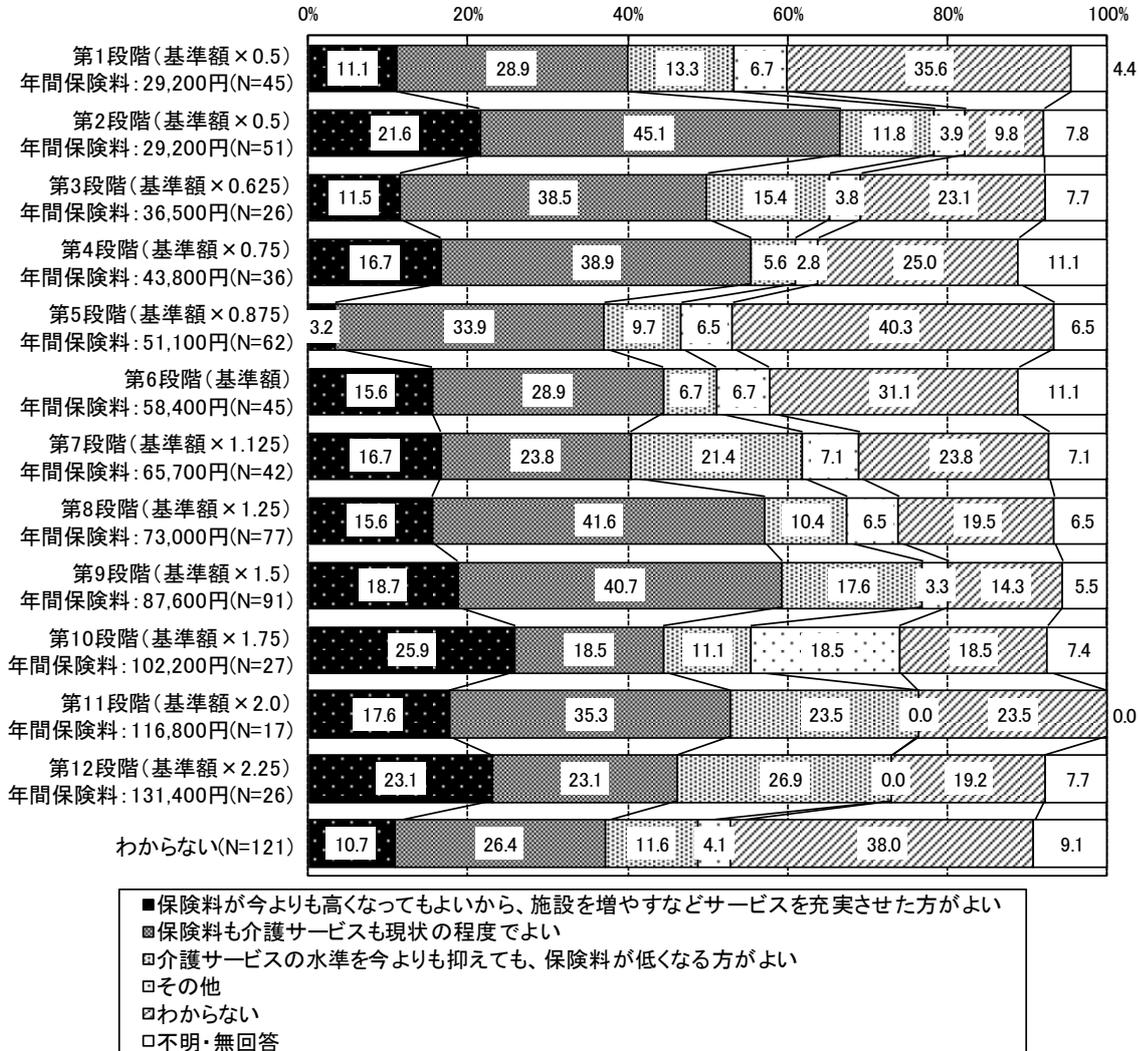
前回調査と比較すると「わからない」が約5ポイント増え、「保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい」が約7ポイント減少した。



- 保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい
- ▣ 保険料も介護サービスも現状の程度でよい
- ▨ 介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい
- その他
- ▩ わからない
- 不明・無回答

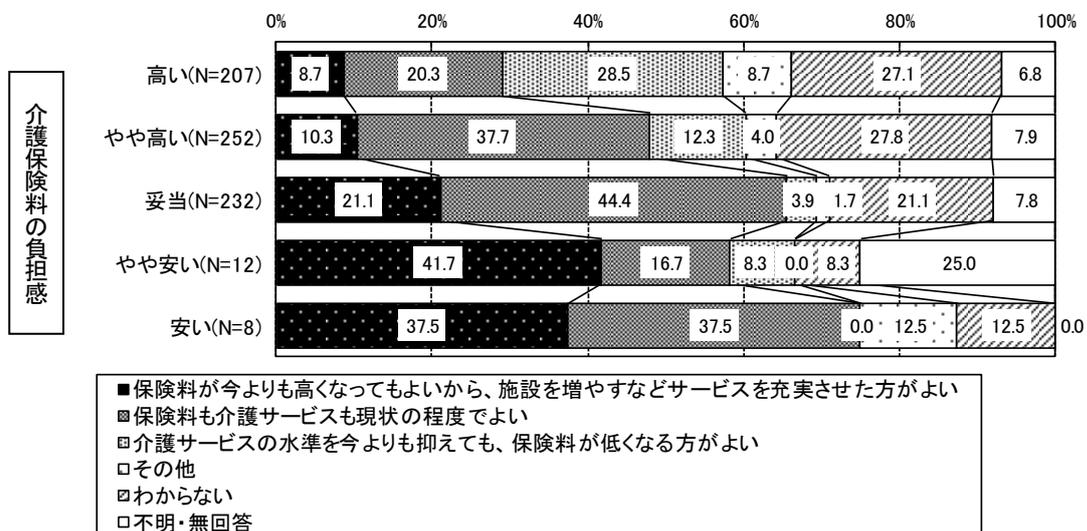
【保険料の段階別】

保険料の段階（問30）別にみると、第10段階では「保険料が今よりも高くなってよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい」、第2段階では「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」、第12段階では「介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい」の割合が他の層に比して高い。



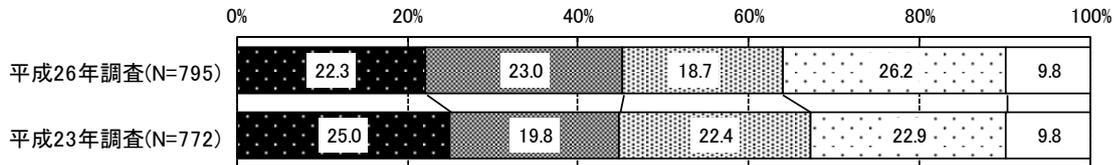
【介護保険料の負担感別】

介護保険料の負担感（問 31）別にみると、「高い」と感じている層では「介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい」、「やや高い」「妥当」とする層では「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」、「やや安い」とする層では「保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい」の割合が他の層と比べて高い。



問 33 保険料の設定方法についての考え

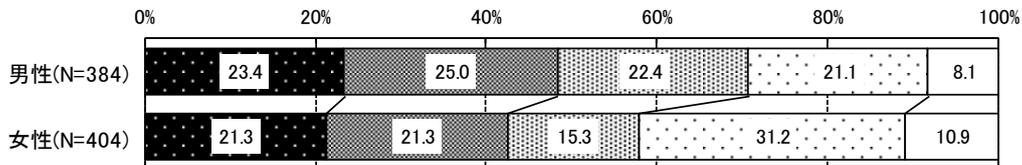
保険料の設定方法についての考えは、「わからない」が26.2%で最も多く、次いで「個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである」が23.0%、「現行の設定方法でよい」が22.3%などとなっている。



- 現行の設定方法でよい
- 個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである
- 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
- わからない
- 不明・無回答

【性別】

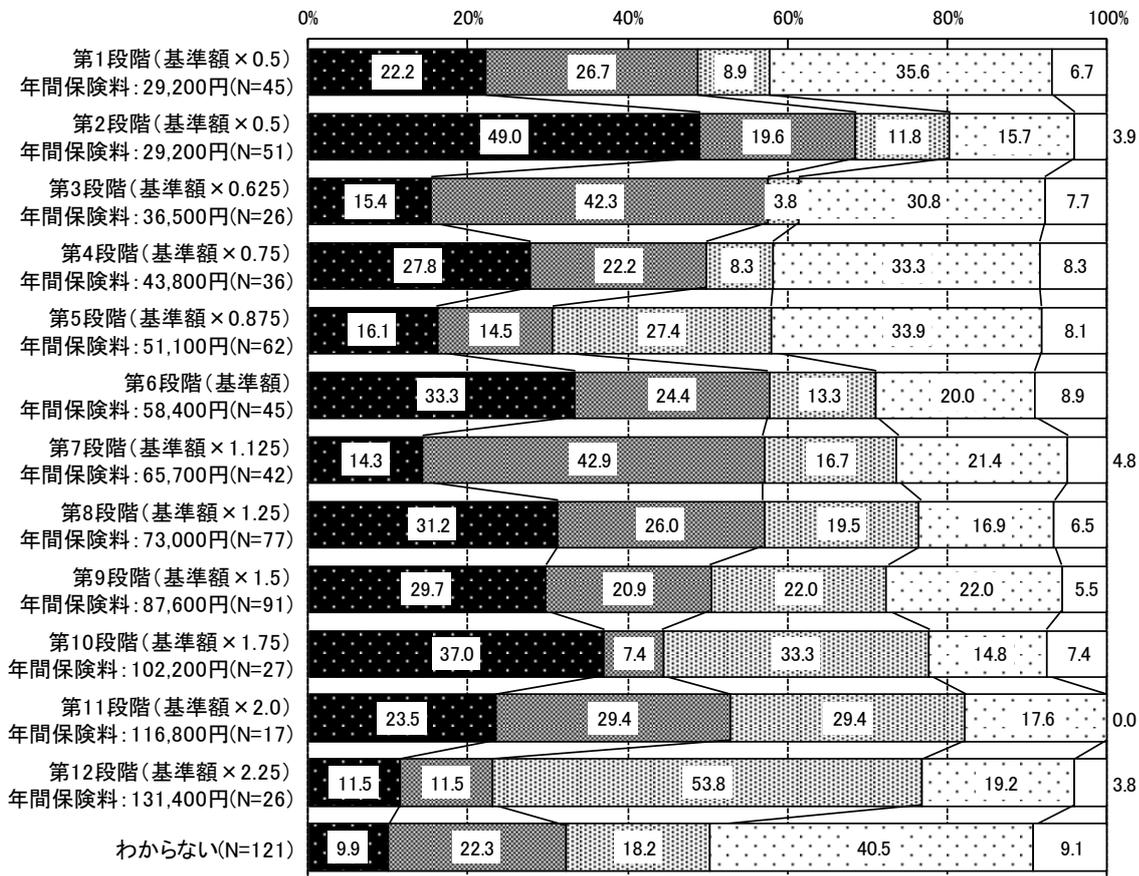
性別にみると、男性は「介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである」が22.4%で女性より約7ポイント高い。女性は「わからない」が31.2%で男性より10ポイント高くなっている。



- 現行の設定方法でよい
- 個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである
- 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
- わからない
- 不明・無回答

【保険料の段階別】

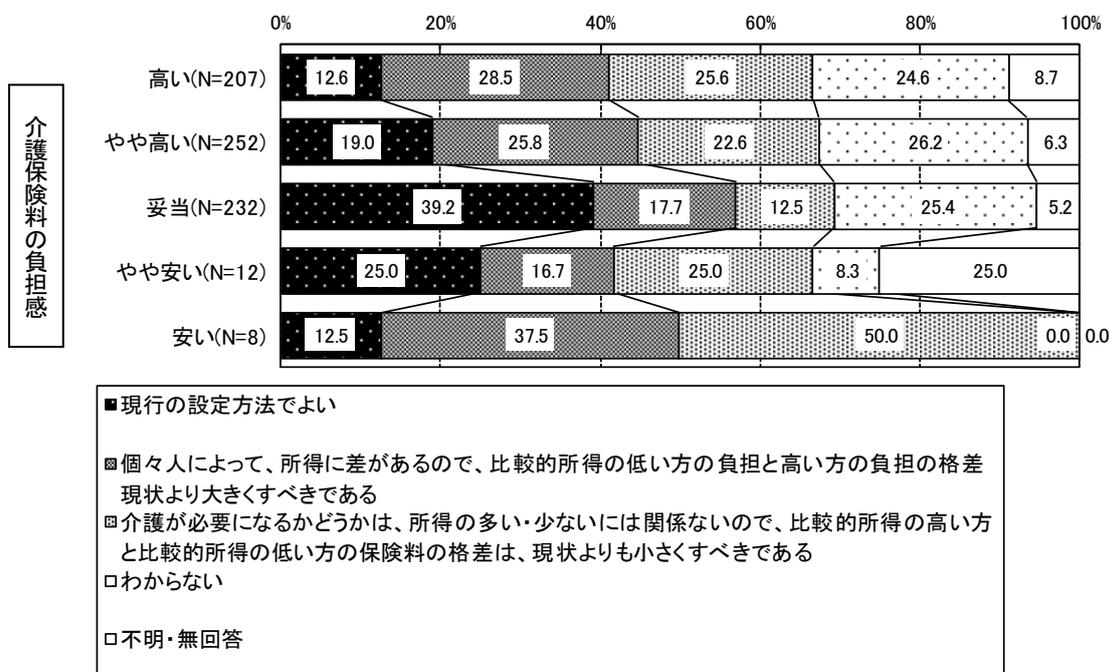
保険料の段階（問30）別にみると、第2段階では「現行の設定方法でよい」、第7段階と第3段階では「個人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差は、現状より大きくすべきである」、第12段階では「介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである」の割合が他の層に比して高くなっている。



- 現行の設定方法でよい
- 個人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである
- 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
- わからない
- 不明・無回答

【介護保険料の負担感別】

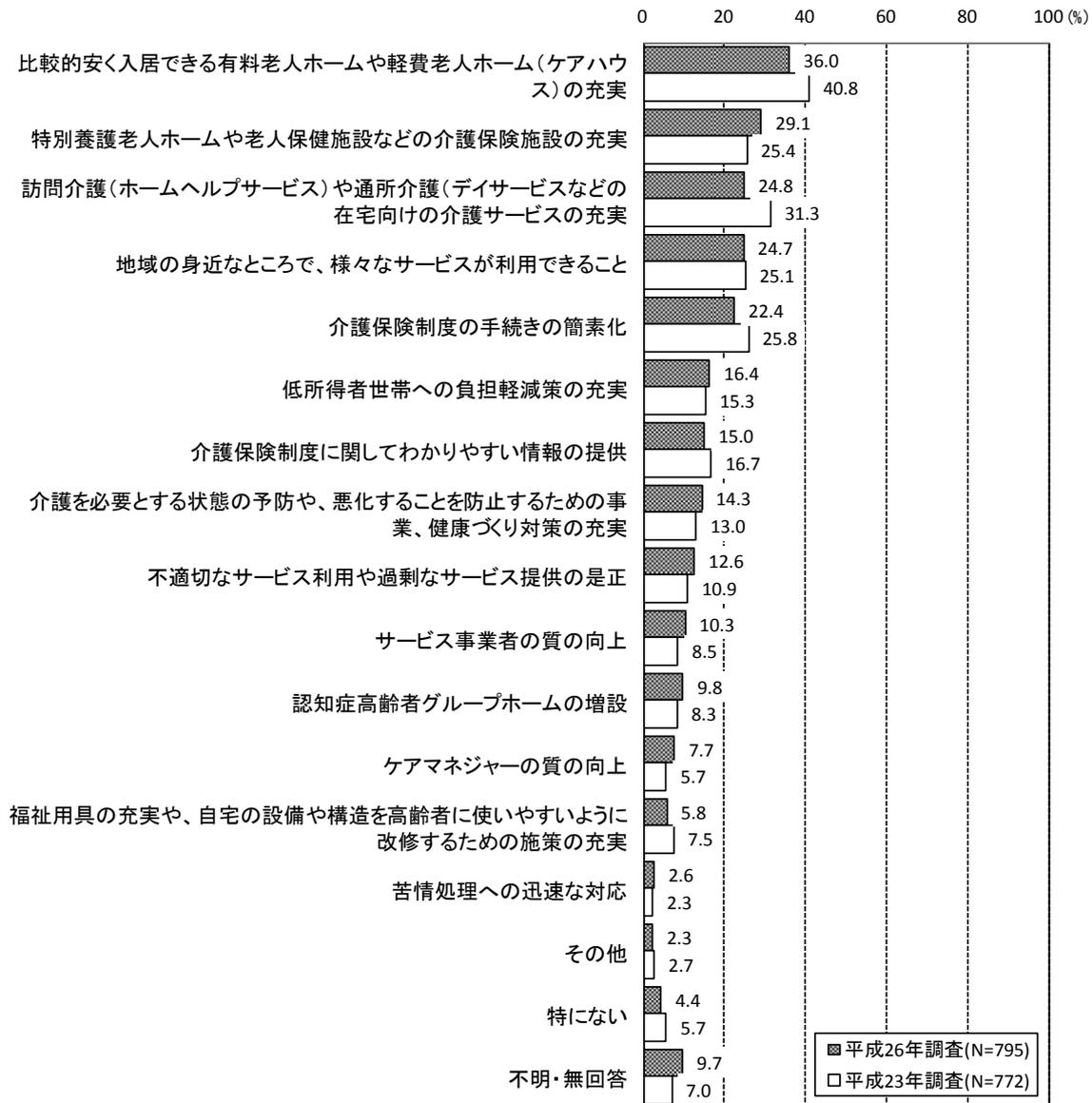
介護保険料の負担感（問 31）別にみると、「現行の設定方法でよい」は「妥当」とする層で最も多く、「高い」と「安い」の層に移るにつれて割合が減少している。「個人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差は、現状より大きくすべきである」と「介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである」の割合は「高い」とする層から「妥当」とする層に移るにつれて減少する傾向がある。



問 34 介護保険制度に関して宝塚市に望むこと（複数回答3）

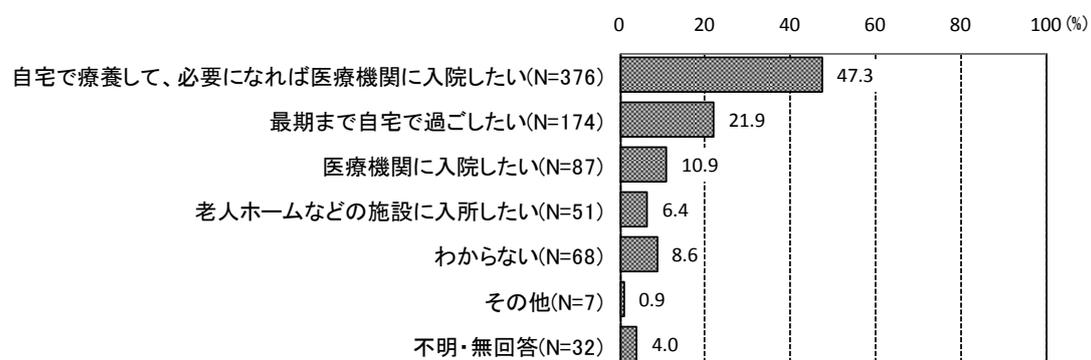
保険料の設定方法についての考えは、「比較的安く入居できる有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）の充実」が36.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設の充実」が29.1%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービスなどの在宅向けの介護サービスの充実）」が24.8%などとなっている。

前回調査と比較すると「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービスなどの在宅向けの介護サービスの充実）」が約7ポイント減少している。



問 35 人生の最後を迎える時に過ごしたい場所

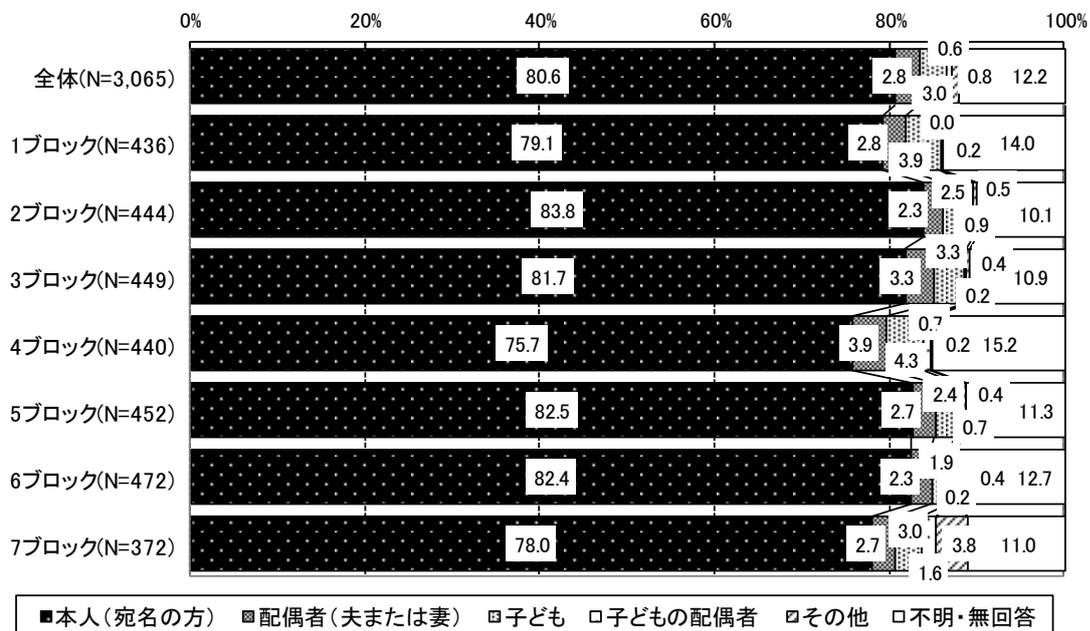
人生の最後を迎える時に過ごしたい場所は、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が 47.3%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が 21.9%、「医療機関に入院したい」が 10.9%などとなっている。



3. 日常生活圏域二ーズ調査

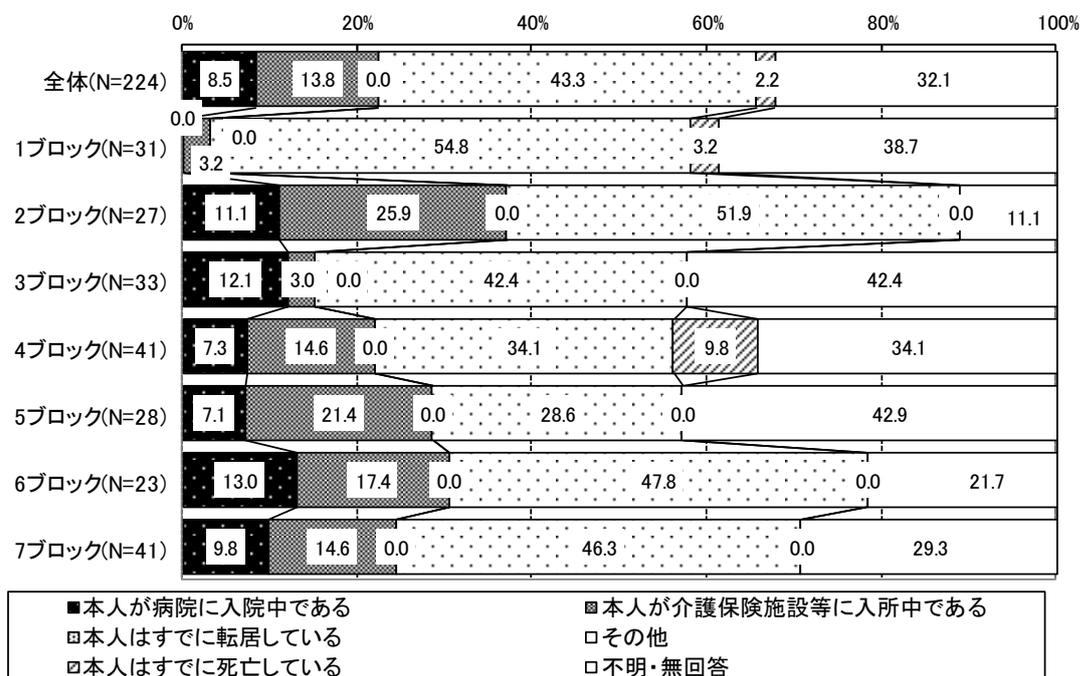
問A 記入者

【全体】アンケートの記入者は、「本人」が80.7%、「子ども」が3.0%、「配偶者（夫または妻）」が2.8%などとなっている。



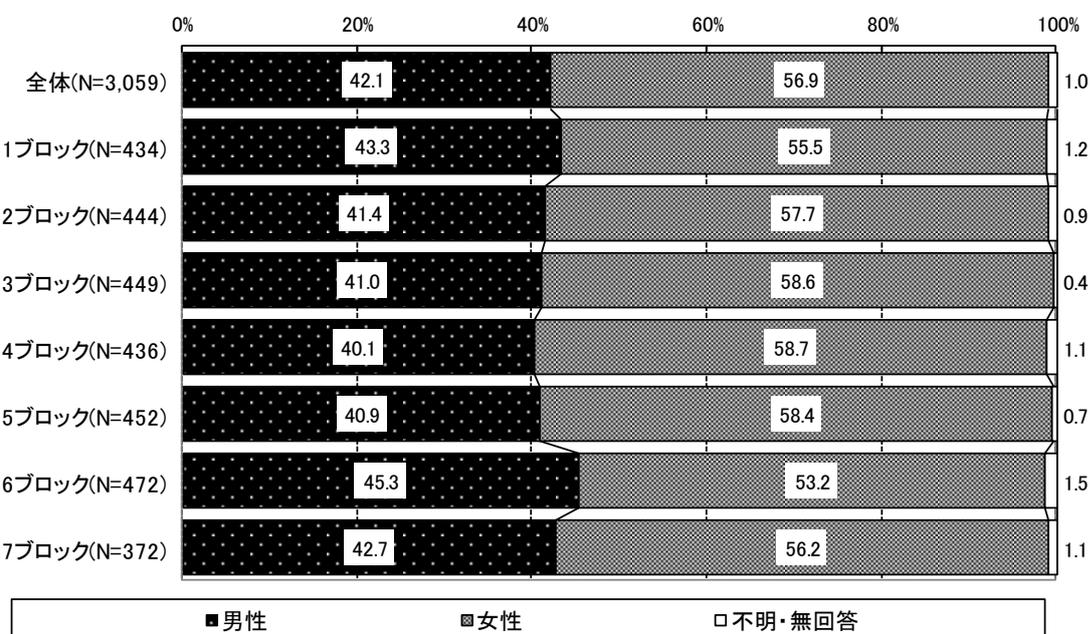
問B 宛名本人が回答できない理由

【全体】宛名本人が回答できない理由は、「本人が介護保険施設等に入所中である（特別養護老人ホーム、老人保健施設、養護老人ホーム、有料老人ホームなど）」が13.8%、「本人が病院に入院中である」が8.5%などとなっている。「その他」が43.3%あった。



問1 (1) 性別

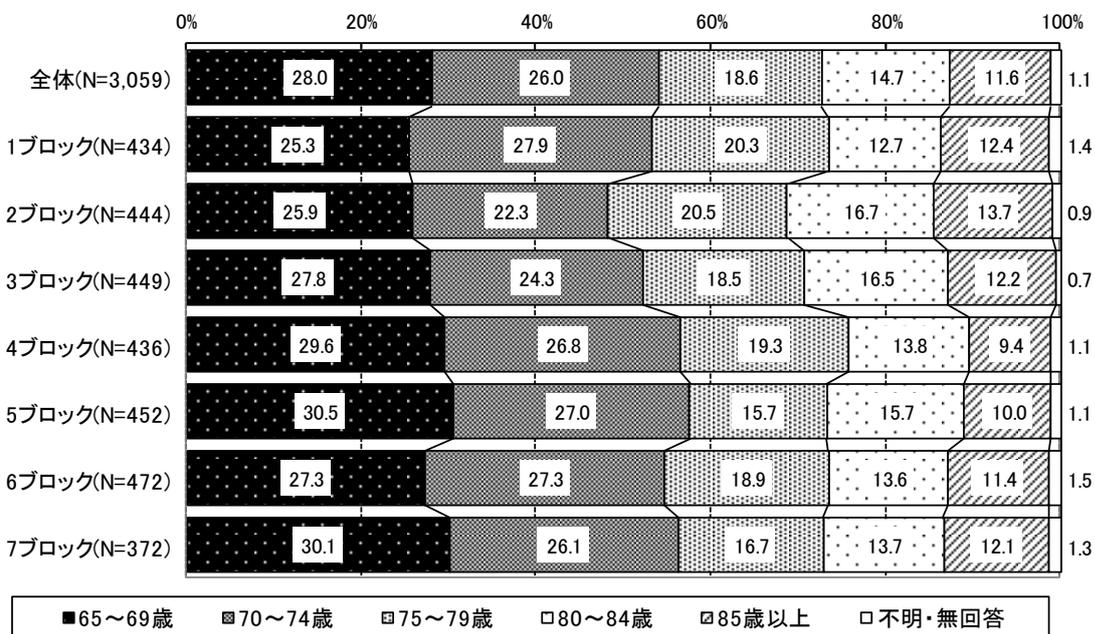
【全体】性別では、「女性」が56.9%、「男性」が42.1%となっている。



問1 (2) 年齢

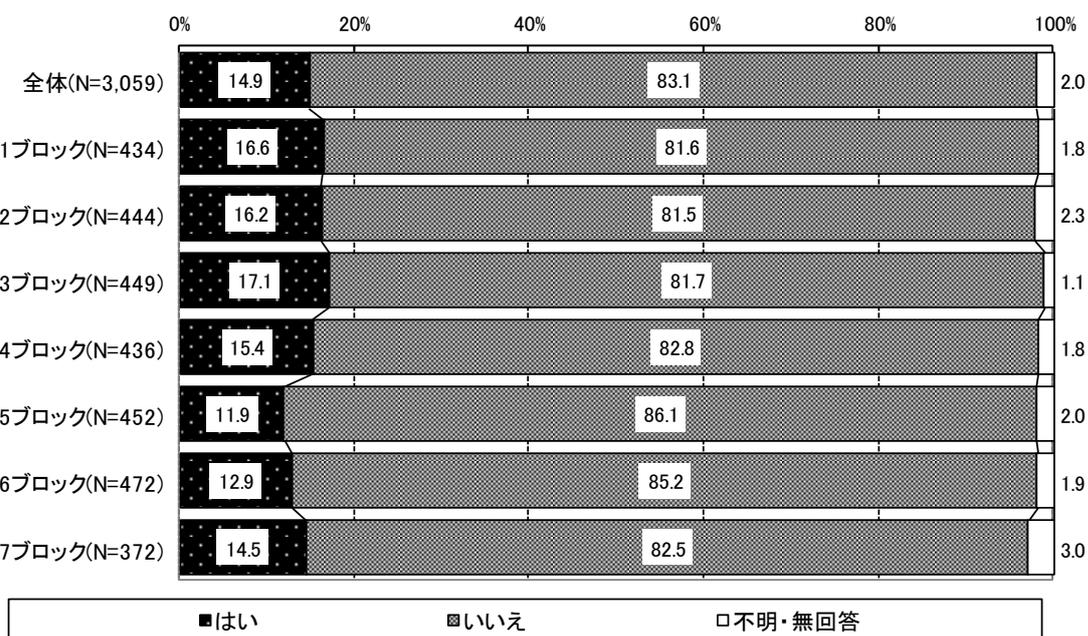
【全体】年齢階層別では、「65～69歳」が28.0%で最も多く、前期高齢者が54.0%を占める。

【ブロック別】前期高齢者は、5ブロック、4ブロック、7ブロックの順に多い。後期高齢者は2ブロック、3ブロック、1ブロックの順に多い。



問1 (3) 要介護(要支援)認定の有無

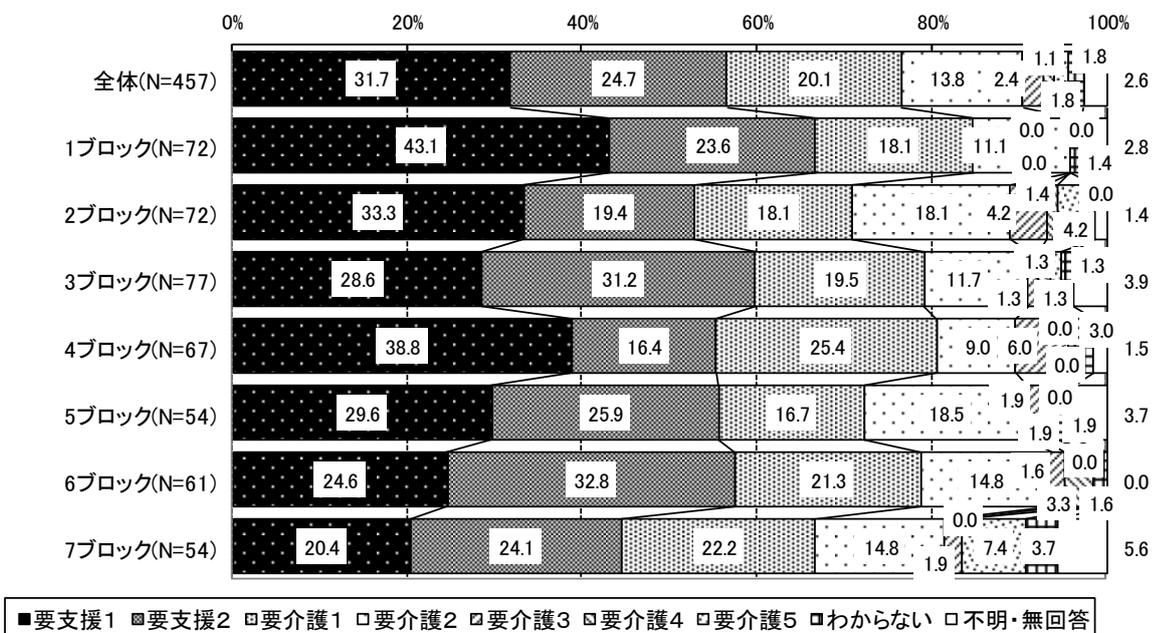
【全体】要介護(要支援)認定は、14.9%が受けている。



問1 (4) 介護度

【全体】認定を受けている方の介護度は、「要支援1」が31.7%で最も多く、次いで「要支援2」が24.7%、「要介護1」が20.1%などとなっている。

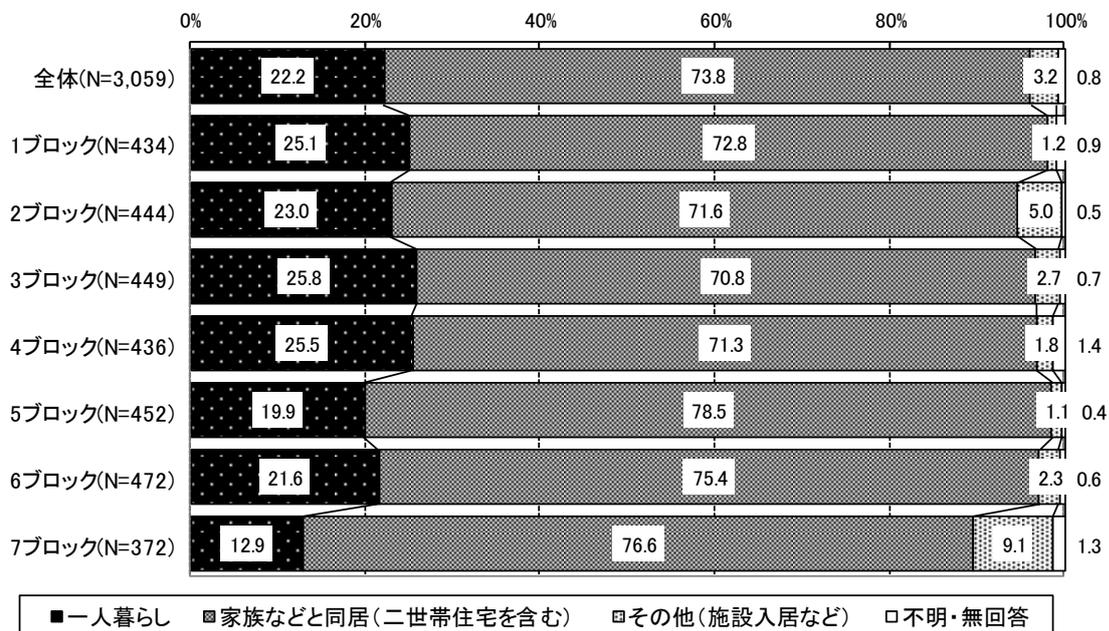
【ブロック別】「要支援1」の割合では1ブロックと4ブロックが他に比べて高く、7ブロックでは低くなっている。



問2（1） 家族構成

【全体】 家族構成は、「家族など同居（二世帯住宅を含む）」が 73.8%で最も多く、次いで「一人暮らし」が 22.2%、「その他（施設入居など）」が 3.2%などとなっている。

【ブロック別】 「一人暮らし」の割合は3ブロック、4ブロック、1ブロックの順に多くなっている。5ブロックは最も低い。



問2（1）-1 同居人数

【全体】 同居人数は、「2人」が 52.2%で最も多い。

【ブロック別】 7ブロックでは同居人数が多い傾向が見られる。

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	不明・無回答
全体(N=2,259)	1.1	52.2	22.7	7.4	4.9	2.7	0.8	0.3	—	0.1	7.9
1ブロック(N=316)	0.9	54.7	22.8	8.5	3.5	1.3	0.3	—	—	0.3	7.6
2ブロック(N=318)	1.3	59.1	20.1	8.8	2.5	0.9	—	0.3	—	—	6.9
3ブロック(N=318)	0.6	57.2	21.7	3.5	4.7	2.8	—	0.3	—	0.3	8.8
4ブロック(N=311)	1.6	51.1	26.4	7.4	4.2	1.9	0.3	—	—	—	7.1
5ブロック(N=355)	2.0	53.0	18.9	8.2	5.6	2.3	1.4	0.8	—	—	7.9
6ブロック(N=356)	0.8	52.5	25.0	6.7	3.4	2.5	0.8	0.3	—	—	7.9
7ブロック(N=285)	0.4	36.1	24.2	9.1	10.9	7.4	2.5	0.4	—	—	9.1

問2 (1) -1 同居人の属性 (複数回答)

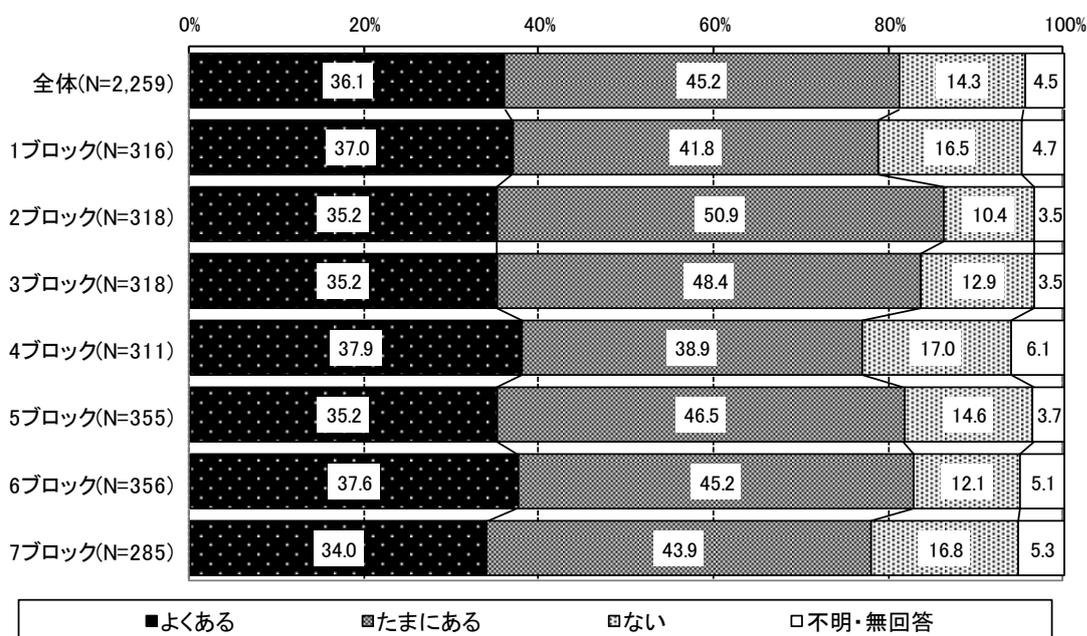
【全体】同居人の属性は、「配偶者(夫・妻)」が69.4%で最も多い。

【ブロック別】7ブロックでは「息子」「孫」「子の配偶者」の割合が他と比べて高く、3世代家族が多いとみられる。

	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	不明・ 無回答
全体(N=2,259)	69.4	25.3	23.2	10.3	11.9	1.6	2.6	4.8
1ブロック(N=316)	70.9	20.9	24.4	8.2	9.8	1.3	2.8	5.1
2ブロック(N=318)	69.8	21.7	26.4	8.5	7.2	2.5	2.2	3.5
3ブロック(N=318)	70.8	20.8	22.6	8.8	10.4	1.3	2.8	5.0
4ブロック(N=311)	67.5	27.3	23.2	9.0	8.7	2.3	3.2	3.2
5ブロック(N=355)	69.0	28.2	21.7	9.6	13.8	1.1	2.3	4.8
6ブロック(N=356)	73.6	20.5	25.0	7.3	9.3	0.8	2.5	5.3
7ブロック(N=285)	62.8	39.6	18.9	22.5	25.6	2.1	2.5	6.7

問2 (1) -2 日中、1人になることの有無

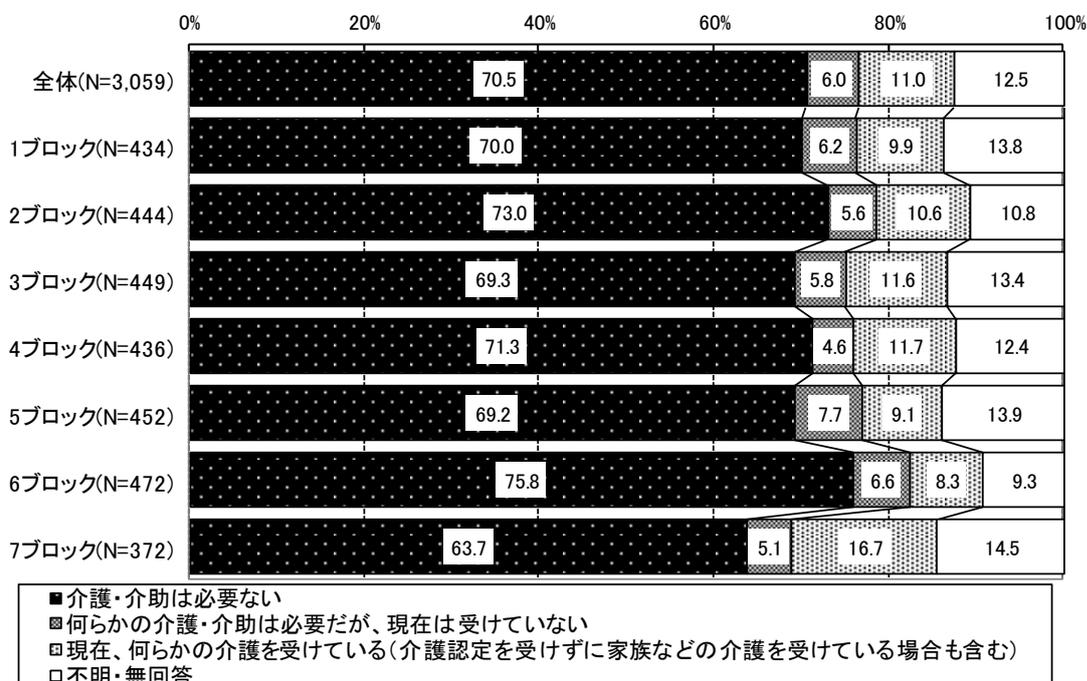
【全体】日中、1人になることは、「よくある」「たまにある」をあわせて81.3%である。



問2（2） 日常生活での介護・介助の必要の有無

【全体】日常生活での介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が70.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が11.0%などとなっている。

【ブロック別】「介護・介助は必要ない」の割合は6ブロック、2ブロック、4ブロックの順に高い。7ブロックでは最も低い。



問2（2）-1 介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）

【全体】介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が22.8%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が18.9%、「関節の病気(リウマチ等)」が15.3%などとなっている。

	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	不明・無回答
全体(N=518)	12.2	8.3	5.8	5.2	15.3	9.5	2.3	5.6	10.8	18.9	9.8	22.8	11.4	1.0	15.1
1ブロック(N=70)	12.9	8.6	4.3	2.9	7.1	11.4	1.4	11.4	11.4	27.1	15.7	12.9	7.1	1.4	12.9
2ブロック(N=72)	8.3	6.9	5.6	6.9	15.3	15.3	5.6	2.8	11.1	16.7	8.3	22.2	5.6	1.4	12.5
3ブロック(N=78)	11.5	7.7	6.4	2.6	23.1	6.4	2.6	2.6	14.1	24.4	10.3	21.8	12.8	1.3	12.8
4ブロック(N=71)	11.3	12.7	9.9	9.9	15.5	14.1	1.4	9.9	8.5	22.5	9.9	29.6	11.3	0.0	12.7
5ブロック(N=76)	9.2	14.5	2.6	5.3	21.1	9.2	1.3	2.6	6.6	21.1	11.8	28.9	9.2	1.3	17.1
6ブロック(N=70)	12.9	7.1	7.1	5.7	15.7	7.1	4.3	4.3	7.1	12.9	8.6	27.1	12.9	0.0	17.1
7ブロック(N=81)	18.5	1.2	4.9	3.7	8.6	3.7	0.0	6.2	16.0	8.6	4.9	17.3	19.8	1.2	19.8

問2 (2) -2 介護・介助をしている方

【全体】介護・介助をしている方は、「介護サービスのヘルパー」が40.0%で最も多く、次いで「娘」が14.3%、「配偶者(夫・妻)」が12.2%などとなっている。

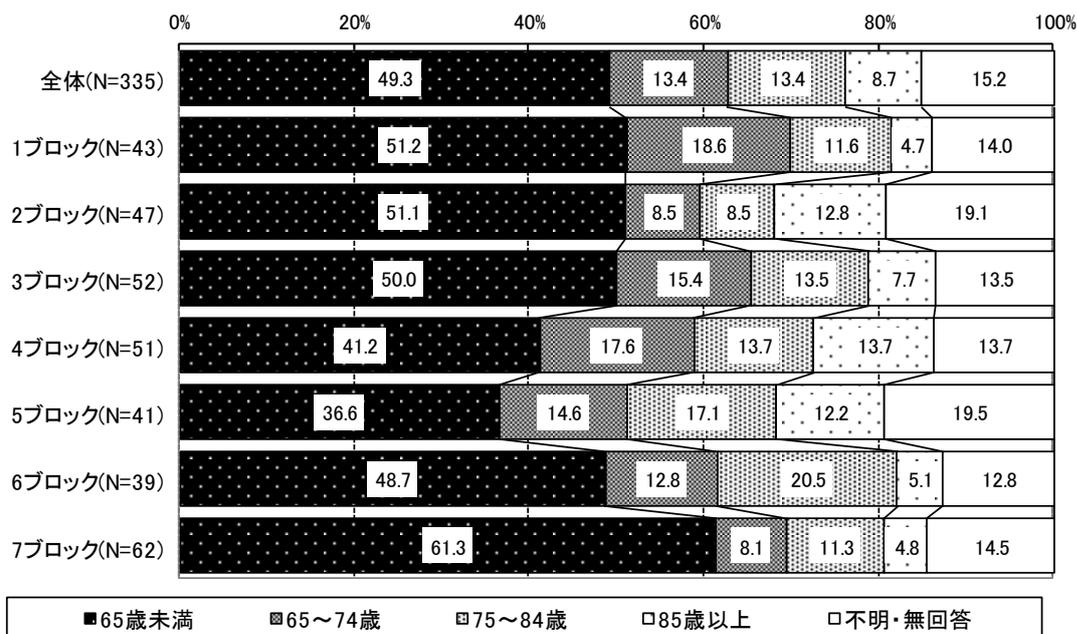
【ブロック別】「介護サービスのヘルパー」の割合は7ブロックで50%を超えている。「娘」の割合は1ブロックで30%を超えている。

	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サー ビスのヘ ルパー	その他	不明・ 無回答
全体(N=335)	12.2	6.9	14.3	3.9	0.0	1.2	40.0	2.4	19.1
1ブロック(N=43)	7.0	4.7	30.2	2.3	0.0	2.3	32.6	2.3	18.6
2ブロック(N=47)	10.6	6.4	12.8	4.3	0.0	0.0	44.7	0.0	21.3
3ブロック(N=52)	9.6	7.7	17.3	5.8	0.0	0.0	40.4	1.9	17.3
4ブロック(N=51)	19.6	9.8	13.7	3.9	0.0	0.0	29.4	0.0	23.5
5ブロック(N=41)	12.2	9.8	9.8	2.4	0.0	2.4	34.1	4.9	24.4
6ブロック(N=39)	23.1	7.7	12.8	0.0	0.0	0.0	43.6	0.0	12.8
7ブロック(N=62)	6.5	3.2	6.5	6.5	0.0	3.2	51.6	6.5	16.1

問2 (2) -3 介護・介助をしている方の年齢

【全体】介護・介助をしている方の年齢は、「65歳未満」が49.3%で最も多い。

【ブロック別】「65歳未満」の割合は7ブロックで高い。「75～84歳」の割合が6ブロックで高くなっている。



問2（3） 年金の種類（複数回答）

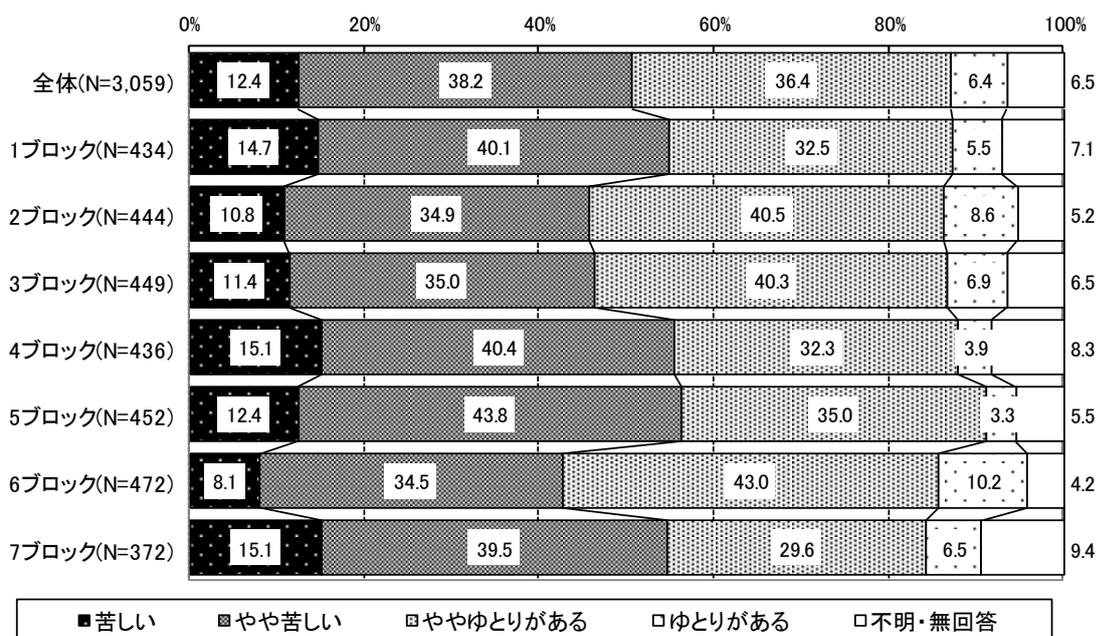
【全体】年金の種類は、「国民年金」が40.8%で最も多く、次いで「厚生年金（企業年金あり）」が28.0%、「厚生年金（企業年金なし）」が23.5%などとなっている。

	国民年金	厚生年金 (企業年金 あり)	厚生年金 (企業年金 なし)	共済年金	無年金	その他	不明・ 無回答
全体(N=3,059)	40.8	28.0	23.5	8.9	2.0	3.5	4.3
1ブロック(N=434)	38.0	28.6	24.9	11.1	3.0	2.8	3.9
2ブロック(N=444)	42.3	27.0	24.1	10.6	1.6	4.1	4.3
3ブロック(N=449)	39.6	26.9	24.7	8.0	1.8	2.9	4.7
4ブロック(N=436)	40.6	25.0	25.0	6.9	4.1	3.0	4.6
5ブロック(N=452)	41.8	28.3	24.6	5.8	1.5	2.9	5.3
6ブロック(N=472)	41.5	32.2	24.6	7.4	1.3	3.6	1.9
7ブロック(N=372)	41.9	27.7	15.1	13.7	0.8	5.9	5.6

問2（4） 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるか

【全体】現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるかについては、苦しいと感じる割合（「苦しい」「やや苦しい」の合計）は50.6%である。

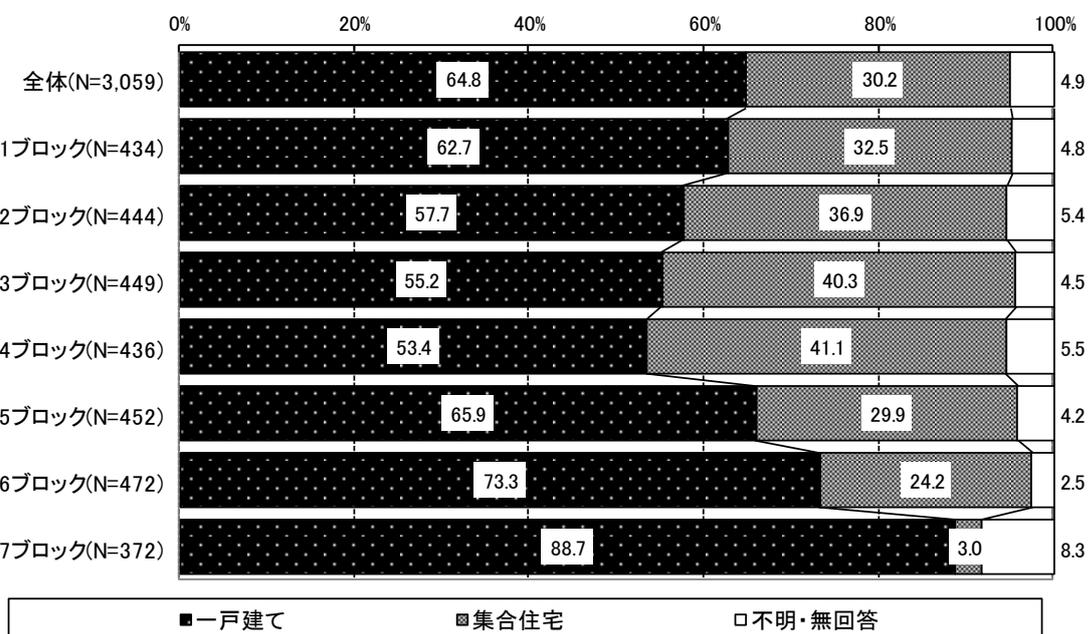
【ブロック別】苦しいと感じる割合は、5ブロック、4ブロックの順に高い。また、ゆとりを感じる割合（「ややゆとりがある」「ゆとりがある」の合計）は6ブロック、2ブロックの順に高い。



問2（5） 一戸建て、集合住宅の属性

【全体】住居は、「一戸建て」が64.8%、「集合住宅」が30.2%となっている。

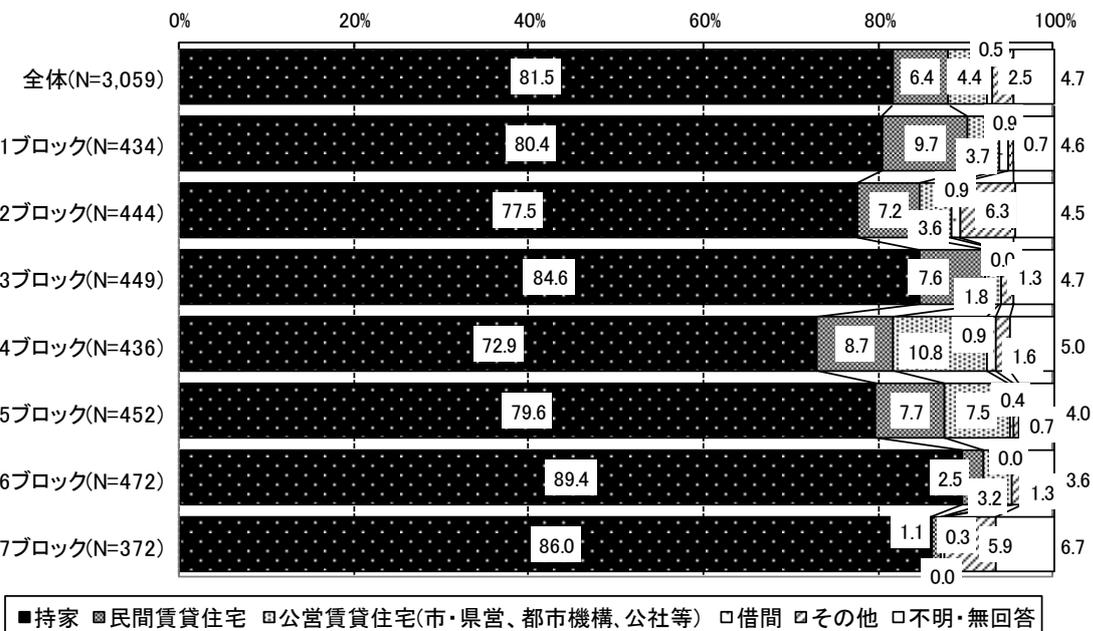
【ブロック別】「一戸建て」の割合は7ブロック、6ブロックの順に高い。「集合住宅」の割合は4ブロック、3ブロックの順に高い。



問2（6） 住居の種類

【全体】住居の種類は、「持家」が81.5%で最も多い。

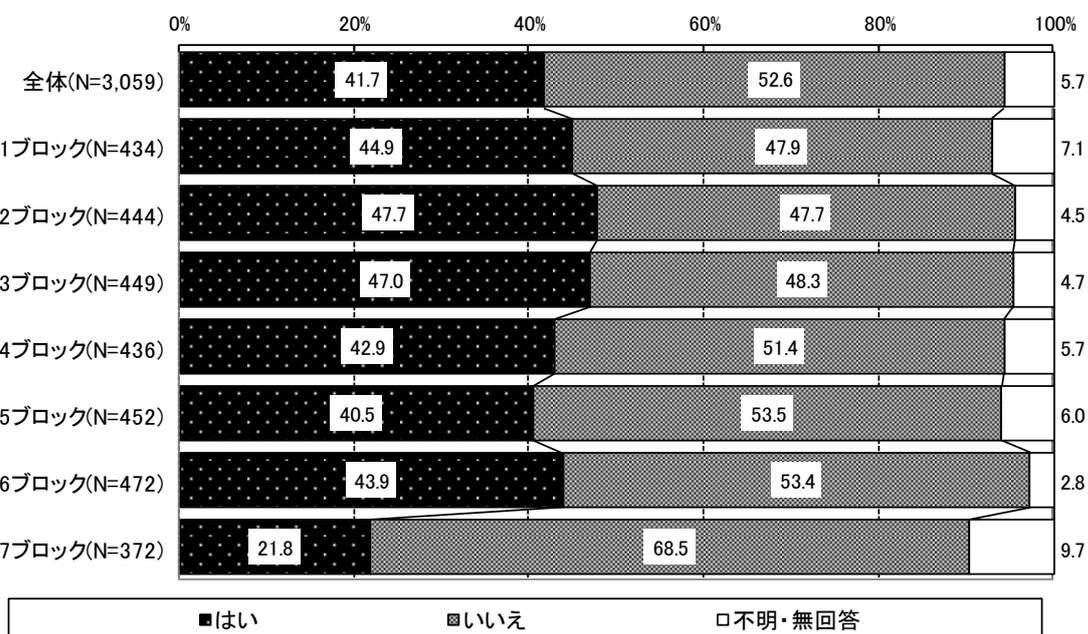
【ブロック別】「持家」の割合は、6ブロック、7ブロックの順で高い。「公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等)」の割合は4ブロックで高くなっている。



問2（7） 主な生活の部屋は2階以上か

【全体】 主な生活の部屋は2階以上である割合は、41.7%である。

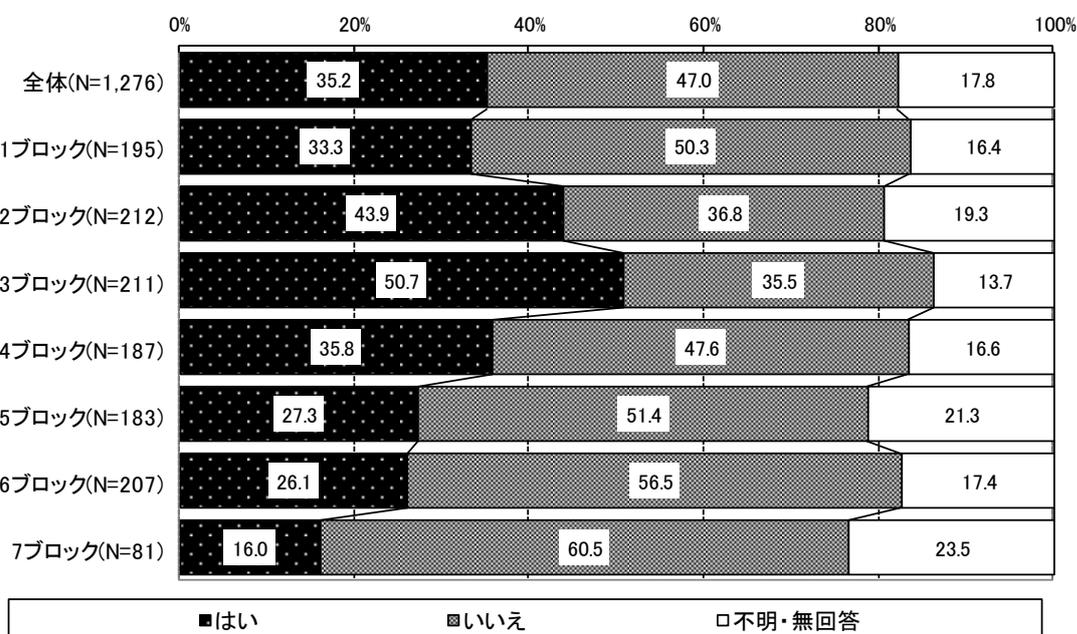
【ブロック別】 7ブロックでは、2階以上の割合が他に比べ低く、1階で生活している方が多いと考えられる。



問2（7）-1 エレベーター設置の有無

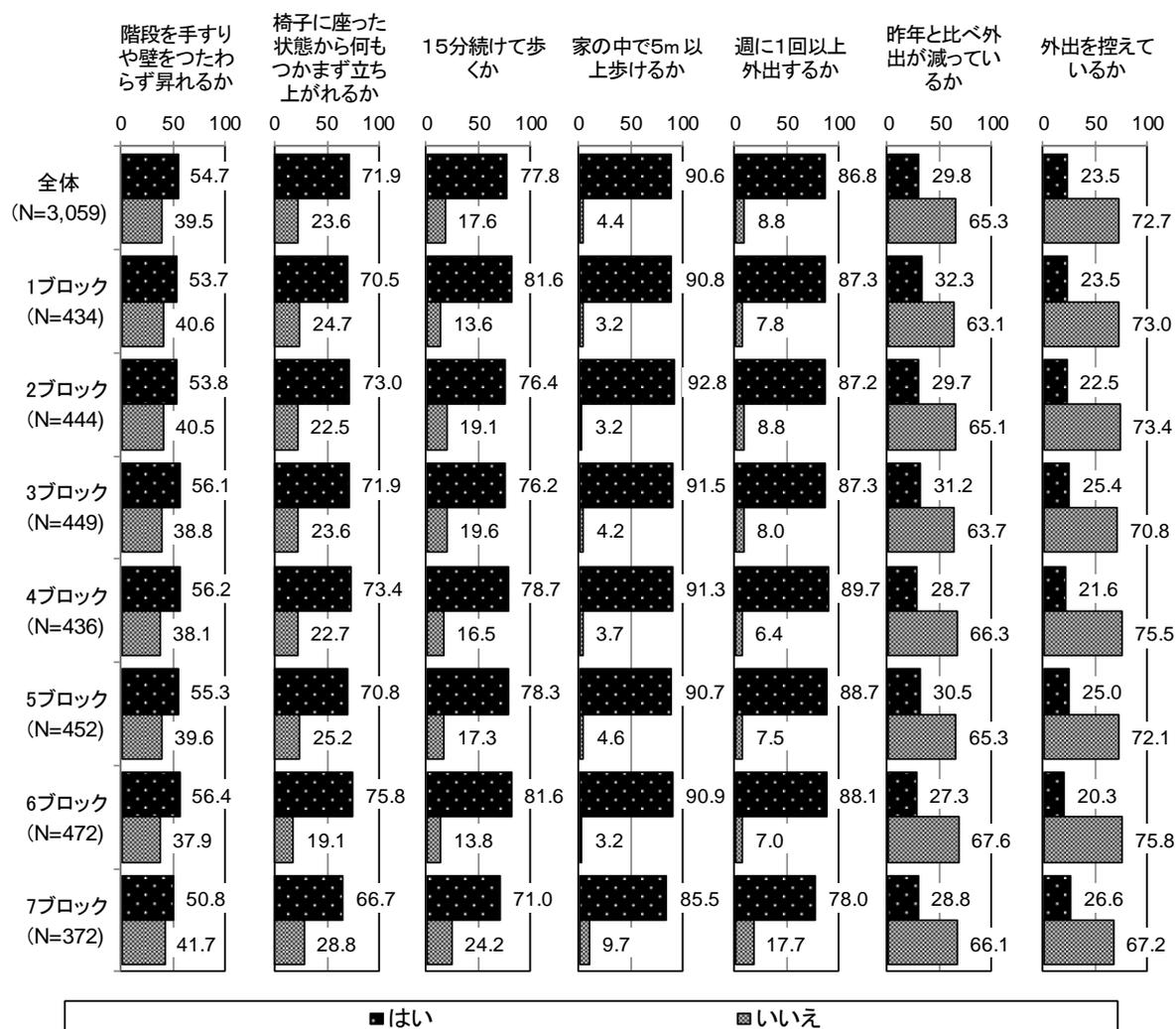
【全体】 エレベーターの設置は、「はい」が35.2%、「いいえ」が47.0%となっている。

【ブロック別】 エレベーターの設置の割合は、3ブロック、2ブロックで高くなっている。



問3 運動・閉じこもりについて

- ・問3 (1) 【全体】 階段を手すりや壁をつたわずに昇れる割合は54.7%である。
 - ・問3 (2) 【全体】 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる割合は71.9%である。
 - ・問3 (3) 【全体】 15分位続けて歩いている割合は77.8%である。
 - ・問3 (4) 【全体】 家の中で5m以上歩ける割合は90.6%である。
 - ・問3 (5) 【全体】 週に1回以上は外出する割合は86.8%である。
 - ・問3 (1)～(5) 【ブロック別】 6ブロックでは運動できる、している割合が他と比べて高い傾向が、7ブロックでは運動できる、している割合が最も低い傾向がみられる。
 - ・問3 (6) 【全体】 昨年と比べて外出の回数が減っている割合は29.8%である。
 - ・問3 (7) 【全体】 外出を控えている割合は23.5%である。
- 【ブロック別】 3ブロックでは外出の減少、控えている割合が高い。



問3 (7) -1 外出を控えている理由 (複数回答)

【全体】 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が59.2%で最も多い。

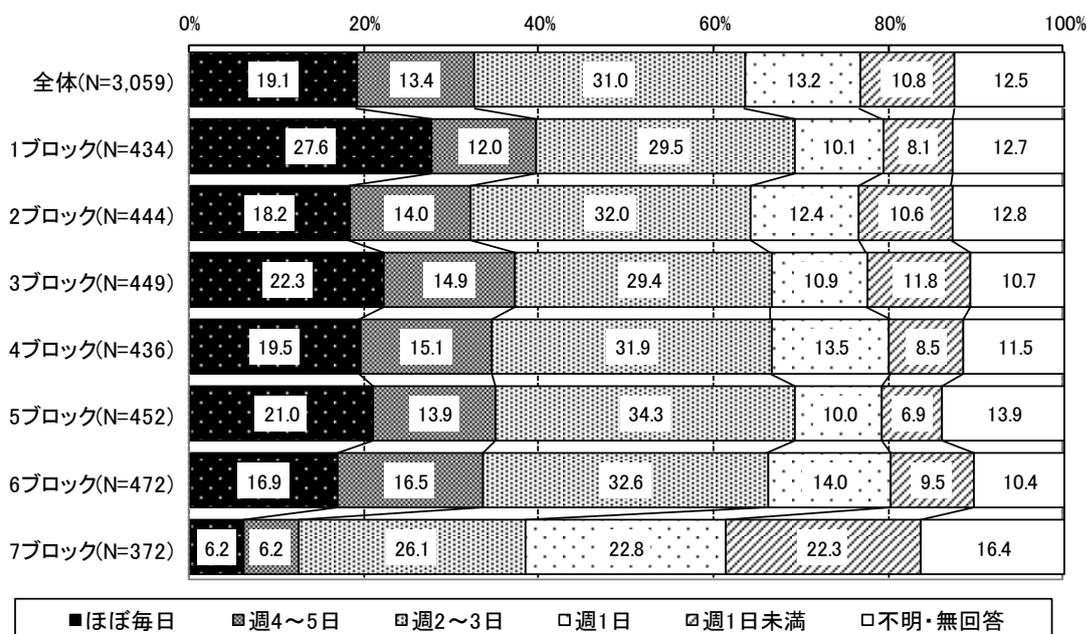
【ブロック別】 7ブロックでは、「経済的に出られない」「交通手段がない」の割合が高い。

	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	不明・無回答
全体(N=718)	17.7	6.0	59.2	16.6	10.3	8.8	15.0	11.3	11.7	5.7	4.5
1ブロック(N=102)	17.6	4.9	54.9	20.6	10.8	12.7	20.6	11.8	8.8	6.9	4.9
2ブロック(N=100)	18.0	7.0	68.0	18.0	7.0	8.0	11.0	4.0	7.0	6.0	4.0
3ブロック(N=114)	23.7	7.0	57.9	13.2	9.6	7.0	15.8	5.3	6.1	6.1	4.4
4ブロック(N=94)	21.3	3.2	53.2	16.0	10.6	9.6	20.2	19.1	14.9	8.5	3.2
5ブロック(N=113)	16.8	4.4	63.7	15.9	10.6	5.3	13.3	13.3	8.0	4.4	6.2
6ブロック(N=96)	17.7	5.2	66.7	18.8	14.6	7.3	13.5	6.3	14.6	6.3	2.1
7ブロック(N=99)	8.1	10.1	49.5	14.1	9.1	12.1	11.1	20.2	24.2	2.0	6.1

問3 (8) 買い物の頻度

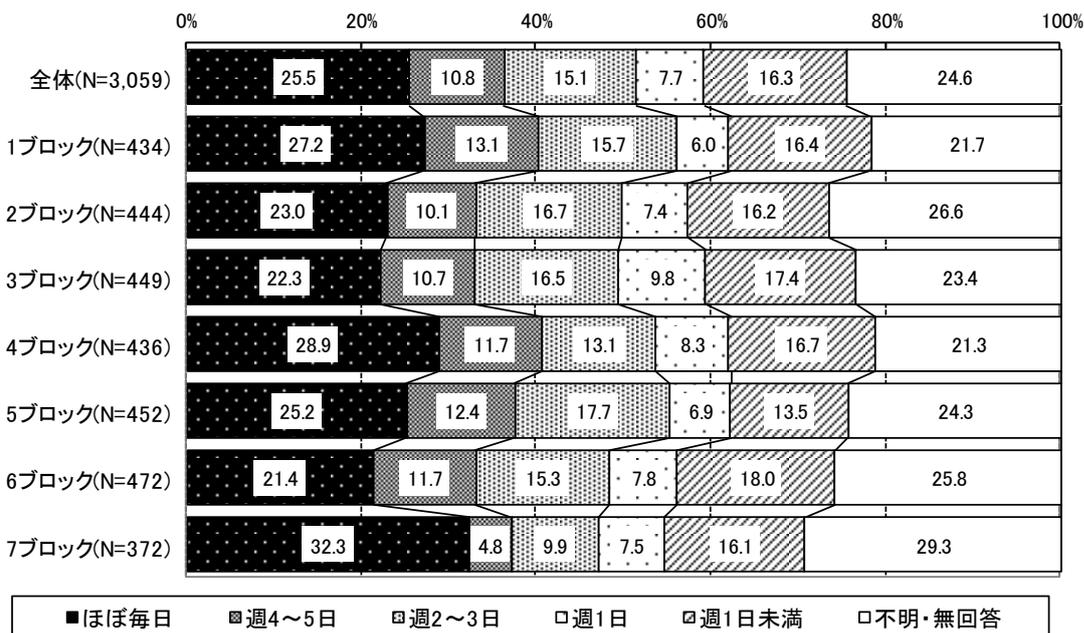
A【全体】 買い物の頻度は、「週2~3日」が31.0%で最も多い。

【ブロック別】 7ブロックでは買い物の頻度が他に比べて低い。



問3(8) 散歩の頻度

B【全体】散歩の頻度は、「ほぼ毎日」が25.5%で最も多い。



問3(9) 外出の手段(複数回答)

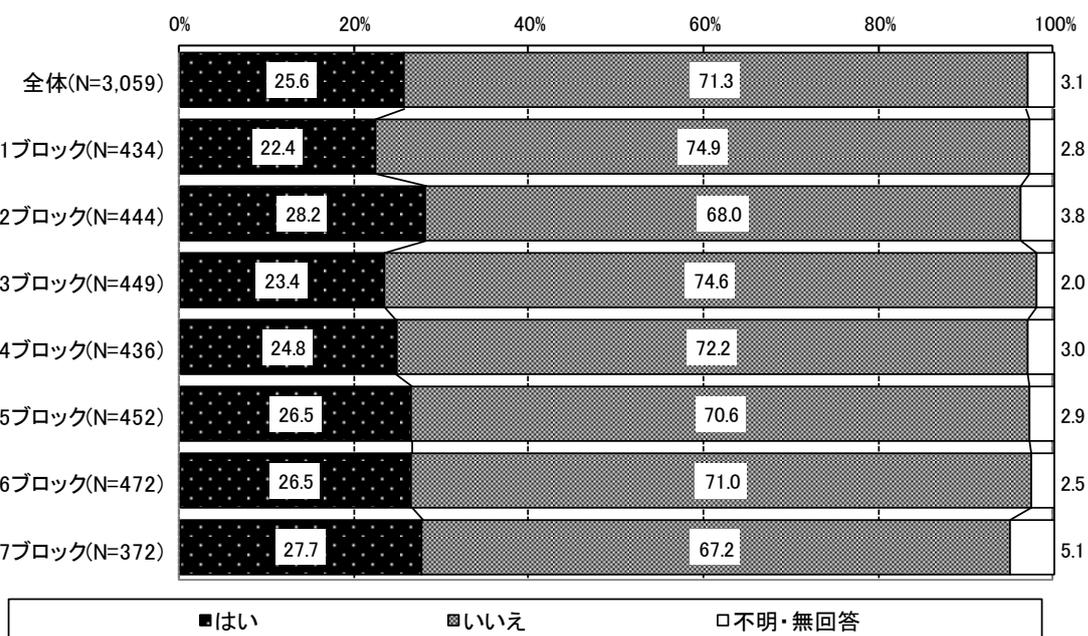
【全体】外出の手段は、「徒歩」が65.3%で最も多い。

【ブロック別】「徒歩」は1ブロックで最も高い。「電車」は3ブロックで最も高くなっている。また、「自動車」が最も高くなっている7ブロックでは、「徒歩」「電車」が最も低くなっている。

	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に 乗せて もらう)	電車	路線バ ス	病院や 施設の バス	車いす	電動車 いす (カー ト)	歩行器 ・シル バーカ ー	タクシ ー	その他	不明・ 無回答
全体(N=3,059)	65.3	19.4	6.1	33.5	22.6	40.3	24.9	2.9	1.9	0.3	2.3	14.7	0.1	2.3
1ブロック(N=434)	73.3	31.6	7.8	27.0	20.3	44.9	15.0	1.8	1.2	0.5	2.5	17.5	0.5	0.9
2ブロック(N=444)	69.8	8.1	3.2	29.3	19.4	47.5	35.1	3.2	2.0	0.2	3.2	19.6	0.0	2.5
3ブロック(N=449)	72.8	12.9	4.9	26.9	22.7	50.1	26.1	4.0	2.0	0.0	1.3	18.5	0.0	1.6
4ブロック(N=436)	71.6	37.6	7.6	24.8	23.9	35.1	28.0	1.6	1.4	0.5	3.7	12.4	0.0	3.0
5ブロック(N=452)	70.4	32.3	8.0	31.9	21.5	41.4	15.5	1.1	1.5	0.0	2.4	12.6	0.0	2.0
6ブロック(N=472)	62.9	3.0	7.4	44.1	22.7	43.9	37.5	3.8	1.1	0.2	0.8	16.7	0.2	1.9
7ブロック(N=372)	30.6	10.2	3.2	53.2	29.0	15.1	14.5	5.1	4.6	0.5	2.2	4.0	0.0	4.3

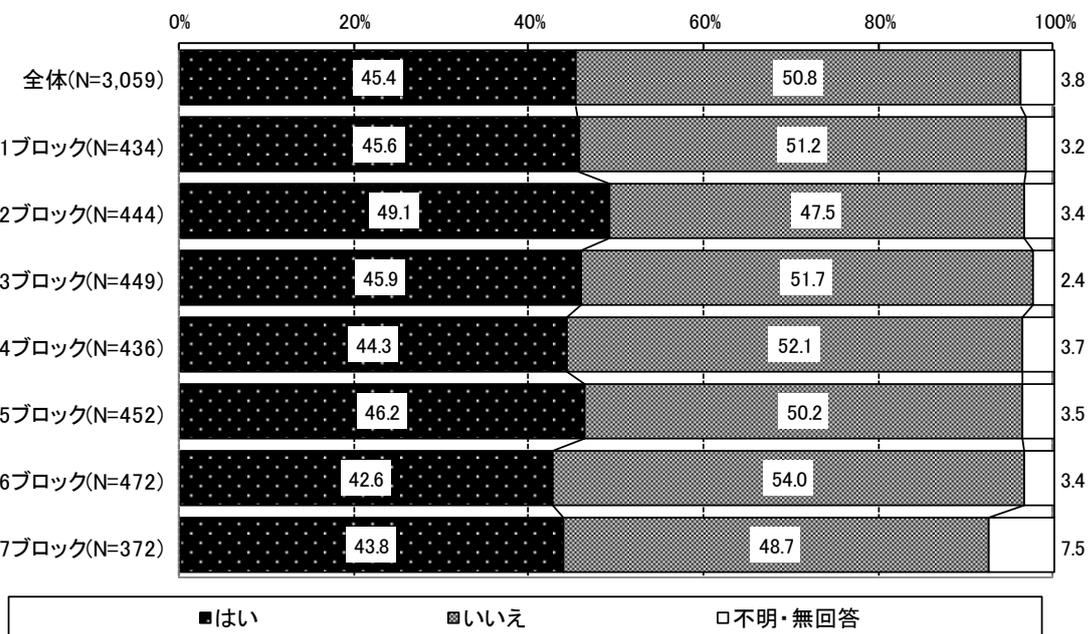
問4（1） この1年間に転んだか

【全体】 この1年間に転んだ方の割合は、25.6%となっている。



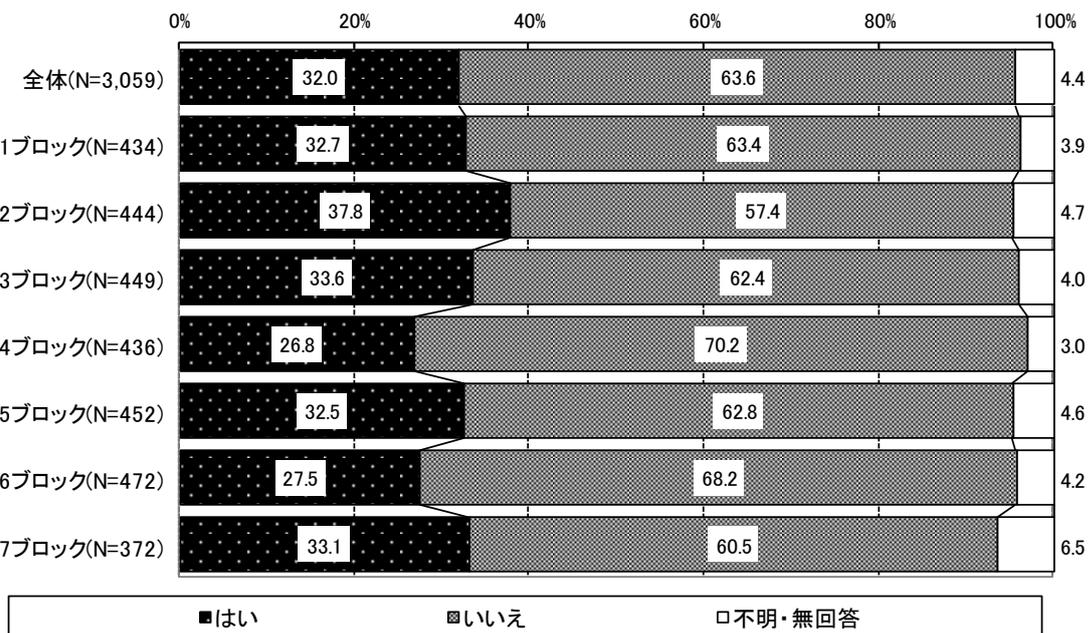
問4（2） 転倒の不安は大きい

【全体】 転倒の不安が大きいと思う方の割合は、45.4%となっている。



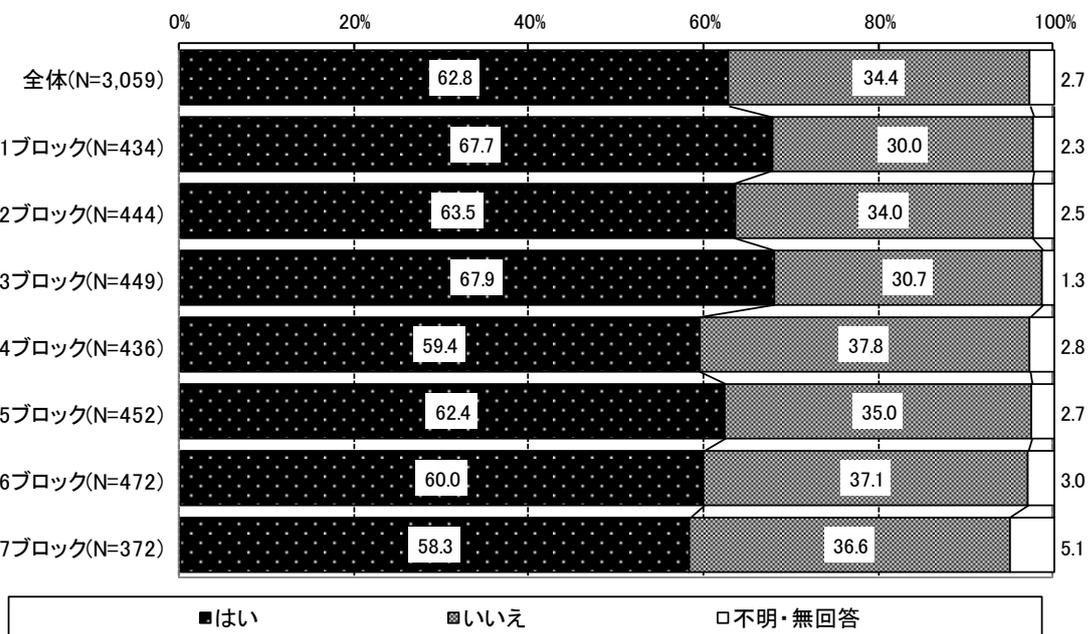
問4（3） 背中が丸くなってきたか

【全体】 背中が丸くなってきたと感じる方の割合は、32.0%となっている。



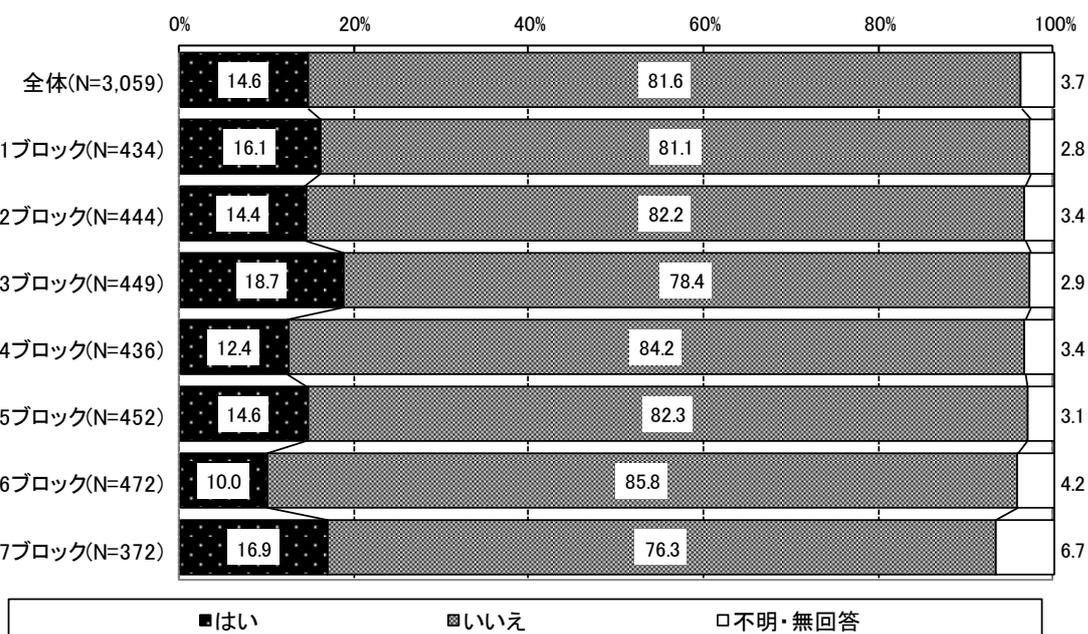
問4（4） 歩くのが遅くなったか

【全体】 歩くのが遅くなったと感じる方の割合は、62.8%となっている。



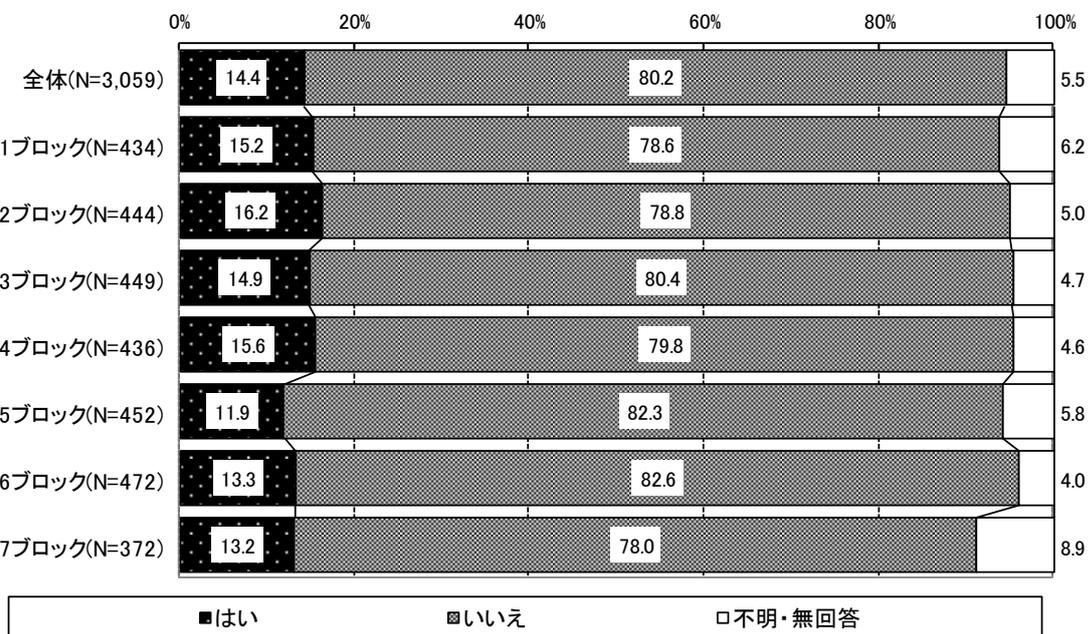
問4（5） 杖の使用

【全体】杖を使用している方の割合は、14.6%となっている。



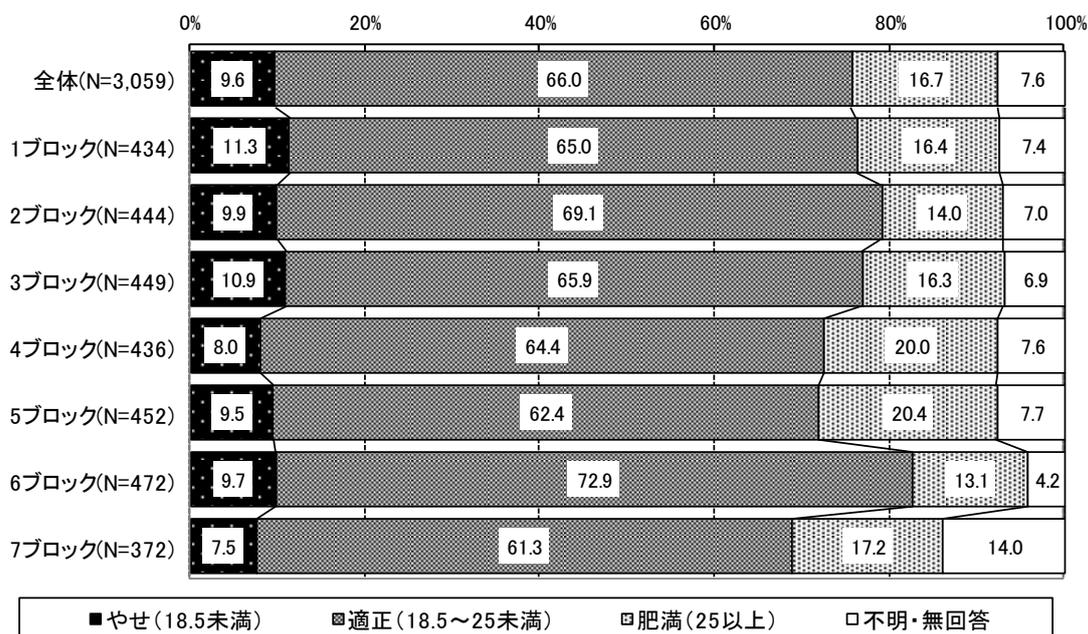
問5（1） 6か月間で2～3kg以上の体重減の有無

【全体】6か月間で2～3kg以上の体重減があった方の割合は、14.4%となっている。



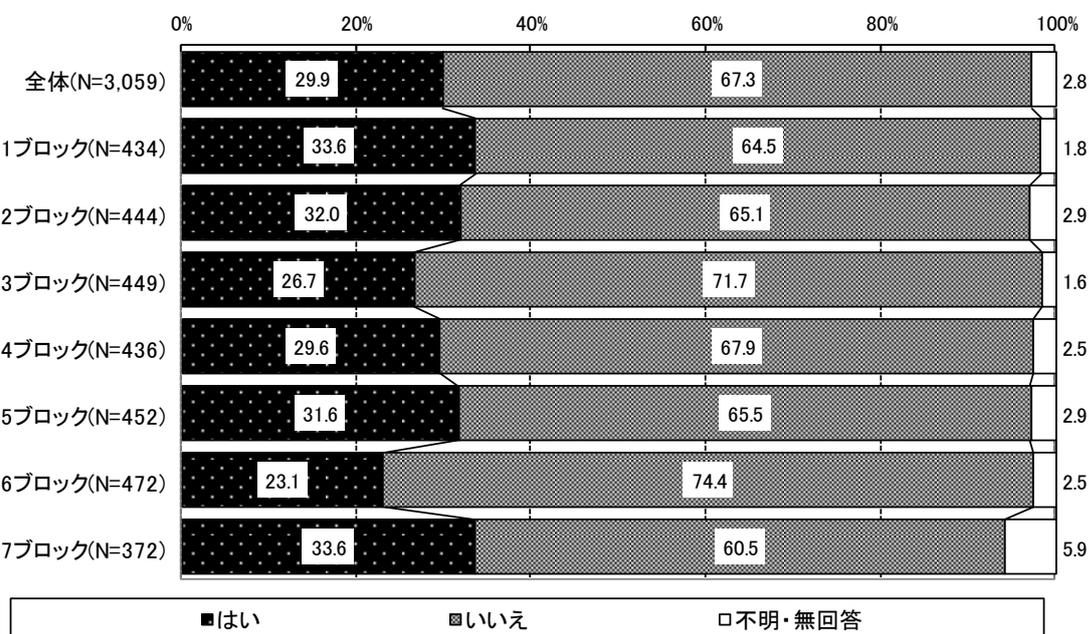
問5（2） BMI判定

【全体】BMI判定は、「やせ（18.5未満）」が9.6%、「適正（18.5～25未満）」が66.0%、「肥満（25以上）」が16.7%となっている。



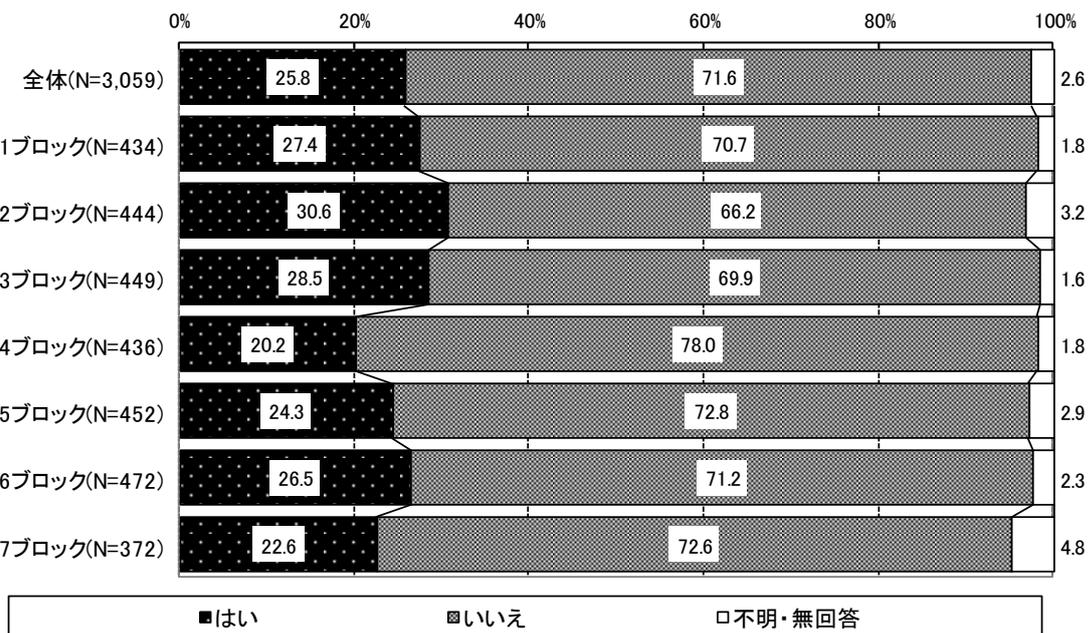
問5（3） 半年前より固い物が食べにくい

【全体】半年前より固い物が食べにくいと感じる方の割合は、29.9%となっている。



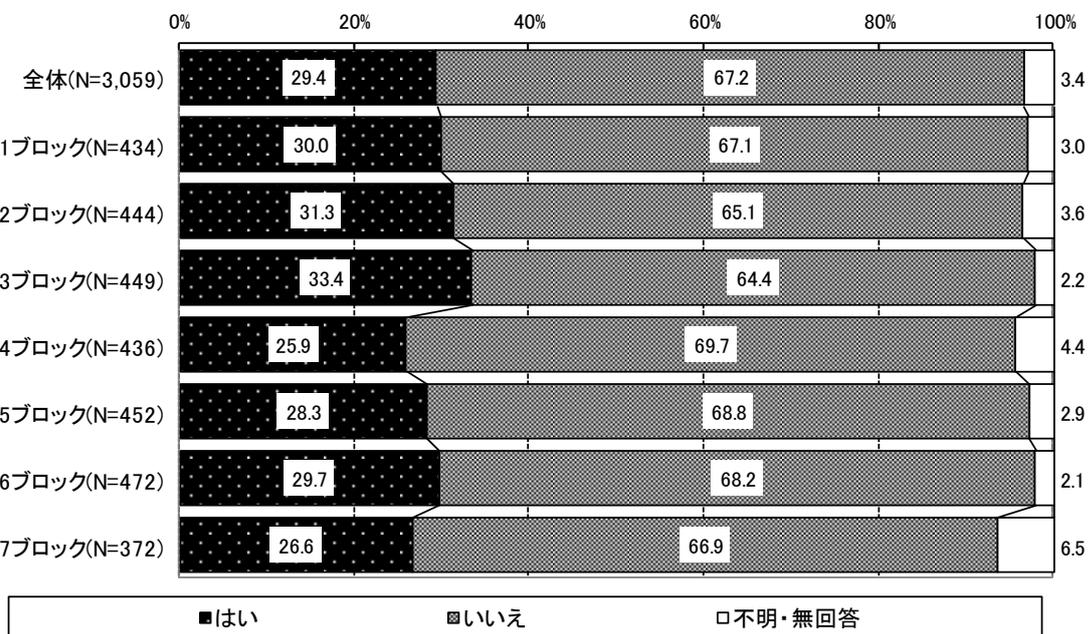
問5（4） お茶や汁物でむせるか

【全体】 お茶や汁物でむせると感じる方の割合は、25.8%となっている。



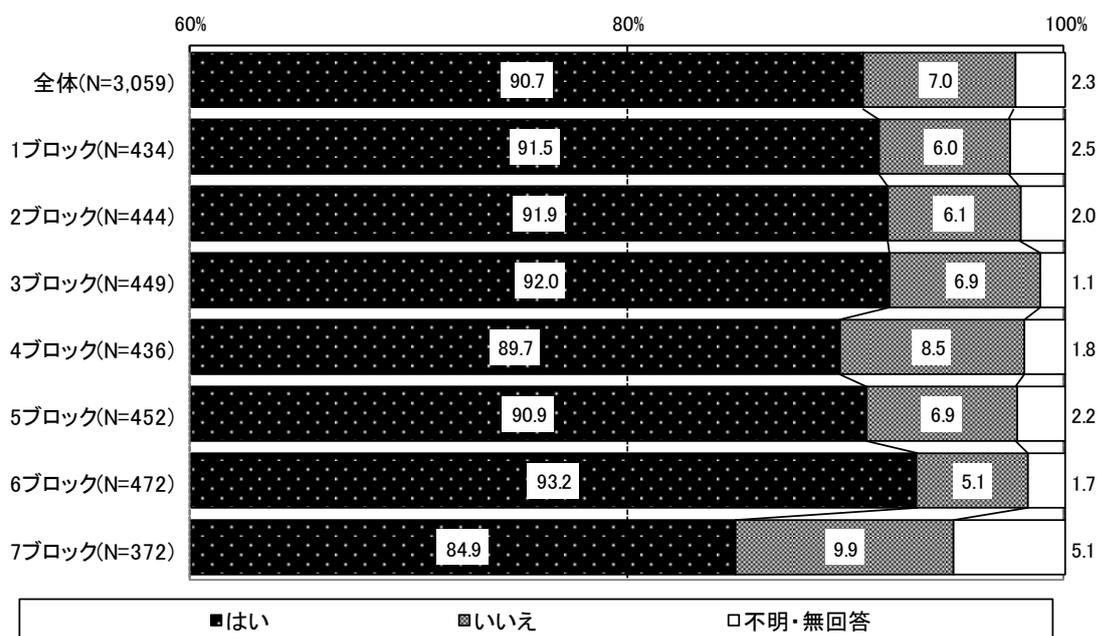
問5（5） 口の渇きが気になるか

【全体】 口の渇きが気になると感じる方の割合は、29.4%となっている。



問5（6） 歯磨きを毎日するか

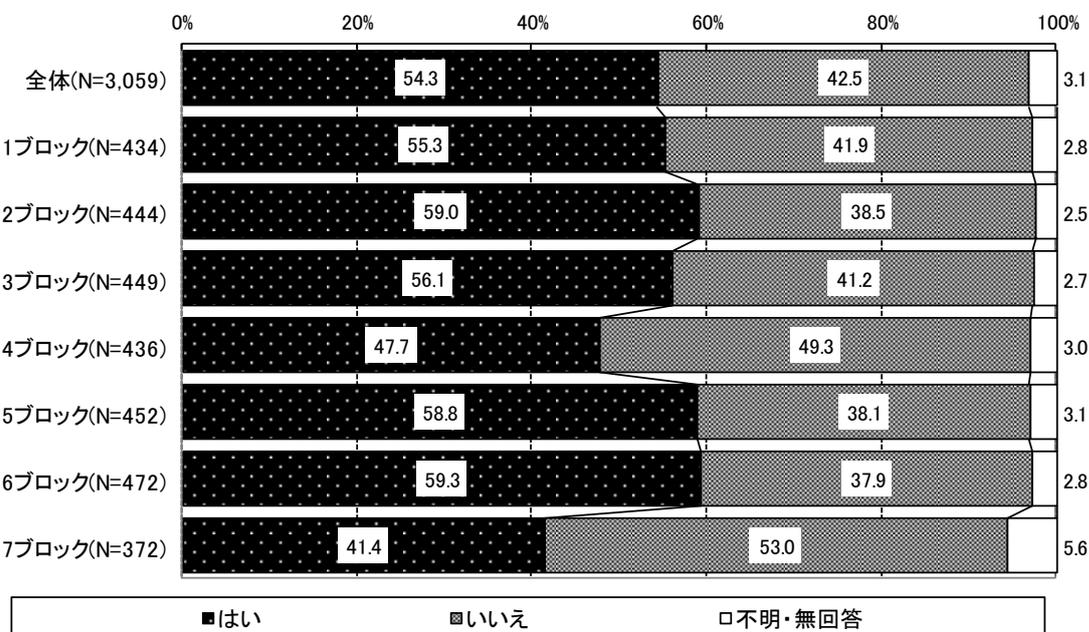
【全体】 歯磨きを毎日する方の割合は、90.7%となっている。



問5（7） 定期的な歯科受診の有無

【全体】 定期的に歯科受診をしている方の割合は、54.3%となっている。

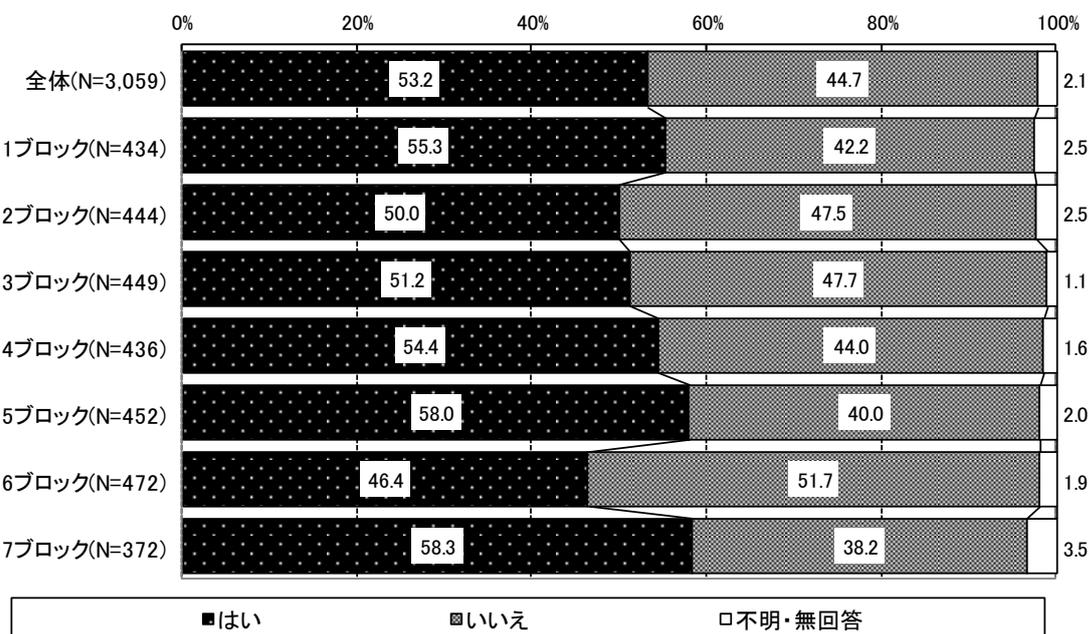
【ブロック別】 6ブロック、2ブロック、5ブロックでは、受診の割合が高いが、7ブロック、4ブロックでは割合が低い。



問5（8） 入れ歯の使用

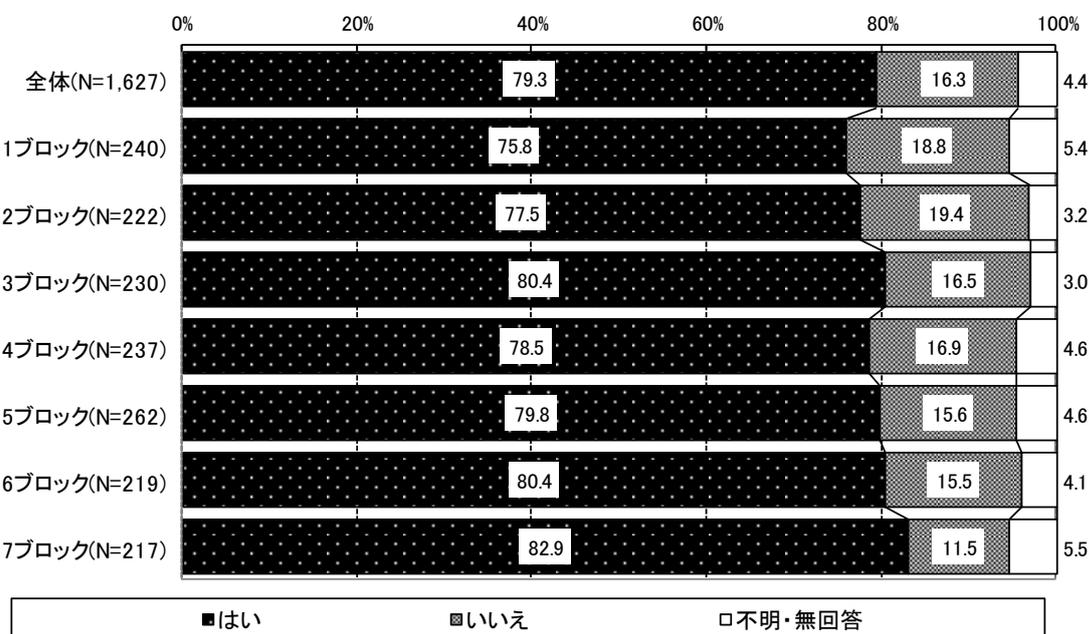
【全体】 入れ歯を使用している方の割合は、53.2%となっている。

【ブロック別】 7ブロック、5ブロックでは、割合が高い。



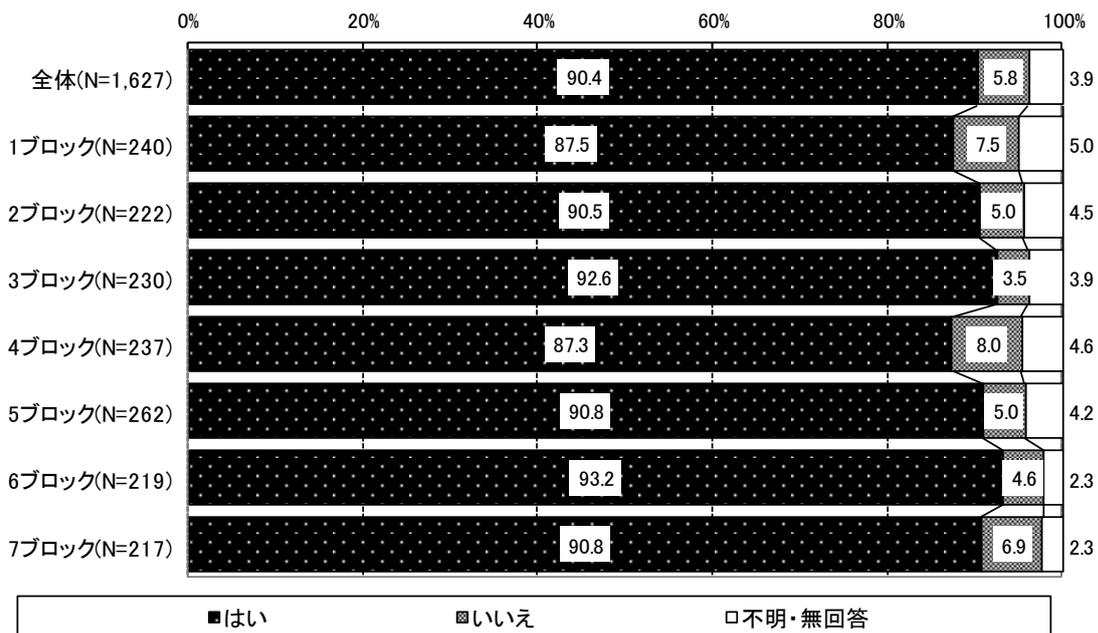
問5（8）-1 噛み合わせがいいか

【全体】 噛み合わせがいいと感じる方の割合は、79.3%となっている。



問5 (8) -2 毎日の入れ歯の手入れ

【全体】 毎日の入れ歯の手入れをしている方の割合は、90.4%となっている。



問5 (9) 1日の食事回数

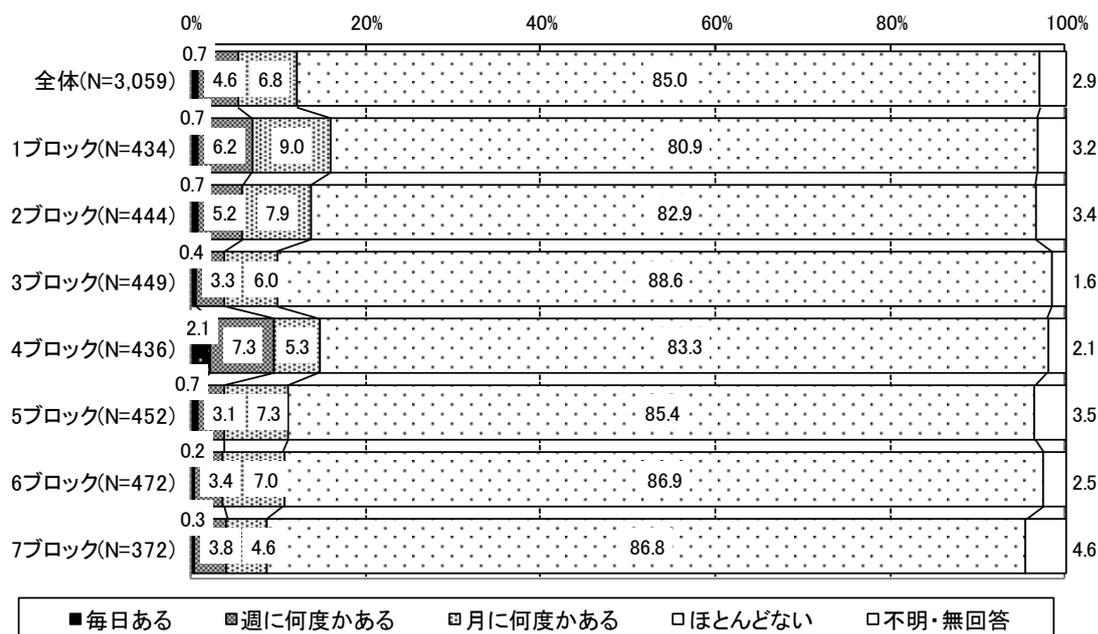
【全体】 1日の食事回数は、「朝昼晩の3食」が89.6%で最も多く、次いで「朝晩の2食」が3.8%、「昼晩の2食」が2.0%などとなっている。

【ブロック別】 「朝晩の2食」では、4ブロックが他に比べ高く、7ブロックが他に比べ低くなっている。

	朝昼晩の3食	朝晩の2食	朝昼の2食	昼晩の2食	1食	その他	不明・無回答
全体(N=3,059)	89.6	3.8	0.6	2.0	0.1	0.3	3.5
1ブロック(N=434)	88.0	4.1	0.5	2.3	0.2	0.2	4.6
2ブロック(N=444)	89.2	3.4	0.5	2.0	0.0	0.7	4.3
3ブロック(N=449)	90.2	4.9	0.2	2.2	0.2	0.0	2.2
4ブロック(N=436)	88.1	5.7	1.1	2.1	0.2	0.2	2.5
5ブロック(N=452)	89.2	3.5	0.9	2.4	0.0	0.0	4.0
6ブロック(N=472)	91.7	3.0	0.6	1.3	0.2	0.8	2.3
7ブロック(N=372)	90.9	1.6	0.5	1.9	0.0	0.0	5.1

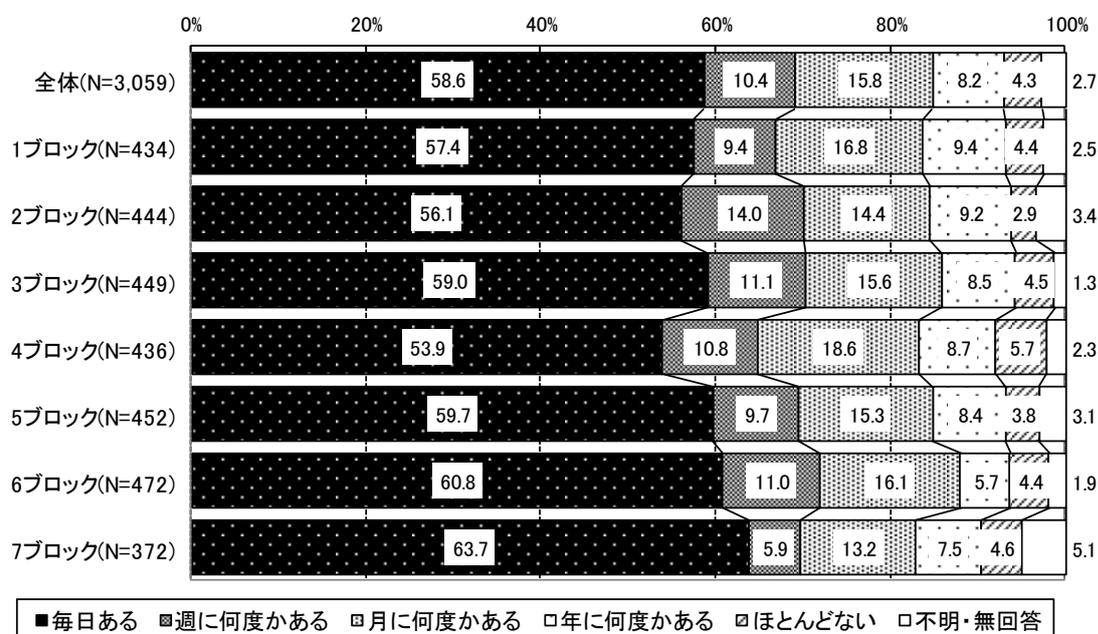
問5（10） 食事を抜く回数

【全体】 食事を抜く回数は、「ほとんどない」が85.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が6.8%、「週に何度かある」が4.6%などとなっている。



問5（11） 誰かと食事をとる機会の有無

【全体】 誰かと食事をとる機会の有無は、「毎日ある」が58.6%で最も多く、次いで「月に何度かある」が15.8%、「週に何度かある」が10.4%などとなっている。



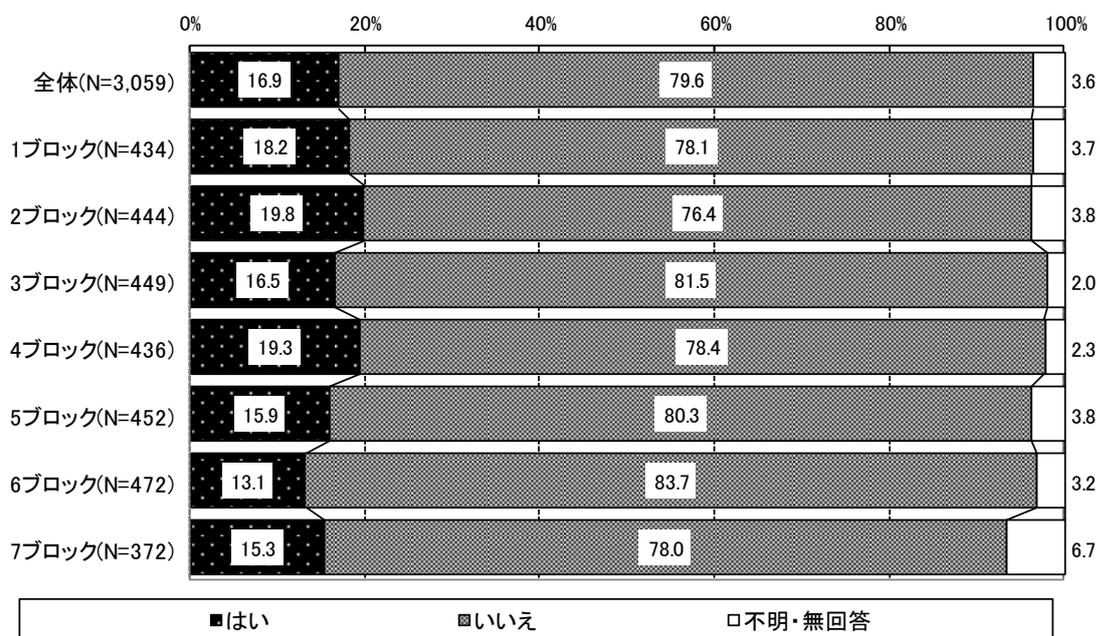
問5 (11) -1 食事をともしる人の内容 (複数回答)

【全体】 食事をともしる人の内容は、「家族」が 83.8%で最も多く、次いで「近所の人や友人」が 29.5%、「その他」が 6.0%などとなっている。

	家族	近所の人や友人	デイサービスの仲間	その他	不明・無回答
全体(N=2843)	83.8	29.5	3.9	6.0	1.6
1ブロック(N=404)	80.2	32.7	6.2	4.7	2.0
2ブロック(N=416)	84.9	33.2	3.6	6.7	1.7
3ブロック(N=423)	85.8	31.4	3.5	3.8	0.9
4ブロック(N=401)	83.5	30.7	4.0	4.5	1.7
5ブロック(N=421)	87.6	24.7	3.6	4.0	1.2
6ブロック(N=442)	84.4	29.9	2.0	9.3	0.9
7ブロック(N=336)	78.9	22.9	4.8	9.8	3.0

問6 (1) 周りから物忘れがあるとされるか

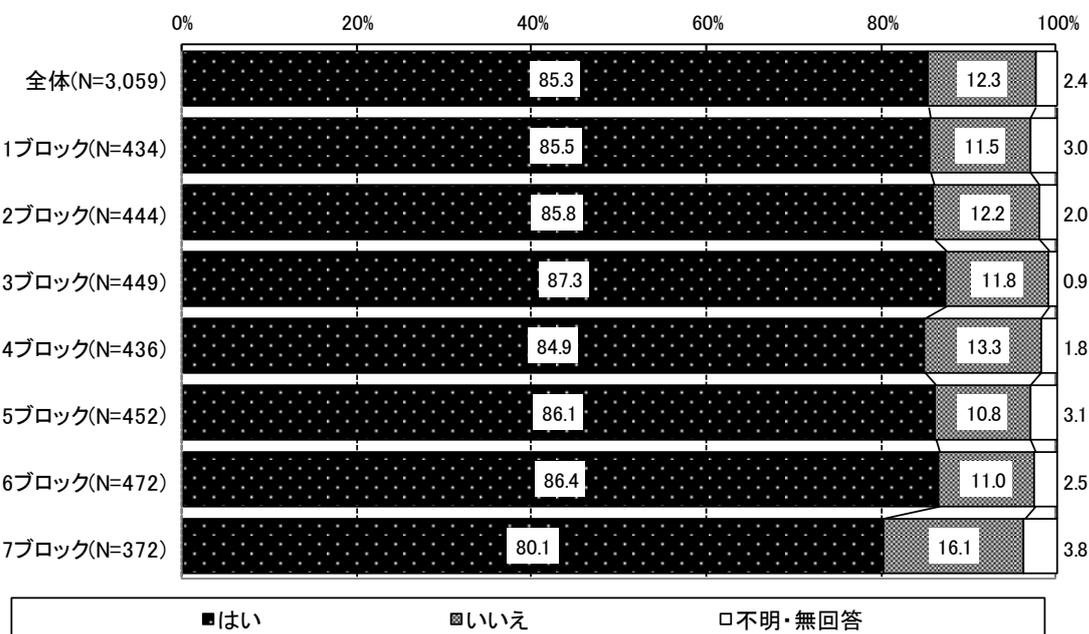
【全体】 周りから物忘れがあるとされる方の割合は、16.9%となっている。



問6（2） 自分で電話番号を調べ電話をするか

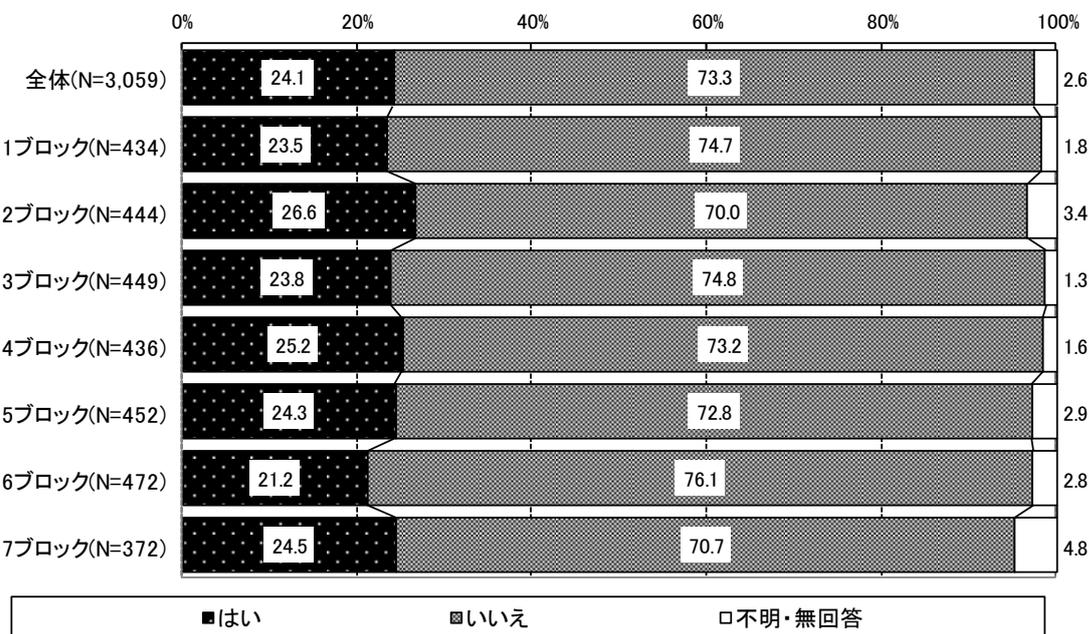
【全体】 自分で電話番号を調べ電話をする方の割合は、85.3%となっている。

【ブロック別】 7ブロックでは割合が低くなっている。



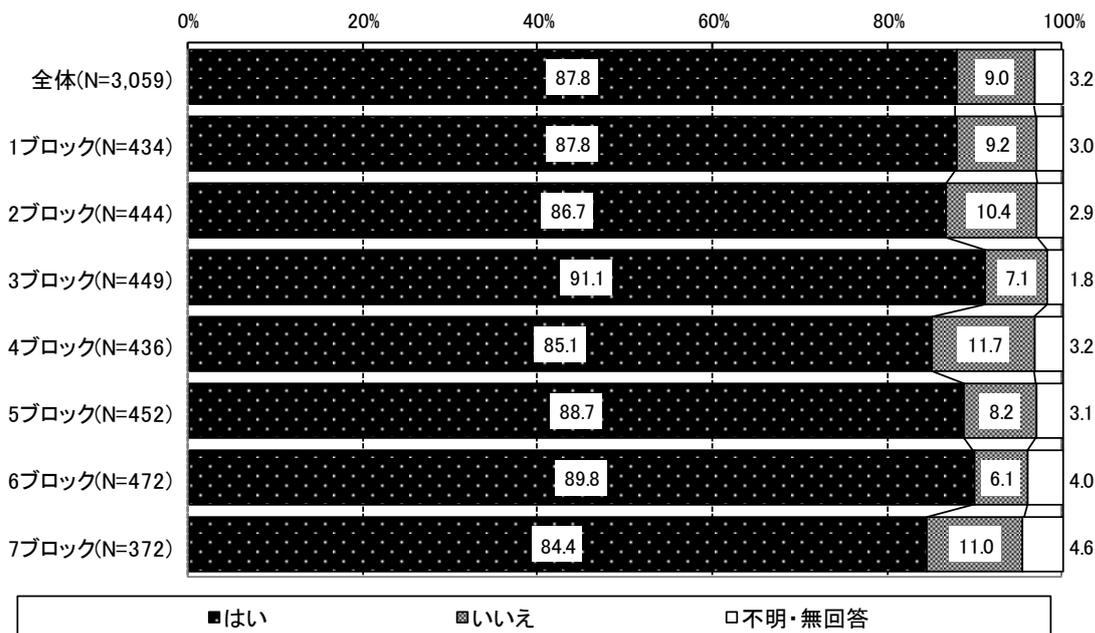
問6（3） 今日が何月何日かわからない時があるか

【全体】 今日が何月何日かわからない時があると感じる方の割合は、24.1%となっている。



問6（4） 5分前のことが思い出せるか

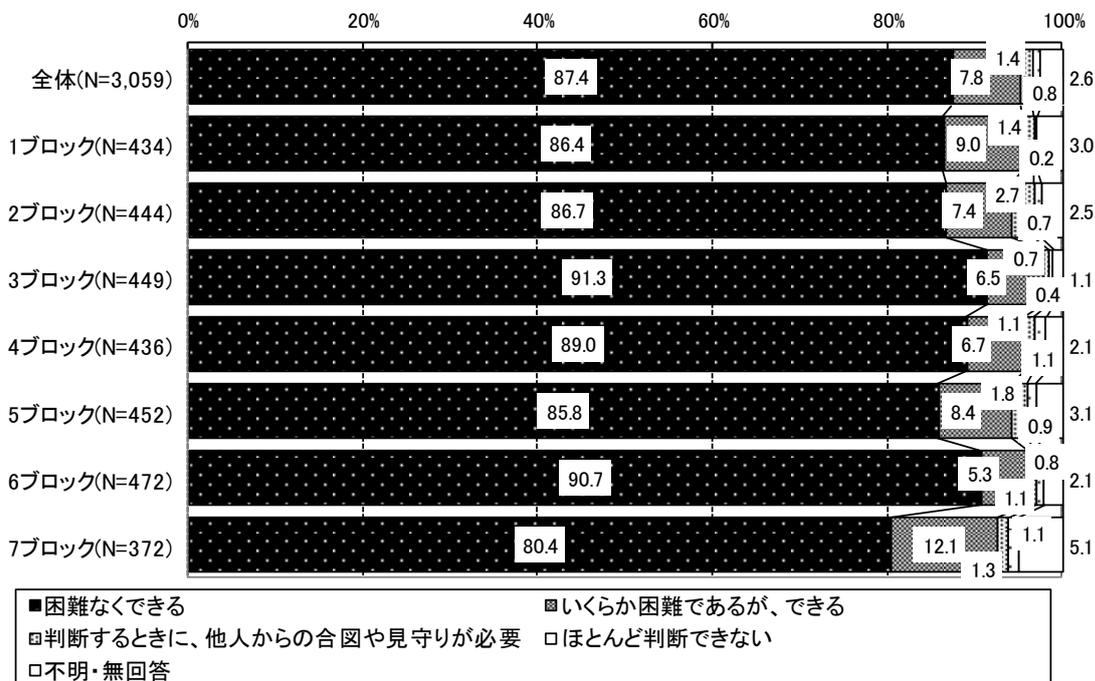
【全体】 5分前のことが思い出せる方の割合は、87.8%となっている。



問6（5） その日の活動の自信の判断

【全体】 その日の活動の自信の判断できる方の割合は、「困難なくできる」「いづらか困難であるが、できる」を合わせて95.2%である。

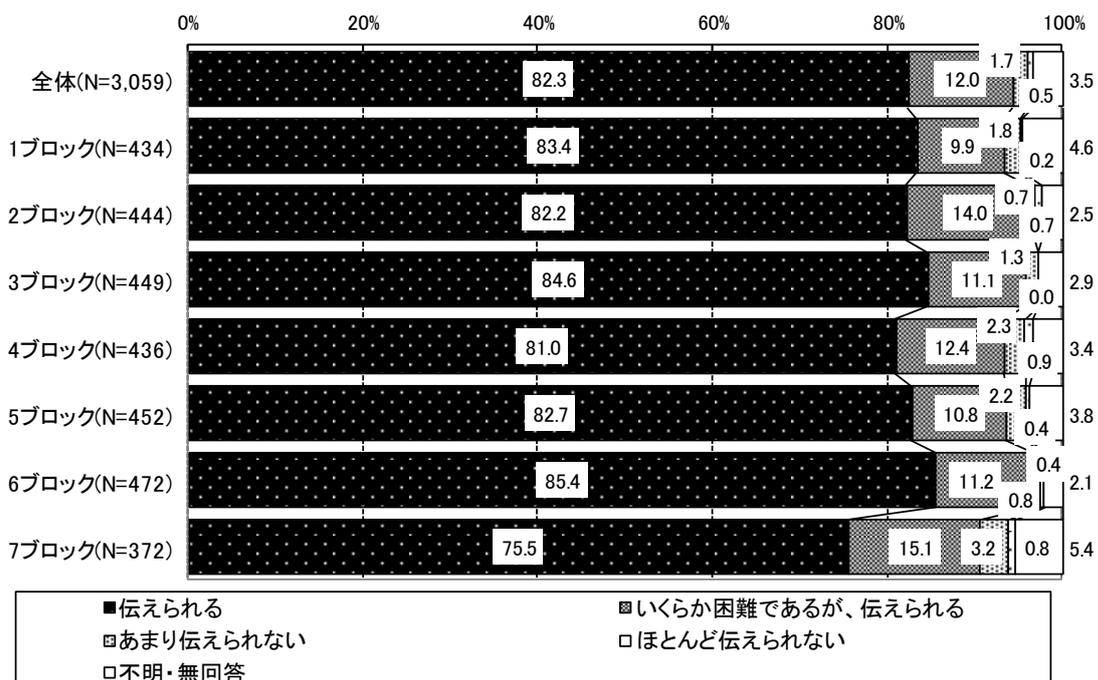
【ブロック別】 判断できる方の割合は、3ブロック、6ブロック、4ブロックの順に高い。



問6（6） 人に自分の考えをうまく伝えられるか

【全体】 人に自分の考えをうまく伝えられる割合は、「伝えられる」「いづらか困難であるが、伝えられる」を合わせて94.3%である。

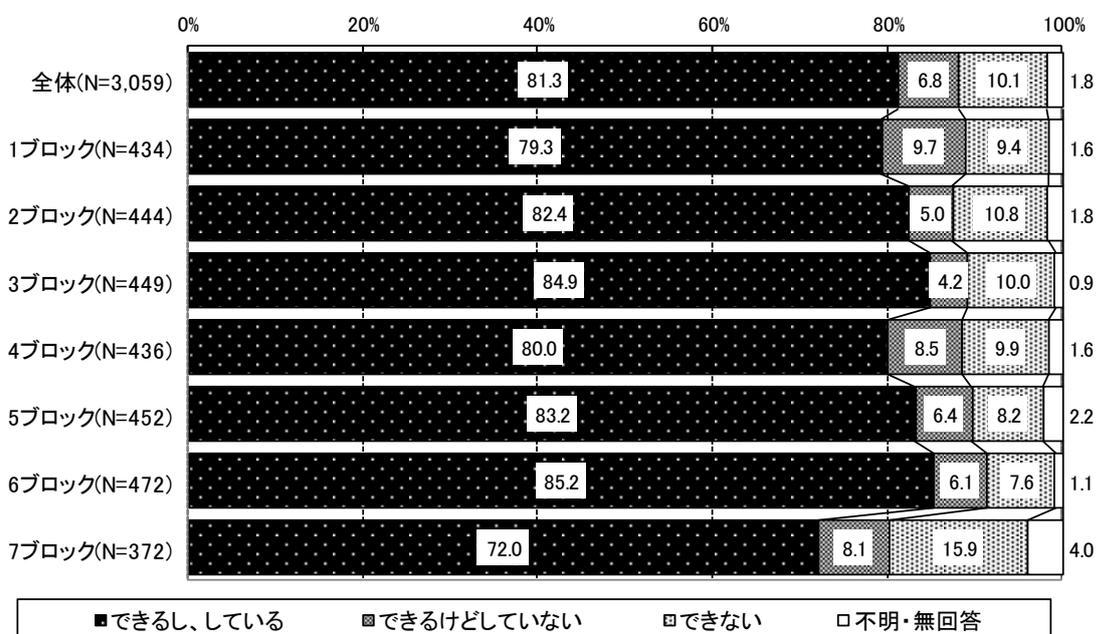
【ブロック別】 伝えられる方の割合は、6ブロック、3ブロックの順に高い。7ブロックは低い。



問7（1） バスや電車で1人での外出の有無

【全体】 バスや電車で1人での外出している方の割合は81.3%となっている。

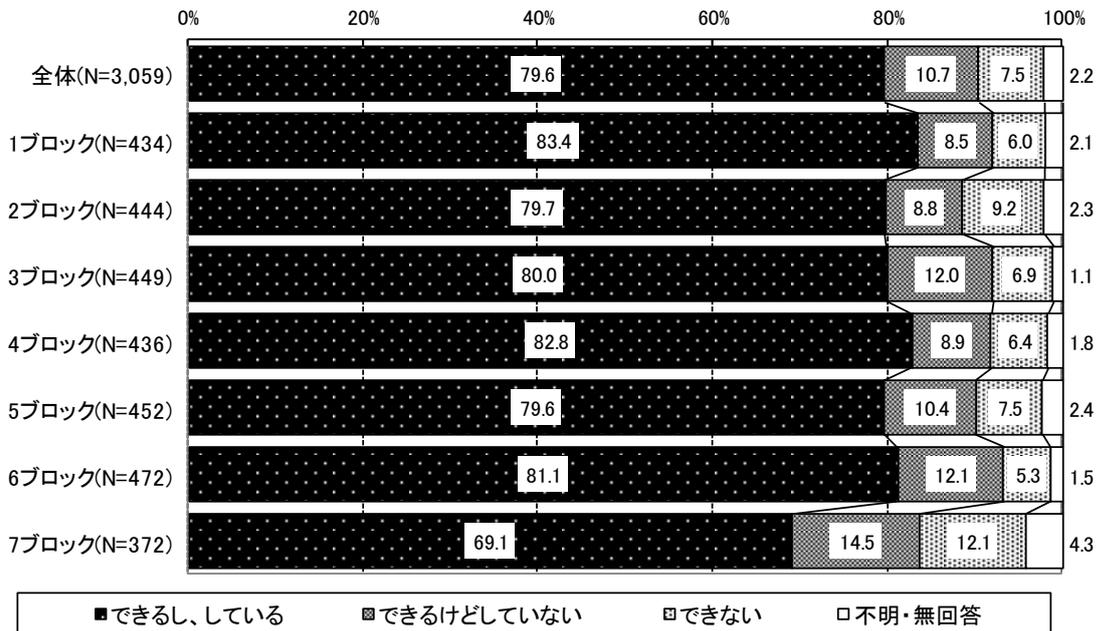
【ブロック別】 6ブロック、3ブロックが「できるし、している」割合が高い。



問7（2） 日用品の買物の有無

【全体】日用品の買い物をしている方の割合は、79.6%となっている。

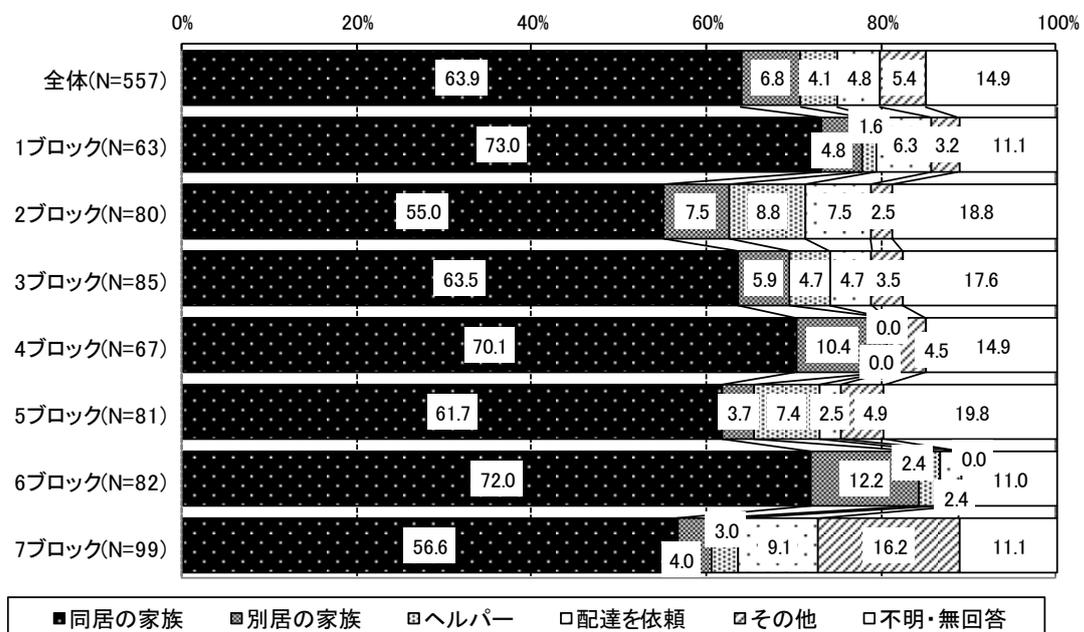
【ブロック別】7ブロックは「できるし、している」の割合が低い。



問7（2）－1 主に日用品の買物をする人

【全体】主に日用品の買物をする人は、「同居の家族」が63.9%で最も多く、次いで「別居の家族」が6.8%、「その他」が5.4%などとなっている。

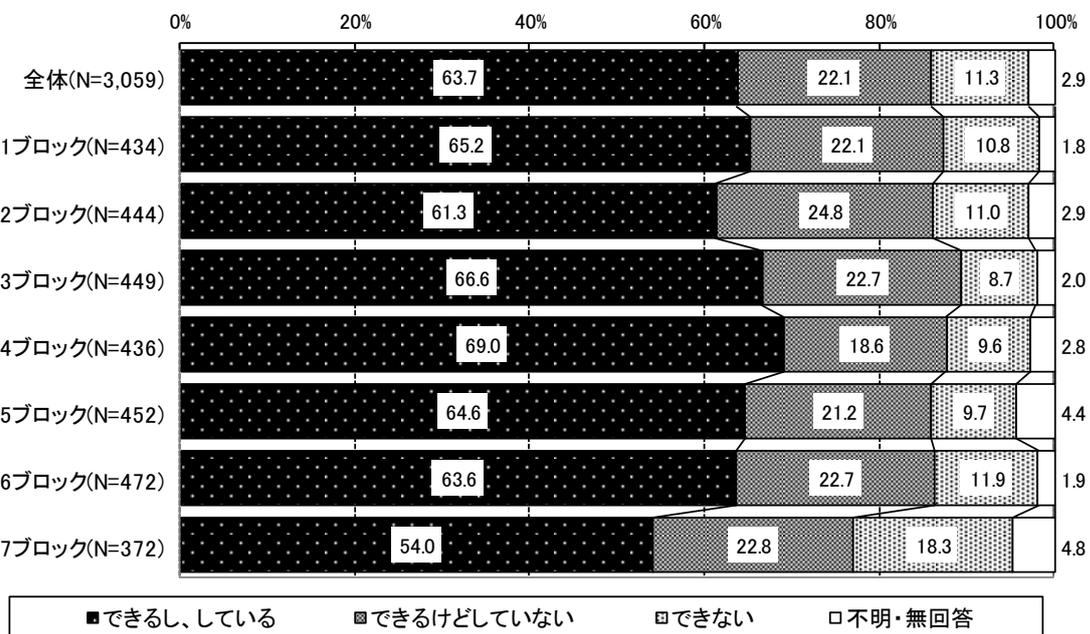
【ブロック別】2ブロック、5ブロックでは、「ヘルパー」の割合が高くなっている。



問7（3） 自分で食事の用意をしているか

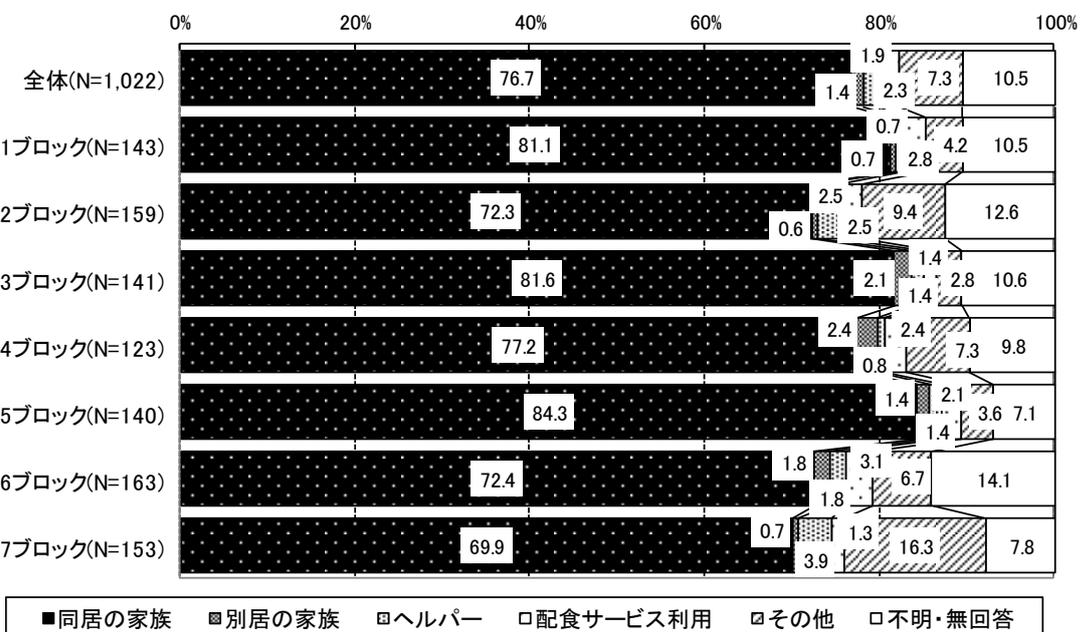
【全体】 自分で食事の用意をしている方の割合は、63.7%となっている。

【ブロック別】 7ブロックでは、「できるし、している」の割合が低く、また「できない」の割合が高くなっている。



問7（3）－1 主に食事の用意をする人

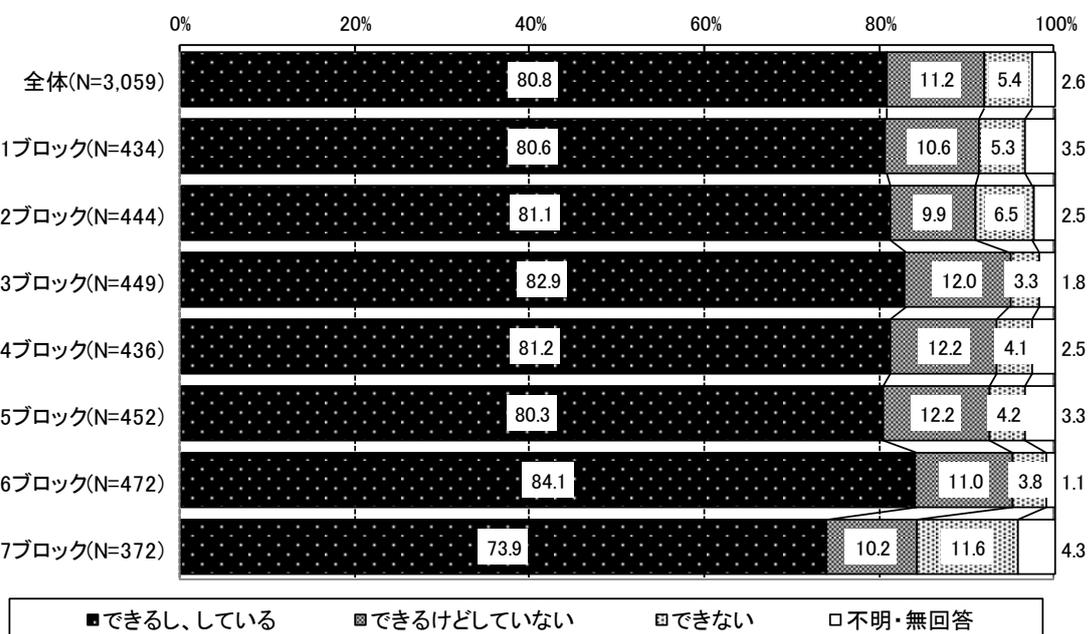
【全体】 主に食事の用意をする人は、「同居の家族」が76.7%で最も多く、次いで「その他」が7.3%、「配食サービス利用」が2.3%などとなっている。



問7（4） 請求書の支払い

【全体】 請求書の支払いをしている方の割合については、「できるし、している」が80.8%となっている。

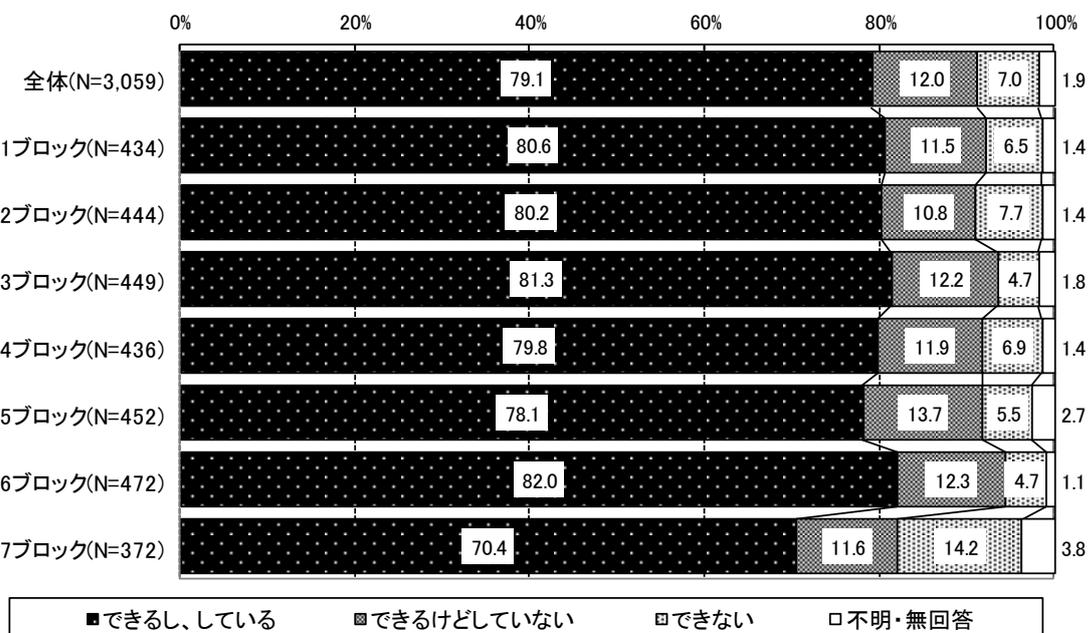
【ブロック別】 7ブロックでは、「できるし、している」の割合が低く、また「できない」の割合が高くなっている。



問7（5） 預貯金の出し入れ

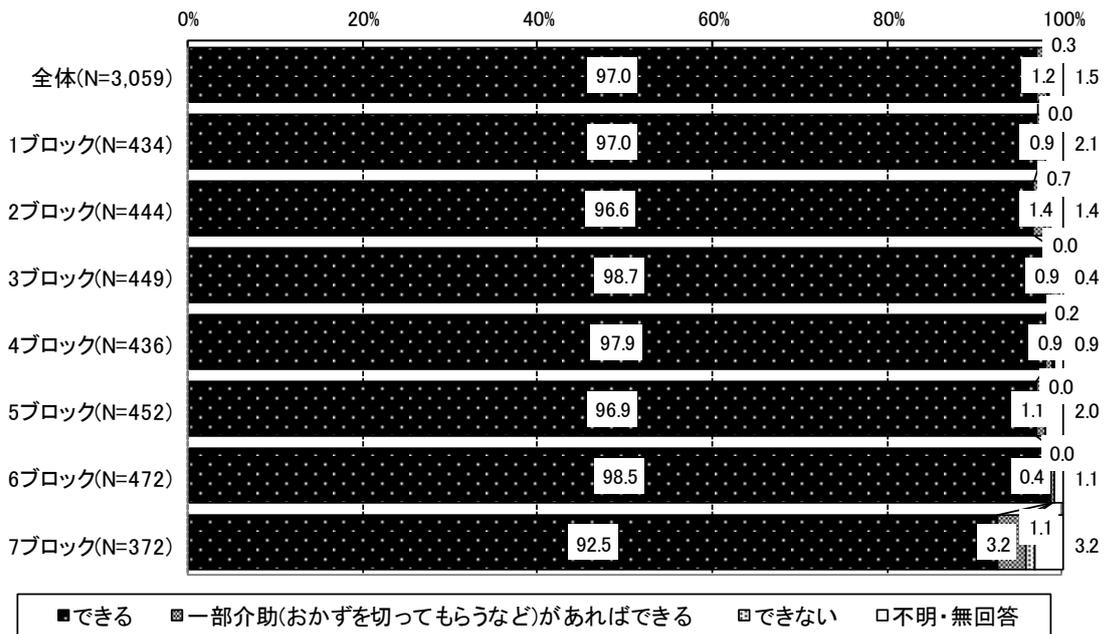
【全体】 預貯金の出し入れをしている方の割合は、79.1%となっている。

【ブロック別】 7ブロックでは、「できるし、している」の割合が低く、また「できない」の割合が高くなっている。



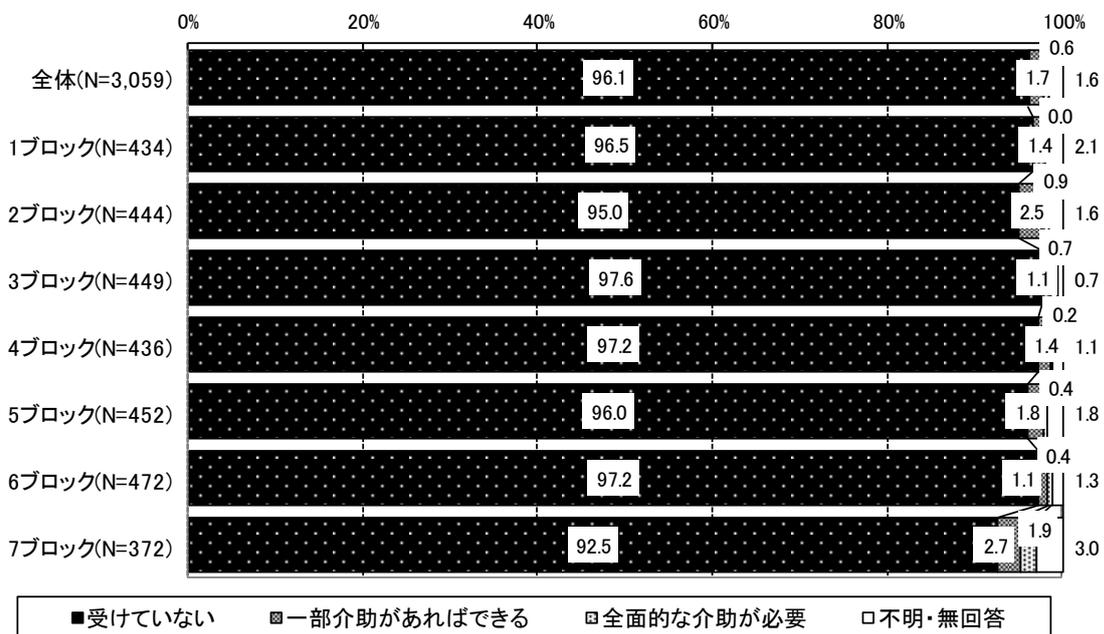
問7（6） 食事は自分で食べられるか

【全体】 食事を自分で食べられる方の割合は、「できる」が97.0%となっている。



問7（7） 寝床に入るとき介助

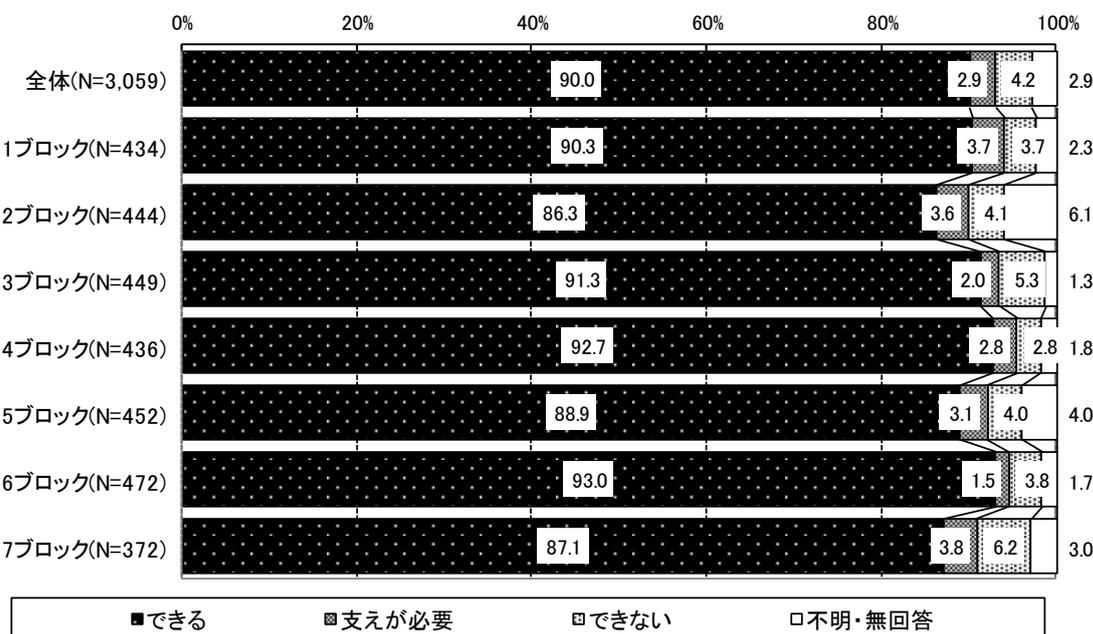
【全体】 寝床に入るとき介助の有無については、「受けていない」が96.1%である。



問7(8) 座っていただけるか

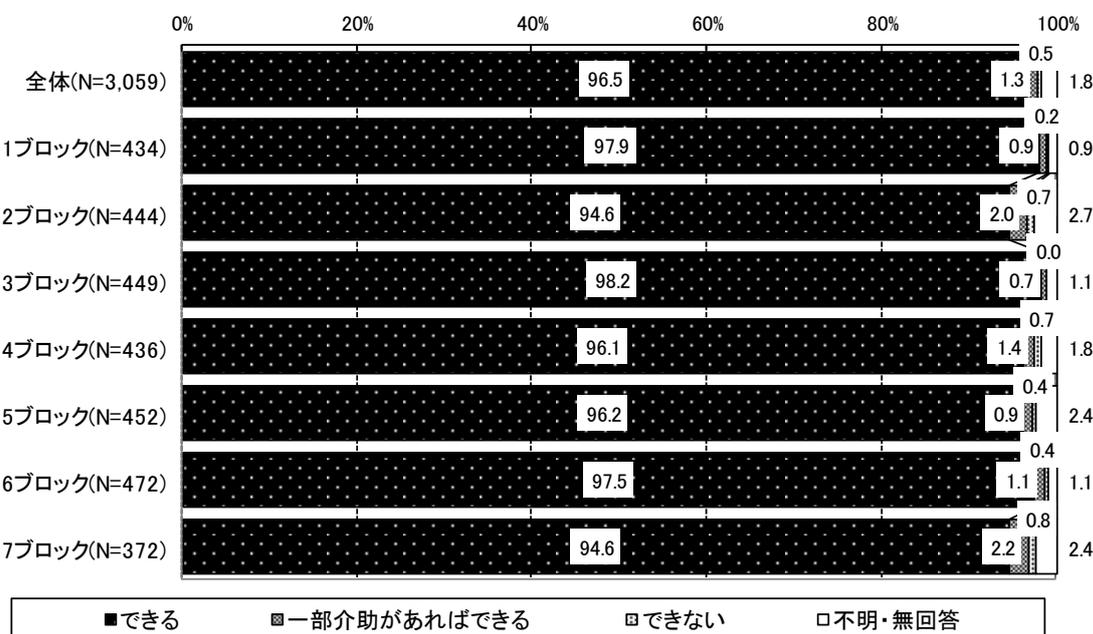
【全体】座っていただける方の割合については、「できる」が90.0%となっている。

【ブロック別】2ブロック、5ブロック、7ブロックで「できる」は8割台となっている。



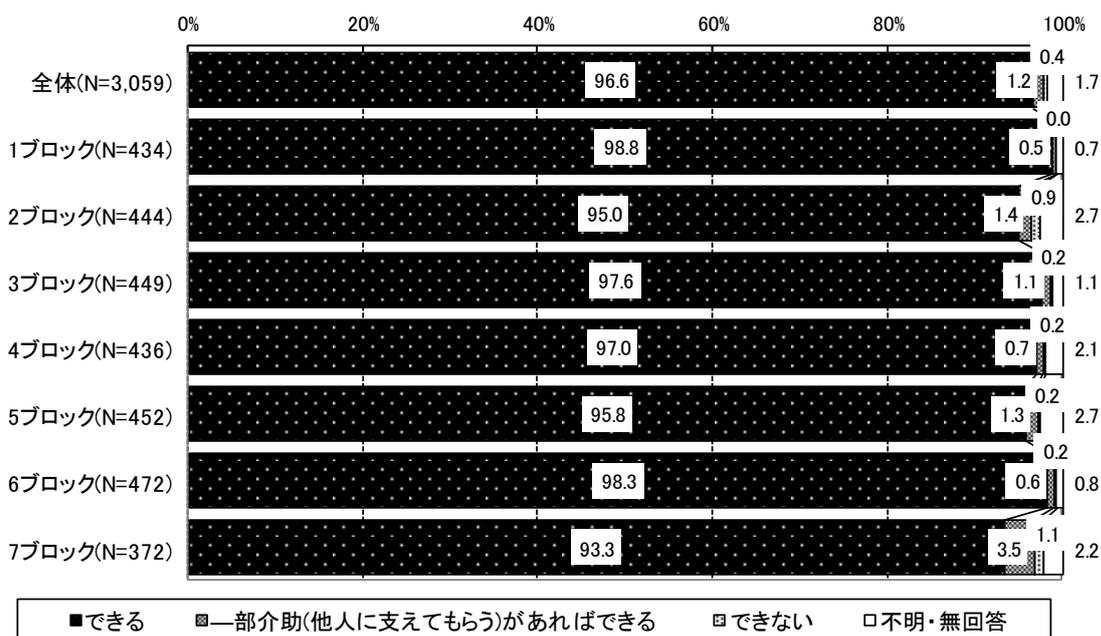
問7(9) 自分で洗面や歯磨きができるか

【全体】自分で洗面や歯磨きができる方の割合は、「できる」が96.5%となっている。



問7（10） 自分でトイレができるか

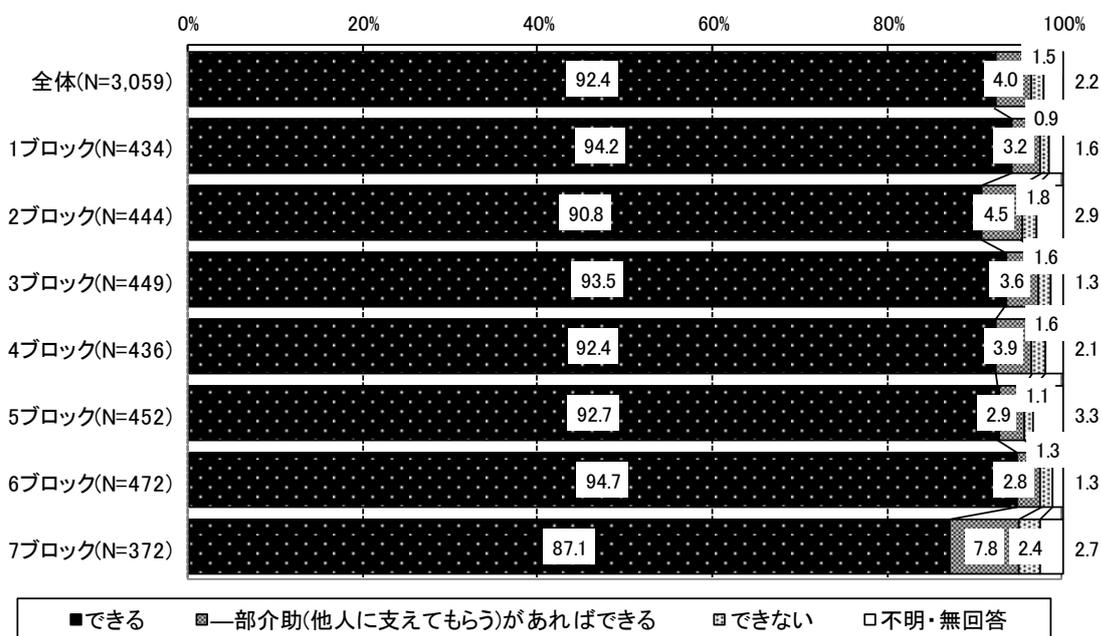
【全体】 自分でトイレができる方の割合は、「できる」が96.6%となっている。



問7（11） 自分で入浴ができるか

【全体】 自分で入浴ができる方の割合は、「できる」が92.4%となっている。

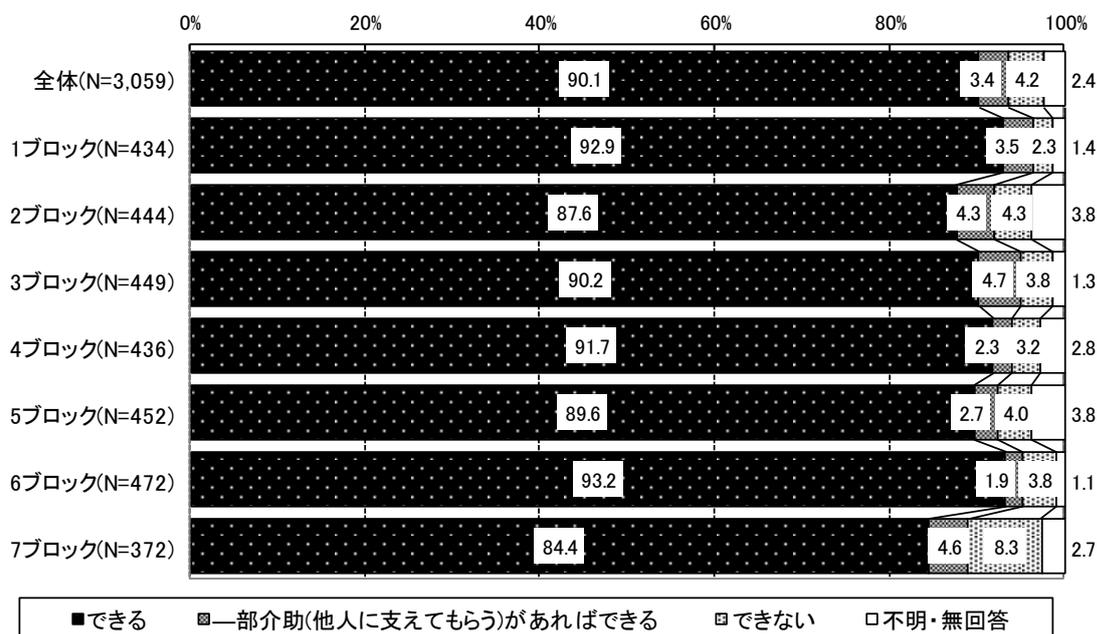
【ブロック別】 7ブロックでは「できる」が8割台になっている。



問7（12） 50m以上歩けるか

【全体】50m以上歩ける方の割合については、「できる」が90.1%となっている。

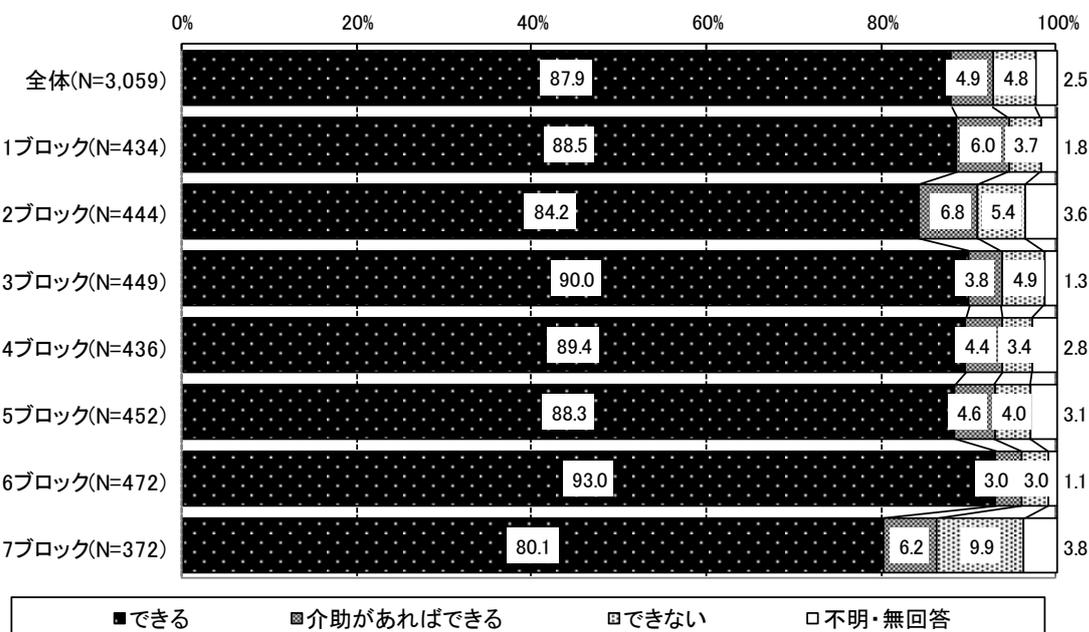
【ブロック別】2ブロック、5ブロック、7ブロックでは、「できる」が8割台となっている。



問7（13） 階段の昇降ができるか

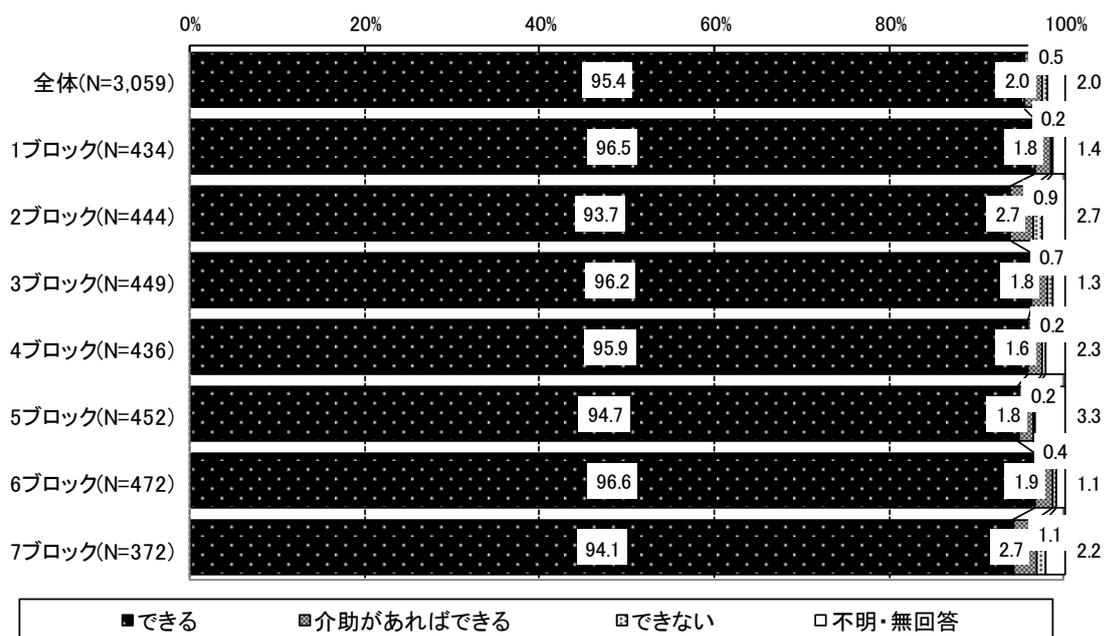
【全体】階段の昇降ができる方の割合については、「できる」が87.9%となっている。

【ブロック別】6ブロック、3ブロックでは「できる」が9割台となっている。7ブロックでは約1割が「できない」と答えている。



問7（14） 自分で着替えができるか

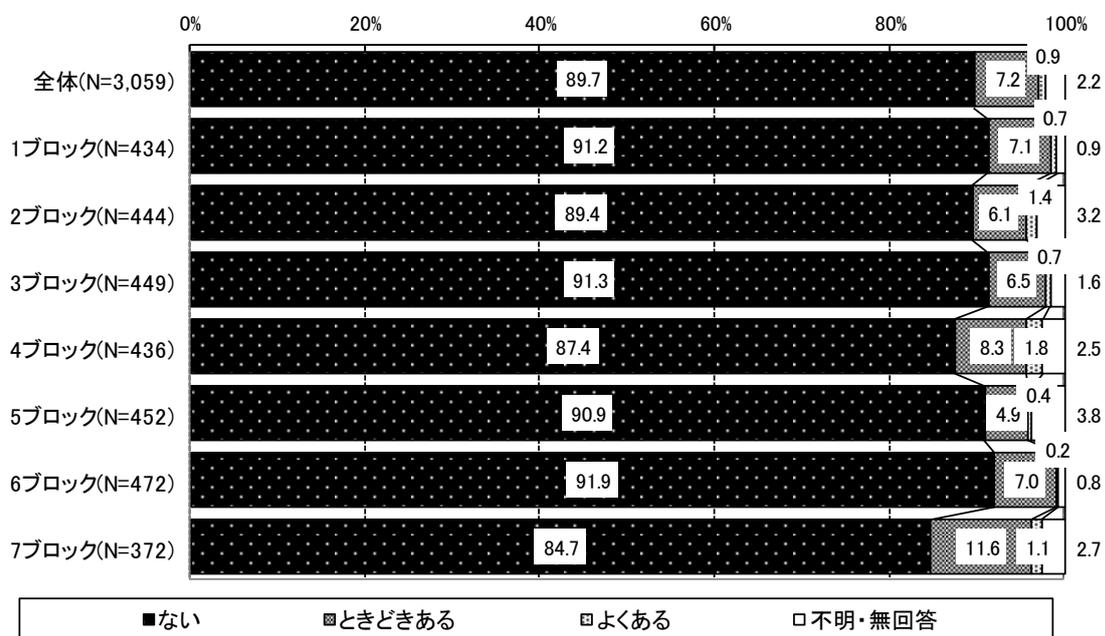
【全体】 自分で着替えができる方の割合については、「できる」が95.4%となっている。



問7（15） 大便の失敗の有無

【全体】 大便の失敗の有無については、「ときどきある」「よくある」を合わせた割合は8.1%となっている。

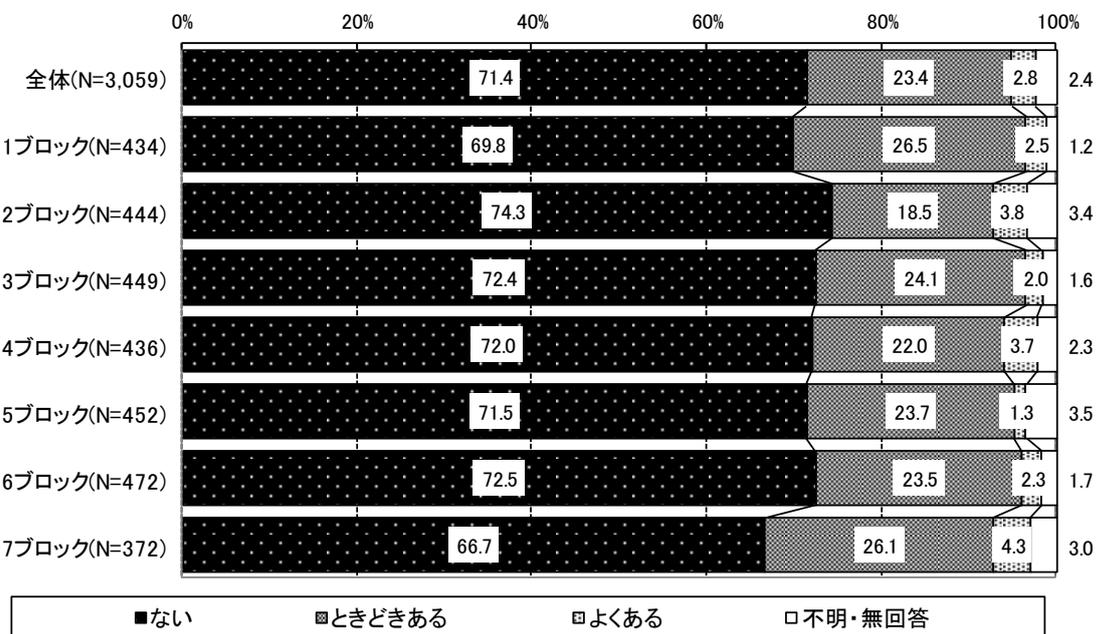
【ブロック別】 「ときどきある」「よくある」を合わせた割合は7ブロック、4ブロックの順に高い。



問7（16） 尿もれや尿失禁の有無

【全体】尿もれや尿失禁の有無については、「ときどきある」「よくある」を合わせた割合は26.2%となっている。

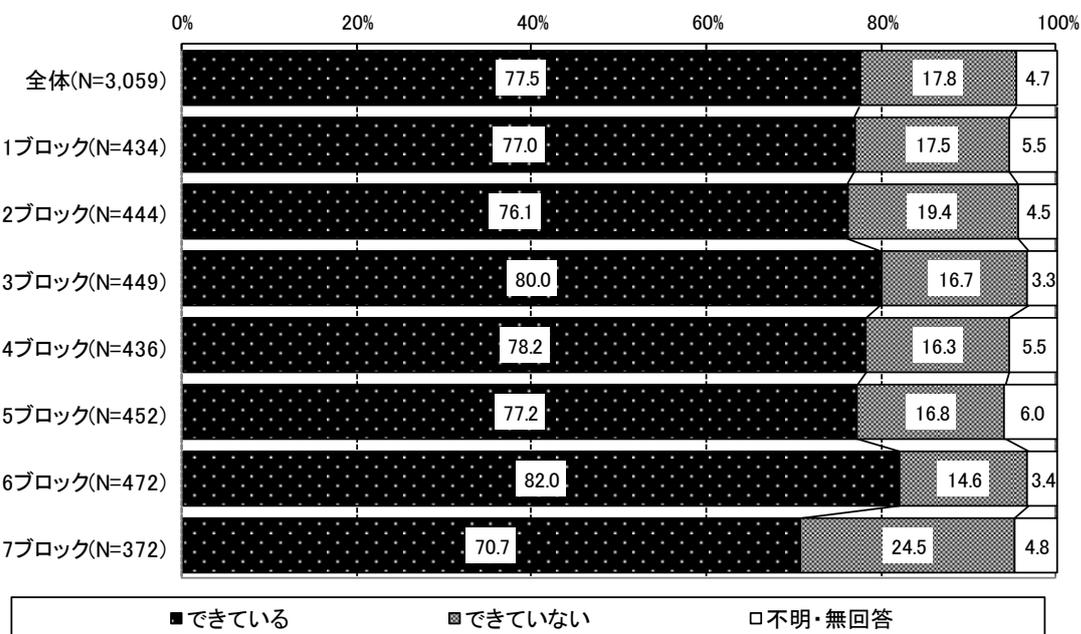
【ブロック別】「ときどきある」「よくある」を合わせた割合は7ブロック、1ブロックの順に高い。



問7（17） 家事全般ができているか

【全体】家事全般ができていない方の割合については、「できていない」が77.5%となっている。

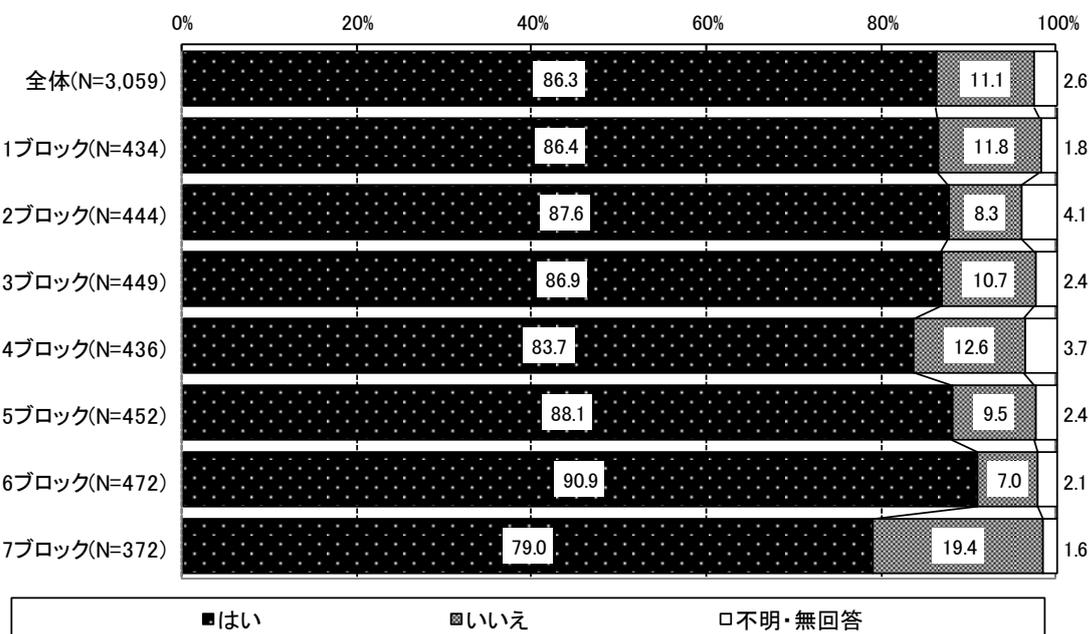
【ブロック別】「できていない」の割合は、7ブロック、2ブロックの順に高い。



問8（1） 年金等の書類が書けるか

【全体】 年金等の書類が書ける方の割合については、86.3%となっている。

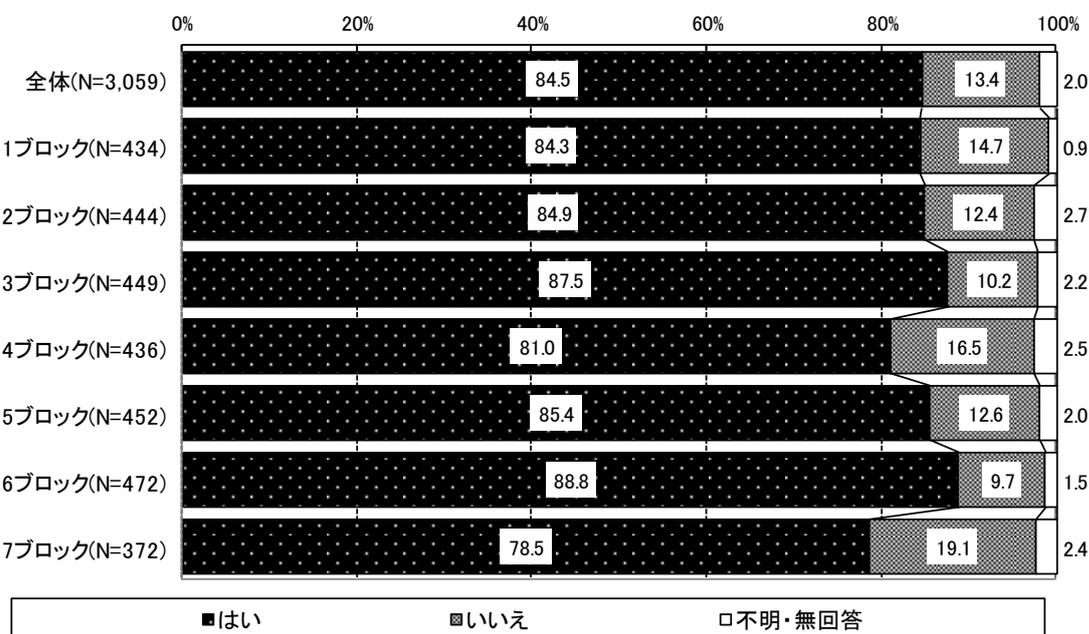
【ブロック別】 6ブロックでは「はい」が9割超、7ブロックでは「いいえ」が約2割である。



問8（2） 新聞を読むか

【全体】 新聞を読む方の割合については、「はい」が84.5%となっている。

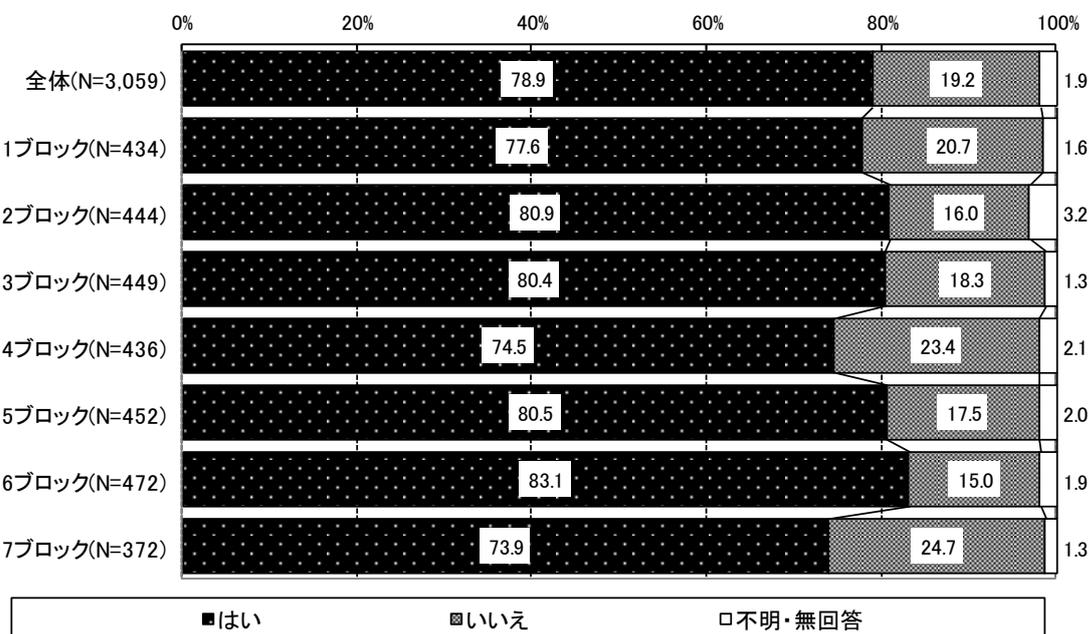
【ブロック別】 「はい」の割合は、7ブロック、4ブロックの順に低い。



問8（3） 本や雑誌を読むか

【全体】 本や雑誌を読む方の割合については、「はい」が78.9%となっている。

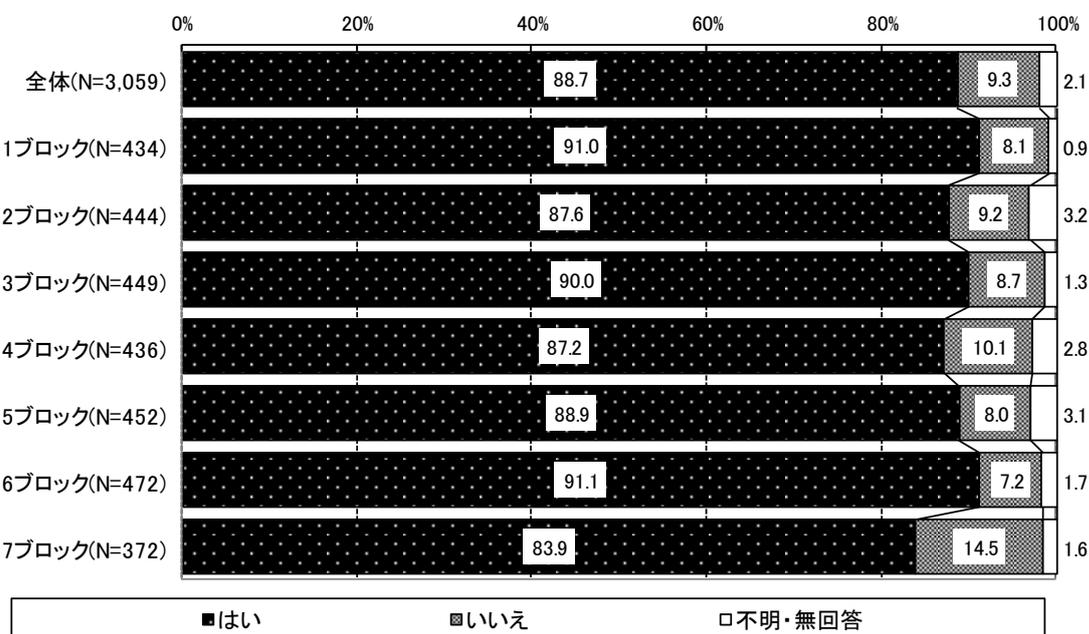
【ブロック別】 「はい」は7ブロック、4ブロック、1ブロックの順に割合が低い。



問8（4） 健康の記事や番組への興味

【全体】 健康の記事や番組への興味がある方の割合については、「はい」が88.7%となっている。

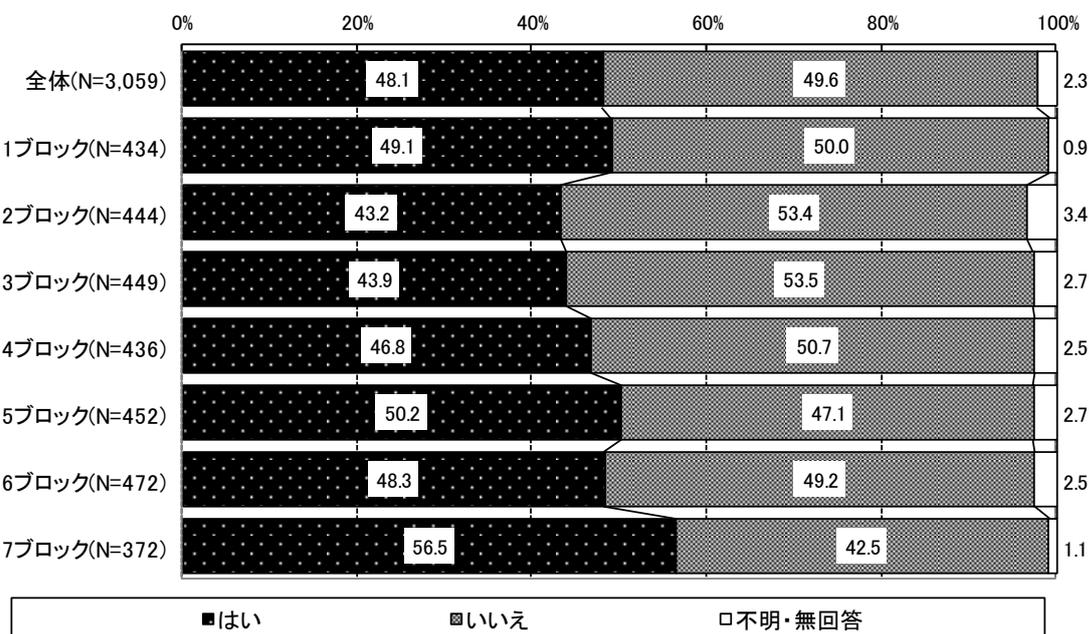
【ブロック別】 「はい」は7ブロック、4ブロックの順に割合が低い。



問8（5） 友だちの家を訪ねるか

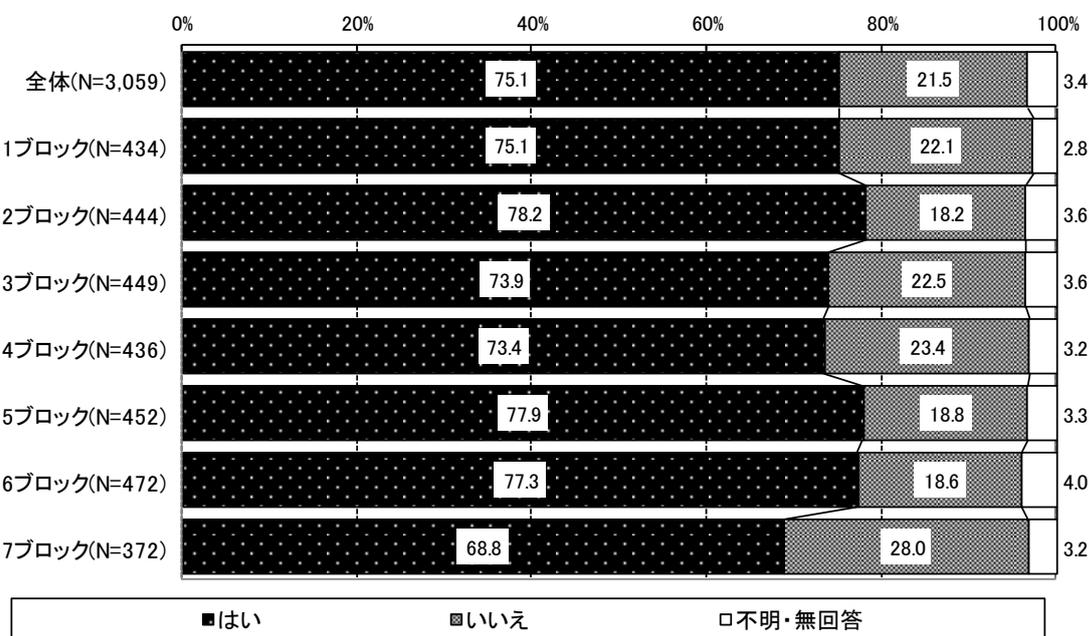
【全体】 友だちの家を訪ねる方の割合については、「はい」が48.1%となっている。

【ブロック別】 「はい」は7ブロック、5ブロックの順に高い。



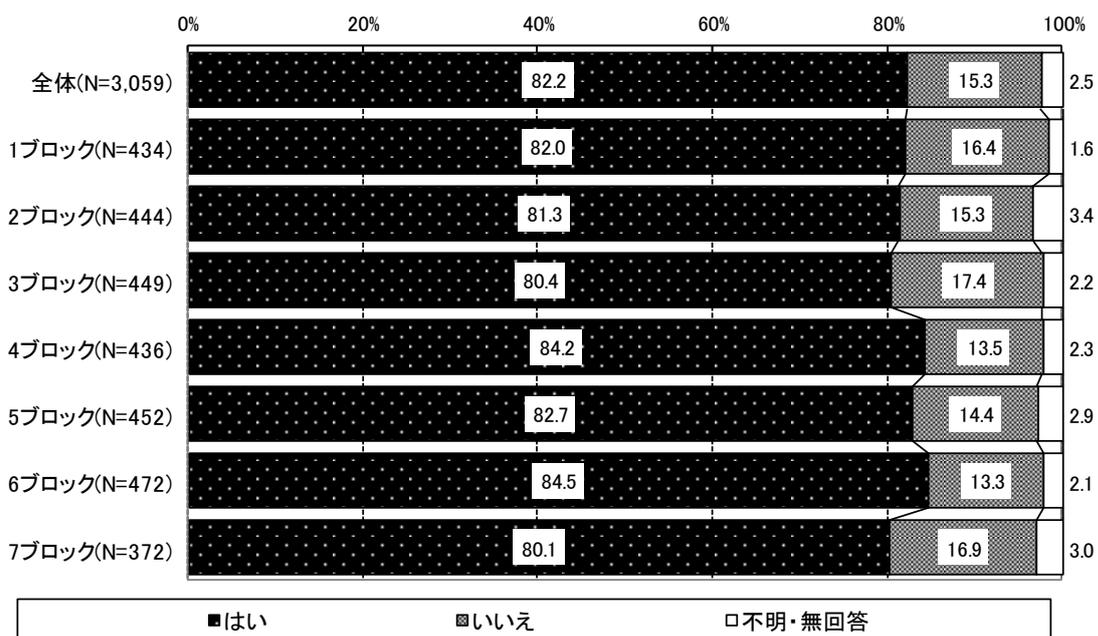
問8（6） 家族や友人の相談にのるか

【全体】 家族や友人の相談にのっている方の割合については、「はい」が75.1%となっている。



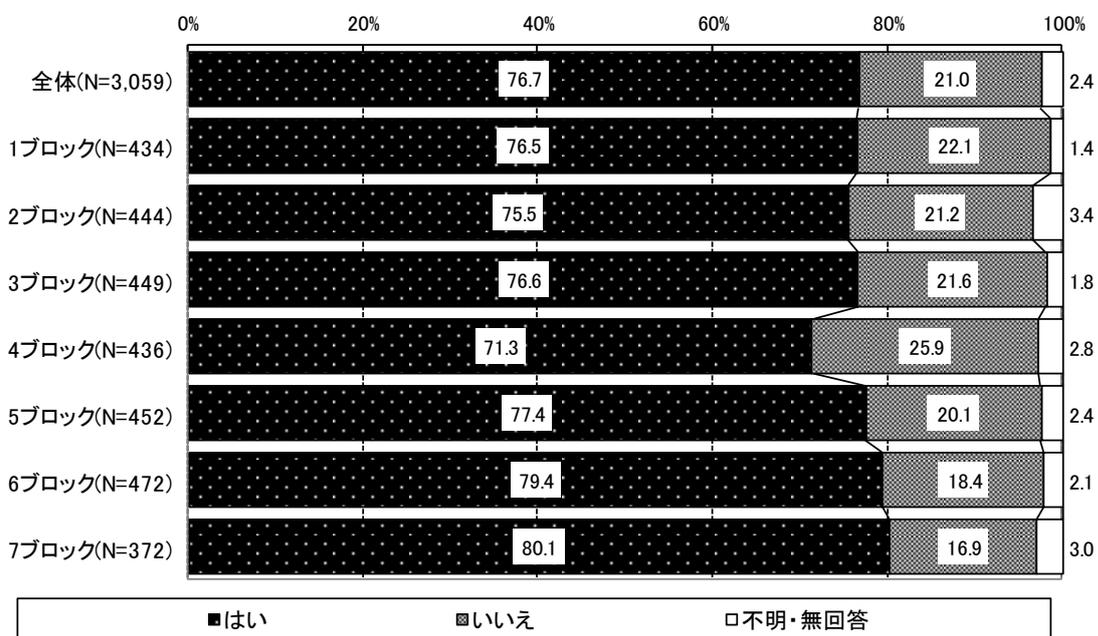
問8（7） 病人を見舞えるか

【全体】 病人を見舞える方の割合については、「はい」が82.2%となっている。



問8（8） 若い人に自分から話しかけるか

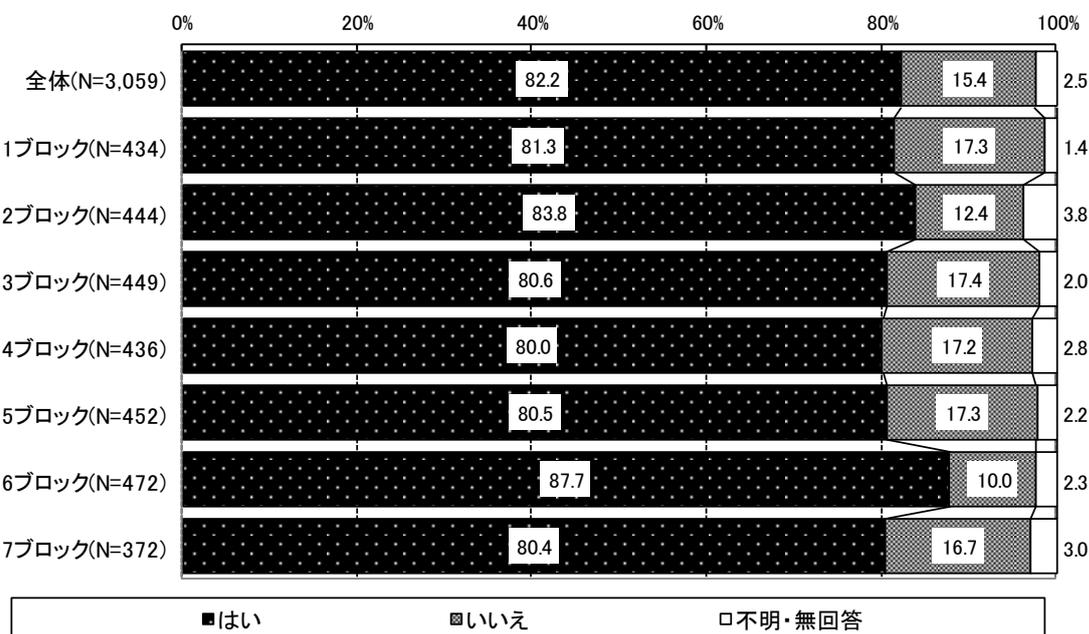
【全体】 若い人に自分から話しかける方の割合については、「はい」が76.7%となっている。



問8 (9) 趣味があるか

【全体】 趣味がある方の割合については、「はい」が82.2%となっている。

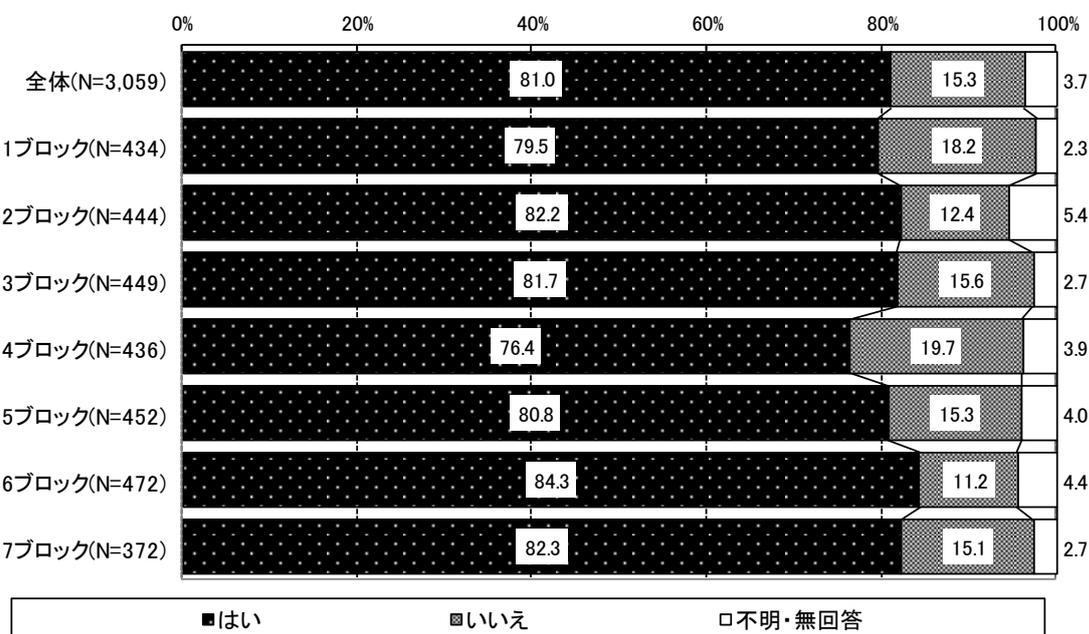
【ブロック別】 趣味がある方の割合は6ブロックで高くなっている。



問8 (10) 生きがいがあるか

【全体】 生きがいがある方の割合は、「はい」が81.0%となっている。

【ブロック別】 「いいえ」は4ブロック、1ブロックの順で高くなっている。



問8（11）－1 ボランティアのグループへの参加頻度

【全体】ボランティアのグループへの参加頻度は、「年に数回」が6.7%、「月1～3回」が6.5%などとなっている。「参加していない」は71.9%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	1.4	3.2	4.2	6.5	6.7	71.9	6.1
1ブロック(N=434)	1.4	3.9	3.9	5.5	6.7	73.0	5.5
2ブロック(N=444)	1.8	3.4	4.1	5.0	5.9	73.4	6.5
3ブロック(N=449)	0.4	2.9	3.3	4.2	5.6	76.4	7.1
4ブロック(N=436)	1.4	2.3	3.7	6.4	4.1	76.4	5.7
5ブロック(N=452)	1.1	4.0	5.1	5.8	4.6	72.1	7.3
6ブロック(N=472)	1.7	4.0	4.7	7.2	7.0	70.8	4.7
7ブロック(N=372)	1.9	1.9	4.6	12.4	14.5	58.9	5.9

問8（11）－2 スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

【全体】スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度は、「週1回」が7.0%、「週2～3回」が6.8%などとなっている。「参加していない」は66.6%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	3.1	6.8	7.0	6.1	3.8	66.6	6.6
1ブロック(N=434)	2.5	7.1	6.9	4.4	3.7	69.6	5.8
2ブロック(N=444)	3.4	7.7	6.5	6.1	4.3	64.9	7.2
3ブロック(N=449)	2.7	8.7	8.0	6.5	4.2	63.7	6.2
4ブロック(N=436)	3.9	5.7	6.7	6.4	2.3	67.9	7.1
5ブロック(N=452)	2.0	4.6	6.6	5.8	3.8	68.6	8.6
6ブロック(N=472)	4.7	10.0	8.3	7.6	2.8	62.3	4.4
7ブロック(N=372)	2.7	2.7	5.6	5.6	6.2	70.4	6.7

問8（11）－3 趣味関係のグループへの参加頻度

【全体】趣味関係のグループへの参加頻度は、「月1～3回」が16.4%、「週1回」が8.9%などとなっている。「参加していない」は53.4%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	2.5	7.2	8.9	16.4	6.3	53.4	5.3
1ブロック(N=434)	3.0	7.8	9.7	12.7	4.8	57.1	4.8
2ブロック(N=444)	2.3	8.1	10.8	18.5	6.1	48.9	5.4
3ブロック(N=449)	2.4	8.2	8.2	16.3	5.8	53.0	6.0
4ブロック(N=436)	2.8	5.5	8.3	13.3	4.6	58.9	6.7
5ブロック(N=452)	1.8	7.7	7.3	14.4	6.6	57.1	5.1
6ブロック(N=472)	3.4	8.9	11.0	21.6	6.6	46.0	2.5
7ブロック(N=372)	1.3	3.0	6.7	18.0	10.2	53.5	7.3

問8 (11) -4 老人クラブへの参加頻度

【全体】老人クラブへの参加頻度は、「年に数回」が6.8%、「月1～3回」が3.8%などとなっている。「参加していない」は81.3%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.2	0.7	1.3	3.8	6.8	81.3	5.9
1ブロック(N=434)	0.5	0.2	1.8	3.5	2.5	86.2	5.3
2ブロック(N=444)	0.0	0.2	0.2	3.2	0.9	89.0	6.5
3ブロック(N=449)	0.0	0.7	1.6	3.3	2.2	86.2	6.0
4ブロック(N=436)	0.5	1.1	2.1	4.8	3.0	82.6	6.0
5ブロック(N=452)	0.0	0.0	0.4	2.9	4.6	84.5	7.5
6ブロック(N=472)	0.2	1.1	1.5	1.7	4.2	87.3	4.0
7ブロック(N=372)	0.3	1.6	1.6	8.3	34.4	47.8	5.9

問8 (11) -5 町内会・自治会への参加頻度

【全体】町内会・自治会への参加頻度は、「年に数回」が22.0%、「月1～3回」が5.9%などとなっている。「参加していない」は64.6%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.1	0.5	1.0	5.9	22.0	64.6	5.8
1ブロック(N=434)	0.2	0.5	1.2	5.5	15.9	72.4	4.4
2ブロック(N=444)	0.0	0.5	0.9	4.5	14.2	73.4	6.5
3ブロック(N=449)	0.0	0.2	0.9	3.1	15.1	73.5	7.1
4ブロック(N=436)	0.0	0.5	1.6	6.4	21.3	63.8	6.4
5ブロック(N=452)	0.0	0.9	0.2	6.2	24.3	61.7	6.6
6ブロック(N=472)	0.2	0.2	1.3	5.9	24.4	63.8	4.2
7ブロック(N=372)	0.5	1.1	1.1	10.5	41.9	39.5	5.4

問8 (11) -6 学習・教養サークルへの参加頻度

【全体】学習・教養サークルへの参加頻度は、「月1～3回」が7.3%、「年に数回」が6.3%などとなっている。「参加していない」は74.5%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.4	1.9	3.3	7.3	6.3	74.5	6.4
1ブロック(N=434)	0.0	1.8	3.7	7.1	5.5	75.8	6.0
2ブロック(N=444)	0.9	3.2	5.0	9.0	6.8	68.0	7.2
3ブロック(N=449)	0.0	2.7	2.7	6.7	5.6	75.5	6.9
4ブロック(N=436)	0.0	0.7	3.0	5.0	2.8	81.9	6.7
5ブロック(N=452)	0.2	3.1	2.7	6.6	4.9	74.6	8.0
6ブロック(N=472)	0.8	0.8	3.8	9.5	7.0	74.6	3.4
7ブロック(N=372)	0.5	1.1	2.2	6.5	12.4	70.4	7.0

問8（11）－7 その他の団体や会への参加頻度

【全体】 その他の団体や会への参加頻度は、「年に数回」が13.5%、「月1～3回」が8.1%などとなっている。「参加していない」は64.2%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	1.1	2.6	3.6	8.1	13.5	64.2	6.9
1ブロック(N=434)	1.2	3.7	4.8	6.2	10.8	68.7	4.6
2ブロック(N=444)	0.5	2.7	4.1	8.8	11.5	63.1	9.5
3ブロック(N=449)	0.7	2.4	3.1	6.9	11.6	67.5	7.8
4ブロック(N=436)	1.1	3.9	2.8	8.3	9.2	68.3	6.4
5ブロック(N=452)	1.5	2.4	2.4	8.4	13.1	64.8	7.3
6ブロック(N=472)	1.3	1.5	4.7	9.3	15.5	62.9	4.9
7ブロック(N=372)	1.6	1.9	3.0	9.1	24.2	52.2	8.1

問8（12）－1 見守りが必要な高齢者を支援する活動への参加頻度

【全体】 見守りが必要な高齢者を支援する活動への参加頻度は、「年に数回」が2.4%、「月1～3回」が1.9%などとなっている。「していない」は85.4%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.7	0.9	0.9	1.9	2.4	85.4	7.7
1ブロック(N=434)	0.7	1.8	1.4	1.4	2.3	86.4	6.0
2ブロック(N=444)	0.5	0.7	1.4	2.3	2.0	84.2	9.0
3ブロック(N=449)	0.9	0.9	0.4	0.7	2.2	85.7	9.1
4ブロック(N=436)	0.7	0.2	0.5	1.6	1.1	88.3	7.6
5ブロック(N=452)	0.4	1.8	1.1	0.9	1.3	84.7	9.7
6ブロック(N=472)	1.1	0.6	0.8	2.3	1.1	90.3	3.8
7ブロック(N=372)	0.5	0.5	0.8	4.8	7.8	76.6	8.9

問8（12）－2 介護が必要な高齢者を支援する活動への参加頻度

【全体】 介護が必要な高齢者を支援する活動への参加頻度は、「年に数回」が1.8%、「月1～3回」が1.5%などとなっている。「していない」は86.4%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.7	0.9	0.8	1.5	1.8	86.4	7.8
1ブロック(N=434)	1.4	2.3	1.2	1.2	2.5	85.5	6.0
2ブロック(N=444)	0.2	1.1	1.1	1.4	2.9	84.7	8.6
3ブロック(N=449)	0.9	0.4	0.9	0.7	0.7	87.5	8.9
4ブロック(N=436)	0.7	0.5	0.5	0.9	0.7	88.1	8.7
5ブロック(N=452)	0.7	1.1	0.9	0.9	1.5	85.4	9.5
6ブロック(N=472)	0.8	0.6	1.1	2.3	0.4	91.1	3.6
7ブロック(N=372)	0.3	0.5	0.0	3.2	4.6	81.7	9.7

問8 (12) - 3 子どもを育てている親を支援する活動への参加頻度

【全体】子どもを育てている親を支援する活動への参加頻度は、「年に数回」が1.7%、「月1～3回」が1.5%などとなっている。「していない」は87.3%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.7	0.5	0.7	1.5	1.7	87.3	7.6
1ブロック(N=434)	1.2	1.8	0.5	2.1	1.8	86.4	6.2
2ブロック(N=444)	0.2	0.5	0.9	1.6	1.8	86.7	8.3
3ブロック(N=449)	0.7	0.4	0.7	1.1	1.8	85.7	9.6
4ブロック(N=436)	0.5	0.0	0.2	0.9	0.5	89.9	8.0
5ブロック(N=452)	1.3	0.2	1.3	1.3	2.2	84.5	9.1
6ブロック(N=472)	0.4	0.4	0.6	1.5	1.3	92.2	3.6
7ブロック(N=372)	0.8	0.3	0.5	2.2	2.7	84.7	8.9

問8 (12) - 4 地域の生活環境の改善（美化）活動への参加頻度

【全体】地域の生活環境の改善（美化）活動への参加頻度は、「年に数回」が19.6%、「月1～3回」が3.7%などとなっている。「していない」は67.5%である。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	0.3	0.7	0.9	3.7	19.6	67.5	7.3
1ブロック(N=434)	0.5	1.4	1.8	2.8	16.8	71.0	5.8
2ブロック(N=444)	0.7	0.5	0.2	1.8	14.4	74.3	8.1
3ブロック(N=449)	0.0	0.9	1.3	3.1	15.8	70.4	8.5
4ブロック(N=436)	0.2	0.0	0.5	5.7	17.9	68.3	7.3
5ブロック(N=452)	0.2	0.9	1.3	4.2	14.6	69.7	9.1
6ブロック(N=472)	0.4	1.1	1.1	2.5	22.2	68.6	4.0
7ブロック(N=372)	0.0	0.0	0.3	5.9	38.7	46.5	8.6

問8 (12) - 5 収入のある仕事

【全体】収入のある仕事については、「週4回以上」が9.3%、「週2～3回」が5.3%などとなっている。「週4回以上」～「年に数回」を合わせた仕事がある割合は20.5%である。

【ブロック別】「週4回以上」～「年に数回」を合わせた仕事がある割合は、7ブロック、5ブロックの順に高くなっている。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	不明・無回答
全体(N=3,059)	9.3	5.3	1.4	2.1	2.4	73.6	6.0
1ブロック(N=434)	9.0	4.4	2.5	2.1	1.8	76.5	3.7
2ブロック(N=444)	8.8	4.7	1.6	2.3	2.3	74.1	6.3
3ブロック(N=449)	7.8	5.3	0.2	1.8	2.0	75.3	7.6
4ブロック(N=436)	9.6	5.3	0.9	1.8	0.7	75.5	6.2
5ブロック(N=452)	8.0	6.6	2.4	1.3	2.4	71.2	8.0
6ブロック(N=472)	9.7	4.4	0.8	2.1	1.9	76.7	4.2
7ブロック(N=372)	12.4	6.2	1.1	3.5	6.2	64.2	6.5

問8 (13) - 1 心配事などを聞いてくれる人 (複数回答)

【全体】心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が45.7%で最も多く、次いで「友人」が43.1%、「別居の子ども」が37.0%などとなっている。

【ブロック別】「配偶者」では6ブロック、「同居の子ども」では7ブロックが高くなっている。

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(N=3,059)	45.7	20.8	37.0	30.8	10.6	43.1	2.8	5.8	5.1
1ブロック(N=434)	45.2	20.3	35.7	31.8	10.6	46.8	2.1	7.6	3.9
2ブロック(N=444)	46.8	18.5	41.0	31.3	7.2	46.4	3.2	5.6	4.5
3ブロック(N=449)	43.7	16.9	33.9	31.6	8.9	40.3	2.7	6.5	5.1
4ブロック(N=436)	43.8	19.7	35.8	33.9	10.3	39.9	1.4	7.1	5.7
5ブロック(N=452)	44.9	25.7	38.1	29.2	10.4	41.8	2.0	4.4	5.8
6ブロック(N=472)	51.3	17.8	41.9	27.3	11.0	47.2	2.5	4.7	4.2
7ブロック(N=372)	43.8	28.2	31.7	30.4	16.4	38.4	6.5	4.6	6.5

問8 (13) - 2 心配事などを聞いてあげる人 (複数回答)

【全体】反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人については、「友人」が43.4%で最も多く、次いで「配偶者」が42.9%、「別居の子ども」が32.6%などとなっている。

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(N=3,059)	42.9	16.9	32.6	31.1	12.9	43.4	1.9	9.9	6.1
1ブロック(N=434)	42.6	16.4	32.0	31.6	13.6	46.8	2.3	9.4	5.8
2ブロック(N=444)	43.7	16.4	36.9	37.2	9.5	48.9	2.9	6.3	5.9
3ブロック(N=449)	41.0	14.0	30.7	31.6	8.9	42.1	1.3	11.8	5.3
4ブロック(N=436)	40.1	14.4	33.9	32.3	14.2	40.1	0.7	11.2	6.4
5ブロック(N=452)	41.6	19.5	31.9	28.3	13.5	42.5	1.1	9.7	5.8
6ブロック(N=472)	48.5	15.9	36.4	29.7	11.4	43.9	1.9	9.1	6.6
7ブロック(N=372)	41.9	22.6	25.0	26.6	21.0	39.2	3.2	12.1	7.5

問8 (13) - 3 看病や世話をしてくれる人 (複数回答)

【全体】病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が49.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が33.3%、「同居の子ども」が25.3%などとなっている。

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(N=3,059)	49.5	25.3	33.3	13.9	2.3	5.2	3.0	5.9	5.9
1ブロック(N=434)	47.9	24.0	32.5	15.0	2.5	6.7	2.1	6.2	5.5
2ブロック(N=444)	50.2	22.7	33.6	14.6	0.9	4.7	5.2	5.9	6.3
3ブロック(N=449)	46.5	22.5	29.8	15.6	2.2	4.5	2.0	7.8	5.6
4ブロック(N=436)	46.8	22.7	35.8	12.8	2.1	6.0	1.4	6.0	6.4
5ブロック(N=452)	51.8	27.2	37.6	13.7	2.0	6.4	1.8	4.6	5.1
6ブロック(N=472)	54.7	24.6	34.3	10.8	2.8	4.4	2.3	5.3	4.9
7ブロック(N=372)	48.1	35.2	28.8	15.1	4.0	3.2	7.0	5.6	7.8

問8（13）－4 看病や世話をしあける人（複数回答）

【全体】 反対に、看病や世話をしあける人については、「配偶者」が46.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」が22.9%、「そのような人はいない」が21.2%などとなっている。

【ブロック別】 「配偶者」では6ブロック、「別居の子ども」では5ブロックが高くなっている。

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(N=3,059)	46.2	18.1	22.9	21.2	3.0	6.1	0.6	21.2	9.6
1ブロック(N=434)	46.1	17.1	21.0	24.9	4.1	8.8	1.4	21.4	7.8
2ブロック(N=444)	46.8	16.0	25.2	24.3	1.8	5.6	0.2	20.5	9.2
3ブロック(N=449)	41.6	13.1	16.9	21.8	2.7	5.1	0.4	25.6	10.0
4ブロック(N=436)	41.7	18.6	23.2	20.0	3.2	5.7	0.7	22.0	9.6
5ブロック(N=452)	46.5	19.5	28.1	20.6	2.7	7.1	0.2	17.5	12.6
6ブロック(N=472)	52.8	19.1	25.4	17.4	2.5	5.1	0.0	18.9	7.6
7ブロック(N=372)	47.3	24.2	19.4	19.1	4.3	5.4	1.1	23.1	10.5

問8（14） 家族等以外での相談相手（複数回答）

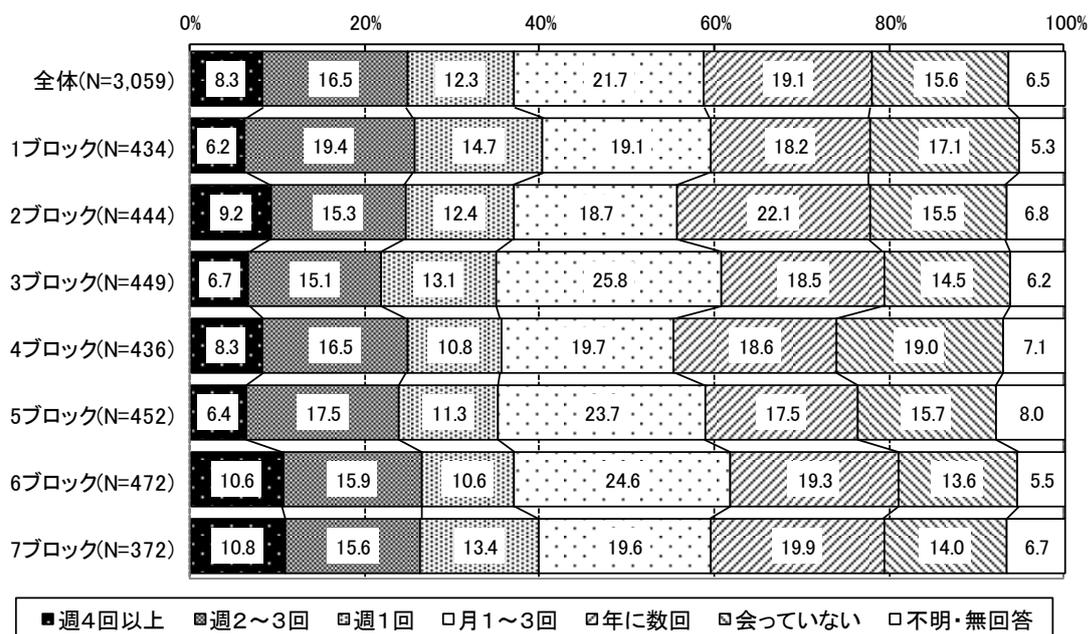
【全体】 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が37.2%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が30.1%、「地域包括支援センター・市役所」が11.3%などとなっている。

【ブロック別】 「自治会・町内会・老人クラブ」では7ブロックが高くなっている。

	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体(N=3,059)	9.4	7.5	9.3	30.1	11.3	5.0	37.2	11.4
1ブロック(N=434)	9.7	5.3	9.4	34.3	11.3	4.4	36.4	10.4
2ブロック(N=444)	7.7	5.6	8.8	33.3	9.2	7.9	36.9	9.9
3ブロック(N=449)	4.9	6.9	10.7	32.7	10.7	2.0	39.6	11.4
4ブロック(N=436)	7.6	8.0	8.7	22.7	12.8	4.4	41.7	11.2
5ブロック(N=452)	7.1	8.2	7.3	29.0	8.8	6.2	36.9	13.5
6ブロック(N=472)	10.0	6.8	8.7	31.4	12.9	3.6	41.3	9.1
7ブロック(N=372)	20.7	12.1	12.1	26.6	13.7	7.0	25.3	14.8

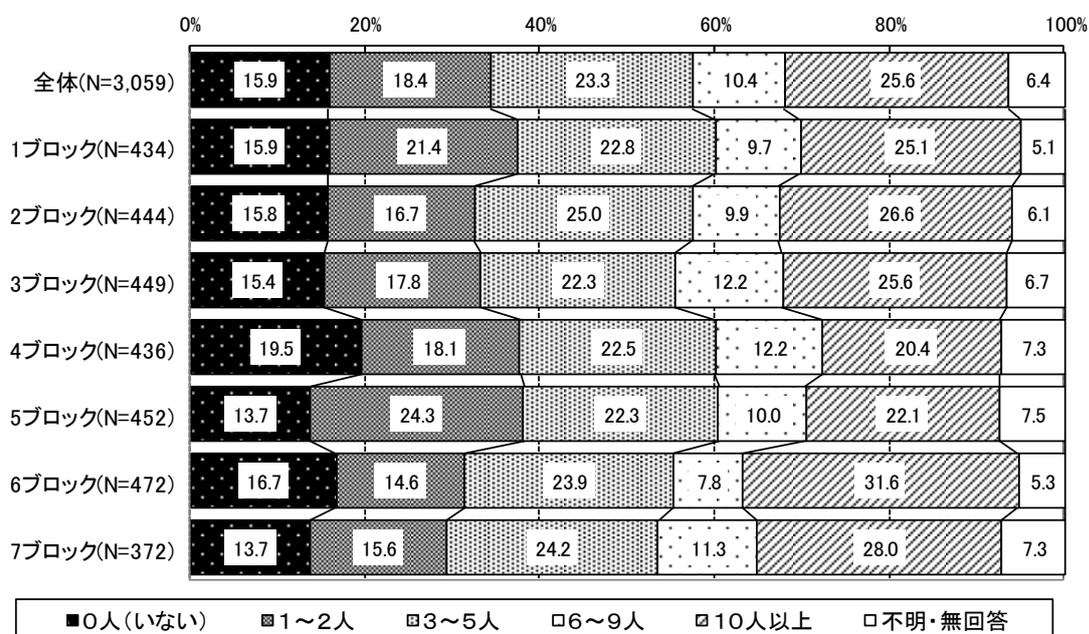
問8 (15) - 1 友人・知人と会う頻度

【全体】友人・知人と会う頻度は、「月1～3回」が21.7%で最も多く、次いで「年に数回」が19.1%、「週2～3回」が16.5%などとなっている。



問8 (15) - 2 1か月間で会った友人・知人の人数

【全体】1か月間で会った友人・知人の人数については、「10人以上」が25.6%で最も多く、次いで「3～5人」が23.3%、「1～2人」が18.4%などとなっている。



問8 (15) -3 よく会う友人・知人との関係 (複数回答)

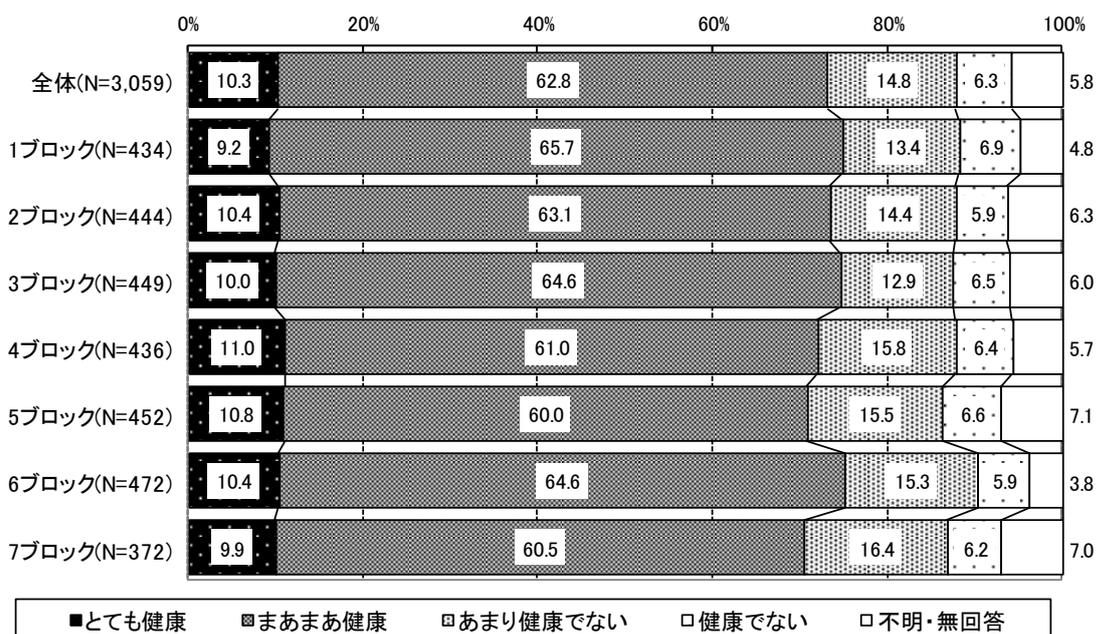
【全体】よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が40.3%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が39.8%、「仕事での同僚・元同僚」が27.6%などとなっている。

【ブロック別】「近所・同じ地域の人」では7ブロックが、「趣味や関心が同じ友人」では6ブロックが高くなっている。

	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	不明・無回答
全体(N=3,059)	40.3	7.1	17.6	27.6	39.8	8.0	3.9	10.4	6.2
1ブロック(N=434)	37.1	6.9	20.5	28.3	38.2	5.8	3.9	10.8	5.3
2ブロック(N=444)	32.7	6.3	23.9	29.3	45.3	9.0	4.5	10.8	5.2
3ブロック(N=449)	35.2	6.7	19.8	30.3	41.0	6.7	3.1	8.5	7.6
4ブロック(N=436)	42.2	6.4	11.2	27.8	32.8	6.4	2.3	12.2	7.6
5ブロック(N=452)	44.0	5.5	13.3	25.4	39.4	7.3	4.0	9.7	6.2
6ブロック(N=472)	35.2	4.9	21.6	27.3	47.5	10.8	4.4	10.6	5.3
7ブロック(N=372)	58.9	14.2	11.3	24.5	33.1	9.9	5.1	9.9	6.5

問9（1） 普段の健康状態

【全体】 普段の健康状態については、「とても健康」「まあまあ健康」を合わせて73.1%となっている。



問9（2） 現在治療中、または後遺症のある病気の有無（複数回答）

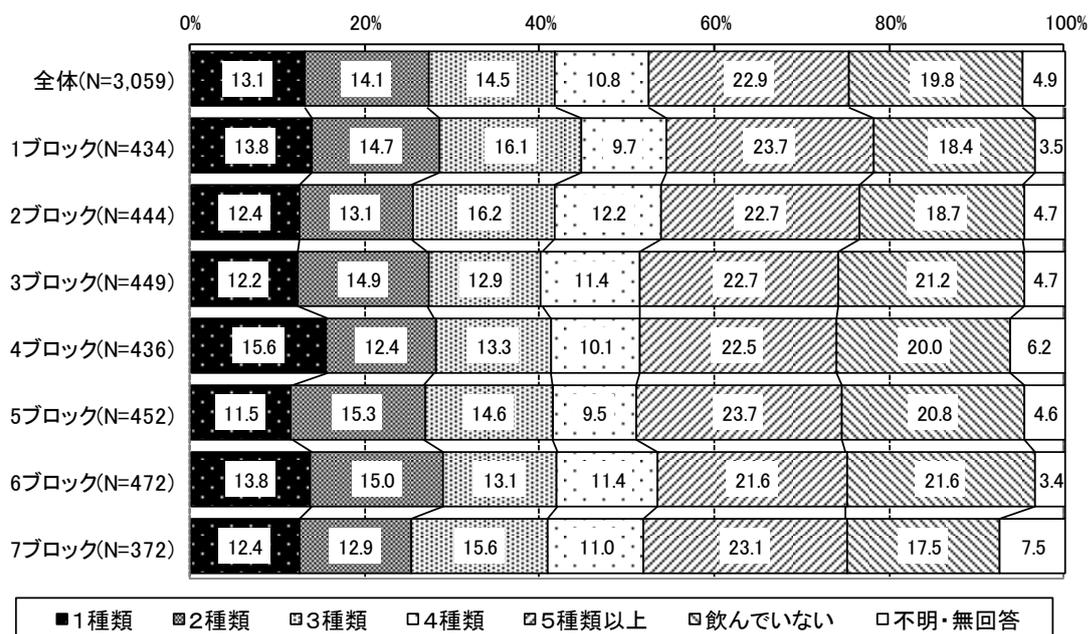
【全体】 現在治療中、後遺症のある病気は、「高血圧」が38.0%で最も多く、次いで「目の病気」が20.5%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が17.5%などとなっている。

	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)
全体(N=3,059)	38.0	4.4	9.7	9.5	12.8	6.0	9.3	8.7	17.5	3.7
1ブロック(N=434)	40.3	3.9	9.2	9.0	9.7	7.1	9.2	7.6	17.1	3.2
2ブロック(N=444)	37.6	3.6	10.1	9.2	14.6	7.2	11.5	8.3	21.4	3.6
3ブロック(N=449)	35.4	5.3	9.4	7.8	12.5	4.9	9.4	9.1	18.5	4.0
4ブロック(N=436)	40.4	4.6	8.7	11.0	12.6	5.5	8.0	7.3	14.9	3.7
5ブロック(N=452)	39.8	3.3	9.3	9.7	11.7	5.5	9.1	9.1	19.9	4.9
6ブロック(N=472)	34.7	4.7	10.2	10.4	14.6	6.1	9.7	10.0	15.7	3.6
7ブロック(N=372)	37.6	5.6	11.6	9.7	14.0	5.4	8.3	9.4	14.2	2.7

	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	不明・無回答
全体(N=3,059)	4.7	3.3	1.4	1.8	0.6	20.5	6.4	5.4	14.0	8.1
1ブロック(N=434)	4.6	3.0	1.2	1.8	0.2	23.7	6.0	5.5	13.1	6.7
2ブロック(N=444)	6.1	4.7	0.9	3.6	0.7	20.9	6.5	5.6	13.3	6.5
3ブロック(N=449)	4.5	2.9	0.4	1.1	0.9	19.2	6.5	5.8	15.4	8.2
4ブロック(N=436)	4.1	3.4	2.5	2.3	0.2	19.7	4.6	5.5	14.2	9.9
5ブロック(N=452)	4.2	3.8	1.8	1.1	0.4	20.6	8.0	4.4	13.1	8.2
6ブロック(N=472)	4.4	2.8	2.1	1.3	1.1	19.5	5.5	5.7	16.1	6.8
7ブロック(N=372)	5.4	2.2	1.1	1.6	0.3	19.9	8.3	5.1	12.1	10.8

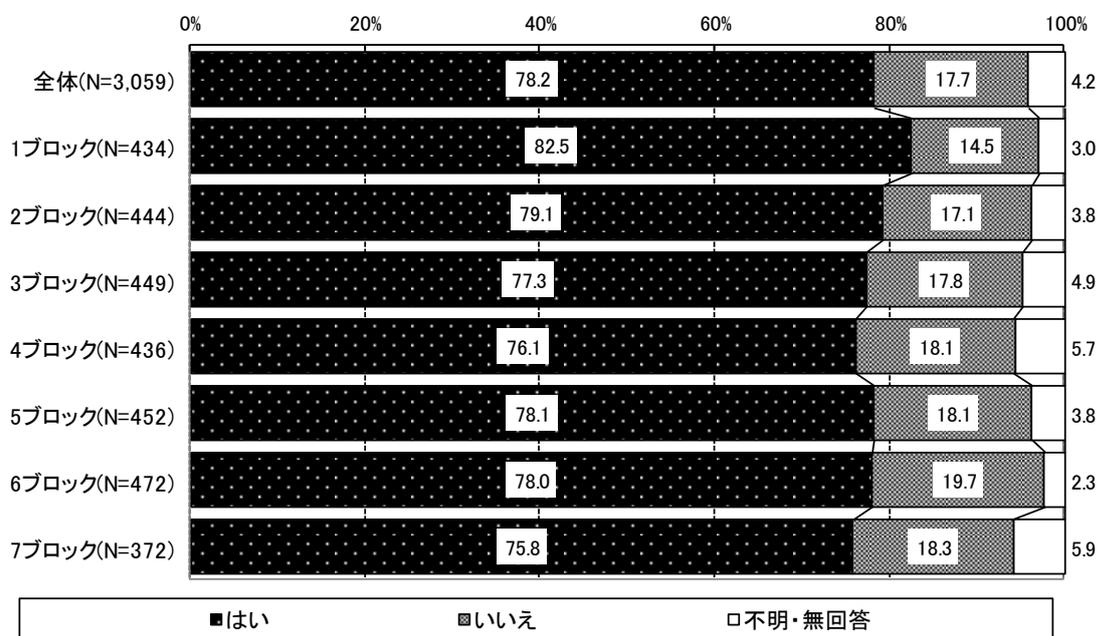
問9（3） 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるか

【全体】 現在、服用している医師の処方薬の種類は、「5種類以上」が22.9%で最も多く、次いで「飲んでいない」が19.8%、「3種類」が14.5%などとなっている。



問9（4） 病院・医院（診療所、クリニック）への通院の有無

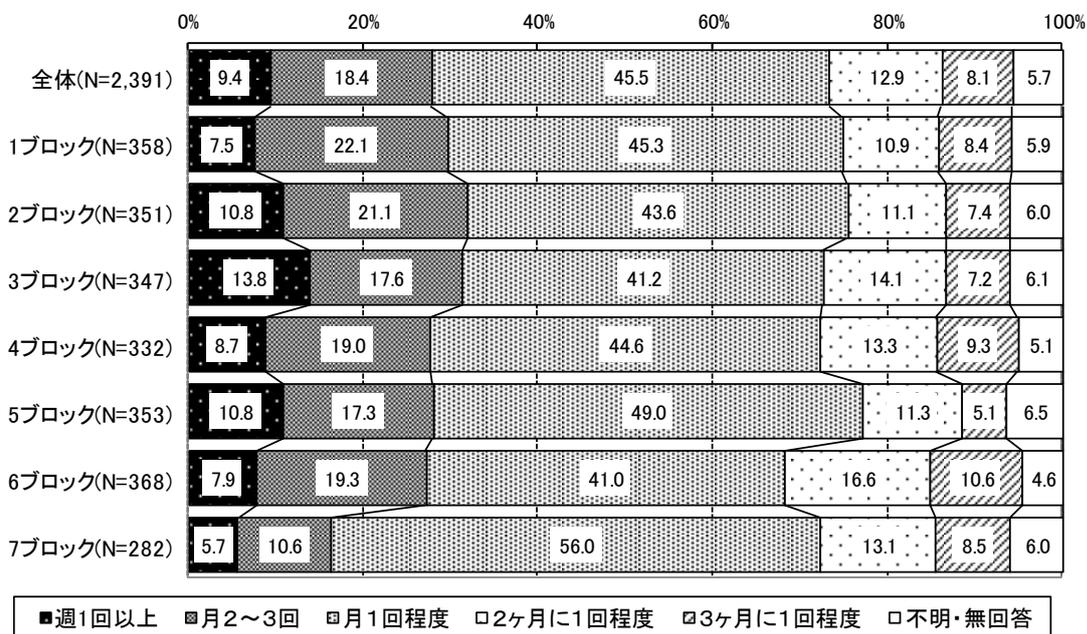
【全体】 病院・医院（診療所、クリニック）への通院の有無については、「はい」が78.2%となっている。



問9（4）－1 通院の頻度

【全体】 通院の頻度は、「月1回程度」が45.5%で最も多く、次いで「月2～3回」が18.4%、「2ヶ月に1回程度」が12.9%などとなっている。

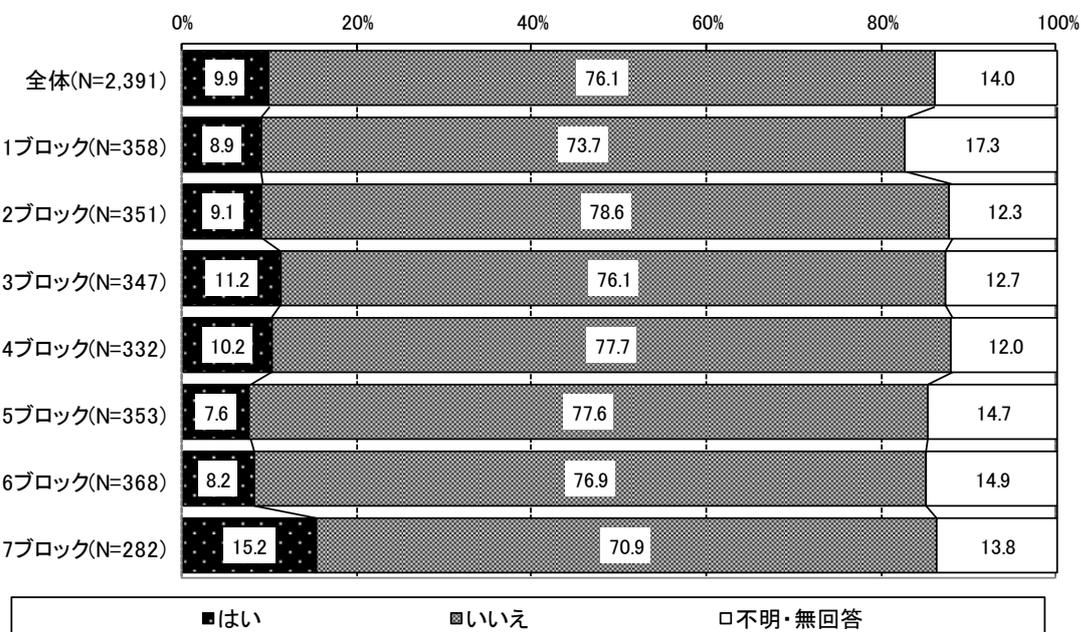
【ブロック別】 1ヶ月の通院頻度では、5ブロック、2ブロック、1ブロックの順で高くなっている。



問9（4）－2 通院の介助の必要性

【全体】 通院の介助の必要性については、「はい」が9.9%となっている。

【ブロック別】 「はい」は、7ブロックで高くなっている。



問9（5） 在宅サービス利用状況（複数回答）

【全体】在宅サービス利用状況は、不明・無回答が89.5%と多く、利用が少ないことがうかがえる。利用している中では、「通所介護（デイサービス）」が4.4%で最も多く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が2.3%、「訪問介護」が2.2%などとなっている。

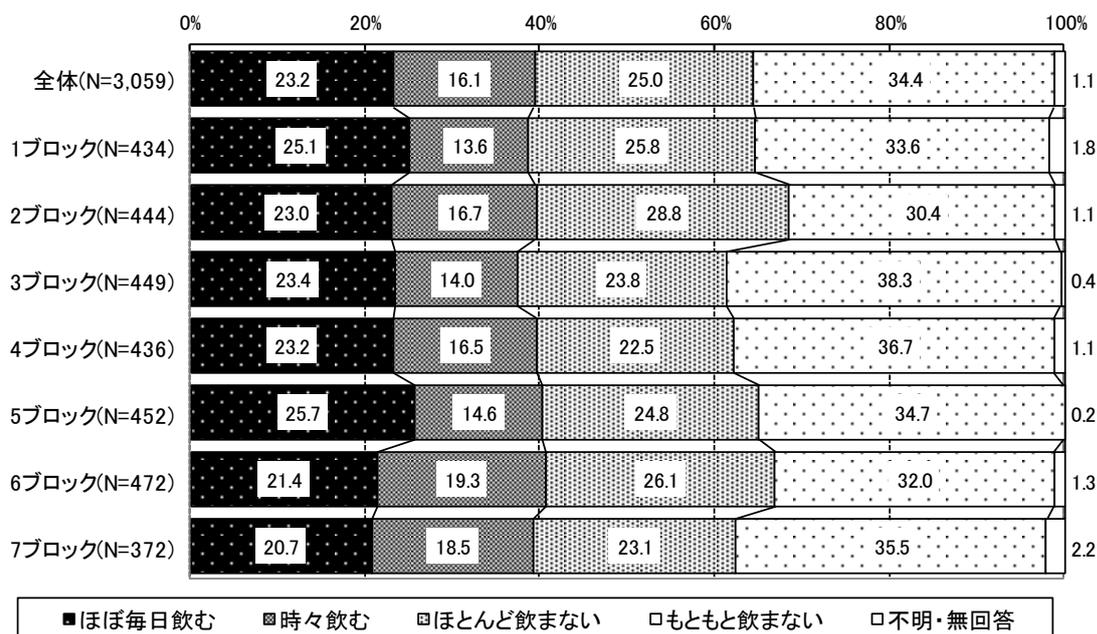
【ブロック別】「通所介護（デイサービス）」は、1ブロック、3ブロック、7ブロックの順で割合が高くなっている。

	訪問診療(医師の訪問)	訪問介護	夜間対応型訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護(デイサービス)	認知症対応型通所介護
全体(N=3,059)	1.3	2.2	0.0	0.4	1.2	0.5	4.4	0.1
1ブロック(N=434)	0.9	1.6	0.0	0.0	0.2	0.2	6.5	0.0
2ブロック(N=444)	1.6	3.2	0.0	0.0	1.8	0.7	4.1	0.2
3ブロック(N=449)	1.8	4.2	0.2	0.4	2.4	0.7	5.6	0.0
4ブロック(N=436)	1.6	1.8	0.0	0.5	1.8	0.2	4.6	0.0
5ブロック(N=452)	1.3	1.8	0.0	0.2	0.0	0.7	2.0	0.0
6ブロック(N=472)	1.3	1.3	0.0	1.1	1.3	0.6	3.4	0.2
7ブロック(N=372)	0.5	1.6	0.0	0.5	0.8	0.3	5.4	0.0

	通所リハビリテーション(デイケア)	小規模多機能型居宅介護	短期入所(ショートステイ)	医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	その他	不明・無回答
全体(N=3,059)	2.3	0.2	0.7	1.5	0.3	0.1	0.8	89.5
1ブロック(N=434)	1.8	0.0	0.5	1.8	0.0	0.0	0.2	88.9
2ブロック(N=444)	2.9	0.2	1.1	2.7	0.0	0.7	1.4	88.3
3ブロック(N=449)	2.4	0.2	0.2	1.1	0.9	0.0	0.7	88.6
4ブロック(N=436)	3.2	0.2	1.1	0.9	0.2	0.0	0.5	89.2
5ブロック(N=452)	1.5	0.2	0.4	1.1	0.2	0.0	0.7	92.0
6ブロック(N=472)	2.1	0.2	0.6	1.3	0.2	0.0	0.8	90.5
7ブロック(N=372)	1.9	0.0	0.8	1.6	0.3	0.3	1.1	89.0

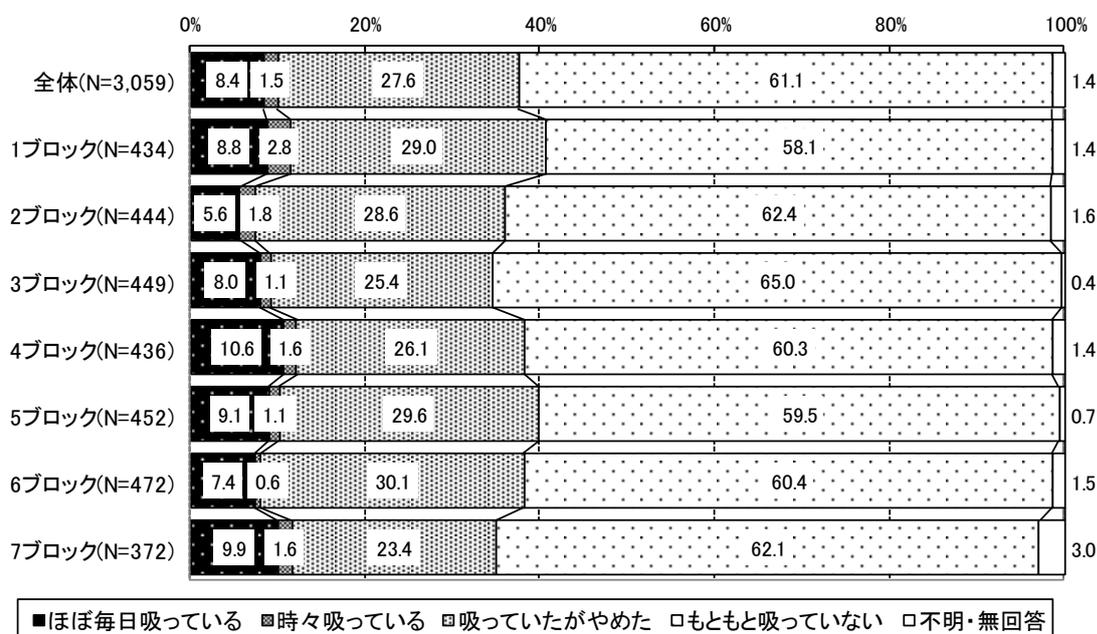
問9（6） 飲酒の状況

【全体】 飲酒の状況については、「もともと飲まない」が34.4%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.0%、「ほぼ毎日飲む」が23.2%などとなっている。



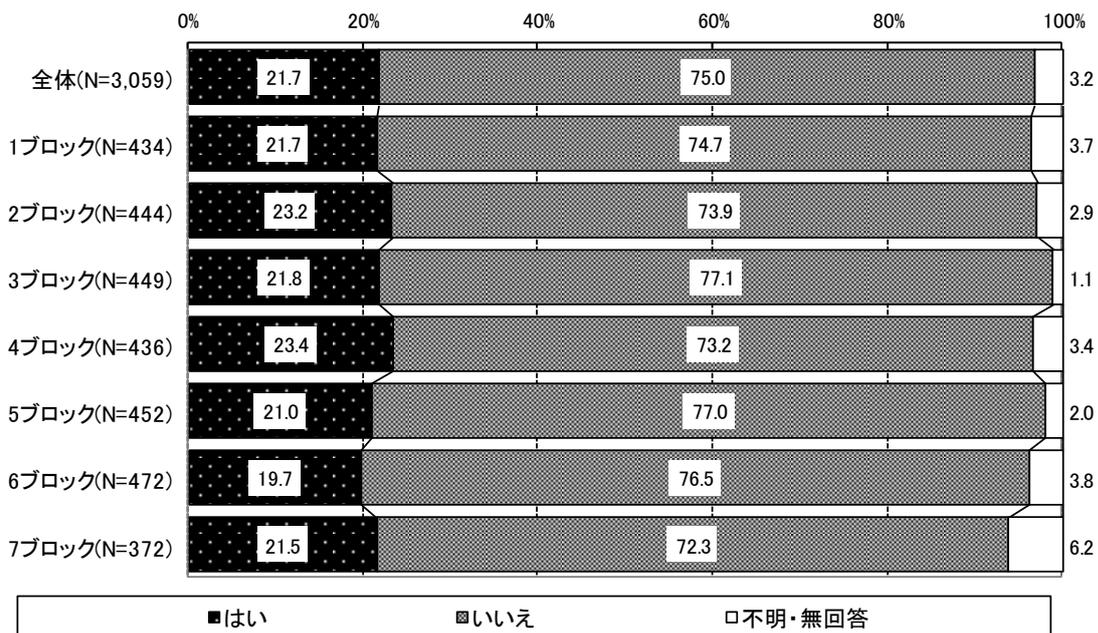
問9（7） 喫煙の状況

【全体】 喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が61.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.6%、「ほぼ毎日吸っている」が8.4%などとなっている。



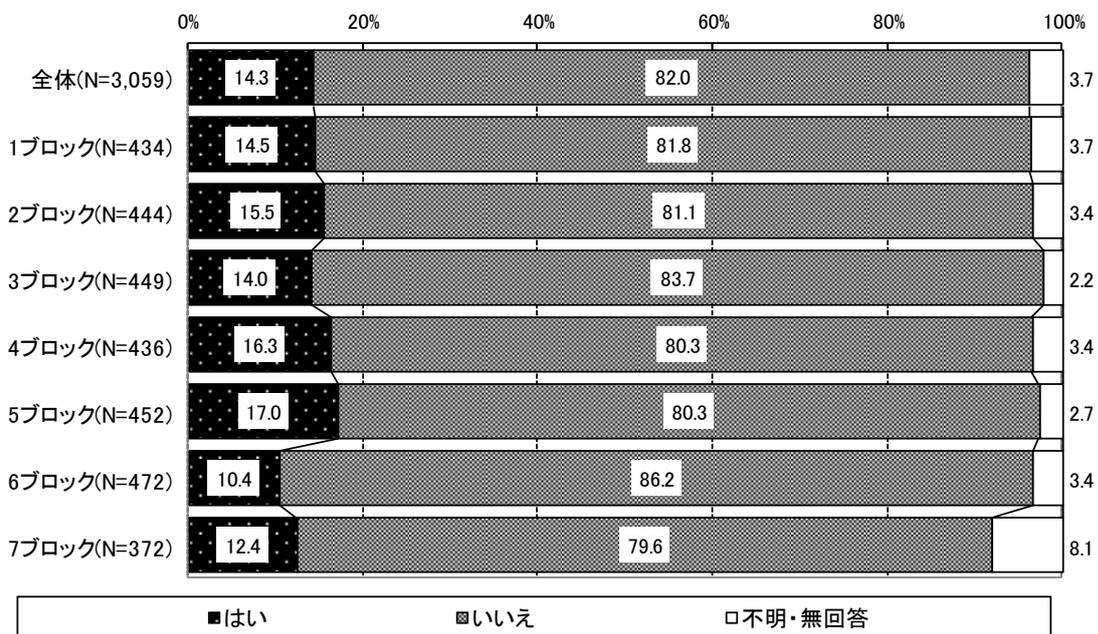
問9（8）（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない

【全体】毎日の生活に充実感がないについては、「はい」が21.7%となっている。



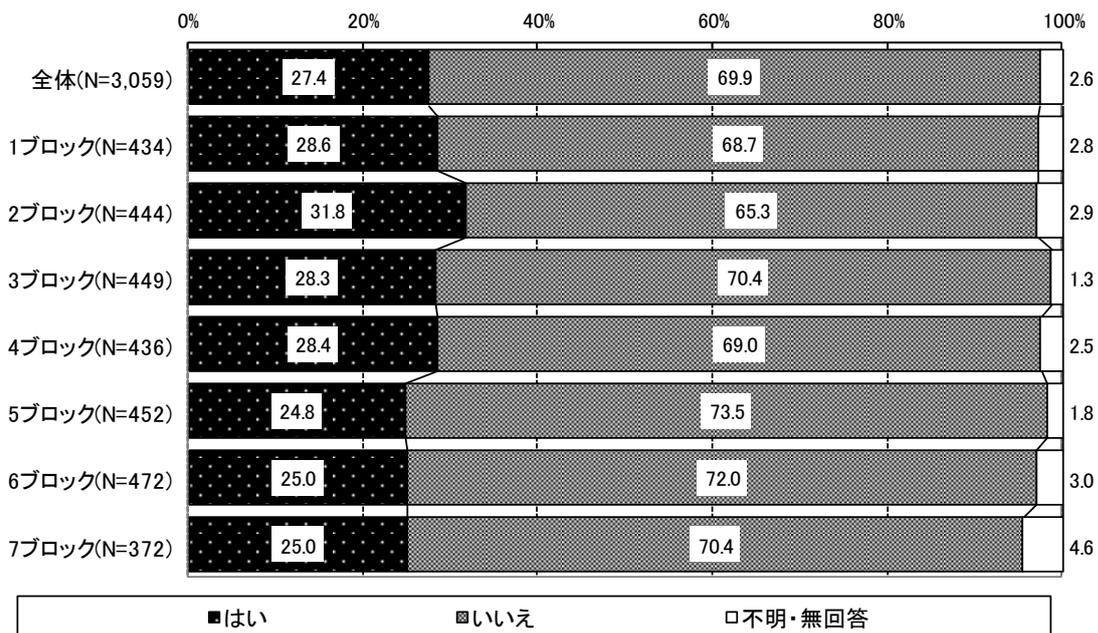
問9（9）（ここ2週間）これまで楽しんできたことが楽しめなくなった

【全体】これまで楽しんできたことが楽しめなくなったについては、「はい」が14.3%となっている。



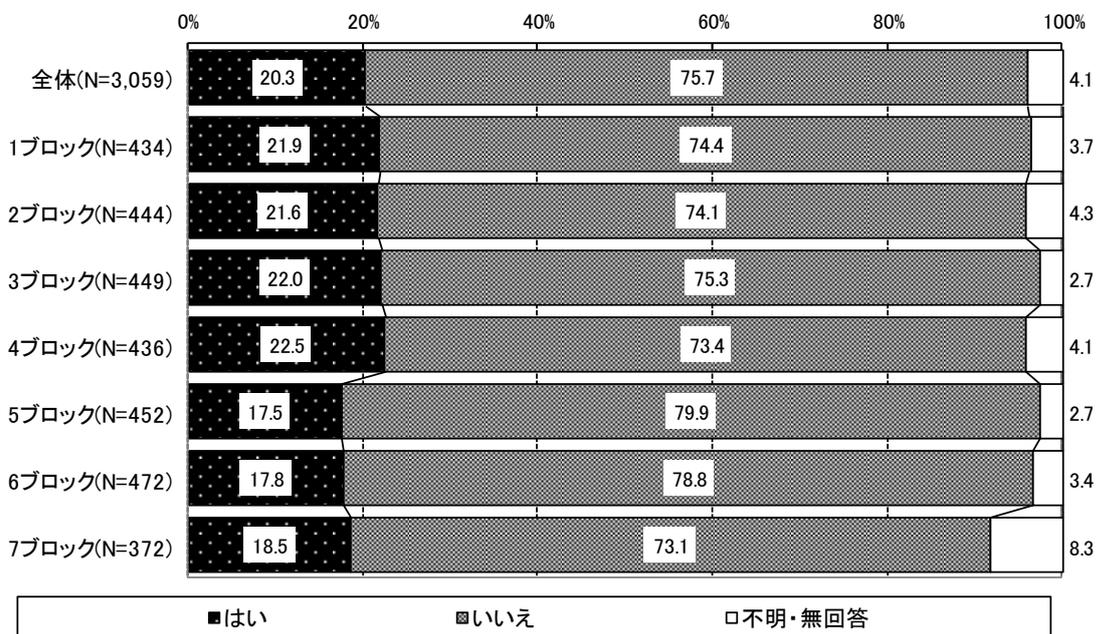
問9 (10) (ここ2週間) 以前楽にできていたことがおっくうに感じる

【全体】 以前楽にできていたことがおっくうに感じるについては、「はい」が27.4%となっている。



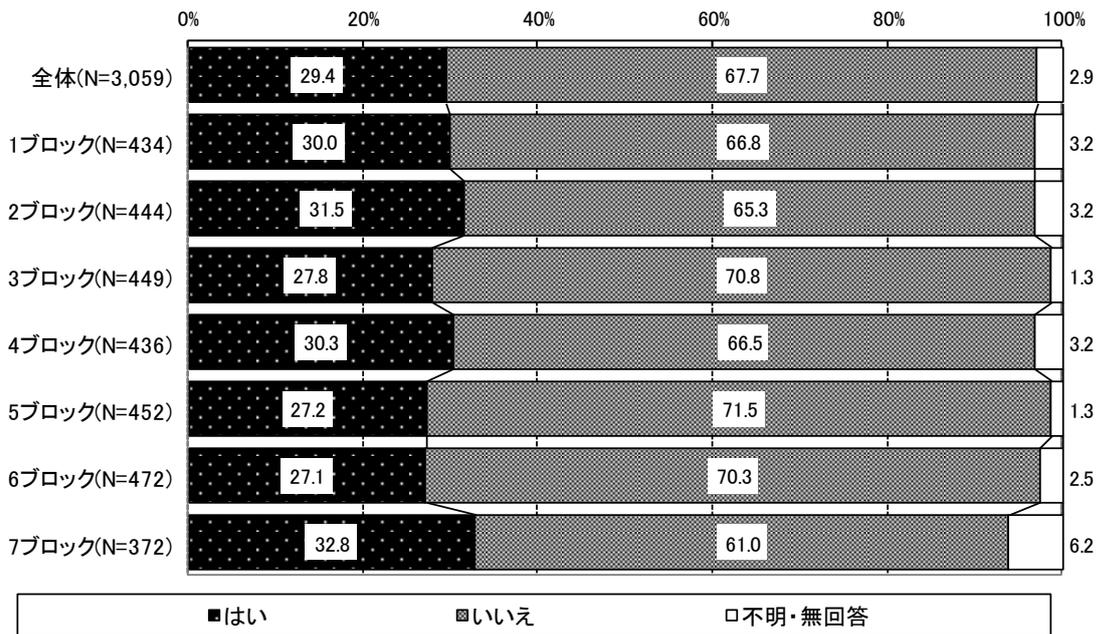
問9 (11) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない

【全体】 自分が役に立つ人間だと思えないについては、「はい」が20.3%となっている。



問9 (12) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

【全体】 わけもなく疲れたような感じがするについては、「はい」が29.4%となっている。



■日常生活圏域ニーズ調査の生活支援ソフトによる集計、推計結果は以下の通りである。

1. 介護保険サービス

1) 介護の必要性の高い在宅高齢者の生活実態の把握

●日常生活で大部分介助が必要と考えられる高齢者で、一人暮らしまたは介護者が高齢（75歳以上）の高齢者

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	3	0	2	0	2	1	9

●日常生活で大部分介助が必要と考えられる高齢者で、二人暮らしまたは介護者が高齢（75歳以上）の高齢者

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	4	2	1	1	1	0	10

2) 原因別認定者数

要介護区分→「要支援1」または「要支援2」

●脳卒中を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	4	2	4	3	4	1	2	20

●心臓病を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	1	3	2	7	1	1	16

●がん（悪性新生物）を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	0	0	2	2	0	1	6

●呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	3	2	2	2	1	1	12

●関節の病気（リウマチ等）を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	3	3	6	3	6	2	2	25

●認知症（アルツハイマー病等）を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	0	0	0	0	0	0	1

●パーキンソン病を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	0	3	0	0	0	1	0	4

●糖尿病を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	2	0	1	3	1	1	0	8

●視覚・聴覚障害を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	3	0	6	1	1	1	1	13

●骨折・転倒を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	11	4	4	5	4	4	2	34

●脊椎損傷を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	5	1	3	5	3	3	2	22

●高齢による衰弱を選択

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	5	2	4	6	7	7	4	35

2. 二次予防事業

●二次予防事業対象者数

要介護区分→「(空白)」(未認定者)

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	374	398	398	368	400	412	328	2,678

●二次予防事業該当者数

下記の「虚弱判定」「運動器判定」「栄養改善判定」「口腔機能判定」のいずれかに該当する人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	147 (39.3%)	171 (43.0%)	156 (39.2%)	126 (34.2%)	153 (38.3%)	142 (34.5%)	152 (46.3%)	1,047 (39.1%)

●虚弱判定→生活機能、運動、栄養、口腔、閉じこもり、認知症に関する 20 項目のうち、10 項目以上に課題のある人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	49 (13.1%)	63 (15.8%)	57 (14.3%)	47 (12.8%)	61 (15.3%)	47 (11.4%)	63 (19.2%)	387 (14.5%)

●運動器判定→運動に関する 5 項目のうち、3 項目以上に課題のある人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	91 (24.3%)	113 (28.4%)	97 (24.4%)	82 (22.3%)	106 (26.5%)	95 (23.1%)	107 (32.6%)	691 (25.8%)

●栄養改善判定→栄養に関する 2 項目いずれにも課題のある人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	8 (2.1%)	8 (2.0%)	11 (2.8%)	12 (3.3%)	4 (1.0%)	6 (1.5%)	5 (1.5%)	54 (2.0%)

●口腔機能判定→口腔に関する3項目のうち、2項目以上に課題のある人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	102 (27.3%)	107 (26.9%)	100 (25.1%)	76 (20.7%)	98 (24.5%)	92 (22.3%)	87 (26.5%)	662 (24.7%)

●閉じこもり予防判定→週に1回以上外出していない人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	29 (7.8%)	36 (9.0%)	32 (8.0%)	24 (6.5%)	29 (7.3%)	29 (7.0%)	58 (17.7%)	237 (8.8%)

●認知症予防判定→認知症に関する3項目のうち、いずれかに課題のある人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	136 (36.4%)	154 (38.7%)	150 (37.7%)	144 (39.1%)	139 (34.8%)	141 (34.2%)	127 (38.7%)	991 (37.0%)

●うつ予防判定→うつに関する5項目のうち、2項目以上に課題のある人

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数 (出現率)	101 (27.0%)	123 (30.9%)	122 (30.7%)	110 (29.9%)	108 (27.0%)	103 (25.0%)	108 (32.9%)	775 (28.9%)

3. 生活支援サービス

1) 権利擁護（見守り）

家族構成：一人暮らし

認知機能判定：3以上

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	0	2	0	3	2	2	2	11

家族構成：配偶者と二人暮らし

認知機能判定：3以上

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	1	1	1	2	0	1	7

家族構成：配偶者以外と二人暮らし

認知機能判定：3以上

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	1	2	1	3	2	0	10

2) 配食サービス

家族構成：一人暮らし

問6 - Q3. 自分で食事の用意をしていますか。：できない

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	2	4	4	5	3	6	4	28

家族構成：配偶者と二人暮らし

問6 - Q3. 自分で食事の用意をしていますか。：できない

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	8	10	14	7	12	15	6	72

家族構成：配偶者以外と二人暮らし

問6 - Q3. 自分で食事の用意をしていますか。：できない

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	4	4	5	6	1	4	0	24

3) 家事援助サービス

家族構成：一人暮らし

問6 - Q2. 日用品の買い物をしていますか。：できない

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	9	8	6	8	5	5	42

家族構成：配偶者と二人暮らし

問6 - Q2. 日用品の買い物をしていますか。：できない

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	1	4	3	2	2	2	2	16

家族構成：配偶者以外と二人暮らし

問6 - Q2. 日用品の買い物をしていますか。：できない

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	3	4	6	4	2	4	0	23

4) 緊急通報サービス

家族構成：配偶者と二人暮らし

ADL判定：40点以下

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	0	1	0	0	1	1	0	3

家族構成：配偶者以外と二人暮らし

ADL判定：40点以下

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	0	1	2	0	0	0	0	3

5) 移送サービス

ADL判定：40点以下

問2 - Q9. 移動手段に○が一つもない方。

要介護度	要支援 1・2	要介護 1～5	計
人数	1	14	15

6) 紙おむつ支給サービス

問6 - Q15：「尿漏れや尿失禁」が「よくある」

要介護度	要支援 1・2	要介護 1～5	計
人数	12	31	43

7) 高齢者専用賃貸住宅

家族構成：1人暮らし

公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等)

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	4	7	3	16	8	8	0	46

持ち家

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	69	60	80	58	61	63	35	426

借間

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	2	2	0	0	0	0	1	5

民間賃貸住宅

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック	計
人数	19	11	17	9	13	4	1	74

●各サービスニーズ試算

宝塚市・高齢者数（第一号被保険者数）（平成26年7月末）

一般高齢者 二次予防対象者	認定者				高齢者数 （一号被保険者）
	要支援1・2	要介護1・2	要介護3～5	小計	
47,834	3,741	3,573	3,151	10,465	58,299

認定者利用サービス分類別内訳（平成26年度月平均）

認定者	要支援1・2	要介護1・2	要介護3～5	小計
施設・居住系	103	593	1,464	2,160
居宅・未利用者	3,638	2,980	1,687	8,305

ニーズ調査での内訳

一般高齢者 二次予防対象者	認定者				高齢者数 （一号被保険者）
	要支援1・2	要介護1・2	要介護3～5	小計	
2,678	218	143	20	381	3,059

1. 介護サービス

1) 認定者数

ADLの高い認定者（ADL得点100点）

区分	ニーズ調査結果		改善可能な認定者数
要支援1・2	57件	26.1%	976人
要介護1・2	8件	5.6%	200人

ADLが低い一般高齢者・二次予防対象者（ADL得点60点以下）

区分	ニーズ調査結果		改善可能な対象者数
一般・二次予防	63件	2.4%	1,148人

2. 介護予防事業

1) 二次予防事業対象者出現率（ニーズ調査結果）

虚弱(20項目)	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	該当者全体
387人	691人	54人	662人	1,047人
14.5%	25.8%	2.0%	24.7%	39.1%

2) 二次予防事業対象者数推計

虚弱(20項目)	運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上
6,913人	12,343人	965人	11,825人

3) 各プログラムニーズ推計

参加希望率を21.6%と設定

*一般高齢者調査 問16サービスの利用希望より、「今後利用したい」を選択。

運動器の機能向上サービス25.2%、栄養改善サービス20.3%、口腔機能サービス19.4%

運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	虚弱(20項目)
2,666人	208人	2,554人	1,493人

3. 生活支援サービス

1) 権利擁護（見守り）

①世帯構成（ニーズ調査結果）

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	その他	全体
678 人(a)	938 人(a)	227 人(a)	1,216 人(a)	3,059 人(a)
22.2%	30.7%	7.4%	39.8%	100%

②世帯類型別高齢者数推計

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	その他	全体
12,921 人	17,877 人	4,326 人	23,175 人	58,299 人
22.2%	30.7%	7.4%	39.8%	100%

③認知症リスク者割合（ニーズ調査）b/a(%)

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	その他
130 人(b)	122 人(b)	52 人(b)	257 人(b)
19.2%	18.0%	7.7%	37.9%

④権利擁護（見守り）対象となりうる高齢者数

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	その他	全体
2,478 人	3,217 人	332 人	8,785 人	14,811 人

2) 配食サービス

①食事の用意ができない者の割合（ニーズ調査結果）b/a(%)

問6 - Q3 自分で食事の用意ができるか→できない

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし
30 人(b)	84 人(b)	24 人(b)
4.4%	9.0%	10.6%

②配食サービスの対象者となりうる高齢者数

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	計
572 人	1,601 人	457 人	2,630 人

③配食サービス利用者数推計

*一般高齢者調査 問16 サービスの利用希望より、「今後利用したい」を選択。

配食サービス 15.0%

項目	一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	計
希望率	15.0%	15.0%	15.0%	-
利用者数	86 人	240 人	69 人	395 人

3) 家事援助サービス

①日用品の買い物ができない者の割合（ニーズ調査結果）b/a(%)

問6-Q2. 日用品の買い物ができるか→できない

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし
46人(b)	22人(b)	23人(b)
6.8%	2.3%	10.1%

②家事援助サービスの対象者となりうる高齢者数

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	計
877人	419人	438人	1,734人

③家事援助サービス利用者数推計

*一般高齢者調査問16サービスの利用希望より、「今後利用したい」を選択。ホームヘルプサービス18.5%

項目	一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	計
希望率	18.5%	18.5%	18.5%	—
利用者数	162人	78人	81人	321人

4) 緊急通報サービス

①緊急通報サービスが必要な者の割合（ニーズ調査結果）b/a(%)

*一人暮らしは全員が対象者

二人暮らしは日常生活の大部分に介助が必要な高齢者（ADL得点40点以下）

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし
678人(b)	3人(b)	3人(b)
100%	0.3%	1.3%

②緊急通報サービスの対象者となりうる高齢者数

一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	計
12,921人	57人	57人	13,035人

③緊急通報サービス利用者数推計

*一般高齢者調査問16サービスの利用希望より、「今後利用したい」を選択。

独居高齢者等緊急通報システム20.8%

項目	一人暮らし	配偶者と二人暮らし	配偶者以外と二人暮らし	計
希望率	20.8%	20.8%	20.8%	—
利用者数	2,688人	12人	12人	2,712人

5) 移送サービス

①大部分介助（ADL40点以下）の割合（ニーズ調査結果）

二次予防	要支援1・2	要介護
27人	1人	20人
1.0%	0.5%	12.3%

②うち公共交通機関などで外出しない割合（ニーズ調査結果）

*外出手段として、徒歩、自動車、バイク、自動車、電車、バス、タクシーのいずれも上げなかった者の割合。

二次予防	要支援1・2	要介護
20人	1人	14人
74.1%	100%	70.0%

③移送サービス対象者数

二次予防	要支援1・2	要介護	計
357人	17人	578人	952人

④移送サービス利用者数推計

項目	二次予防	要支援1・2	要介護	計
希望率(想定)	10%	20%	30%	—
利用者数	36人	3人	173人	212人

6) 紙おむつ支給サービス

①小便の失敗がよくある者の割合（ニーズ調査結果）

二次予防	要支援1・2	要介護
66人	12人	31人
2.5%	5.5%	19.0%

②紙おむつ支給サービス対象者数

二次予防	要支援1・2	要介護	計
1,196人	206人	1,278人	2,680人

③紙おむつ支給サービス利用者数推計

項目	二次予防	要支援1・2	要介護	計
希望率(想定)	10%	20%	30%	—
利用者数	119人	41人	383人	544人

4. 高齢者向け賃貸住宅

①借家率（ニーズ調査結果）

	一人暮らし	配偶者と 二人暮らし	配偶者以外と 二人暮らし
民間賃貸住宅	92人	29人	23人
公営賃貸住宅	53人	39人	13人
借間	5人	1人	4人
計	150人	69人	40人
%	22.1%	7.4%	17.6%

②高齢者賃貸住宅が必要な高齢者数

一人暮らし	配偶者と 二人暮らし	配偶者以外と 二人暮らし	計
2,859人	1,315人	762人	4,936人

③必要高齢者専用賃貸住宅戸数

項目	一人暮らし	配偶者と 二人暮らし	計
希望率(想定)	10%	5%	—
利用者数	285人	65人	350人

Ⅲ. 調査票

介護サービスについてのアンケート

「在宅要援護者需要調査」ご協力のお願い

市民の皆さまには日頃から市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、今回、市では、介護保険事業計画の見直しに向けて皆さまのご意見やご要望をお聞きし、よりよい介護保険制度としていくため、『在宅要援護者需要調査』を実施することになりました。

この調査は、宝塚市内にお住まいの要介護認定を受けている方から約 600 人を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお聞きするものです。ご面倒ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、個人の秘密が他人に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありませんので、あなたのお考えを率直にご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成26年6月

宝塚市長 中川 智子

回答にあたってのお願い

1. このアンケートの回答は、できる限り封筒の宛名ご本人に回答をお願いいたします。
2. 何らかの事情により、本人の記入が難しい場合は、家族の方などが本人の立場で、意思を反映して記入をお願いします。なお、介護にあっている家族の方は、**【21ページ以降の問33～問36】**についてご回答をお願いします。
3. 記入は、鉛筆または黒のボールペンをお願いします。
4. 回答は、次ページ（2ページ）から最後まで順番にお答えください。矢印（→）があれば、矢印にしたがってお答えください。
5. 回答は、あてはまるものの番号に○印をつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内に具体的に記入してください。
6. 回答は、平成26年6月1日現在でお答えください。
7. 記入が終わりましたら同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに6月30日（月）までにポストにお入れください。
8. この調査は、強制ではありません。回答をされなかった場合でも、あなたが不利益を受けることはありませんが、介護保険制度をよりよいものにしていくために、大切な情報となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ご記入にあたって、わからないことがありましたら、下記へお問い合わせください。

宝塚市 健康福祉部 健康長寿推進室 介護保険課

電話 0797 (77) 2136

ファックス 0797 (71) 1355

(平日 午前9時～12時・午後0時45分～5時30分)

まず、次の問にお答えください。

問 A このアンケートの記入者は、次のどれにあたりますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 本人（宛名の方） → 次のページ、問 1 にお進みください。

2. 配偶者（夫または妻）

3. 子ども

4. 子どもの配偶者

5. その他（具体的に： _____）

→ 問 B（問 A で「2～5」とお答えの方におたずねします。）

このアンケートに、宛名本人が回答できない理由は、次のうちどれにあてはまりますか。もっとも近い番号 1 つに○をつけてください。

1. 本人が病院に入院中である

2. 本人が介護保険施設等に入所中である

（特別養護老人ホーム、老人保健施設、養護老人ホーム、有料老人ホームなど）

3. 本人はすでに転居している

4. その他（具体的に： _____）

5. 本人はすでに死亡している

→ 調査項目は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

調査票は、同封の返信用封筒に入れ、封をして切手を貼らずに、6月30日(月)までにポストにお出してください。

→ 次のページ、問 1 にお進みください。

問 1 あなた自身や家族構成についてお聞きします。

(1) あなたの性別は。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 64 歳まで | 2. 65～69 歳 |
| 3. 70～74 歳 | 4. 75～79 歳 |
| 5. 80～84 歳 | 6. 85 歳以上 |

(3) あなたの家族の構成は。(あてはまる番号 1 つに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 一人暮らし |
| 2. あなたと配偶者のみ |
| 3. 二世帯家族 (子どもと同居など) |
| 4. 三世帯家族 (子ども、孫と同居) |
| 5. その他 (具体的に: _____) |

問 2 あなたの現在の状態についてお聞きします。

(1) あなた自身の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | |
|------------|
| 1. 良い |
| 2. まあ良い |
| 3. 普通 |
| 4. あまり良くない |
| 5. 良くない |

(2) あなたの日常生活の活動状態はいかがですか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | |
|---|
| 1. たいした病気や障害などもなく、普通に生活している |
| 2. なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる |
| 3. なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない |
| 4. なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い |
| 5. なんらかの病気や障害などがあって、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド (ふとん) の上にいる時間が多い |

問 3 あなたと医療サービスとの関わりについて

- (1) あなたには、「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」がありますか。(それぞれで1~3の1つに○)

	ある	ない	よくわからない
かかりつけ医	1	2	3
かかりつけ歯科医	1	2	3
かかりつけ薬局	1	2	3

※ここでいう「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日頃から、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をいいます。

- (2) ご自宅で、医師、歯科医師、看護師等による医療サービス（自宅への訪問による医療）を受けていますか。(それぞれで1~6の1つに○)

区分	利用の程度					
	利用なし	月に1回	月に2回	週に1回	週に2回	それ以上
医師	1	2	3	4	5	6
歯科医師	1	2	3	4	5	6
看護師	1	2	3	4	5	6
その他 ()	1	2	3	4	5	6

- (3) ご自宅で、下記の医療サービスを受けられている場合、該当するものに○を付けてください。(通院して受けている場合を除く。)
(当てはまる番号に○はいくつでも)

1. 点滴 2. カテーテル（失禁への対応） 3. 経管栄養療法（管による栄養補給） 4. 中心静脈栄養 5. 在宅酸素療法（酸素の補給） 6. 褥瘡処置（床ずれの治療など） 7. 透析 8. 人工肛門 9. 気管切開 10. 浣腸や摘便（便秘処置） 11. 喀痰吸引（たんの吸引） 12. 義歯の作成、修理、調整 13. むし歯の治療 14. 口腔内の清掃 15. その他（具体的に：_____）

- (4) 在宅療養支援診療所（24 時間体制で往診や訪問看護を実施する診療所）を知っていますか。
あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 知っており、実際に利用したことがある（利用している）
2. 知っているが、利用したことはない
3. あれば利用したい
4. 知らない

- 問 4 (1) あなたは、日常生活全般を通して何か心配事や不安を感じていますか。
あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 感じている

2. 感じていない

3. どちらともいえない

→ 問 5 にお進みください。

- (2) (1) で「1. 感じている」と回答された方におたずねします。それはどのようなことですか。

あてはまる番号 3 つまでに ○ をつけてください。

1. あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと
2. あなたご自身や配偶者の介護のこと
3. 親や兄弟等の世話のこと
4. 認知症になること
5. 頼れる人がいないこと
6. 生活するための収入や生活費のこと
7. 土地・家屋等の財産管理のこと
8. 日常的な金銭管理のこと
9. 災害等に巻き込まれること
10. 将来も安心して暮らせる住まいのこと
11. 社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること
12. 家事ができなくなること
13. 外出時の転倒や事故
14. 人との付き合いがうまくいっていないこと
15. その他（具体的に：_____）

問 5 あなたは、心配事や悩みができた場合、どなたに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者（夫または妻）
2. 子ども（息子・娘）
3. 子どもの配偶者
4. 兄弟・姉妹
5. 1～4以外の家族・親族
6. 友人・知人
7. 隣近所の人
8. 民生委員
9. デイサービスセンターなど福祉施設の職員
10. 市役所の相談窓口
11. 地域包括支援センター
12. ケアマネジャー
13. 介護を受けているホームヘルパー
14. その他（具体的に：_____）
15. 相談相手がいない
16. わからない

問 6 あなたの現在のお住まいについてお聞きします。

(1) 住まいの種別は。あてはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（共同住宅）
3. 公営住宅
4. 民間賃貸住宅
5. その他（具体的に：_____）

(2) 住宅改修の必要性は。もっとも近い番号 1つに○ をつけてください。

※「住宅改修」とは、介護が必要と認定された場合に、介護保険制度により自宅の段差を解消したり、廊下に手すりを付けたりするなどの改修費を20万円を上限にその9割を支給するものです。

1. 必要なし（改修済みも含む）
2. 現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい
3. 改修が必要
4. 改修したいが、借家等のため改修できない
5. 改修したいが、経済的理由により改修できない

問 7 あなたの世帯全員の年間の収入の合計額はどれくらいですか。もっとも近い番号 1つに○をつけてください。

1. 50万円未満
2. 50万円～100万円
3. 100万円～200万円
4. 200万円～300万円
5. 300万円～400万円
6. 400万円～500万円
7. 500万円～600万円
8. 600万円～700万円
9. 700万円～800万円
10. 800万円～900万円
11. 900万円～1,000万円
12. 1,000万円以上
13. その他（具体的に：_____）

問 8 あなたの介護度は、いくらですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 要支援 1
2. 要支援 2
3. 要介護 1
4. 要介護 2
5. 要介護 3
6. 要介護 4
7. 要介護 5
8. 現在、認定を受けていない
9. わからない

問 9 あなたの介護度は、3年前（平成23年6月頃）と比べてどのような変化がありましたか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 軽くなった（よくなった）
2. 重くなった（悪くなった）
3. 変わっていない
4. わからない
5. 3年前は認定を受けていなかった

問 10 あなたは、在宅介護サービスを利用していますか。

1. 利用している → 問 13 にお進みください。

2. 利用していない

問 11 問 10 で「2. 利用していない」と回答された方におたずねします。

あなたが、在宅介護サービスを利用しない理由は何ですか。

あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. 病院（施設）に入院（入所）していた
2. 利用の仕方がわからない
3. 家族などの介護で間に合っている
4. 他人に介護をしてもらいたくない
5. 今のところ自分でできる
6. いざという時にサービスを利用できるように要介護認定を受けただけ
7. サービスの利用料負担が高い
8. 近所の目が気になる
9. 利用したいサービスがない
10. 施設サービスを利用したいので、施設の空きが出るのを待っている
11. 手続きが複雑で利用しにくい
12. その他（具体的に：_____）

問 12 問10で「2. 利用していない」と回答された方におたずねします。

あなたは、今後どのような状況になったら、介護サービスを利用したいと考えていますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 要介護度が現在より重度化したらサービス利用を考えたい
2. 家族介護が困難になったら在宅サービス利用を考えたい
3. 定期的には考えていないが、緊急的に在宅サービス利用を考えたい
4. そろそろ在宅サービス利用を考えている
5. 今後利用するなら施設サービスを利用したい
6. 介護保険以外のサービスを利用したい
(具体的に：_____)
7. 利用料の負担が少なければ利用したい
8. 利用したいサービスが見つければ利用したい
9. サービスの利用について家族が納得したら利用したい
10. 将来的にも出来るだけ利用したくない
11. わからない
12. その他 (具体的に：_____)

⇒回答された方は、問19にお進みください。

問 13 問10で「1. 利用している」と回答された方におたずねします。

あなたは、現在利用している介護サービスの内容や質について満足していますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 満足
 2. やや満足
 3. どちらともいえない
 4. やや不満
 5. 不満
- 問15にお進みください。

→ 問14にお進みください。

問 14 問 13で「4. やや不満」、「5.不満」と回答された方におたずねします。
あなたは、どのようなことに不満がありますか。あてはまる番号 3つまでに○をつけてください。

1. サービスの手際が悪いなど技術が劣っている
2. 言葉遣いなどの対応が悪い
3. 約束した時間がきちんと守られていない
4. 自宅に来てサービスを提供してくれる担当者がよく変わる
5. デイサービスなどの通所サービスのレクリエーション等の内容に不満がある
6. サービス内容の事前説明が十分ではない
7. プライバシーの配慮に欠ける
8. 虐待などを受けた
9. その他（具体的に： _____）

問 15 問 10で「1. 利用している」と回答された方におたずねします。
あなたは、現在利用している介護サービスの量（回数日数・1回当たりの時間）について満足していますか。

- | | |
|--|-------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 満足2. やや満足3. どちらともいえない | → 問 17 にお進みください。 |
| <ol style="list-style-type: none">4. やや不満5. 不満 | |

→ **問 16** 問 15で「4. やや不満」、「5.不満」と回答された方におたずねします。
あなたは、どのようなことに不満がありますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 支給限度額が低額であるため、1回当たりの時間や回数に制限がある
2. 利用者負担が高額となるため、十分な時間や回数のサービスが受けられない
3. 事業者の理由により、1回当たりの時間や回数に制限がある
4. 事業者に希望を聞いてもらえず、十分な時間や回数のサービスを受けられない
5. 自分が希望している回数や日数以上のサービスが提供される
6. 自分が希望する種類以外のサービスを勧められる
7. その他（具体的に： _____）

問 17 問10で「1. 利用している」と回答された方におたずねします。

あなたは、現在利用している居宅介護支援事業者に満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない

→ 問19にお進みください。

- 4. やや不満
- 5. 不満

→ **問 18** 問17で「4. やや不満」、「5. 不満」と回答された方におたずねします。

あなたは、どのようなことに不満がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. ケアプランの目標や内容について、わかりやすく説明されていない
- 2. ケアプランの作成をする際に、こちらの意向が十分に反映されていない
- 3. ケアプランを作成するための専門的知識やノウハウの理解が不十分である
- 4. 自分の所属する会社以外のサービスについての利用が少ない
- 5. わからないことを聞いても、適切に回答されていない
- 6. ケアマネジャーとの連絡が十分になされていない
- 7. プライバシーの配慮に欠けるところがある
- 8. 態度、言葉遣いにていねいさが欠ける
- 9. その他（具体的に： _____）

問 19 将来、あなたはどのような場所で介護を受けたいとお考えですか。あなたの考えにもっとも近い番号1つに○をつけてください。

- 1. 現在の居宅
- 2. サービス付き高齢者向住宅 ※
- 3. 有料老人ホーム、ケアハウス
- 4. 介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）
- 5. 認知症高齢者グループホーム
- 6. その他（具体的に： _____）

※「サービス付き高齢者向住宅」とは、国土交通省・厚生労働省の「高齢者住まい法」の改正により創設された新しい制度に基づき、安否確認サービスと生活相談サービスが提供される高齢者向けの住宅です。

問 20 次の介護保険サービスの現在の利用状況と現在の心身状況からみた今後1年以内の利用希望について、次の各項目について、1～6のうち1つに○をつけてください。

サービスの種類	利用しており、 足りている	利用しているが、 足りない	利用しているが、 利用回数等を減らしたい	利用していないが、 今後は利用したい	利用する必要がない	わからない
① 訪問介護 自宅で、ホームヘルパーによるトイレなどの身体介護や家事のお手伝いなどが受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
② 訪問入浴介護 自宅で、入浴車による入浴の介助が受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
③ 訪問看護 自宅で、看護師などによる看護やリハビリテーションが受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
④ 訪問リハビリテーション 自宅で、理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションが受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑤ 通所介護（デイサービス） デイサービスセンターなどに通い、入浴や食事などが受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑥ 通所リハビリテーション（デイケア） 病院や老人保健施設などに通い、理学療法や作業療法などのリハビリテーションが受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑦ 短期入所生活介護（ショートステイ） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などに短期間入所し、介護が受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑧ 短期入所療養介護（ショートステイ） 病院や介護老人保健施設などに短期間入所し、介護が受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑨ 小規模多機能型居宅介護 登録者に対し、「通い」を中心として、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせ入浴や排せつ、食事等の介護や機能訓練及び療養上の世話などを受けるサービス	1	2	3	4	5	6
⑩ 認知症対応型通所介護 認知症の人専用の通所介護（デイサービス）で、きめの細かい、専門的な認知症ケアを受けるサービス	1	2	3	4	5	6

サービスの種類	利用しており、 足りている	利用しているが、 足りない	利用しているが、 利用回数等を減らしたい	利用していないが、 今後は利用したい	利用する必要がない	わからない
⑪ 夜間対応型訪問介護 夜間において、①定期的な巡回による訪問介護サービス、②利用者の求めに応じた随時の訪問介護サービス、③利用者の通報に応じて調整・対応するオペレーションサービスを受ける。	1	2	3	4	5	6
⑫ 定期巡回随時対応型訪問介護看護 日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が一体的にまたは密接に連携しながら、定期巡回と随時の対応が受けられるサービス。なお、本市には現在、本サービスはありません。				4	5	6
⑬ 居宅療養管理指導 自立した日常生活を営むことができるよう、通院困難な利用者の居宅に訪問した医師等より療養上の管理・指導・助言当を受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑭ 福祉用具の貸与 車いすや特殊寝台などの用具が借りられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑮ 福祉用具の購入 入浴や排泄等のための用具を購入する費用の9割相当額の支援が受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑯ 住宅改修 手すりの取り付けや段差解消など、住宅を改修する費用の9割相当額の支援が受けられるサービス	1	2	3	4	5	6
⑰ 配食サービス（特別給付） 栄養バランスのとれた食事を配送するサービスで、配送費の9割を保険給付する	1	2	3	4	5	6

問 21 訪問介護（ホームヘルプサービス）を受けている方にお聞きします。
 ホームヘルパーにより実際受けている介護はどのようなものですか。
 （○はいくつでも）

1. 入浴・排泄・食事 2. おむつ交換 3. 水分補給 4. 床ずれ防止のための体位変換 5. 身だしなみ（着替え、整容） 6. 薬の服用 7. 通院 8. 調理 9. 洗濯 10. 掃除 11. 買い物 12. その他（具体的に：_____）
--

問 22 あなたは、次にあげるサービスについて、利用したいとお考えですか。次の各項目について、1～4のうち1つに○をつけてください。

サービスの種類	ぜひ利用したい	利用したい	利用したいとは思わないとは	わからない
① 運動器の機能向上サービス 専門家のプランに従って柔軟性や筋力向上のための運動を行う	1	2	3	4
② 栄養改善サービス 低栄養を改善するため、自分にあった食生活についての指導を受ける	1	2	3	4
③ 口腔機能向上サービス 楽しく安全に食事を行うため、お口の機能を向上させる方法について指導を受ける	1	2	3	4

問 23 最近、高齢者向けに様々な催し物やサービスの提供が行われていますが、あなたはそのような情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族
2. 友人・知人
3. 民生委員
4. 地域包括支援センター
5. 老人会
6. いきいきサロン（ふれあい喫茶）
7. 市役所や施設等の職員
8. テレビ
9. ラジオ
10. インターネット・市ホームページ
11. 新聞（タウン紙を含む）
12. 市の広報紙
13. チラシ
14. 自治会の回覧
15. その他（具体的に：_____）
16. 特にどこからも得ていない

問 24 介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設など）の入所についておたずねします。

(1) あなたは、介護保険施設の入所申込みをされていますか。(1つに○)

- | | |
|--|----------------------|
| <ul style="list-style-type: none">1. 申し込んでいる2. 申し込んでいない | → 問 24 (4) にお進みください。 |
|--|----------------------|

→ (2) 問 24(1) 「1. 申し込んでいる」と回答された方におたずねします。介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設など）の入所申込みをされている施設の種別は、何ですか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）2. 介護老人保健施設（老人保健施設）3. 介護療養型医療施設（療養型病床群） |
|---|

→ (3) 問 24(1) 「1. 申し込んでいる」と回答された方におたずねします。入所時期は、いつ頃を希望されていますか。(1つに○)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1. できるだけ早く入所したい2. 1年以内に入所したい3. 1年以降でもかまわない |
|--|

(4) 問 24 の (1) で 「2. 申し込んでいない」と回答された方におたずねします。入所申し込みをしていない理由は何ですか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">1. これから施設に入所申し込みをしたい2. 現在の状態が続けられれば、施設入所は考えていない3. わからない |
|---|

問 25 あなたは介護が必要になっても、今後できるだけ長く在宅生活を継続していくためには、介護サービスの利用も含めてどのようなことが必要だと考えますか。

次の各項目について、1～4の1つに○を付けてください。

項 目	う 特 に 必 要 だ と 思 う	必 要 だ と 思 う	ど ち ら か と い う と 必 要 だ と 思 わ な い	わ か ら な い
①緊急時や夜間帯に訪問介護サービスや看護サービスが利用できること	1	2	3	4
②デイサービスを利用している場合、緊急時にそこで宿泊できること	1	2	3	4
③自宅からできるだけ近いところで顔なじみの職員によるデイサービス等が利用できること	1	2	3	4
④かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者等が相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられるようになること	1	2	3	4
⑤介護状態の悪化防止のための筋力向上トレーニング、バランスの取れた食事の取り方などの教室が開催されること	1	2	3	4
⑥ちょっとした手助けを近隣の人やボランティアなどに頼めること	1	2	3	4
⑦地域で見守りや安否確認などをしてもらえること	1	2	3	4
⑧地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること	1	2	3	4

問 26 あなたの現在のサービス利用時の利用料（1ヶ月）の平均額はどれくらいですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 5,000 円未満
2. 5,000 円以上、10,000 円未満
3. 10,000 円以上、20,000 円未満
4. 20,000 円以上、30,000 円未満
5. 30,000 円以上、40,000 円未満
6. 40,000 円以上
7. わからない

問 27 あなたの現在のサービス利用料の負担感についてどのように感じていますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 高い
2. やや高い
3. 妥当
4. やや安い
5. 安い

問 28 あなたの保険料の段階はどの段階ですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

※介護保険料の段階は、昨年7月上旬に宝塚市から郵送された「宝塚市介護保険料決定通知書」に記載しております。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 第1段階（基準額×0.5） | 年間保険料：29,200 円 |
| 2. 第2段階（基準額×0.5） | 年間保険料：29,200 円 |
| 3. 第3段階（基準額×0.625） | 年間保険料：36,500 円 |
| 4. 第4段階（基準額×0.75） | 年間保険料：43,800 円 |
| 5. 第5段階（基準額×0.875） | 年間保険料：51,100 円 |
| 6. 第6段階（基準額） | 年間保険料：58,400 円 |
| 7. 第7段階（基準額×1.125） | 年間保険料：65,700 円 |
| 8. 第8段階（基準額×1.25） | 年間保険料：73,000 円 |
| 9. 第9段階（基準額×1.5） | 年間保険料：87,600 円 |
| 10. 第10段階（基準額×1.75） | 年間保険料：102,200 円 |
| 11. 第11段階（基準額×2.0） | 年間保険料：116,800 円 |
| 12. 第12段階（基準額×2.25） | 年間保険料：131,400 円 |
| 13. わからない | |

問 29 あなたは、現在の介護保険料の負担感はどのように感じていますか。あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 高い
2. やや高い
3. 妥当
4. やや安い
5. 安い

問 30 介護保険料の基準額は、宝塚市の介護サービスの利用量によって決まります。施設が増えたり、介護サービスが充実したりするなどして利用量が増えると、保険料も上がることとなります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスの在り方について、あなたはどのようにお考えですか。もっとも近い番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい
2. 保険料も介護サービスも現状の程度でよい
3. 介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい
4. その他（具体的に：_____）
5. わからない

問 31 現行制度では、65 歳以上の人々の保険料は、問 28 の表のとおり、所得段階などの負担能力に応じて 12 段階に分けられており、一番低い第 1 段階の人と一番高い第 12 段階の人では、金額に 4.5 倍の差があります。この設定方法について、あなたの考えにもっとも近い番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 現行の設定方法でよい
2. 個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差現状より大きくすべきである
3. 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
4. わからない

問 32 介護保険制度に関することで、宝塚市に望むことはどのようなことですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 介護保険制度に関してわかりやすい情報の提供
2. 介護保険制度の手続きの簡素化
3. 訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅の介護サービスの充実
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設の充実
5. 認知症高齢者グループホームの増設
6. 比較的安く入居できる有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）の充実
7. 地域の身近なところで、様々なサービスが利用できること
8. 福祉用具の充実や、自宅の設備や構造を高齢者に使いやすいように改修するための施策の充実
9. 介護を必要とする状態の予防や、悪化することを防止するための事業、健康づくり対策の充実
10. 低所得者世帯への負担軽減策の充実
11. サービス事業者の質の向上
12. ケアマネジャーの質の向上
13. 不適切なサービス利用や過剰なサービス提供の是正
14. 苦情処理への迅速な対応
15. その他（具体的に：_____）
16. 特にない

ここからは主に宛名ご本人を介護されている方におたずねします

問 33 日常、主に宛名ご本人を介護している方は、どなたですか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者（夫または妻）
2. 子ども
3. 子どもの配偶者
4. その他の家族
5. 親族以外（ヘルパーなど）
6. 介護者はいない

問 34 主に宛名ご本人を介護している方についておたずねします。

(1) 性別は。(1 つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) 年齢は。(満年齢でお答えください。)(1 つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 40 歳未満 | 2. 40 歳代 |
| 3. 50 歳代 | 4. 60 歳代 |
| 5. 70 歳代 | 6. 80 歳以上 |

問 35 あなたは、どのようなお気持ちで介護をされていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 介護するのが当然と思う
2. 多少の苦労はあるが、できる限り自分で介護していきたいと思う
3. 介護に生きがいを感じている
4. 介護技術が身につくなど、自分自身に役立つと思う
5. 自分の負担にならない範囲で介護をすればよいと思って介護している
6. 負担を感じているが、他に介護者がいないので仕方なく介護している
7. 家族などから介護を強いられているような気がする。
8. その他（具体的に：_____）

問 36 次の1～9の行為は虐待にあたりますが、あなたが介護する上でやむを得ず行ってしまうものがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認知症により、問題行動があるので安静にする薬を多めに与える
2. 認知症により、徘徊するので部屋から出さないようにする
3. 言うことを聞かないので、口をきかないようにする
4. 介護が大変なので本人の前で暴言を吐くことがある
5. 介護が大変なので時々世話をしないことがある
6. 仕事などの都合で介護する時間がとれない時があるので、食事を抜くことがある
7. 経済的な負担が大変なので、介護サービスの利用や病院に行くことを控えることがある
8. 特に本人の了承を得ずに年金を管理し、本人のため以外に使う
9. 良いことと悪いことをわかってもらうために、たたくなどする

介護サービスについてのアンケート

「一般高齢者調査」ご協力のお願い

市民の皆さまには日頃から市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、今回、市では、介護保険事業計画の見直しに向けて皆さまのご意見やご要望をお聞きし、よりよい介護保険制度としていくため、『一般高齢者調査』を実施することになりました。

この調査は、宝塚市内にお住まいの 65 歳以上の方から無作為に抽出させていただきました約 1,200 人の方にご協力をお願いするものです。

つきましては、ご面倒ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、個人の秘密が他人に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはございませんので、あなたのお考えを率直にご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年 6 月

宝塚市長 中川 智子

回答にあたってのお願い

1. このアンケートの回答は、できる限り封筒の宛名ご本人に回答をお願いいたします。
2. 何らかの事情により、本人の記入が難しい場合は、家族の方などが本人の立場で、意思を反映して記入をお願いします。
3. 記入は、鉛筆または黒のボールペンをお願いします。
4. 回答は、次ページ（2ページ）から最後まで順番にお答えください。矢印（→）があれば、矢印にしたがってお答えください。
5. 回答は、あてはまるものの番号に○印をつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内に具体的に記入してください。
6. 回答は、平成26年6月1日現在でお答えください。
7. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに6月30日（月）までにポストにお入れください。
8. この調査は、強制ではありません。回答をされなかった場合でも、あなたが不利益を受けることはありませんが、介護保険制度をよりよいものにしていくために、大切な情報となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ご記入にあたって、わからないことがありましたら、下記へお問い合わせください。

宝塚市 健康福祉部 健康長寿推進室 介護保険課

電話 0797 (77) 2136

ファックス 0797 (71) 1355

(平日 午前9時～12時・午後0時45分～5時30分)

まず、次の問にお答えください。

問 A このアンケート記入者は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 本人 → 次のページ、問1にお進みください。
2. 配偶者（夫または妻）
3. 子ども
4. 子どもの配偶者
5. その他（具体的に： _____）

→ 問 B（問Aで「2～5」とお答えの方におたずねします。）

このアンケートに、宛名本人が回答できない理由は、次のうちどれにあてはまりますか。もっとも近い番号 1つに○をつけてください。

1. 本人が病院に入院中である
2. 本人が介護保険施設等に入所中である
（特別養護老人ホーム、老人保健施設、養護老人ホーム、
有料老人ホームなど）
3. 本人はすでに転居している
4. その他（具体的に： _____）
5. 本人はすでに死亡している

→ 調査項目は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れ、封をして切手を貼らずに、
6月30日（月）までにポストにお入れください。

→ 次のページ、問1にお進みください。

問 1 あなた自身や家族構成についてお聞きします。

(1) あなたの性別は。(あてはまる番号 1つに〇)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)(1つに〇)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 65～69 歳 | 2. 70～74 歳 |
| 3. 75～79 歳 | 4. 80～84 歳 |
| 5. 85 歳以上 | |

(3) あなたの家族の構成は。(あてはまる番号 1つに〇)

- | |
|----------------------|
| 1. 一人暮らし |
| 2. あなたと配偶者のみ |
| 3. 二世帯家族 (子どもと同居など) |
| 4. 三世帯家族 (子ども、孫と同居) |
| 5. その他 (具体的に: _____) |

問 2 あなたの現在のお住まいについてお聞きします。

(1) 住まいの種別は。(あてはまる番号 1つに〇)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 2. 持ち家 (共同住宅) |
| 3. 公営住宅 | 4. 民間賃貸住宅 |
| 5. その他 (具体的に: _____) | |

(2) 高齢になっても生活しやすいように、自宅の段差の解消、廊下に手すりをつける等、住宅改修の必要性は。(あてはまる番号 1つに〇)

※「住宅改修」とは、介護が必要と認定された場合に、介護保険制度により自宅の段差を解消したり、廊下に手すりを付けたりするなどの改修費を 20 万円を上限にその 9 割を支給するものです。

- | |
|---------------------------|
| 1. 必要なし (改修済みも含む) |
| 2. 現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい |
| 3. 改修が必要 |
| 4. 改修したいが、借家等のため改修できない |
| 5. 改修したいが、経済的理由により改修できない |

問 3 あなたの世帯全員の年間の収入の合計額はどれくらいですか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

1. 50万円未満	2. 50万円～100万円
3. 100万円～200万円	4. 200万円～300万円
5. 300万円～400万円	6. 400万円～500万円
7. 500万円～600万円	8. 600万円～700万円
9. 700万円～800万円	10. 800万円～900万円
11. 900万円～1,000万円	12. 1,000万円以上
13. その他（具体的に：_____）	

問 4 (1) あなたが現在、1.日常行っていることはどんなことですか。また、2.今後行ってみたいことはどんなことですか。日常及び今後のそれぞれについて、あてはまるもの（1や2）のすべてに○をつけてください。

行っていること・活動	日常、行っている	今後、行ってみたい
① 働くこと	1	2
② 家事	1	2
③ 学習や教養を高めるための活動 （公民館、フレミラ宝塚の講座に参加など）	1	2
④ 運動（ゲートボール、ジョギング、水泳、散歩など）	1	2
⑤ 趣味の活動（囲碁、将棋、手芸、書道、カラオケなど）	1	2
⑥ ボランティア活動	1	2
⑦ 老人クラブ活動	1	2
⑧ 地域の行事や活動	1	2
⑨ その他（具体的に：_____）	1	2

(2) 問 4 (1) で「⑥ボランティア活動」の「2.今後、行ってみたい」に○を付けた場合、今後、行ってみたいボランティア活動の内容は次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 環境美化、緑化活動（清掃、ゴミ拾い、花壇づくりなど） 2. 交通安全、防犯活動 3. 子育て支援（保育、外出の付添いなど） 4. 高齢者や障がい者の支援（サロンのお手伝い、話し相手など） 5. 災害救援、支援活動 6. その他（具体的に：_____）

- (3) 問 4 (1) で⑥・⑦・⑧の活動に「1.日常、行っている」「2.今後、行ってみたい」ともに○を付けなかった方にお聞きします。
その理由を、次の中から該当するものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

1. 健康に自信がない
2. お金や手間がかかる
3. 忙しい
4. 活動・開催場所が遠い、不便
5. 活動についてよく知らない
6. 必要な技術や経験がない
7. 気軽に参加しづらい
8. 興味ある内容がない
9. 一緒に参加する仲間がいない
10. 過去に参加したが期待はずれだった
11. その他 (具体的に: _____)

- (4) 問 4 (1) で⑥・⑦・⑧の活動に「1.日常、行っている」「2.今後、行ってみたい」ともに○を付けなかった方にお聞きします。
参加するための条件は何でしょうか。次の中から該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 一緒に活動に参加する仲間がいること
2. 時間に束縛されないこと
3. 活動場所が身近にあること
4. 家族に理解があること
5. 場所や施設が整っていること
6. 費用負担が少ないこと
7. その他 (具体的に: _____)

問 5 あなたの現在の状態についてお聞きします。

(1) あなた自身の健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. 良い
2. まあ良い
3. 普通
4. あまり良くない
5. 良くない

(2) あなたの日常生活の活動状態はいかがですか。(1つに○)

1. たいした病気や障害などもなく、普通に生活している
2. なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる
3. なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活はほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない
4. なんらかの病気や障害などがあって、家の中での生活も誰かの手助けを必要とすることが多い
5. なんらかの病気や障害などがあって、トイレ・食事・着替えなど介助を要し、1日中ベッド(ふとん)の上にいる時間が多い

問 6 あなたには、「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」がありますか。(①②③それぞれで1~3の1つに○)

	ある	ない	よくわからない
① かかりつけ医	1	2	3
② かかりつけ歯科医	1	2	3
③ かかりつけ薬局	1	2	3

※ここでいう「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」とは、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日頃から、気軽に相談できるような身近な開業医、歯科医、薬局をいいます。

問 7 (1) あなたは、日常生活全般を通じて何か心配事や不安を感じていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 感じている

2. 感じていない

3. どちらともいえない

→ 問 8 にお進みください。

(2) 問 7 (1) で「1. 感じている」と回答された方におたずねします。それはどのようなことですか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

1. あなたご自身や配偶者（夫または妻）の健康のこと
2. あなたご自身や配偶者の介護のこと
3. 親や兄弟等の世話のこと
4. 認知症になること
5. 頼れる人がいないこと
6. 生活するための収入や生活費のこと
7. 土地・家屋等の財産管理のこと
8. 日常的な金銭管理のこと
9. 災害等に巻き込まれること
10. 将来も安心して暮らせる住まいのこと
11. 社会保障のしくみ（年金・医療保険・介護保険等）が変わること
12. 家事ができなくなること
13. 外出時の転倒や事故
14. 人との付き合いがうまくいっていないこと
15. その他（具体的に：_____）

問 8 あなたは、心配事や悩みができた場合、どなたに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者（夫または妻）
2. 子ども（息子・娘）
3. 子どもの配偶者
4. 兄弟・姉妹
5. 1～4以外の家族・親族
6. 友人・知人
7. 隣近所の人
8. 民生委員
9. デイサービスセンターなど福祉施設の職員
10. 市役所の相談窓口
11. 地域包括支援センター
12. ケアマネジャー
13. 介護を受けているホームヘルパー
14. その他（具体的に：_____）
15. 相談相手がいない
16. わからない

問 9 ご近所の人との関係は次のうちどれに近いですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 病気になった時に、家に上がって介護してくれる親しい人がいる
2. 介護以外で何か困った時に、助け合う親しい人がいる
3. お互いに訪問しあう程度の人はいる
4. 立ち話をする程度の人はいる
5. 挨拶をする程度の人しかいない
6. ほとんど付き合いはない
7. その他（具体的に：_____）

問 10 あなたの日常生活についておたずねします。

- (1) あなたは日頃、部屋の片づけ・洗濯・食事の準備や後片づけなど身の回りのことなど、自分で行っていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 行っている → 問 11 にお進みください。

2. 心がけているが、十分には行っていない

3. 行っていない

- (2) 問 10 (1) で「2. 心がけているが、十分には行っていない」または「3. 行っていない」と回答された方におたずねします。「行っていない」理由はどのようなことですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 面倒だから

2. 他にすることがあり、時間がないから

3. 自分でしなくても、してくれる人がいるから

4. やり方がわからないから

5. 持病があったり、体調が悪く自分ではできないから

6. その他 (具体的に: _____)

問 11 体を動かすことについておたずねします。

- (1) あなたは日頃、歩いたり、体操を行ったりするなど体を動かすことをしていますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 行っている → 問 12 にお進みください。

2. 心がけているが、十分には行っていない

3. 行っていない

- (2) 問 11 (1) で「2. 心がけているが、十分には行っていない」または「3. 行っていない」と回答された方におたずねします。「行っていない」理由は何ですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 面倒だから

2. 他にすることがあり、時間がないから

3. 近くに適切な場所がないから

4. 一緒にやる人がいないなど、きっかけがないから

5. 持病があったり、あまり体を動かすことはできないから

6. 転んだことがある又は転ぶことに対する不安があるから

7. その他 (具体的に: _____)

問 12 ふだんの外出の状況についておたずねします。

- (1) あなたは、ふだんどのくらいの頻度で外出されていますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日 (週に 4~7 回)
2. 週に 2~3 回
3. 週に 1 回程度
4. 月に 1~3 回程度
5. ほとんど外出していない

→ 問 13 にお進みください。

- (2) 問 12 (1) で「4. 月に 1~3 回程度」または「5. ほとんど外出していない」と回答された方におたずねします。あまり外出されない理由は何ですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 持病があったりして、体調が悪いから
2. 外出の必要がないから
3. 外出が面倒だから
4. 外出したい場所がないから
5. 自由に使えるお金がないから
6. 誘ってくれる人がいないから
7. 特に理由はない
8. その他 (具体的に : _____)

問 13 会話をする頻度についておたずねします。

- (1) あなたは、ふだん友達や近所の人あるいは家族や親戚と会って会話をする頻度はどれくらいありますか。あてはまる番号 1 つに○ をつけてください。

1. ほぼ毎日 (週に 4~7 回)
2. 週に 2~3 回
3. 週に 1 回程度

→ 問 14 にお進みください。

4. 月に 1~3 回程度
5. ほとんどない

- (2) 問 13 (1) で「4. 月に 1~3 回程度」または「5. ほとんどない」と回答された方におたずねします。会話が**ない理由**はどのようなことですか。あてはまる番号 すべてに○ をつけてください。

1. 面倒だから、または、疲れるから、または楽しくないから
2. 家ですることがあり、時間がないから
3. 話が合う相手がいない、外出する用事がないなど、きっかけがないから
4. 人付き合いが苦手だから
5. 持病があったり、体調が悪く、できないから
6. その他 (具体的に: _____)

問 14 頭の老化防止のためにされていることについておたずねします。

- (1) あなたはふだん、頭の老化の防止のために、趣味や生きがいと感じられる活動、頭の体操となるようなことを行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 行っている → 問 15 にお進みください。

2. 心がけているが、十分には行っていない

3. 行っていない

- (2) 問 14 で「2. 心がけているが、十分には行っていない」または「3. 行っていない」と回答された方におたずねします。「行っていない」理由はどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 面倒だから、または、疲れるから、または楽しくないから
2. 一緒にやる人がいないなど、きっかけがないから
3. やり方がわからない、または、何をしたらいいのかわからない
4. 別にする必要を感じないから
5. 持病があったり、体調が悪く、できないから
6. その他 (具体的に：_____)

問 15 食事についておたずねします。

- (1) あなたは日頃、朝・昼・夕の3食をきちんと食べていますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 毎日3食食べている → **問 16**にお進みください。

2. 毎日1食または2食にしている

3. 1週間に2～3回は3食の内どれか1食を欠食する

- (2) **問 15 (1)** で「2. 毎日1食または2食にしている」または「3. 1週間に2～3回は3食の内どれか1食を欠食する」と回答された方におたずねします。毎日3食きちんと食べておられない理由は何ですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 時間がない | 2. 1日に1食または2食主義のため |
| 3. 肥満予防のため | 4. 食欲がないため (お腹が空かない) |
| 5. 食事の用意が大変なため | 6. 一人で食べるのが寂しいため |
| 7. 自分の好きなものを食べたいから | |
| 8. アルコールを飲むため | |
| 9. その他 (具体的に: _____) | |

問 16 お口のことについておたずねします。

- (1) あなたは日頃、お口のことでお困りのことがありますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. ある

2. ない

→ **問 17**にお進みください。

- (2) **問 16 (1)** で「1. ある」と回答された方におたずねします。どんなことにお困りですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. うまくかめない |
| 2. 入れ歯が合わない |
| 3. うまく飲み込めない |
| 4. 痛みがある |
| 5. よくむせる |
| 6. その他 (具体的に: _____) |

問 17 次のサービスの現在の利用状況と、今後の利用希望について、それぞれの項目について、1～3のいずれか1つに○をつけてください。

サービスの種類	現在の利用状況			今後の利用希望		
	利用したことがある	知っているが、 利用していない	知らなかった	今後利用したい	今後利用したくない	わからない
① 健康教育 病気の予防や健康づくりのための知識を得ることのできる教室、講演会	1	2	3	1	2	3
② 健康相談 高血圧、高脂血症、糖尿病、歯周疾患、骨粗鬆症などの健康に関する相談	1	2	3	1	2	3
③ もの忘れ相談	1	2	3	1	2	3
④ 健康診査 問診、身体測定、検尿、血液検査など	1	2	3	1	2	3
⑤ はつらつ高齢者の会 (運動器の機能向上サービス) 筋力の向上や転倒予防のため、ご家庭でも続けられる手軽な運動を学ぶサービス	1	2	3	1	2	3
⑥ はつらつ高齢者の会 (栄養改善サービス) 低栄養を改善するため、自分にあった食生活について学ぶサービス	1	2	3	1	2	3
⑦ はつらつ高齢者の会 (口腔機能向上サービス) 楽しく安全に食事を行うため、お口の機能を向上させる方法を学ぶサービス	1	2	3	1	2	3
⑧ 頭の体操(脳トレ)など、頭(脳)の老化を防止することを目的としたサービス				1	2	3

サービスの種類	現在の 利用状況			今後の 利用希望		
	利用 した こと がある	知 っ て い る が、 利 用 し て い ない	知 ら な か つ た	今 後 利 用 し た い	今 後 利 用 し た く な い	わ か ら な い
⑨身近な集会場等で、趣味の活動、介護予防を行うなど人との会話や交流を目的にしたサービス（ふれあいサロン、ミニデイ）	1	2	3	1	2	3
⑩地域包括支援センター 地域で暮らす高齢者の方を介護・福祉・権利擁護・介護予防（健康づくり）などさまざまな面から支える総合相談窓口。	1	2	3	1	2	3
⑪配食サービス 調理困難な高齢者世帯等の方に、自宅まで昼食を届けるとともに安否の確認を行うサービス	1	2	3	1	2	3
⑫ホームヘルプサービス 介護保険で非該当の判定を受けた、又は申請するほどではないが生活支援が必要な方への家事援助サービス	1	2	3	1	2	3
⑬独居高齢者等緊急通報システム 常時見守りが必要な独居高齢者及び昼間独居高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置し、急病等の場合、受診センターに通報するサービス	1	2	3	1	2	3
⑭ショートステイ 介護保険で非該当の判定を受けた、又は申請するほどではないが、一時的に在宅生活が困難になった場合に施設で短期間受けるサービス	1	2	3	1	2	3
⑮日常生活用具給付 ひとり暮らしの方等で防火等の配慮が必要な方に自動消火器、電磁調理器の給付	1	2	3	1	2	3
⑯福祉サービス利用援助事業 判断能力に不安のある方に福祉サービスの利用や金銭管理の代行援助を行う事業	1	2	3	1	2	3

問 18 ホームヘルパーにより受けたいサービスはどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 通院介助
2. 調理
3. 洗濯
4. 掃除
5. 買い物
6. その他（具体的に：_____）

問 19 最近、高齢者向けに様々な催し物やサービスの提供が行われていますが、あなたはそのような情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 家族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 民生委員 | 4. 地域包括支援センター |
| 5. 老人会 | 6. いきいきサロン（ふれあい喫茶） |
| 7. 市役所や施設等の職員 | 8. テレビ |
| 9. ラジオ | 10. インターネット・市ホームページ |
| 11. 新聞（タウン紙を含む） | 12. 市の広報紙 |
| 13. チラシ | 14. 自治会の回覧 |
| 15. その他（具体的に：_____） | |
| 16. 特にどこからも得ていない | |

問 20 あなたは、今後の介護保険のサービス利用についてどのように考えておられますか。あなたの考えにもっとも近い番号 1つに○ をつけてください。

1. 将来、介護が必要になったらすぐサービスを使いたい
2. 家族介護が困難になったらサービス利用を考える
3. 定期的な利用は考えていないが、緊急時にサービスの利用を考える
4. 将来的にもできるだけサービスを利用したくない
5. そろそろサービス利用を考えている。
6. その他（具体的に：_____）
7. わからない

問 21 あなたの将来の住まいと介護などの関係について、おたずねします。
次のうちあなたの考えにもっとも近い番号 1つに○をつけてください。

1. 将来介護が必要になっても、自宅で、あるいは子どもの家に同居して生活を続けたい
2. 介護が必要になって生活が困難になれば、介護の付いている住まいや施設に移りたい
3. 介護が必要になる前に、早めに介護の付いている住まいや施設に移りたい
4. すでに介護の付いている住まいや施設に入所しており、ずっとここで暮らしたい

問 23 にお進みください。

問 22 問 21 で「1. 将来介護が必要になっても、自宅で、あるいは子どもの家に同居して生活を続けたい」と回答された方におたずねします。
どのような形で介護や生活上の手助けを受けたいと思いますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. もっぱら外からの在宅介護サービスを中心に介護を受けたい
2. 外からの在宅介護サービスと家族の手助けを合わせて介護を受けたい
3. 主として家族の手助けを中心に介護を受けたい
4. その他（具体的に：_____）

問 23 介護が必要になっても、できるだけ長く在宅生活を継続していくためには、介護サービスの利用を含めて、どのようなことが必要だと考えますか。次の各項目について、1~4のうち1つに○をつけてください。

項 目	特に必要だと思う	必要だと思う	どちらかということ 必要だと思うわない	わからない
①緊急時や夜間帯に訪問介護サービスや看護サービスが利用できること	1	2	3	4
②自宅からできるだけ近いところで顔なじみの職員によるデイサービスなどが利用できること	1	2	3	4
③かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者などが相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられること	1	2	3	4
④介護状態の悪化防止のための筋力向上トレーニング、バランスの取れた食事の取り方などの教室が開催されること	1	2	3	4
⑤ちょっとした手助けを近隣の人やボランティアなどに頼めること	1	2	3	4
⑥地域で見守りや安否確認などをしてもらえること	1	2	3	4
⑦地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること	1	2	3	4

問 24 あなたは、認知症は病気だと思いますか。(1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 病気だと思う 2. 病気だと思わない 3. どちらともいえない 4. わからない |
|--|

問 25 あなたは、認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思いますか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. あると思う 2. どちらかというと思う 3. どちらかというとないと思う 4. ないと思う 5. わからない |
|---|

問 26 あなたは、ご家族やご自身について認知症に対する不安がありますか。(1つに○)

1. すごくある
2. ある
3. どちらかといえばある
4. どちらかといえはない
5. ない
6. わからない

問 27 あなたは、ご自身やご家族について認知症に対する不安を持った時、相談したいと考えるのは誰(どこ)ですか。あてはまる番号3つまで○をつけてください。

1. かかりつけ医
2. 大学病院などの認知症専門医療機関
3. 精神科、心療内科、神経内科
4. 市役所の相談窓口
5. 地域包括支援センター
6. 保健所(県健康福祉事務所)
7. 家族会
8. 社会福祉協議会
9. わからない
10. その他(具体的に: _____)

問 28 もし、あなた自身が認知症になったら、どこで介護を受けて生活したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 自宅
2. 特別養護老人ホーム(注1)・老人保健施設(注2)
(注1)「特別養護老人ホーム」とは、常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が入所して、日常生活上の支援や介護等を受ける施設です。
(注2)「老人保健施設」とは、状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションを中心としたケアを受ける施設です。
3. 認知症高齢者グループホーム(注3)
(注3)「認知症高齢者グループホーム」とは、認知症の高齢者が5~9名で共同生活をしながら、日常生活の介護やリハビリを受ける施設です。
4. わからない
5. その他(具体的に: _____)

問 29 あなたは、認知症の人が住み慣れた地域で生活をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号2つまで○をつけてください。

1. 地域での見守り体制や安否確認体制
2. 成年後見制度等の認知症高齢者に対する財産管理制度の充実
3. 自宅で介護する家族のための相談体制
4. 一時的に入所して介護を受けられる施設(ショートステイ)
5. デイサービスと訪問介護の充実
6. 訪問看護
7. わからない
8. その他 (具体的に：_____)

問 30 あなたの保険料の段階はどの段階ですか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

※介護保険料の段階は、昨年 7 月上旬に宝塚市から郵送された「宝塚市介護保険料決定通知書」に記載しております。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 第 1 段階 (基準額×0.5) | 年間保険料：29,200 円 |
| 2. 第 2 段階 (基準額×0.5) | 年間保険料：29,200 円 |
| 3. 第 3 段階 (基準額×0.625) | 年間保険料：36,500 円 |
| 4. 第 4 段階 (基準額×0.75) | 年間保険料：43,800 円 |
| 5. 第 5 段階 (基準額×0.875) | 年間保険料：51,100 円 |
| 6. 第 6 段階 (基準額) | 年間保険料：58,400 円 |
| 7. 第 7 段階 (基準額×1.125) | 年間保険料：65,700 円 |
| 8. 第 8 段階 (基準額×1.25) | 年間保険料：73,000 円 |
| 9. 第 9 段階 (基準額×1.5) | 年間保険料：87,600 円 |
| 10. 第 10 段階 (基準額×1.75) | 年間保険料：102,200 円 |
| 11. 第 11 段階 (基準額×2.0) | 年間保険料：116,800 円 |
| 12. 第 12 段階 (基準額×2.25) | 年間保険料：131,400 円 |
| 13. わからない | |

問 31 将来、あなたも要介護認定を受け、介護保険サービスを利用するかもしれないことを考えた場合、現在のあなたの介護保険料の負担感はどのように感じられていますか。あてはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. 妥当 |
| 4. やや安い | 5. 安い | |

問 32 介護保険料の基準額は、宝塚市の介護サービスの利用量によって決まります。このため、施設が増えたり、介護サービスが充実したりするなどして利用量が増えると、保険料も上がることとなります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスの在り方について、あなたはどのようにお考えですか。もっとも近い番号 1 つに○をつけてください。

1. 保険料が今よりも高くなってもよいから、施設を増やすなどサービスを充実させた方がよい
2. 保険料も介護サービスも現状の程度でよい
3. 介護サービスの水準を今よりも抑えても、保険料が低くなる方がよい
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

問 33 現行制度では、65 歳以上の人の保険料は、問 30 の表のとおり、所得段階などの負担能力に応じて 12 段階に分けられており、一番低い第 1 段階の人と一番高い第 12 段階の人では、金額に 4.5 倍の差があります。この設定方法について、あなたの考えにもっとも近い番号 1 つに○をつけてください。

1. 現行の設定方法でよい
2. 個々人によって、所得に差があるので、比較的所得の低い方の負担と高い方の負担の格差は、現状より大きくすべきである
3. 介護が必要になるかどうかは、所得の多い・少ないには関係ないので、比較的所得の高い方と比較的所得の低い方の保険料の格差は、現状よりも小さくすべきである
4. わからない

問 34 介護保険制度に関して、あなたが宝塚市に望むことはどのようなことですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 介護保険制度に関してわかりやすい情報の提供
(具体的に：_____)
2. 介護保険制度の手続きの簡素化
3. 訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅向けの介護サービスの充実
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設の充実
5. 認知症高齢者グループホームの増設
6. 比較的安く入居できる有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）の充実
7. 地域の身近なところで、様々なサービスが利用できること
8. 福祉用具の充実や、自宅の設備や構造を高齢者に使いやすいように改修するための施策の充実
9. 介護を必要とする状態の予防や、悪化することを防止するための事業、健康づくり対策の充実
10. 低所得者世帯への負担軽減策の充実
11. サービス事業者の質の向上
12. ケアマネジャーの質の向上
13. 不適切なサービス利用や過剰なサービス提供の是正
14. 苦情処理への迅速な対応
15. その他（具体的に：_____）
16. 特にない

介護サービスについてのアンケート

「日常生活圏域ニーズ調査」ご協力のお願い

市民の皆さまには日頃から市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、今回、市では、介護保険事業計画の見直しに向けて皆さまのご意見やご要望をお聞きし、よりよい介護保険制度としていくため、『日常生活圏域ニーズ調査』を実施することになりました。

宝塚市内にお住まいの65歳以上の方から無作為に約4,300人を選ばせていただき、ご意見やご要望をお聞きするものです。ご面倒ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、個人の秘密が他人に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありませんので、あなたのお考えを率直にご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成26年6月

宝塚市長 中川 智子

回答にあたってのお願い

1. このアンケートの回答は、できる限り封筒の宛名ご本人に回答をお願いいたします。
2. 何らかの事情により、本人の記入が難しい場合は、家族の方などが本人の立場で、意思を反映して記入をお願いします。
3. 記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いします。
4. 回答は、次ページ（2ページ）から最後まで順番にお答えください。矢印（→）があれば、矢印にしたがってお答えください。
5. 回答は、あてはまるものの番号に○印をつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入してください。
6. 回答は、平成26年6月1日現在でお答えください。
7. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、6月30日（月）までにポストにお入れください。
8. この調査は、強制ではありません。回答をされなかった場合でも、あなたが不利益を受けることはありませんが、介護保険制度をよりよいものにしていくために、大切な情報となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ご記入にあたって、わからないことがありましたら、下記へお問い合わせください。

宝塚市 健康福祉部 健康長寿推進室 介護保険課

電話 0797 (77) 2136

ファックス 0797 (71) 1355

(平日 午前9時～12時・午後0時45分～5時30分)

本アンケート調査をご覧いただき、介護や健康などで心配ごとやお困りごとがある場合は、お住まいの住所を担当する地域包括支援センターにご相談ください。

地域包括支援センターの連絡先につきましては、この調査票の同封資料をご覧ください。

まず、次の問にお答えください。

問A このアンケート記入者は、次のどれにあたりますか。1～5のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 本人（宛名の方） → 次のページ、問1にお進みください。

2. 配偶者（夫または妻）

3. 子ども

4. 子どもの配偶者

5. その他（具体的に：_____）

→ 問B（問Aで「2～5」とお答えの方におたずねします。）

このアンケートに、宛名本人が回答できない理由は、次のうちどれにあてはまりますか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

1. 本人が病院に入院中である

2. 本人が介護保険施設等に入所中である

（特別養護老人ホーム、老人保健施設、養護老人ホーム、有料老人ホームなど）

3. 本人はすでに転居している

4. その他（具体的に：_____）

5. 本人はすでに死亡している

→ 調査項目は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

調査票は、同封の返信用封筒に入れ、封をして切手を貼らずに、6月30日（月）までにポストにお入れください。

→ 次のページ、問1にお進みください。

問1 あなた自身についてお聞きします。

(1) あなたの性別は。(1つに○)

1. 男性
2. 女性

(2) あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)(1つに○)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85歳以上

(3) あなたは要介護(要支援)認定を受けていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ ⇒問2にお進みください。

→ (4) 問1(3)で「1. はい」と回答された方にお聞きします。あなたの介護度はどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5
8. わからない

問2 あなたの家族や生活状況について

Q1. 家族構成をお教えてください (1つに○)

1. 一人暮らし 2. 家族などと同居 (二世帯住宅を含む) 3. その他 (施設入居など)
⇒ Q2へ ⇒ Q1-1、2へ ⇒ Q2へ

Q1-1. (家族などと同居されている方のみ)

ご自分を含めて何人で暮らしていますか。 人 (人数をご記入ください)

また、同居されている方はどなたですか (いくつでも○)

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫
6. 兄弟・姉妹 7. その他

Q1-2. (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか (1つに○)

1. よくある 2. たまにある 3. ない

Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つに○)

1. 介護・介助は必要ない ⇒ Q3へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ Q2-1へ
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒ Q2-1~3へ

Q2-1. (介護・介助が必要な方のみ)

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも○)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病
9. 視覚・聴覚障害 10. 骨折・転倒 11. 脊椎損傷
12. 高齢による衰弱 13. その他 () 14. 不明

Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ)

主にどなたの介護・介助を受けていますか (1つに○)

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫
6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ()

Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ)

主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか (1つに○)

1. 65歳未満 2. 65~74歳 3. 75~84歳 4. 85歳以上

Q3. 年金の種類は次のどれですか (1つに○)

1. 国民年金 2. 厚生年金 (企業年金あり) 3. 厚生年金 (企業年金なし)
4. 共済年金 5. 無年金 6. その他

Q4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つに○)

1. 苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. ゆとりがある

<p>Q5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)</p> <p>1. 一戸建て 2. 集合住宅</p>
<p>Q6. お住まいは、次のどれにあたりますか (1つに○)</p> <p>1. 持家 2. 民間賃貸住宅 3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等)</p> <p>4. 借間 5. その他 (具体的に)</p>
<p>Q7. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか</p> <p>1. はい ⇒ Q7-1へ</p> <p>2. いいえ ⇒ 問3へ</p>
<p>Q7-1. (2階以上の方)</p> <p>お住まいにエレベーターは設置されていますか 1. はい 2. いいえ</p>

<p>問3 運動・閉じこもりについて</p>	
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい 2. いいえ
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい 2. いいえ
Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい 2. いいえ
Q4. 5m以上歩けますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい 2. いいえ
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい 2. いいえ
Q7. 外出を控えていますか	1. はい ⇒ Q7-1へ 2. いいえ ⇒ Q8へ
<p>Q7-1. (外出を控えている方のみ)</p> <p>外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも○)</p> <p>1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み</p> <p>4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害 (聞こえの問題など)</p> <p>6. 目の障害 7. 外での楽しみがない</p> <p>8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他 ()</p>	
<p>Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか (A、Bそれぞれで1つに○)</p> <p>A. 買物 1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満</p> <p>B. 散歩 1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満</p>	
<p>Q9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも○)</p> <p>1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 (自分で運転)</p> <p>5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス</p> <p>9. 車いす 10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー</p> <p>12. タクシー 13. その他 (具体的に)</p>	

問4 転倒について	
Q1. この1年間に転んだことがありますか	1. はい 2. いいえ
Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい 2. いいえ
Q3. 背中が丸くなってきましたか	1. はい 2. いいえ
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 杖を使っていますか	1. はい 2. いいえ

問5 口腔・栄養について	
Q1. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ
Q2. 現在の身長 <input type="text"/> cm 現在の体重 <input type="text"/> kg (各数字をご記入ください)	
Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ
Q6. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	1. はい 2. いいえ
Q7. 定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか	1. はい 2. いいえ
Q8. 入れ歯を使用していますか	1. はい ⇒ Q8-1, 2へ 2. いいえ ⇒ Q9へ
Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか	1. はい 2. いいえ
Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい 2. いいえ
Q9. 1日の食事の回数は何回ですか (1つに○)	
1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食 4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他	
Q10. 食事を抜くことがありますか	
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. ほとんどない	
Q11. 自分一人ではなく、どなたかと食事をともにする機会がありますか (1つに○)	
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある ⇒ Q11-1へ 5. ほとんどない ⇒ 問6へ	
Q11-1. (どなたかと食事をともにする機会がある方のみ)	
食事をともにする人はどなたですか (いくつでも○)	
1. 家族 2. 近所の人や友人 3. デイサービスの仲間 4. その他 ()	

問6 物忘れについて

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか

1. はい 2. いいえ

Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

Q4. 5分前のことが思い出せますか

1. はい 2. いいえ

Q5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか（1つに〇）

1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つに〇）

1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる
3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない

問7 日常生活について（それぞれのQで1つに〇）

Q1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q2. 日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

⇒Q3△

⇒Q2-1△

⇒Q2-1△

Q2-1.（日用品の買物をしていない、できない方のみ）

日用品の買物をする人は主にどなたですか

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達を依頼 5. その他

Q3. 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

⇒Q4△

⇒Q3-1△

⇒Q3-1△

Q3-1.（自分で食事の用意をしていない、できない方のみ）

食事の用意をする人は主にどなたですか

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービス利用 5. その他

Q4. 請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6. 食事は自分で食べられますか

1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか 1. できる 2. 支えが必要 3. できない
Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか 1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
Q10. 自分でトイレができますか 1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない
Q11. 自分で入浴ができますか 1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない
Q12. 50m以上歩けますか 1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない
Q13. 階段を昇り降りできますか 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
Q14. 自分で着替えができますか 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
Q15. 大便の失敗がありますか 1. ない 2. ときどきある 3. よくある
Q16. 尿もれや尿失禁がありますか 1. ない 2. ときどきある 3. よくある
Q17. 家事全般ができていますか 1. できている 2. できていない

問8	社会参加について
Q1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 2. いいえ
Q2. 新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
Q3. 本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ
Q6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ
Q7. 病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ
Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ
Q9. 趣味はありますか	1. はい 2. いいえ
Q10. 生きがいがありますか	1. はい 2. いいえ

Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（それぞれ <u>1つに○</u> ）					
(1) ボランティアのグループ					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
(2) スポーツ関係のグループやクラブ					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
(3) 趣味関係のグループ					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
(4) 老人クラブ					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
(5) 町内会・自治会					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
(6) 学習・教養サークル					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
(7) その他の団体や会					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. 参加していない					
Q12. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか（それぞれで <u>1つに○</u> ）					
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. していない					
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. していない					
(3) 子どもを育てている親を支援する活動					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. していない					
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. していない					
(5) 収入のある仕事					
1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	
6. していない					

<p>Q6. お酒は飲みますか (1つに○)</p> <p>1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない</p> <p>4. もともと飲まない</p>
<p>Q7. タバコは吸っていますか (1つに○)</p> <p>1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた</p> <p>4. もともと吸っていない</p>
<p>Q8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>
<p>Q9. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>
<p>Q10. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>
<p>Q11. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>
<p>Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>

アンケートは、以上で終了です。ご協力ありがとうございます。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れ、封をして切手を貼らずに、6月30日(月)までにポストに投函してください。

在宅要援護者需要調査
一般高齢者調査
日常生活圏域ニーズ調査
結果報告書

平成27年(2015年)3月

宝 塚 市

発行：宝塚市

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号

主管：健康福祉部 健康長寿推進室 介護保険課

いきがい福祉課

健康推進課

電話：0797-71-1141（代） ファックス：0797-71-1355